

総合計画策定に係る現状把握分析 最終報告書

1 指標実績の検証	-----	P1
2 まちづくりに関するアンケート調査結果	-----	P49
3 基礎調査分析	-----	P93

1. 指標実績の検証

指標実績一覧	-----	P2
政策1 快適で暮らしやすいまちづくり	-----	P6
政策2 美しい環境を守るまちづくり	-----	P11
政策3 活気あるいきいきとしたまちづくり	-----	P15
政策4 安全で災害に強いまちづくり	-----	P21
政策5 安心して生活できるまちづくり	-----	P26
政策6 元気のある健康なまちづくり	-----	P32
政策7 生きがいに満ちた豊かなまちづくり	-----	P36
政策8 心豊かな人をはぐくむまちづくり	-----	P40
政策9 市民参加のまちづくり	-----	P43
政策10 効果的・効率的な行財政運営	-----	P46

指標実績一覧

政策	指標名	従前値(H22)	目標値(H28)	実績値(H28)	達成状況
快適で暮らしやすいまちづくり	地区内の道路が快適に利用できている市民の割合(%)	60.9%	65.0%	57.8%	未達成
	道路改良率(%)	52.0%	52.5%	55.0%	達成
	新交通システム運営事業の利用者数(人)	71,129人	72,000人	119,270人	達成
	公共施設や病院への移動手段がなく不便を感じている市民の割合(%)	10.2%	8.5%	5.6%	達成
	市街地が整っていると感じている市民の割合(%)	43.0%	51.0%	35.0%	未達成
	公園緑地が整っていると感じている市民の割合(%)	49.5%	55.0%	39.5%	未達成
	有収率(%)	92.6%	93.0%	92.3%	未達成
	葬祭サービスに満足している市民の割合(%)	75.0%	95.0%	74.1%	未達成
美しい環境を守るまちづくり	1人1日当たりごみ排出量(g)	1,040g	930g	1,005g	未達成
	公共下水道の普及率(%)	87.5%	89.9%	93.7%	達成
	環境基準達成項目割合(%)	87.5%	90.0%	87.5%	未達成
	山・緑など周りの自然環境に満足している市民の割合(%)	76.3%	80.0%	67.4%	未達成
活気あるいきいきとしたまちづくり	旅客船寄港回数(回)	8回	18回	17回	未達成
	取扱貨物量(t)	360万t	420万t	361万t	未達成
	観光入込客数(千人)	1,437千人	1,650千人	1,296千人	未達成
	製造品出荷額(百万円)	389,911百万円	389,911百万円	—	—
	商品販売額(百万円)	74,324百万円(H19)	87,500百万円	—	—
	認定農業者数(人)	67人	82人	47人	未達成
	新規就農業者数(人)	0人	2人	3人	達成
	水産漁獲量(海面漁業)(t)	2,561t	3,000t	— t	—
	水産漁獲量(海面養殖業)(t)	356t	500t	— t	—
	有効求人倍率(倍)	0.8倍	1.0倍	1.6倍	達成
	勤労者福祉サービスセンターの会員数(人)	1,249人	1,400人	1,218人	未達成

政策	指標名	従前値(H22)	目標値(H28)	実績値(H28)	達成状況
安全で災害に強いまちづくり	人口1万人当たりの火災発生件数(件)	6.5件	5.0件	3.1件	達成
	消防団員の平均年齢(歳)	42.9歳	42.5歳	43.7歳	未達成
	自主防災組織加入世帯の割合(%)	46.9%	70.0%	70.2%	達成
	家庭での防災対策をしている市民の割合(%)	39.9%	70.0%	40.8%	未達成
	救急救命士数(人)	17人	23人	20人	未達成
	普通救命講習参加者数(人)	6,261人	9,000人	9,706人	達成
	事故件数(件)	1,357件	1,200件	1,295件	未達成
	身近な道路に通行上危険な箇所があると感じている市民の割合(%)	47.4%	42.0%	47.1%	未達成
安心して生活できるまちづくり	1年間に消費者被害にあった市民の割合(%)	1.8%	1.8%	2.6%	未達成
	民生委員・児童委員1人当たりの訪問回数(回)	96.0回	101.0回	95.9回	未達成
	玉野市ボランティア連絡協議会加入者数(人)	485人	560人	446人	未達成
	子育ての環境が整っていると感じている市民の割合(%)	41.3%	74.0%	54.6%	未達成
	日頃の生活の中で楽しみを感じている高齢者の割合(%)	57.6%	60.0%	74.1%	達成
	生きがいデイサービス参加者数(人)	5,669人	5,900人	4,972人	未達成
	施設入所者のうち地域で自立した生活を送るようになった人数(人)	9人	30人	13人	未達成
	介護保険サービスに満足している利用者の割合(%)	80.9%	83.0%	82.9%	未達成
	要支援や要介護を必要としない高齢者の割合(%)	78.8%	78.8%	80.9%	達成
	人権に関する研修会の参加者数(人)	278人	300人	324人	達成
元気のある健康なまちづくり	男女が平等に扱われていると感じている市民の割合(%)	24.4%	45.0%	25.9%	未達成
	審議会等における女性委員の登用率(%)	27.9%	35.0%	31.5%	未達成
	健康寿命(男)	76.7歳	78.0歳	77.7歳	未達成
	健康寿命(女)	78.9歳	80.0歳	79.5歳	未達成
	自分が健康であると感じている市民の割合(%)	61.8%	70.0%	63.3%	未達成
	(国民健康保険料)現年分収納率(%)	91.2%	93.0%	94.2%	達成
	市内の医療機関に満足している市民の割合(%)	39.3%	50.0%	33.7%	未達成
	玉野市民病院の施設・設備に満足している利用者の割合(%)	90.3%	91.0%	— %	—
	玉野市民病院の職員の対応に満足している利用者の割合(%)	96.7%	97.0%	— %	—
	玉野市民病院の診察に満足している利用者の割合(%)	84.6%	90.0%	— %	—
	医業収支比率(%)	79.0%	100.7%	78.9%	未達成
	経常収支比率(%)	92.4%	107.1%	94.9%	未達成

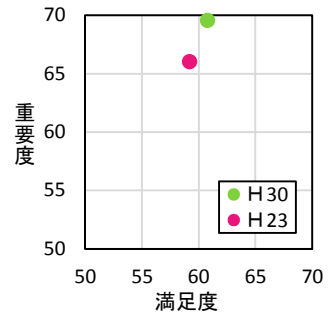
政策	指標名	従前値(H22)	目標値(H28)	実績値(H28)	達成状況
生きがい に満ちた豊 かなまち づくり	公民館講座参加者数(人)	224,844人	230,000人	242,734人	達成
	図書館の貸出冊数(冊)	244,838冊	260,000冊	190,576冊	未達成
	この1年間で生涯学習活動を行った市民の割合(%)	35.3%	40.0%	35.3%	未達成
	日頃、芸術に触れる機会のある市民の割合(%)	41.4%	50.0%	40.6%	未達成
	市内の指定文化財を訪れたことがある市民の割合(%)	48.8%	50.0%	30.7%	未達成
	この1年間で週1回以上スポーツをした市民の割合(%)	44.4%	63.0%	45.3%	未達成
	市内体育施設の利用者数(人)	165,273人	217,000人	174,941人	未達成
	少年補導の件数(件)	260件	230件	198件	達成
心豊かな人 を はぐく むまち づくり	家庭教育に関する研修会の参加者数(人)	1,768人	2,300人	2,656人	達成
	地域子ども楽級の協力者数(人)	6,929人	7,500人	5,695人	未達成
	小中学校耐震化率(%)	64.4%	100.0%	100.0%	達成
	コンピュータ整備完了学校数(校)	3校	21校	21校	達成
	朝食を食べている児童・生徒の割合(%)	85.0%	90.0%	87.1%	未達成
	残飯量(%)	10.7%	8.0%	10.3%	未達成
	子どもの学校(園)での教育に満足している 市民の割合(%)	28.1%	70.0%	62.2%	未達成
	特別支援教育支援員配置率(%)	78.6%	85.0%	84.2%	未達成

政策	指標名	従前値(H22)	目標値(H28)	実績値(H28)	達成状況
市民参加のまちづくり	市民活動保険登録者数(人)	27,798人	32,500人	33,715人	達成
	この1年間でボランティア活動に参加した市民の割合(%)	24.5%	35.0%	31.4%	未達成
	玉野市長選挙の投票率(%)	66.4%(H17)	70.0%(H25)	43.3%(H25)	未達成
	玉野市議会議員選挙の投票率(%)	63.8%(H23)	80.0%(H27)	60.5%(H27)	未達成
	地域における懇談会の参加者数(人)	— 人	360人	194人	未達成
	パブリックコメント募集案件 1件当たりの意見数(件)	5.0件	5.6件	1.0件	未達成
	広報紙が役に立っていると感じている市民の割合(%)	81.6%	85.0%	70.7%	未達成
	市の施策に関する情報が市民へ提供されている と感じている市民の割合(%)	58.6%	70.0%	60.0%	未達成
効果的・効率的な 行財政運営	市役所のサービスが利用しやすいと感じている市民の割合(%)	66.0%	85.0%	51.8%	未達成
	最終目標を達成した施策指標の割合(%)	38.8%	100.0%	27.8%	未達成
	玉野市行財政改革大綱の最終目標達成率(%)	— %	100.0%	30.8%(H27)	未達成
	ホームページの合計アクセス件数(千件)	4,030千件	4,630千件	1,814千件	未達成
	SNSにおける“玉野市”の登録件数(件)	228件(H23)	1,150件	2,451件	達成
	地域ブランド調査の認知度(位)	644位(H23)	502位	691位	未達成
	市税徴収率(%)	94.6%	95.2%	96.3%	達成
	経常収支比率(%)	87.1%	89.1%	98.1%	未達成
	実質公債費比率(%)	8.4%	12.3%	6.1%	達成
	基金残高(億円)	25.4億円	26.0億円	22.8億円	未達成

施策の大綱 1
住み心地のよい
活気あるまち

政策 1

快適で暮らしやすい
まちづくり

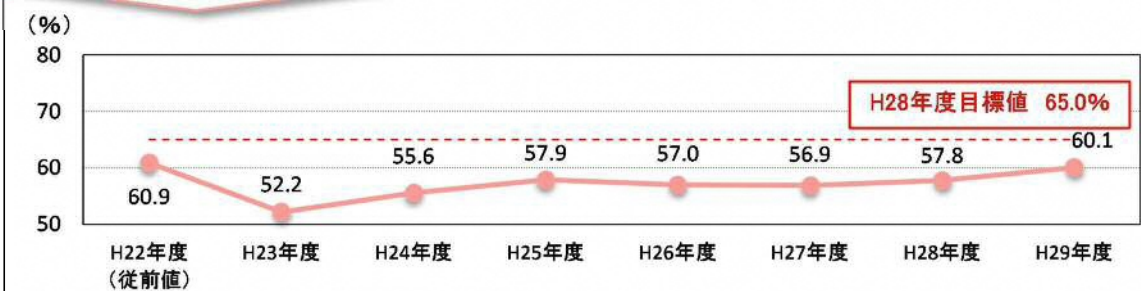


施策
1

快適で安全な道路を確保する

施策の指標実績の検証

地区内の道路が快適に利用できる
と感じている市民の割合 (%)

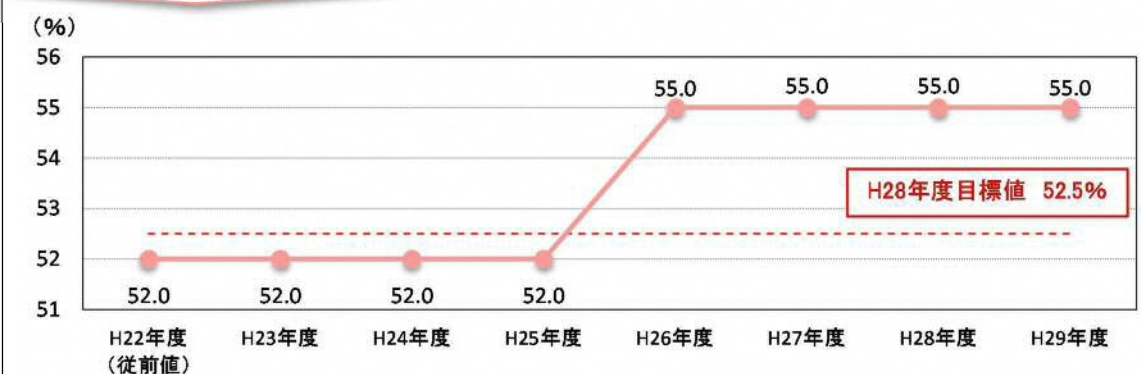


従前値 (H22)	目標値 (H28)	実績値 (H28／H29)	達成状況
60.9%	65.0%	57.8%／60.1%	未達成

目標の達成状況に対する評価

限られた予算の範囲内で、優先順位を勘案しながら維持管理を行っているため、満足度は上昇傾向にあるものの、維持管理が行き届いていない地区もあることから目標を達成できていない。

道路改良率 (%)



従前値 (H22)	目標値 (H28)	実績値 (H28／H29)	達成状況
52.0%	52.5%	55.0%／55.0%	達成

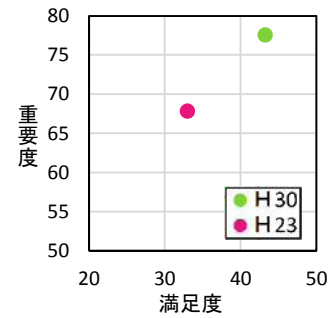
目標の達成状況に対する評価

計画的に道路整備を行った結果、目標を達成できたものと考えられる。

施策の大綱 1
住み心地のよい
活気あるまち

政策 1

快適で暮らしやすい
まちづくり

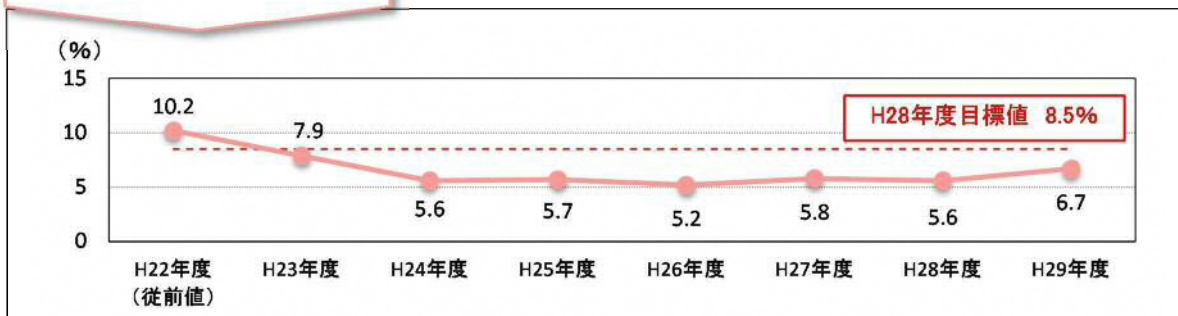


施策
2

多様な交通手段を確保する

施策の指標実績の検証

公共施設や病院への移動手段がなく
不便を感じている市民の割合 (%)

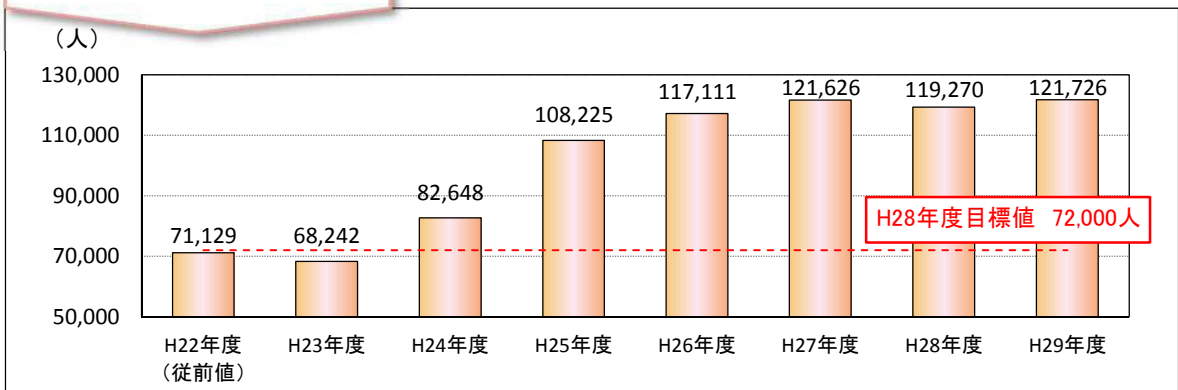


従前値 (H22)	目標値 (H28)	実績値 (H28／H29)	達成状況
10.2%	8.5%	5.6%／6.7%	達成

目標の達成状況に対する評価

新たにシータクを導入したことにより、玉野市内の公共交通不便地域に対する公共交通による人口カバー率は99.0%まで向上していることから、目標を達成できている。

新交通システム運営事業の
利用者数 (人)



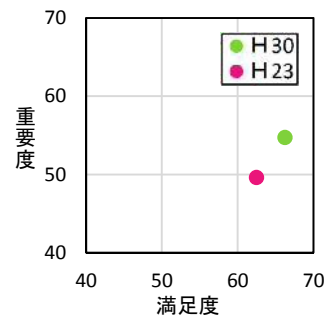
従前値 (H22)	目標値 (H28)	実績値 (H28／H29)	達成状況
71,129 人	72,000 人	119,270 人／121,726 人	達成

目標の達成状況に対する評価

コミュニティバスの運行形態を見直し、新たにデマンド型乗合タクシーを導入し効率化を図ったことにより利用者が大幅に増え、目標を達成できている。

施策の大綱 1
住み心地のよい
活気あるまち

政策 1 快適で暮らしやすい
まちづくり

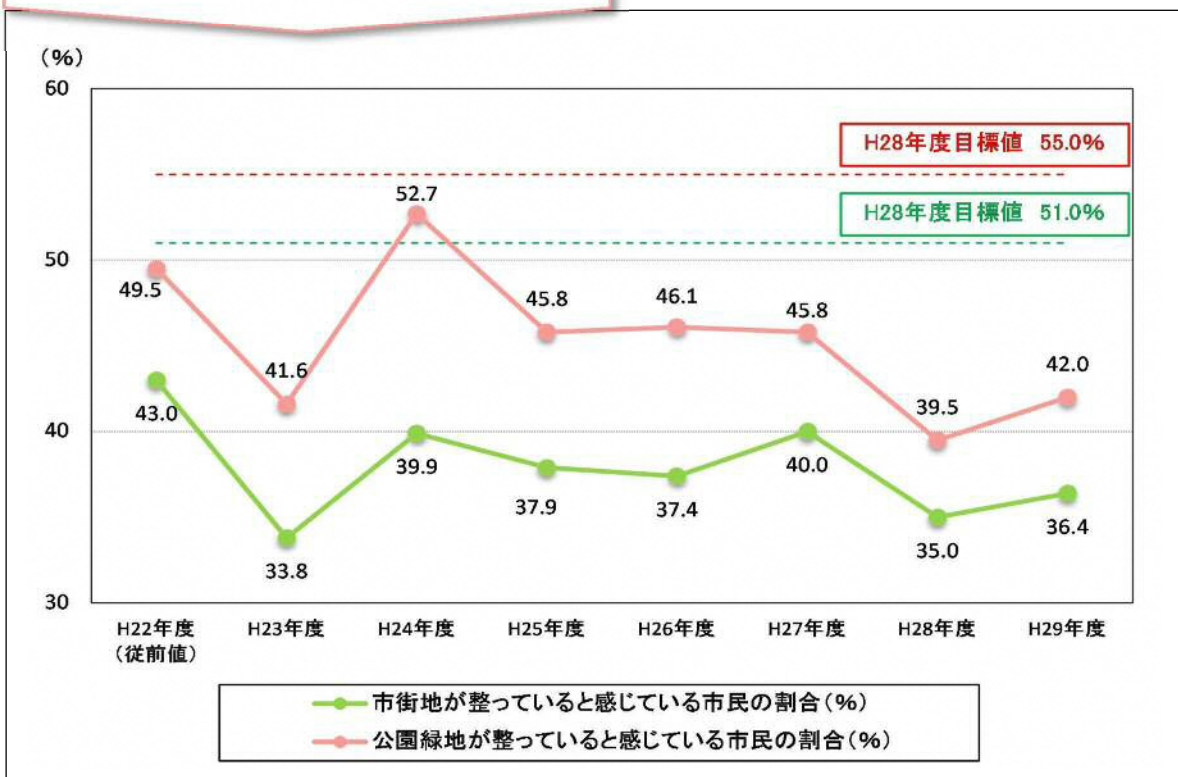


施策
3

快適な住環境を提供する

施策の指標実績の検証

市街地が整っていると感じている市民の割合 (%)
公園緑地が整っていると感じている市民の割合 (%)



指標名	従前値 (H22)	目標値 (H28)	実績値 (H28/H29)	達成状況
市街地が整っていると感じている市民の割合	43.0%	51.0%	35.0%/36.4%	未達成
公園緑地が整っていると感じている市民の割合	49.5%	55.0%	39.5%/42.0%	未達成

目標の達成状況に対する評価

市街地が整っていると感じている市民の割合

市街地整備の満足度は、公共交通、公共施設、病院、商店等に関する多様なニーズが影響し、個々で判断する基準が異なるものと想定され、中心市街地の道路や公園の整備が進んだものの、達成度は下降傾向にある。

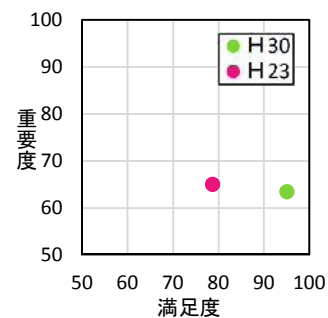
公園緑地が整っていると感じている市民の割合

児童遊園地は、地区に管理を委託しているが、高齢化等で管理できない公園が増加傾向にあるため達成度が下降傾向にあると考えられる。今後は、公園の廃止を含めた管理の在り方を検討する必要がある。

施策の大綱 1
住み心地のよい
活気あるまち

政策 1

快適で暮らしやすい
まちづくり

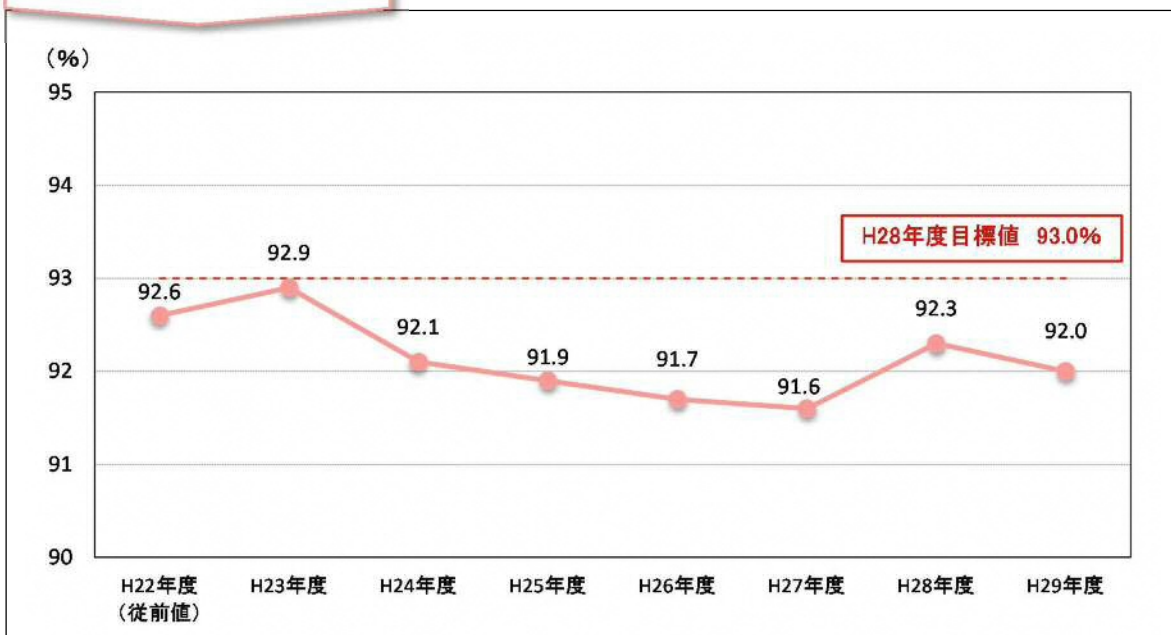


施策
4

良質な水を提供する

施策の指標実績の検証

有収率 (%)



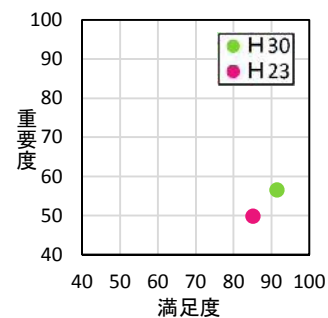
従前値 (H22)	目標値 (H28)	実績値 (H28／H29)	達成状況
92.6%	93.0%	92.3%／92.0%	未達成

目標の達成状況に対する評価

目標値は未達成となっているが、類似団体の平均と比較すると、高い有収率を維持している。今後は、配水管の漏水調査も合わせて行い有収率の向上を目指す必要がある。

施策の大綱 1
住み心地のよい
活気あるまち

政策 1 快適で暮らしやすい
まちづくり



施策
5

利便性の高い葬祭施設を提供する

施策の指標実績の検証

葬祭サービスに満足している
市民の割合 (%)



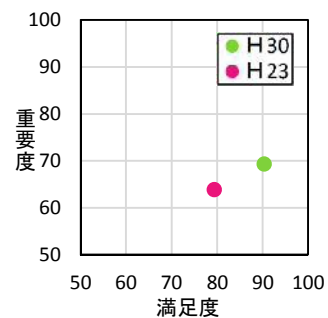
従前値 (H22)	目標値 (H28)	実績値 (H28／H29)	達成状況
75.0%	95.0%	74.1%／70.4%	未達成

目標の達成状況に対する評価

従来からの無料葬祭制度がサービスの前提にあり、市民ニーズが多様化している中で、さらなるサービスの向上が求められているものと考えられる。

施策の大綱 1
住み心地のよい
活気あるまち

政策 2 美しい環境を守る
まちづくり

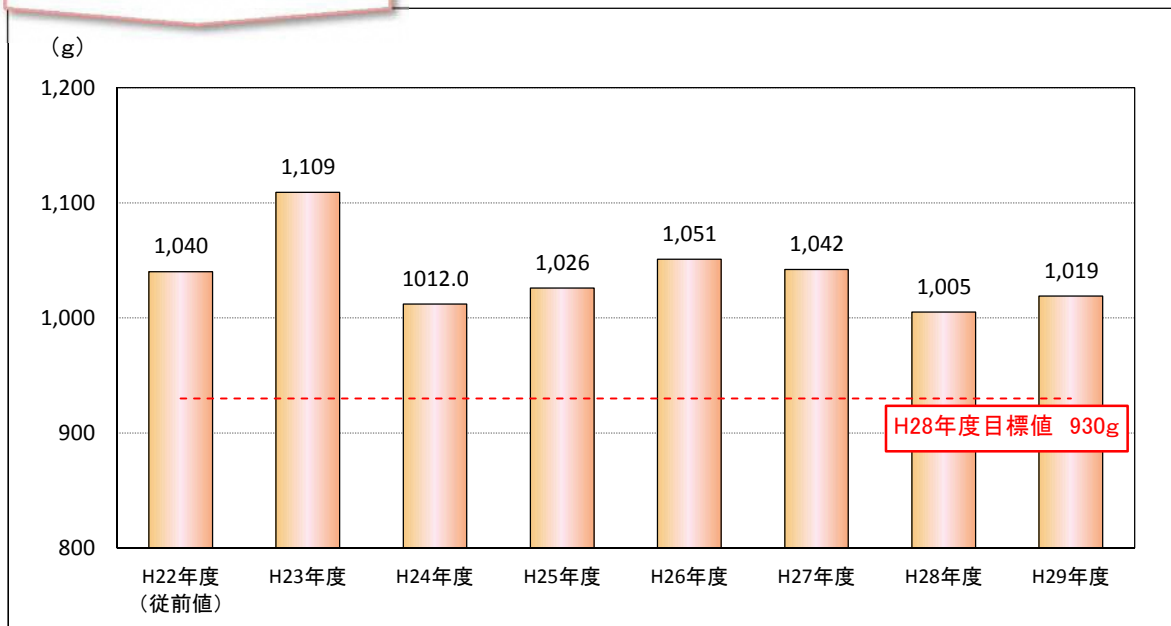


施策
1

ごみを適切に処理する

施策の指標実績の検証

1人1日当たりごみ排出量 (g)



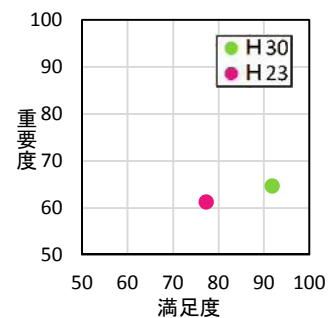
従前値 (H22)	目標値 (H28)	実績値 (H28/H29)	達成状況
1,040 g	930 g	1,005 g / 1,019 g	未達成

目標の達成状況に対する評価

近年減少傾向にあるものの、依然として目標値を達成できていないため、ごみ分別の更なる徹底やごみの有料化など、より効果的な施策を導入する必要がある。

施策の大綱 1
住み心地のよい
活気あるまち

政策 2 美しい環境を守る
まちづくり



施策
2

生活排水を適切に処理する

施策の指標実績の検証

公共下水道の普及率 (%)



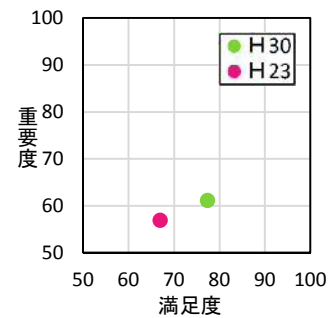
従前値 (H22)	目標値 (H28)	実績値 (H28／H29)	達成状況
87.5%	89.9%	93.7%／94.4%	達成

目標の達成状況に対する評価

公共下水道整備事業及び流域関連公共下水道整備事業による下水道整備を推進し、下水道処理区域が拡大したことで、目標を達成できたと考える。

施策の大綱 1
住み心地のよい
活気あるまち

政策 2 美しい環境を守る
まちづくり



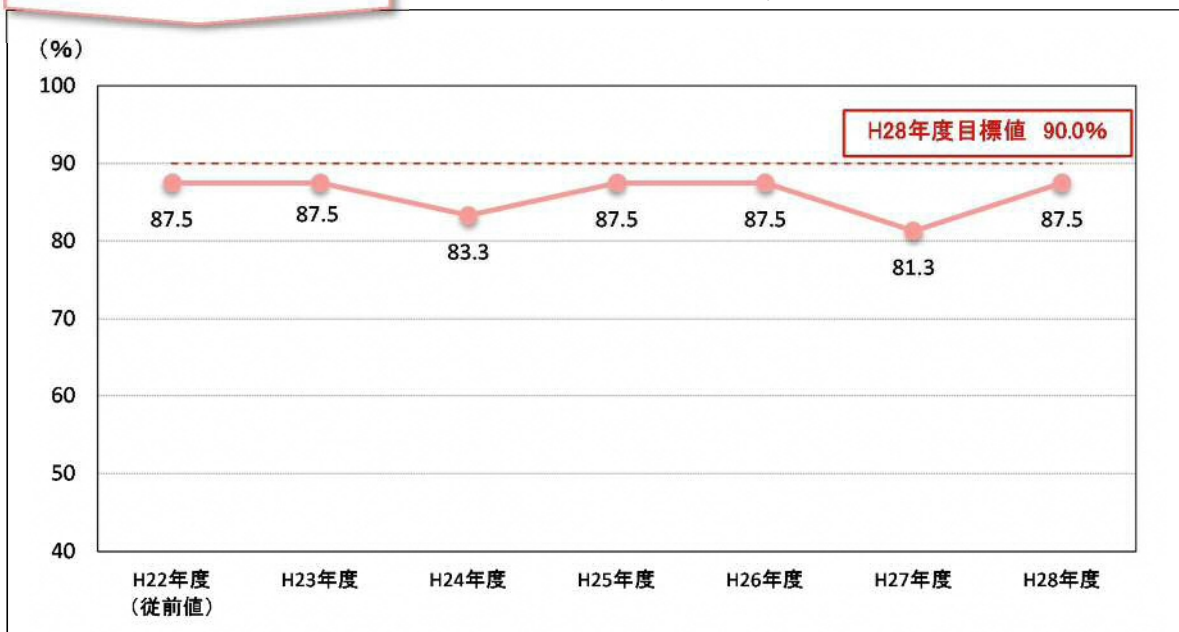
施策
3

大気環境を保全する

施策の指標実績の検証

環境基準達成項目割合 (%)

注) 平成 29 年度実績については、岡山県の公表値により算出する必要があることから現時点で把握できない。



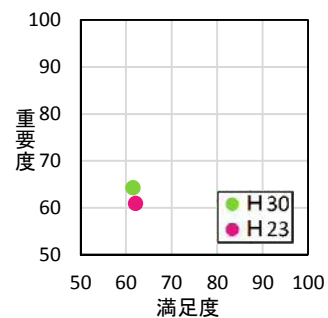
従前値 (H22)	目標値 (H28)	実績値 (H28)	達成状況
87.5%	90.0%	87.5%	未達成

目標の達成状況に対する評価

明確に環境基準を達成できていない項目は、光化学オキシダントのみとなっており、達成割合としては停滞している。

施策の大綱 1
住み心地のよい
活気あるまち

政策 2 美しい環境を守る
まちづくり

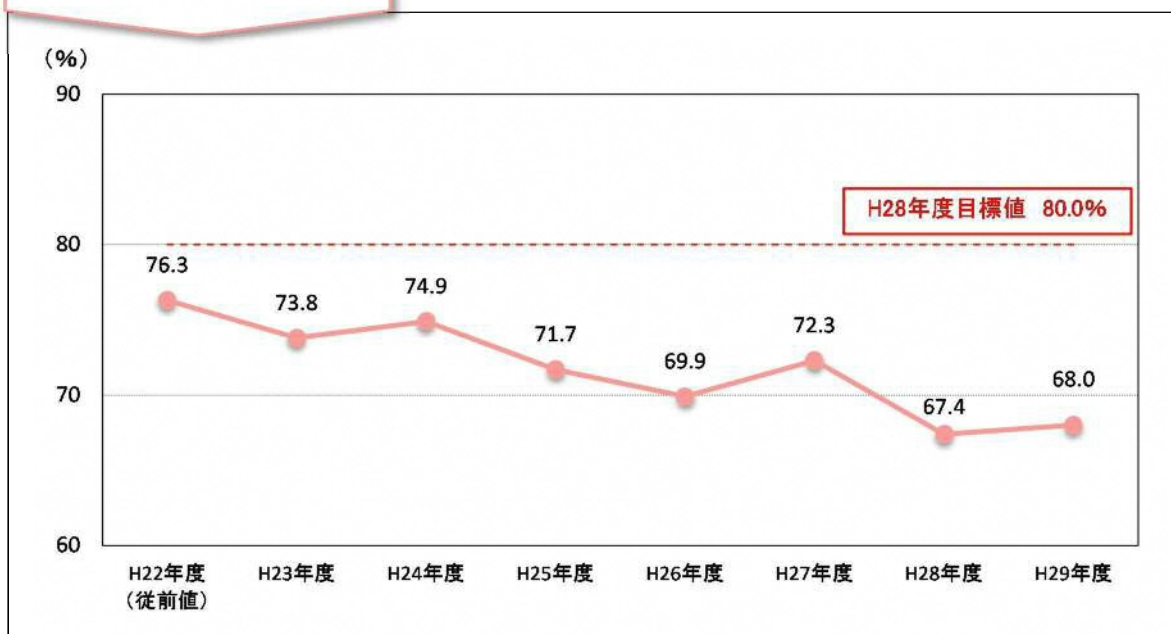


施策
4

森林を保全する

施策の指標実績の検証

山・緑など周りの自然環境に
満足している市民の割合 (%)



従前値 (H22)	目標値 (H28)	実績値 (H28／H29)	達成状況
76.3%	80.0%	67.4%／68.0%	未達成

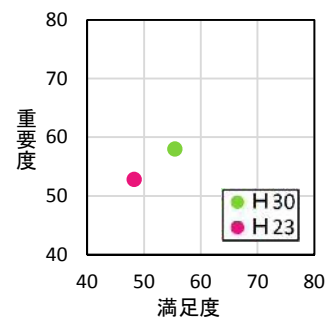
目標の達成状況に対する評価

緑地や山林などは民有、官有ともに十分な管理ができていないところもあることから、達成度が下降傾向にあると考えられる。

施策の大綱 1
住み心地のよい
活気あるまち

政策 3

活気あるいきいきとした
まちづくり

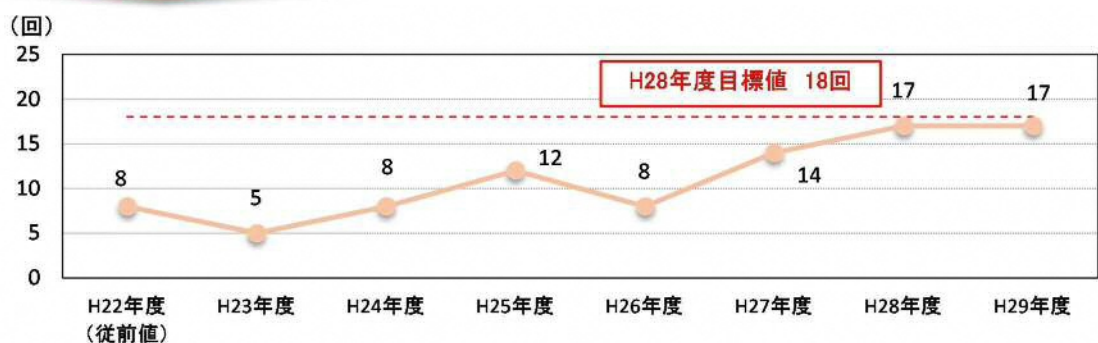


施策
1

みなとを効果的に活用する

施策の指標実績の検証

旅客船寄港回数（回）

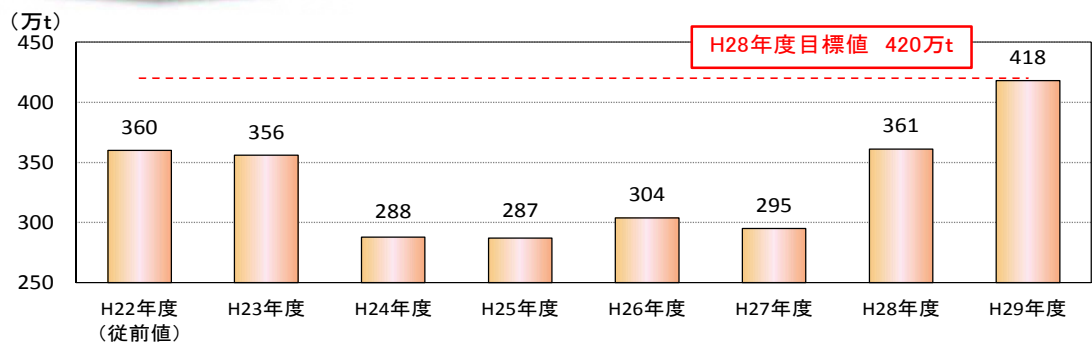


従前値 (H22)	目標値 (H28)	実績値 (H28／H29)	達成状況
8 回	18 回	17 回／17 回	未達成

目標の達成状況に対する評価

外国客船の寄港については、誘致活動を継続しているものの、国外の社会経済情勢の影響を受けやすく、計画期間当初は実績が低迷していたが、後半には上昇傾向にある。

取扱貨物量（万 t）



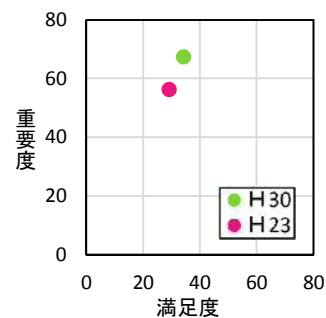
従前値 (H22)	目標値 (H28)	実績値 (H28／H29)	達成状況
360 万 t	420 万 t	361 万 t／418 万 t	未達成

目標の達成状況に対する評価

目標の達成には至らなかったが、RORO 船定期航路の整備等により一定量を確保したことで、実績は上昇傾向にある。

施策の大綱 1
住み心地のよい
活気あるまち

政策3 活気あるいきいきとした
まちづくり

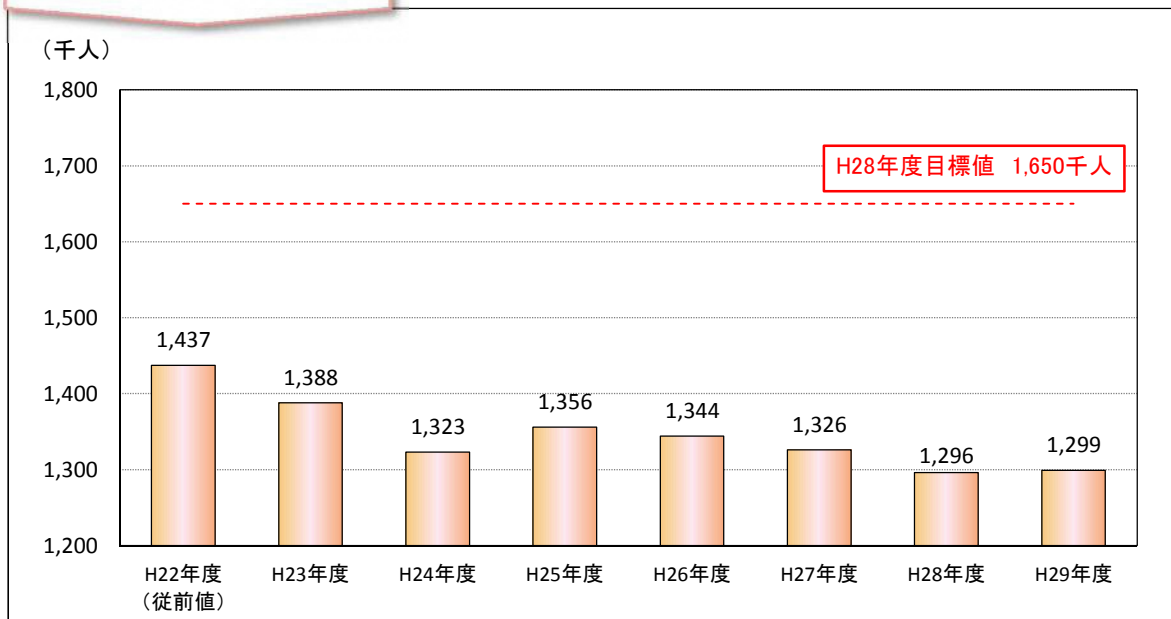


施策
2

観光の魅力を向上させる

施策の指標実績の検証

観光入込客数（千人）



従前値（H22）	目標値（H28）	実績値（H28／H29）	達成状況
1,437 千人	1,650 千人	1,296 千人／1,299 千人	未達成

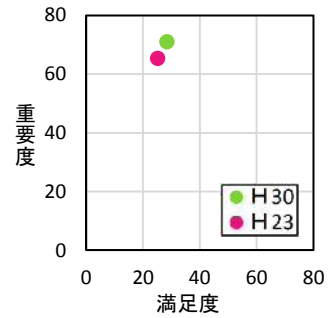
目標の達成状況に対する評価

レジャーの多様化、海離れによる海水浴客の減少等により減少傾向となっている。

施策の大綱 1
住み心地のよい
活気あるまち

政策 3

活気あるいきいきとした
まちづくり



施策
3

商工業を活性化させる

施策の指標実績の検証

製造品出荷額（百万円）

商品販売額（百万円）

注）平成 28 年度以降の実績については、最新の工業統計調査及び経済センサス活動調査により公表されていないことから把握できない。



指標名	従前値 (H22)	目標値 (H28)	実績値 (H28)	達成状況
製造品出荷額	389,911 百万円	389,911 百万円	—	—
商品販売額	74,324 百万円 (H19)	87,500 百万円	—	—

目標の達成状況に対する評価

製造品出荷額

最新の統計情報が把握できておらず、目標値達成の是非は不明であるが、近年は減少傾向にあり、リーマンショック等による経済情勢の悪化が原因と考えられる。

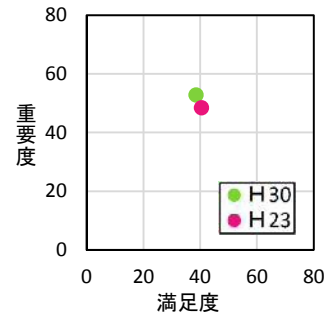
商品販売額

最新の統計情報が把握できておらず、目標値達成の是非は不明であるが、近年は減少傾向にあり、店舗数の減少や市外への消費流出が原因と考えられる。

施策の大綱 1
住み心地のよい
活気あるまち

政策 3

活気あるいきいきとした
まちづくり

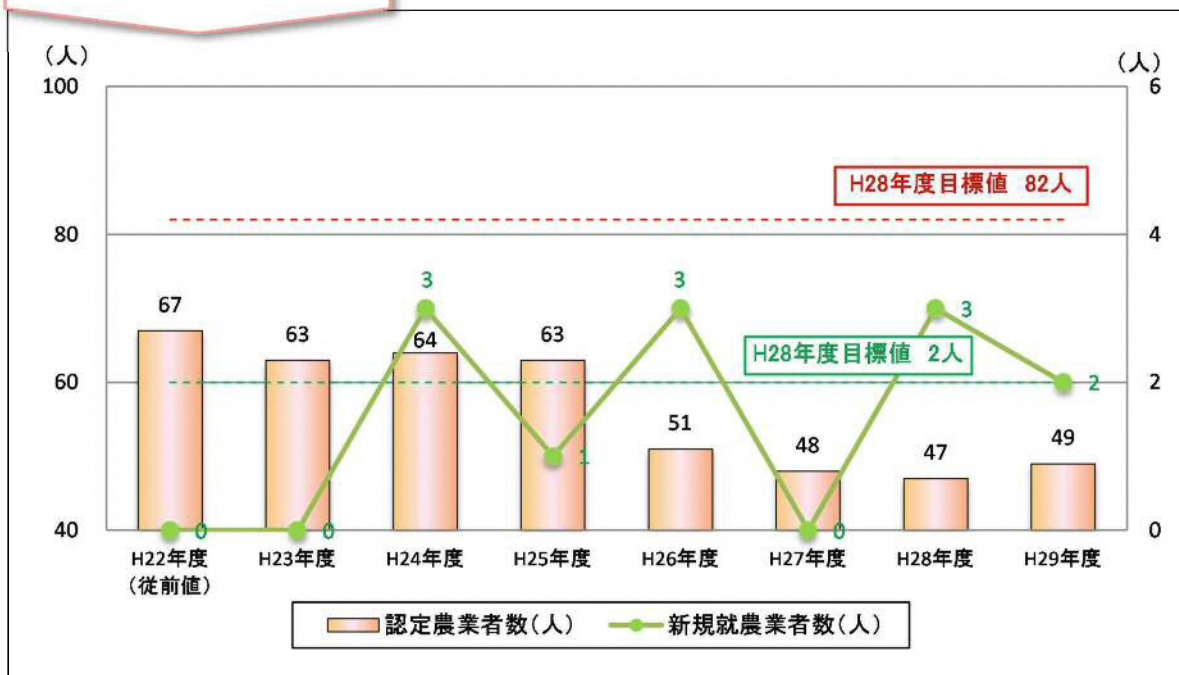


施策
4

農業を活性化させる

施策の指標実績の検証

認定農業者数 (人)
新規就農業者数 (人)



指標名	従前値 (H22)	目標値 (H28)	実績値 (H28／H29)	達成状況
認定農業者数	67 人	82 人	47 人／49 人	未達成
新規就農業者数	0 人	2 人	3 人／2 人	達成

目標の達成状況に対する評価

認定農業者数

市内農業者は減少傾向にあり、農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想の基準（農業所得 500 万円）を達成可能な農家が少ないため、H24 年度に比較すると減少した。平成 29 年 3 月に基本構想を見直し、基準を農業所得 450 万円に変更したことから、今後増加すると考えられる。

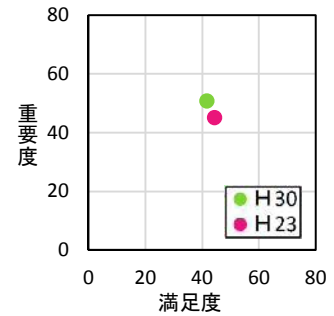
新規就農業者数

新規就農に関する支援策の実施により、年間 2 人の新規就農者確保の目標は達成できている。

施策の大綱 1
住み心地のよい
活気あるまち

政策 3

活気あるいきいきとした
まちづくり



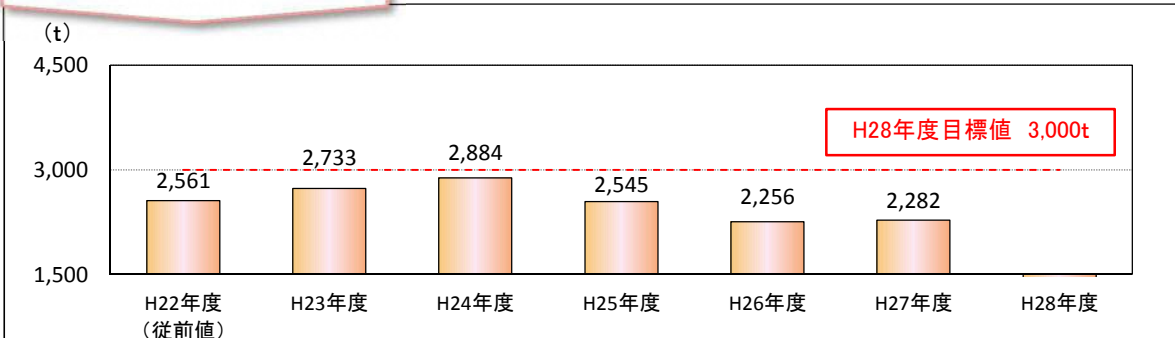
施策
5

水産業を活性化させる

施策の指標実績の検証

水産漁獲量（海面養殖業）（t）

注）平成 28 年度以降の実績については、岡山農林水産統計年報により公表されていないことから把握できない。



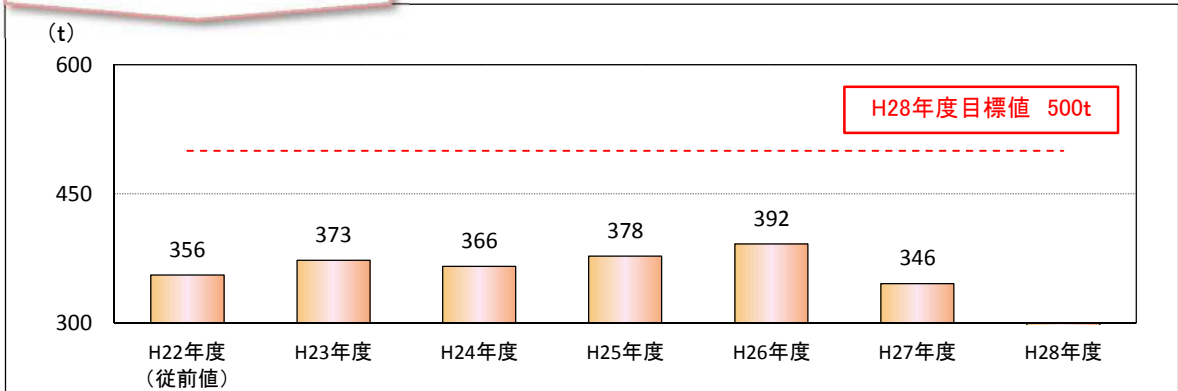
従前値 (H22)	目標値 (H28)	実績値 (H28)	達成状況
2,561 t	3,000 t	— t	—

目標の達成状況に対する評価

ノリの収穫量は減少傾向であり、目標を達成できなかった。水温の上昇や海中栄養塩の減少による色落ちなどのノリの品質低下などが生産量に影響していると考えられる。

水産漁獲量（海面漁業）（t）

注）平成 28 年度以降の実績については、岡山農林水産統計年報により公表されていないことから把握できない。



従前値 (H22)	目標値 (H28)	実績値 (H28)	達成状況
356 t	500 t	— t	—

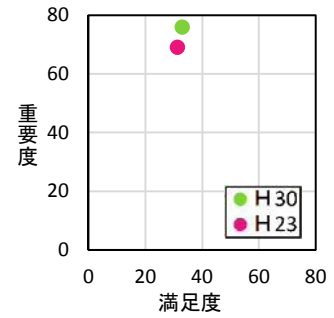
目標の達成状況に対する評価

漁獲実績はおおむね横ばいであり、目標を達成できなかった。漁業従事者の減少、水産動植物の繁殖場所となる藻場が減り生息数自体が減少していることなどが漁獲量に影響していると考えられる。

施策の大綱 1
住み心地のよい
活気あるまち

政策 3

活気あるいきいきとした
まちづくり

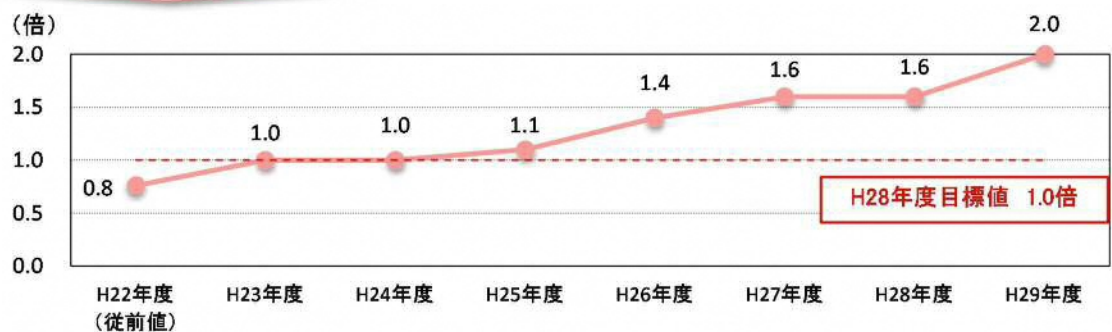


施策
6

適切な労働環境を確保する

施策の指標実績の検証

有効求人倍率（倍）

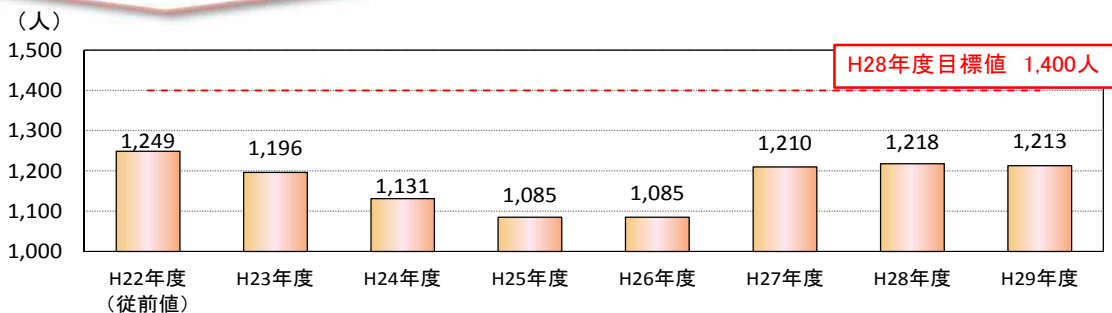


従前値（H22）	目標値（H28）	実績値（H28／H29）	達成状況
0.8 倍	1.0 倍	1.6 倍／2.0 倍	達成

目標の達成状況に対する評価

近年の労働需給が逼迫し人手不足感が強まっていることにより、目標値を達成できたものと考えられる。

勤労者福祉サービスセンター
の会員数（人）



従前値（H22）	目標値（H28）	実績値（H28／H29）	達成状況
1,249 人	1,400 人	1,218 人／1,213 人	未達成

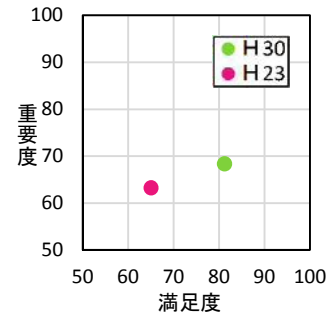
目標の達成状況に対する評価

目標値は未達成となっているが、近年上昇傾向にあり、企業への会員勧誘活動等の効果が現れているものと考えられる。

施策の大綱 2
健やかで安全・安心
に暮らせるまち

政策 4

安全で災害に強い
まちづくり

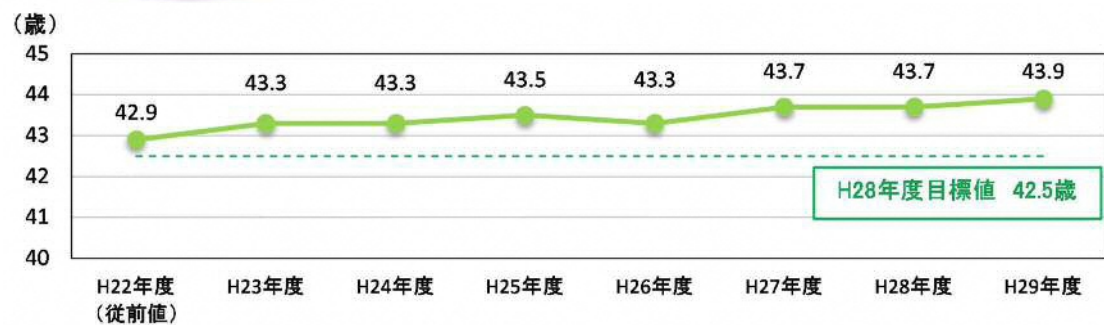


施策
1

火災による被害を軽減させる

施策の指標実績の検証

消防団員の平均年齢（歳）

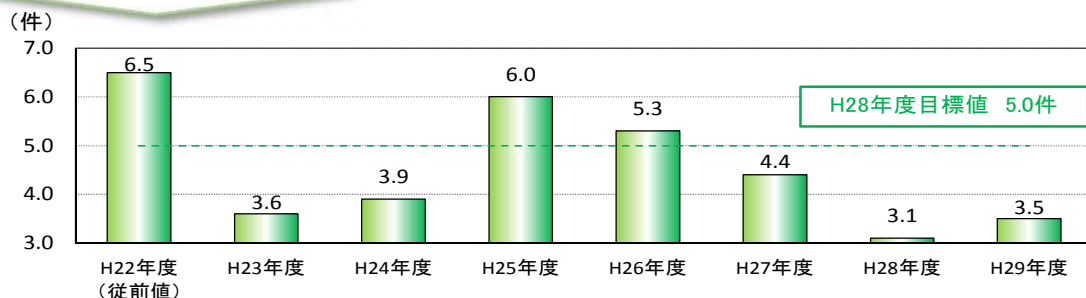


従前値（H22）	目標値（H28）	実績値（H28／H29）	達成状況
42.9 歳	42.5 歳	43.7 歳／43.9 歳	未達成

目標の達成状況に対する評価

人口減少及び少子高齢化による若年層の減少により 20 代若者の入団員数が伸び悩んでおり、働き盛りの 30～40 代前半の者も共働きの核家族が増えたことにより、仕事と家庭の両立のため消防団への入団が困難となっていることが考えられる。

人口 1 万人当たりの
火災発生件数（件）



従前値（H22）	目標値（H28）	実績値（H28／H29）	達成状況
6.5 件	5.0 件	3.1 件／3.5 件	達成

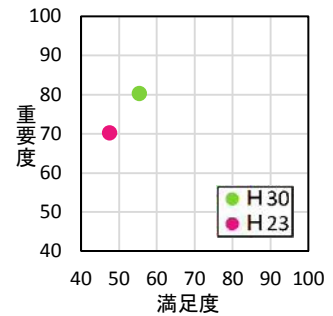
目標の達成状況に対する評価

防火広報の実施及びたき火等の火気指導により山火事が減少したものと考えられる。

施策の大綱 2
 健やかで安全・安心
 に暮らせるまち

政策 4

安全で災害に強い
 まちづくり



施策
2

災害等による被害を軽減させる

施策の指標実績の検証

家庭での防災対策をしている
 市民の割合 (%)

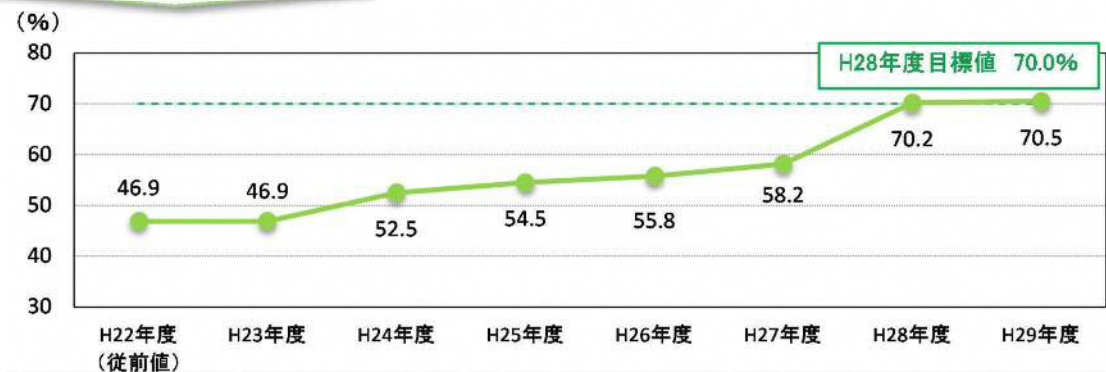


従前値 (H22)	目標値 (H28)	実績値 (H28/H29)	達成状況
39.9%	70.0%	40.8%/44.8%	未達成

目標の達成状況に対する評価

防災に関する出前講座をはじめ、広報紙等で普及、啓発に努めているが、実績は横ばいであり、効果が現れていない。

自主防災組織加入世帯の割合 (%)



従前値 (H22)	目標値 (H28)	実績値 (H28/H29)	達成状況
46.9%	70.0%	70.2%/70.5%	達成

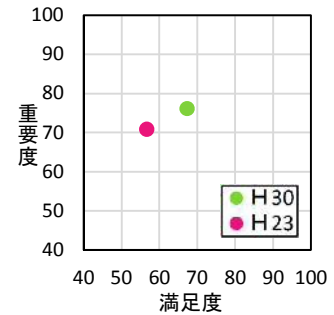
目標の達成状況に対する評価

防災に関する出前講座や避難訓練の実施により、防災意識の醸成を図ったことで目標は達成できたが、未加入世帯も多く、今後も継続して取り組む必要がある。

施策の大綱 2
 健やかで安全・安心
 に暮らせるまち

政策 4

安全で災害に強い
 まちづくり



施策
3

事故や急病等に適切に対応する

施策の指標実績の検証

普通救命講習参加者数 (人)
 救急救命士数 (人)



指標名	従前値 (H22)	目標値 (H28)	実績値 (H28／H29)	達成状況
普通救命講習参加者数	6,261 人	9,000 人	9,706 人／10,139 人	達成
救急救命士数	17 人	23 人	20 人／19 人	未達成

目標の達成状況に対する評価

普通救命講習参加者数

毎年の参加者数の目標を500人と設定し、取り組んだことで目標は達成できたが、近年受講者数が減少傾向にある。

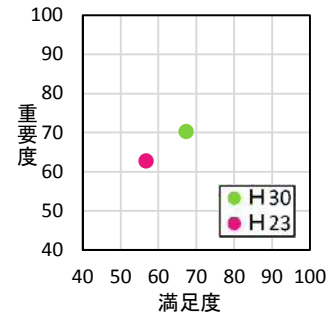
救急救命士数

実働救急救命士の退職等の影響により、実績は横ばいとなっており、目標を達成できていない。

施策の大綱 2 健やかで安全・安心 に暮らせるまち

政策 4

安全で災害に強い
まちづくり

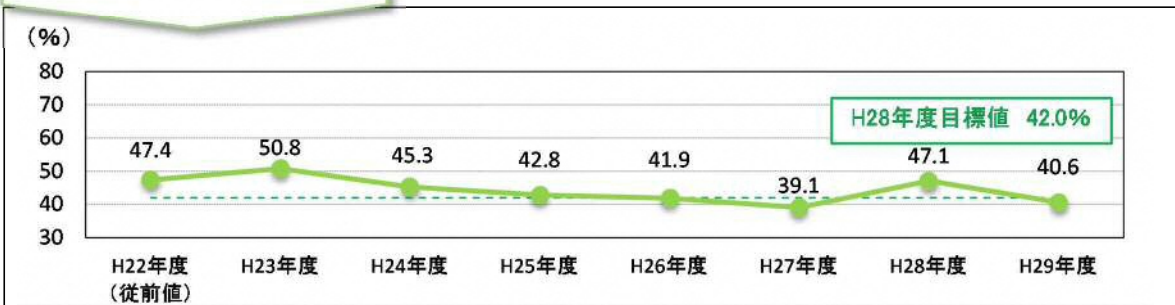


施策 4

交通事故を減少させる

施策の指標実績の検証

身近な道路に通行上危険な箇所が
あると感じている市民の割合 (%)

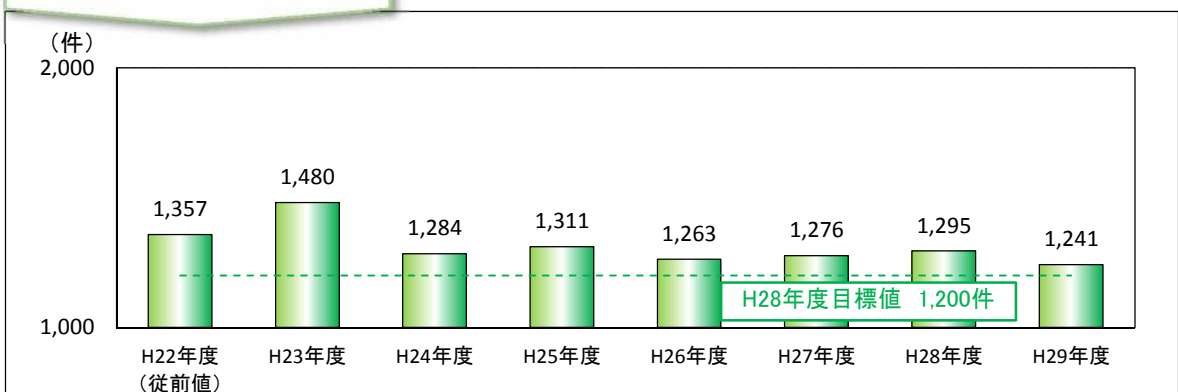


従前値 (H22)	目標値 (H28)	実績値 (H28／H29)	達成状況
47.4%	42.0%	47.1%／40.6%	未達成

目標の達成状況に対する評価

道路の危険箇所については、早急な対応を行っているため、基準年度での目標は達成できていないが、実績の傾向として効果が現れているものと考えられる。

事故件数 (件)



従前値 (H22)	目標値 (H28)	実績値 (H28／H29)	達成状況
1,357 件	1,200 件	1,295 件／1,241 件	未達成

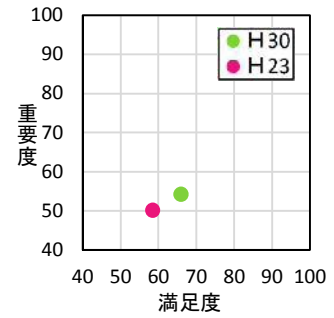
目標の達成状況に対する評価

玉野警察署や交通安全母の会等交通安全団体と協力し、啓発活動等に取り組んだ結果、事故防止には一定程度の効果はあったものの、目標は達成できていない。

施策の大綱 2
 健やかで安全・安心
 に暮らせるまち

政策 4

安全で災害に強い
 まちづくり

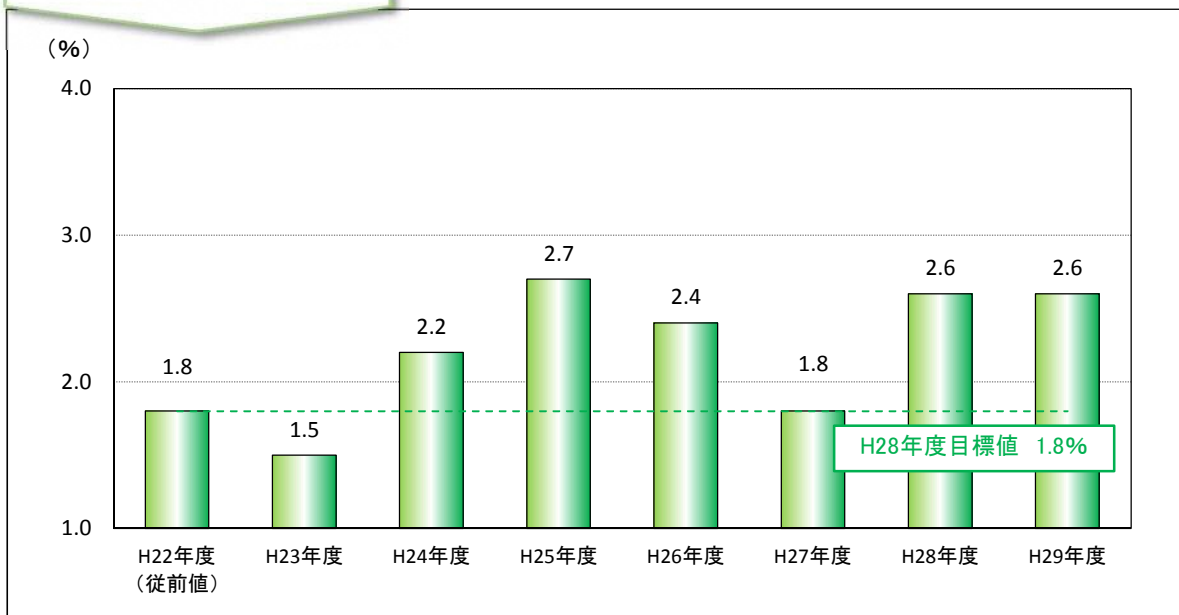


施策 5

安全な消費生活を確保する

施策の指標実績の検証

1 年間に消費者被害にあった
 市民の割合 (%)



従前値 (H22)	目標値 (H28)	実績値 (H28／H29)	達成状況
1.8%	1.8%	2.6%／2.6%	未達成

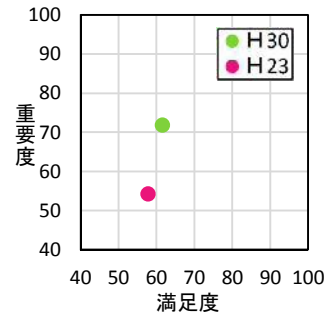
目標の達成状況に対する評価

被害にあわないための知識や、被害にあった場合の速やかな対処方法等の普及・啓発を行ってきたが、特殊詐欺は、年々巧妙化しており、高齢者や社会経験の少ない若者を中心に消費者被害は増加傾向にあり、目標を達成できていない。

施策の大綱 2
 健やかで安全・安心
 に暮らせるまち

政策 5

安心して生活できる
 まちづくり



施策
 1

地域の福祉活動を促進する

施策の指標実績の検証

民生委員・児童委員
 1人当たりの訪問回数(回)



従前値 (H22)	目標値 (H28)	実績値 (H28／H29)	達成状況
96.0 回	101.0 回	95.9 回／129.0 回	未達成

目標の達成状況に対する評価

被訪問対象人口の増減や、個別案件による訪問回数は流動的であることから、目標を達成できていないが、活動は活発に行われている。

玉野市ボランティア連絡協議会
 加入者数(人)



従前値 (H22)	目標値 (H28)	実績値 (H28／H29)	達成状況
485 人	560 人	446 人／399 人	未達成

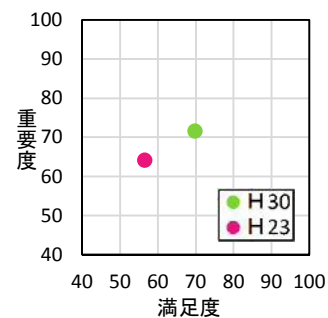
目標の達成状況に対する評価

18あるボランティア団体のうち、団体によっては高齢化等の理由で会員数が減少していることから、全体的に人数が減少したと考えられる。

施策の大綱 2
健やかで安全・安心
に暮らせるまち

政策 5

安心して生活できる
まちづくり



施策
2

子どもの健やかな成長を支援する

施策の指標実績の検証

子育ての環境が整っていると
感じている市民の割合 (%)



従前値 (H22)	目標値 (H28)	実績値 (H28／H29)	達成状況
41.3%	74.0%	54.6%／55.1%	未達成

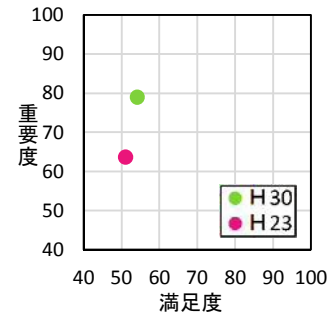
目標の達成状況に対する評価

様々な事業や取組について、保護者のもとに十分に情報が届いていないものと考えられ、実績は上昇傾向にあるものの、目標を達成できていない。また、保育所や放課後児童クラブのニーズが高まっていることも一つの要因と考えられる。

施策の大綱 2
 健やかで安全・安心
 に暮らせるまち

政策 5

安心して生活できる
 まちづくり

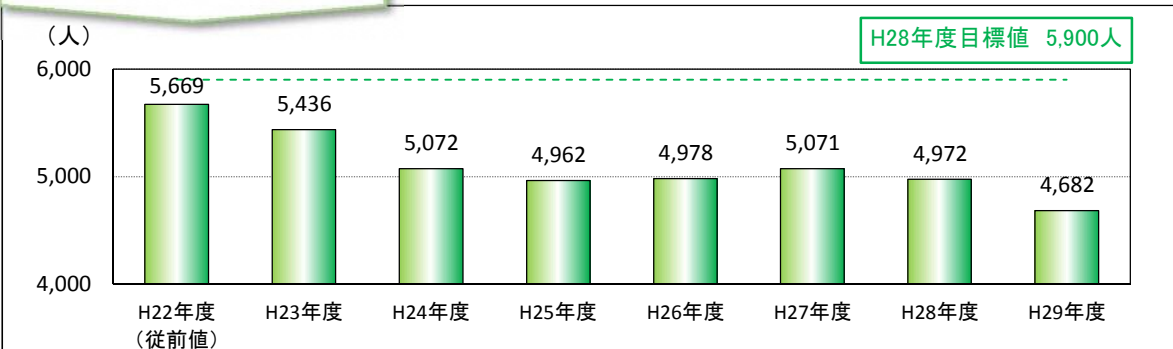


施策
3

高齢者の安心して自立した生活を
 支援する

施策の指標実績の検証

生きがいデイサービス参加者数(人)



従前値 (H22)	目標値 (H28)	実績値 (H28／H29)	達成状況
5,669 人	5,900 人	4,972 人／4,682 人	未達成

目標の達成状況に対する評価

平成 28 年 8 月に会場変更を行った事業所の利用者数が、毎月 10 名程減少したことが実績の低迷に繋がったものと考えられる。

日頃の生活の中で楽しみを
 感じている高齢者の割合 (%)



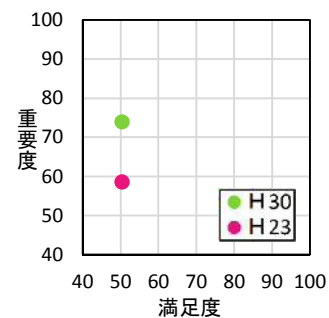
従前値 (H22)	目標値 (H28)	実績値 (H28／H29)	達成状況
57.6 %	60.0 %	74.1 %／67.0 %	達成

目標の達成状況に対する評価

目標を達成できているが、実績は下降傾向にある。第 7 期玉野市老人保健福祉計画・介護保険事業計画のアンケート調査の結果によると、閉じこもり傾向が、年齢が高いほど割合が多かった。また、生きがいがあるかについても、年齢が高くなるほど割合が低くなっており、これが実績の下降と連動しているものと考えられる。

施策の大綱 2
 健やかで安全・安心
 に暮らせるまち

政策 5 安心して生活できる
 まちづくり

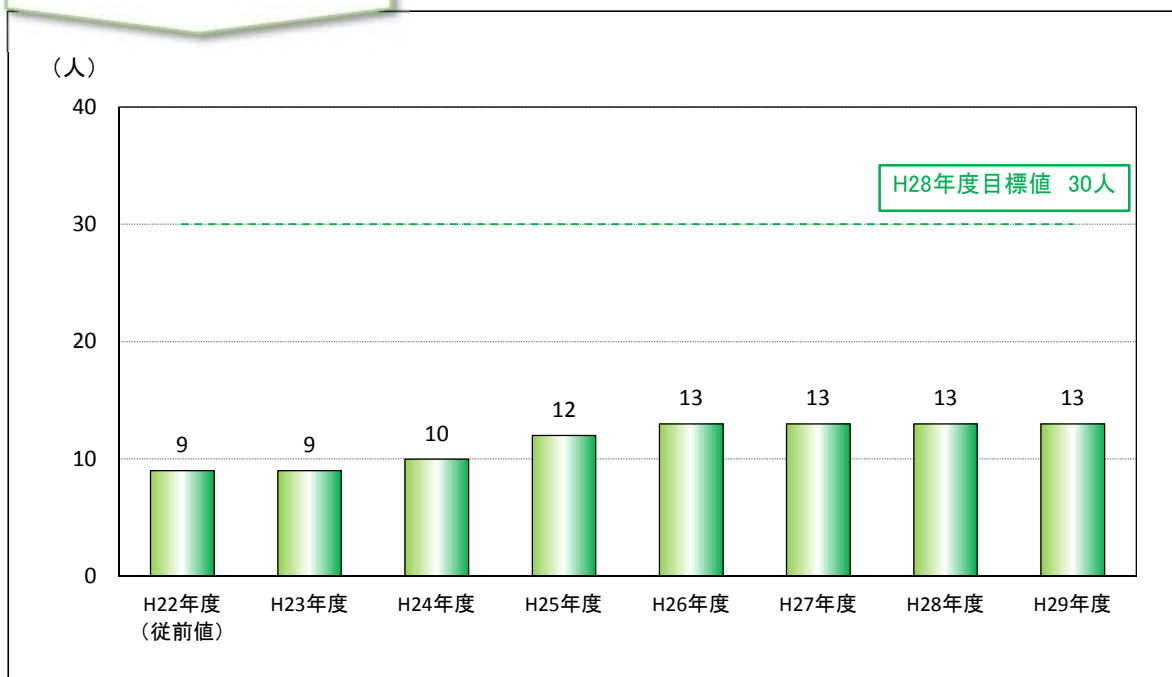


施策 4

**障害者の安心して自立した生活を
 支援する**

施策の指標実績の検証

施設入所者のうち地域で自立した
 生活を送るようになった人数 (人)



従前値 (H22)	目標値 (H28)	実績値 (H28／H29)	達成状況
9 人	30 人	13 人／13 人	未達成

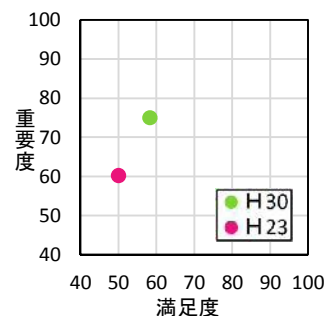
目標の達成状況に対する評価

障害が重度であることから自立に繋がっていないケースや、死亡や転出等の影響を含め、目標を達成できていない。

施策の大綱 2
健やかで安全・安心
に暮らせるまち

政策 5

安心して生活できる
まちづくり

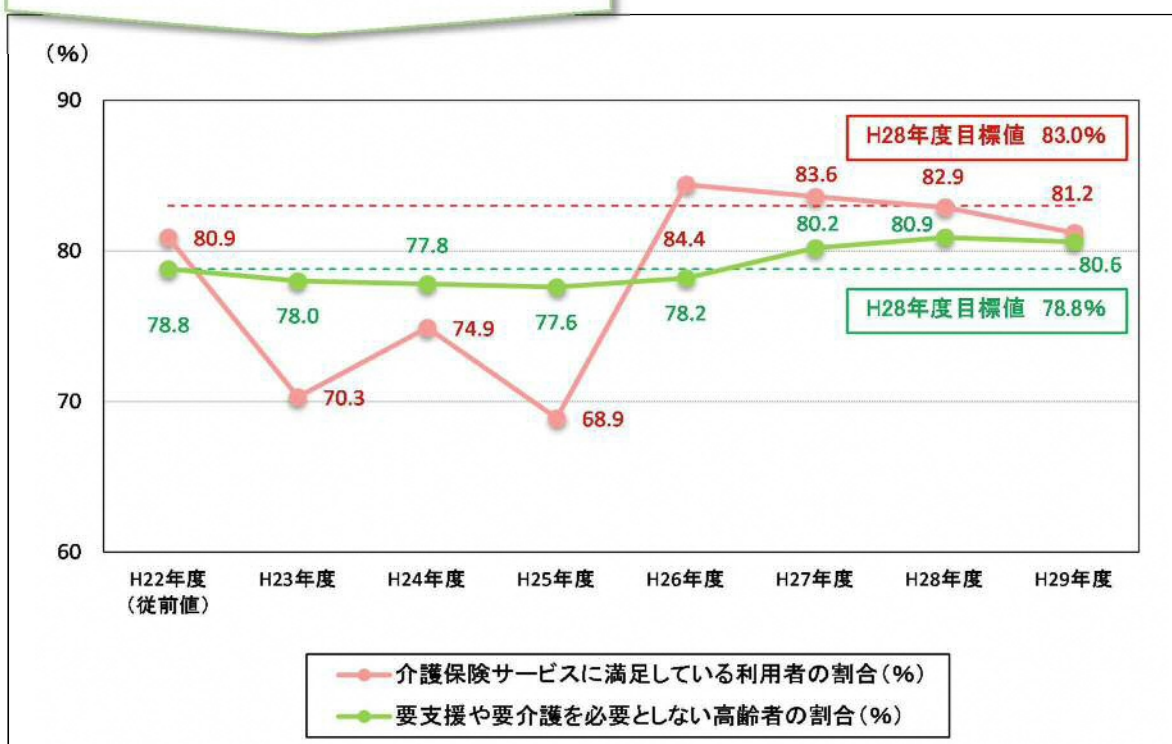


施策
5

介護保険サービスを保障する

施策の指標実績の検証

介護保険サービスに満足している利用者の割合 (%)
要支援や要介護を必要としない高齢者の割合 (%)



指標名	従前値 (H22)	目標値 (H28)	実績値 (H28/H29)	達成状況
介護保険サービスに満足している利用者の割合	80.9%	83.0%	82.9%/81.2%	未達成
要支援や要介護を必要としない高齢者の割合	78.8%	78.8%	80.9%/80.6%	達成

目標の達成状況に対する評価

介護保険サービスに満足している利用者の割合

上昇傾向ではあるが、第7期玉野市老人保健福祉計画・介護保険事業計画のアンケート調査の結果によると、不満の理由としては、「サービスの内容や質が希望したものと違うから」が最も多かった。サービスを利用している人の中では、サービスの種類によって満足度が異なるため、各サービスの満足度を上げていくことが、成果指標の向上に繋がるものと考えられる。

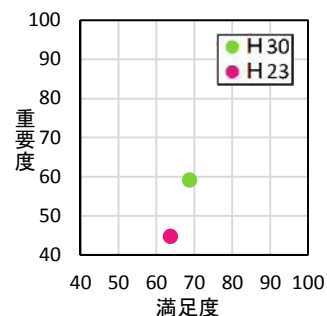
要支援や要介護を必要としない高齢者の割合

平成27年度から認定更新時の案内の方法を変更したこと等により、サービス利用が必要でない場合の更新申請数が減少したものと考えられる。

施策の大綱 2 健やかで安全・安心 に暮らせるまち

政策 5

安心して生活できる
まちづくり

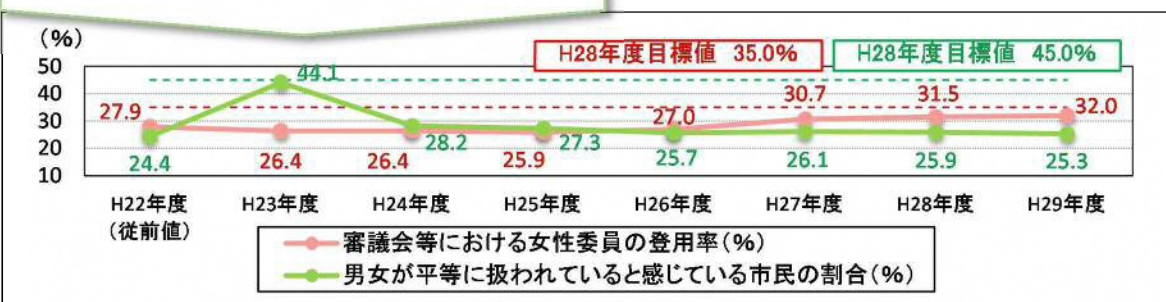


施策 6

人権を尊重する

施策の指標実績の検証

審議会等における女性委員の登用率 (%)
男女が平等に扱われていると感じている市民の割合 (%)



指標名	従前値 (H22)	目標値 (H28)	実績値 (H28/H29)	達成状況
審議会等における女性委員の登用率	27.9%	35.0%	31.5%/32.0%	未達成
男女が平等に扱われていると感じている市民の割合	24.4%	45.0%	25.9%/25.3%	未達成

目標の達成状況に対する評価

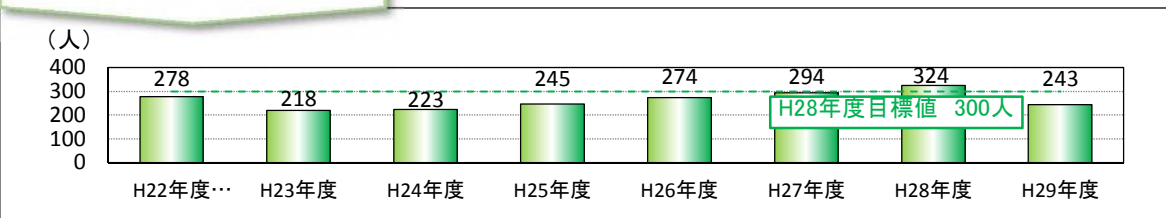
審議会等における女性委員の登用率

目標は達成できていないが、実績は上昇傾向にあり、審議会等への女性の積極的登用について各所属へ呼びかけを行った成果があったものと考えられる。

男女が平等に扱われていると感じている市民の割合

様々な男女共同参画行政施策に取り組んでいるものの、実績は横ばいとなっており目標は達成できていない。目標達成のための効果的な施策の検討が必要である。

人権に関する研修会の参加者数 (人)



従前値 (H22)	目標値 (H28)	実績値 (H28/H29)	達成状況
278 人	300 人	324 人/243 人	達成

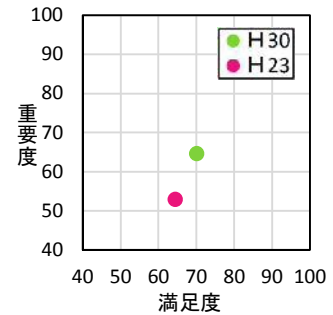
目標の達成状況に対する評価

講座開催に当たっての啓発活動等により、参加者数は上昇傾向にあり目標を達成できたが、H29年度は講座数の減少により実績が減少している。

施策の大綱 2 健やかで安全・安心 に暮らせるまち

政策 6

元気のある健康な
まちづくり

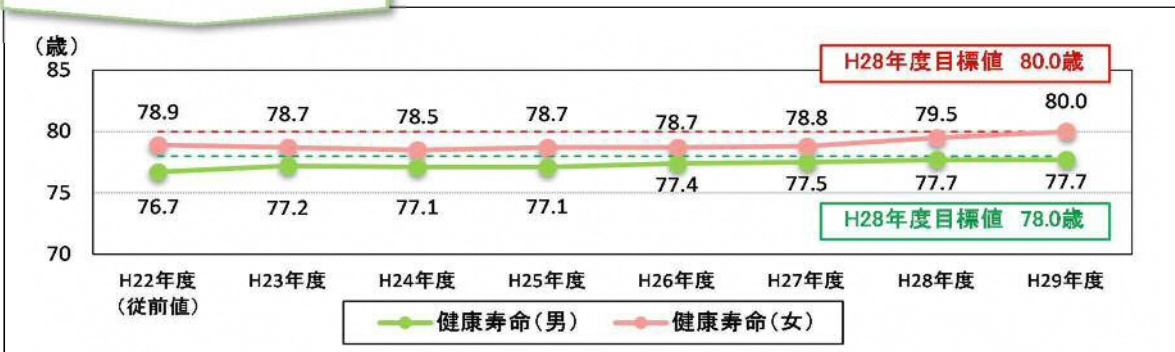


施策 1

適切な健康づくりを支援する

施策の指標実績の検証

健康寿命 (歳)



指標名	従前値 (H22)	目標値 (H28)	実績値 (H28/H29)	達成状況
健康寿命 (男)	76.7 歳	78.0 歳	77.7 歳/77.7 歳	未達成
健康寿命 (女)	78.9 歳	80.0 歳	79.5 歳/80.0 歳	未達成

目標の達成状況に対する評価

目標値は未達成となっているが、毎年少しずつ上昇している。引き続き、健康増進事業や介護予防事業を継続して実施することで、市民の健康づくりや介護予防への取り組みを促進する必要がある。

自分が健康であると感じている 市民の割合 (%)



従前値 (H22)	目標値 (H28)	実績値 (H28/H29)	達成状況
61.8%	70.0%	63.3%/59.9%	未達成

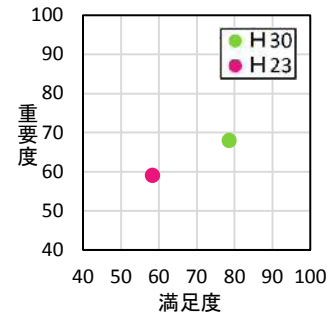
目標の達成状況に対する評価

実績値は60%前後で推移し横ばいとなっており、目標値は達成できていないことから、各種検診や健康教育等を継続して実施し、市民の健康づくり及び健康意識の向上を図る必要がある。

施策の大綱 2
健やかで安全・安心
に暮らせるまち

政策 6

元気のある健康な
まちづくり

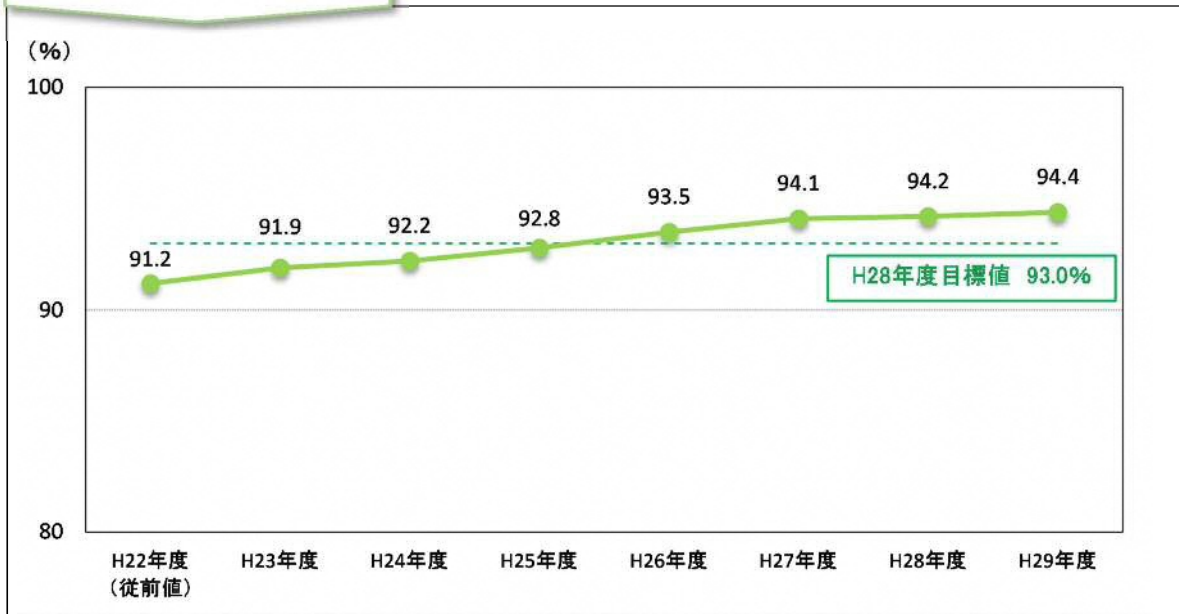


施策 2

国民健康保険により医療を保障する

施策の指標実績の検証

現年分収納率 (%)



従前値 (H22)	目標値 (H28)	実績値 (H28／H29)	達成状況
91.2%	93.0%	94.2%／94.4%	達成

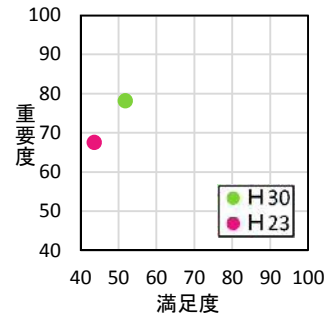
目標の達成状況に対する評価

コンビニ収納や、市町村税整理組合への徴収委託、推進員による収納勧奨、収納強化キャンペーンの実施など、様々な取り組みが効果を上げ、収納率が年々上昇する成果が得られており、目標を達成できた。

施策の大綱 2
健やかで安全・安心
に暮らせるまち

政策 6

元気のある健康な
まちづくり

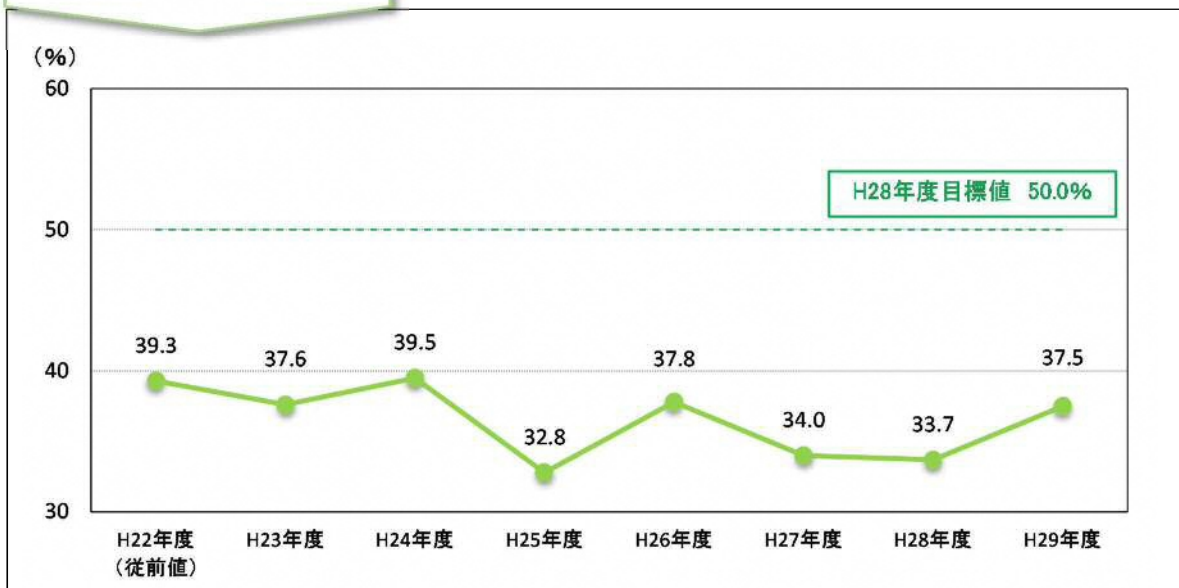


施策
3

良質で安定した地域医療を提供する

施策の指標実績の検証

市内の医療機関に満足している
市民の割合 (%)



従前値 (H22)	目標値 (H28)	実績値 (H28／H29)	達成状況
39.3%	50.0%	33.7%／37.5%	未達成

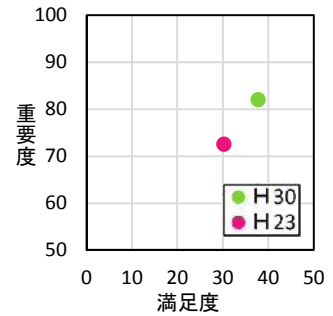
目標の達成状況に対する評価

実績値は30%台で推移し横ばいとなっており、目標値は達成できていない。地域医療ネットワークの構築など、円滑な地域医療の推進を図る必要がある。

施策の大綱 2
健やかで安全・安心
に暮らせるまち

政策 6

元気のある健康な
まちづくり

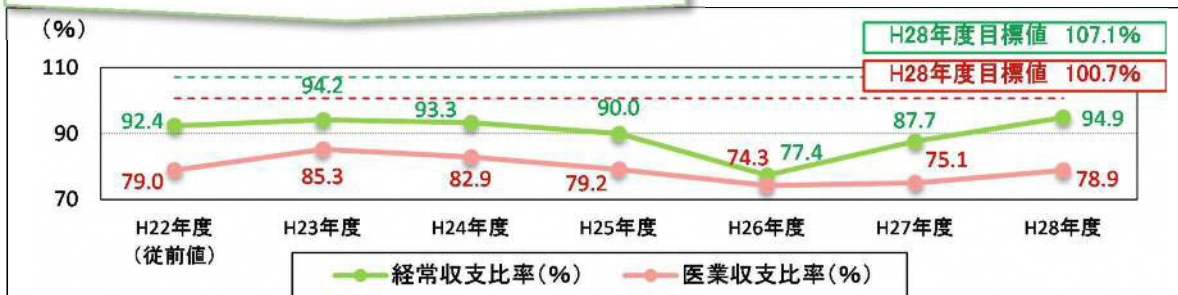


施策
4

公立病院として良質で信頼される
医療を安定的に提供する

施策の指標実績の検証

経常収支比率（％）／医業収支比率（％）



指標名	従前値（H22）	目標値（H28）	実績値（H28）	達成状況
経常収支比率	92.4%	107.1%	94.9%	未達成
医業収支比率	79.0%	100.7%	78.9%	未達成

目標の達成状況に対する評価

経常収支比率／医業収支比率

H28年度以降の医療法人との業務提携以降、着実に改善が図られているところであり、今後も指標の改善に向けた取り組みを継続する。

玉野市民病院の施設・設備に満足している利用者の割合（％）
玉野市民病院の職員の対応に満足している利用者の割合（％）
玉野市民病院の診察に満足している利用者の割合（％）

注）平成27年度以降については、公設民営化の検討を開始したことにより、指標そのものの見直しが必要となったことから調査を休止している。



指標名	従前値（H22）	目標値（H28）	実績値（H28）	達成状況
玉野市民病院の施設・設備に満足している利用者の割合	90.3%	91.0%	— %	—
玉野市民病院の職員の対応に満足している利用者の割合	96.7%	97.0%	— %	—
玉野市民病院の診察に満足している利用者の割合	84.6%	90.0%	— %	—

目標の達成状況に対する評価

玉野市民病院の施設・設備に満足している利用者の割合

運営形態の見直しの影響もあってH27年度以降のアンケート調査については休止しているが、H28年度には1階部分の施設改修や病棟再編を行い、好評をいただいている。

玉野市民病院の職員の対応に満足している利用者の割合

民間医療法人との業務提携に基づき、患者視点に立った考え方の浸透が少しずつ図られている。

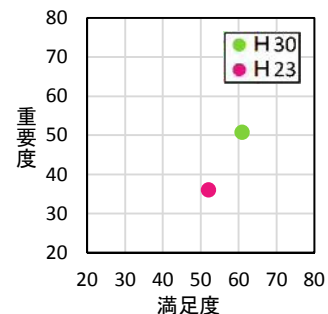
玉野市民病院の診察に満足している利用者の割合

医師の異動等によって、やむを得ず一部診療機能の縮小、休止となっており、求められる全ての機能には応えられてはいない状況が続いている。

施策の大綱 3 豊かな心をはぐくむまち

政策 7

生きがいに満ちた豊かな
まちづくり

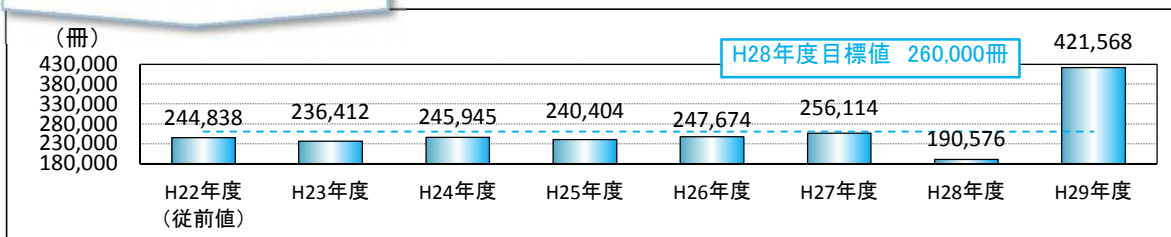


施策 1

多様な学習環境を提供する

施策の指標実績の検証

図書館の貸出冊数（冊）

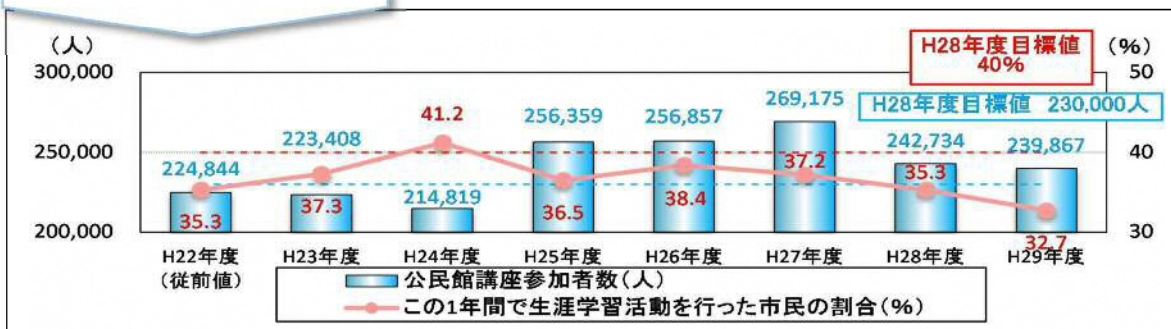


従前値（H22）	目標値（H28）	実績値（H28／H29）	達成状況
244,838 冊	260,000 冊	190,576 冊／421,568 冊	未達成

目標の達成状況に対する評価

移転リニューアルし、開館時間の拡大、地理的環境、多彩な講座の開催等により図書館の利用状況が向上したことで目標を達成できている。

この1年間で生涯学習活動を行った市民の割合（％） 公民館講座参加者数（人）



指標名	従前値（H22）	目標値（H28）	実績値（H28／H29）	達成状況
この1年間で生涯学習活動を行った市民の割合	35.3％	40％	35.3％／32.7％	未達成
公民館講座参加者数	224,844 人	230,000 人	242,734 人／239,867 人	達成

目標の達成状況に対する評価

この1年間で生涯学習活動を行った市民の割合

生涯学習活動の推進に向けた様々な取組を実施しているものの、20代の約3割が生涯学習という言葉を知っていないことや、仕事や家事が忙しいという理由で活動に至っていないことから、目標を達成できていない。若者の認知度の向上、開催時間や活動場所の見直しが必要である。

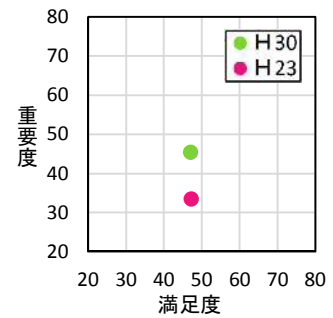
公民館講座参加者数

各種講座内容の工夫等により、年度ごとの実績にばらつきがあるものの概ね横ばいで推移し目標を達成できている。

施策の大綱 3
豊かな心をはぐくむまち

政策 7

生きがいに満ちた豊かな
まちづくり

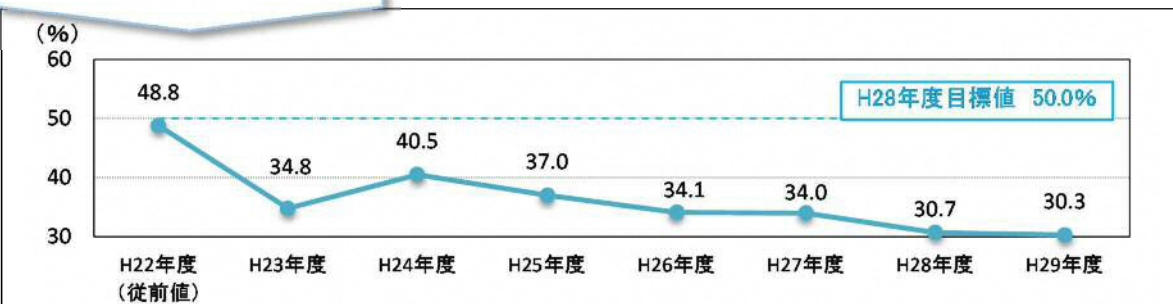


施策
2

芸術・文化に触れる機会を提供する

施策の指標実績の検証

市内の指定文化財を訪れたことが
ある市民の割合 (%)

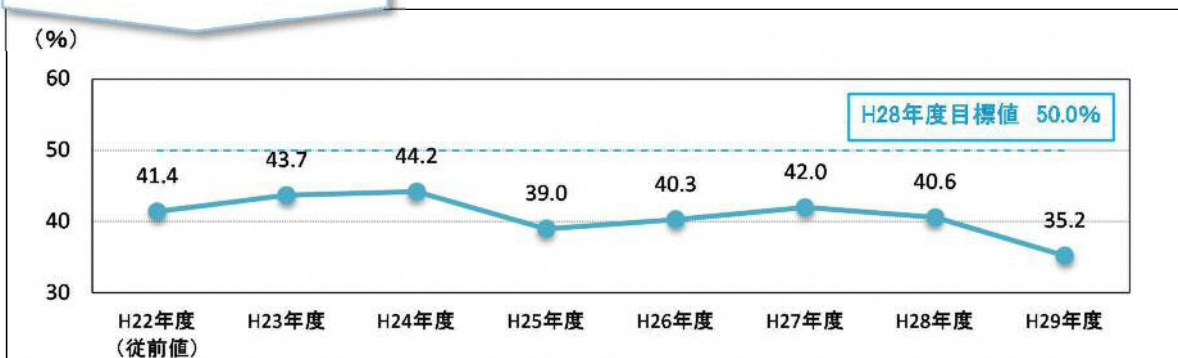


従前値 (H22)	目標値 (H28)	実績値 (H28/H29)	達成状況
48.8%	50.0%	30.7%/30.3%	未達成

目標の達成状況に対する評価

実績は下降傾向にあり目標は達成できていない。新たに指定文化財登録もあったことから、関連する情報を発信するなど文化振興に関する意識の醸成を図る必要がある。

日頃、芸術に触れる機会のある
市民の割合 (%)



従前値 (H22)	目標値 (H28)	実績値 (H28/H29)	達成状況
41.4%	50.0%	40.6%/35.2%	未達成

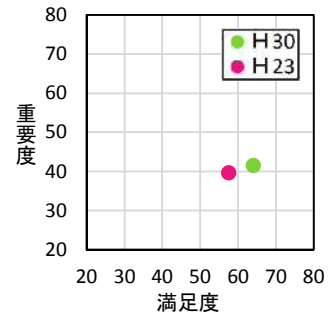
目標の達成状況に対する評価

文化振興に関する様々な取組を推進しているが、実績は下降傾向にあり目標は達成できていない。関連団体のみならず広く一般市民へも芸術文化に関する情報を発信する必要がある。

施策の大綱 3
豊かな心をはぐくむまち

政策 7

生きがいに満ちた豊かなまちづくり

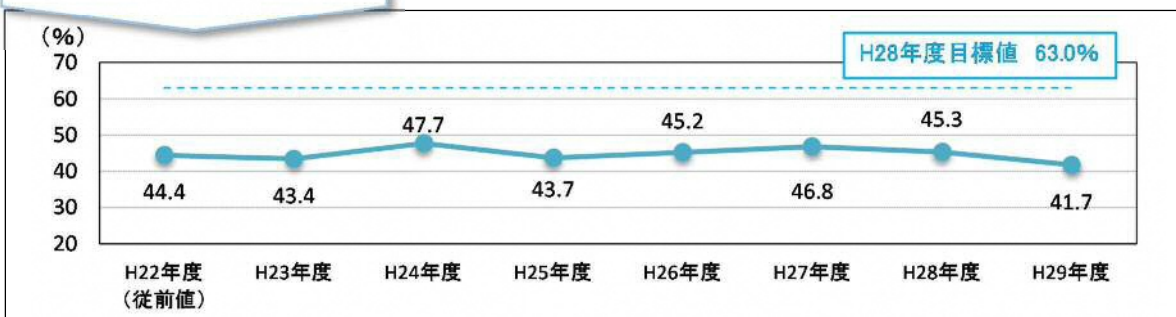


施策 3

スポーツ活動を活性化させる

施策の指標実績の検証

この1年間で週1回以上スポーツをした市民の割合 (%)

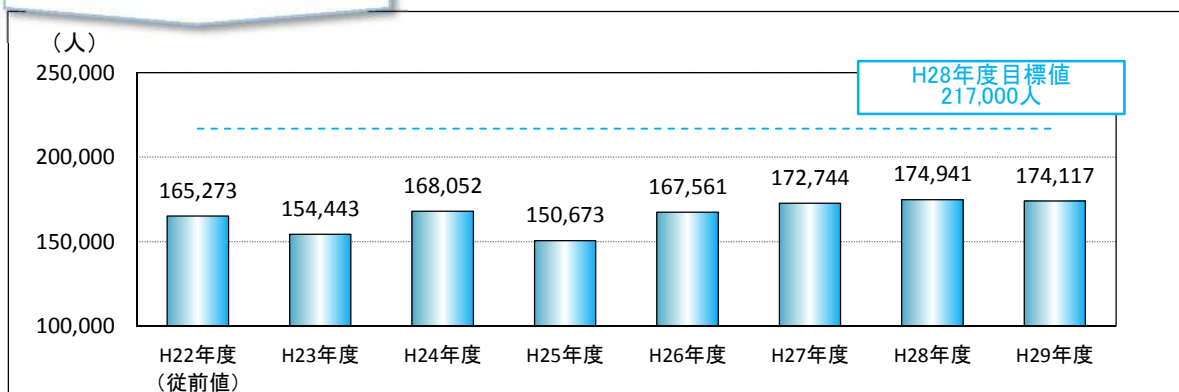


従前値 (H22)	目標値 (H28)	実績値 (H28/H29)	達成状況
44.4%	63.0%	45.3%/41.7%	未達成

目標の達成状況に対する評価

実績は下降傾向にあり目標は達成できていない。新しく指定管理者となった民間事業者と連携し、市立体育施設を中心にスポーツの実施機会を提供していく必要がある。

市内体育施設の利用者数 (人)



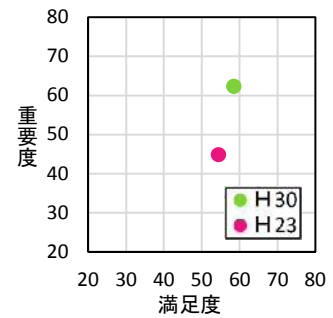
従前値 (H22)	目標値 (H28)	実績値 (H28/H29)	達成状況
165,273 人	217,000 人	174,941 人/174,117 人	未達成

目標の達成状況に対する評価

目標値は達成できていないが、実績は上昇傾向にあることから、スポーツ教室の充実やHP・折り込みチラシ等によるPRに努めるなど、さらなる利用者数の増加策を講じることでの効果の拡大が期待できる。

施策の大綱 3
豊かな心をはぐくむまち

政策 7 生きがいに満ちた豊かなまちづくり

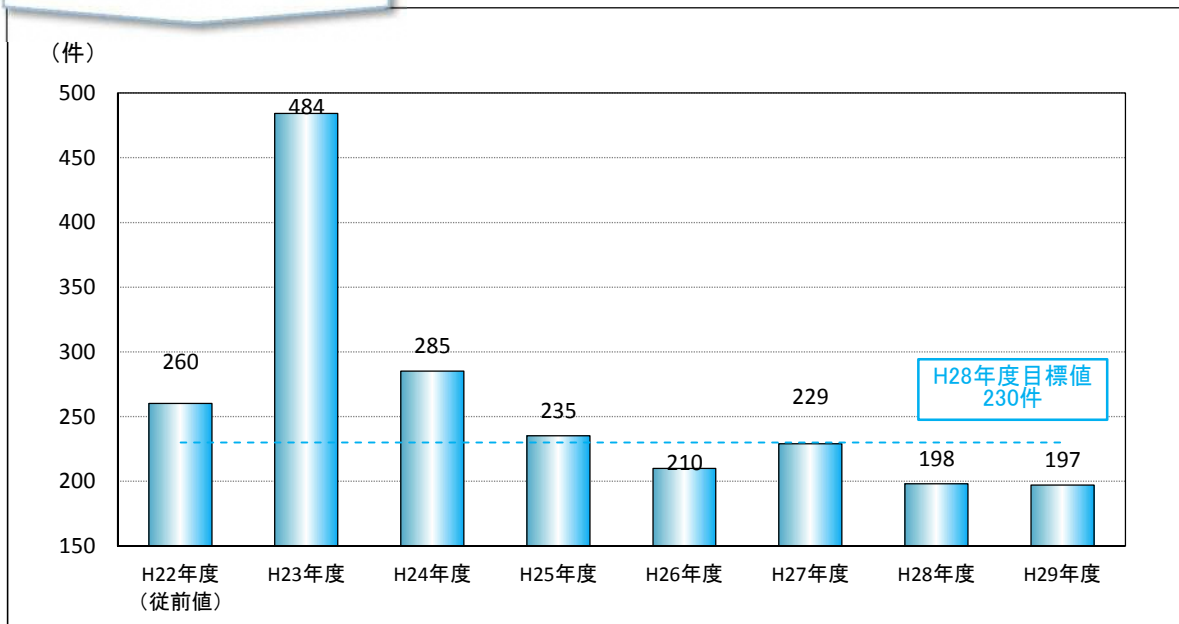


施策 4

青少年を健全に育成する

施策の指標実績の検証

少年補導の件数（件）



従前値 (H22)	目標値 (H28)	実績値 (H28／H29)	達成状況
260 件	230 件	198 件／197 件	達成

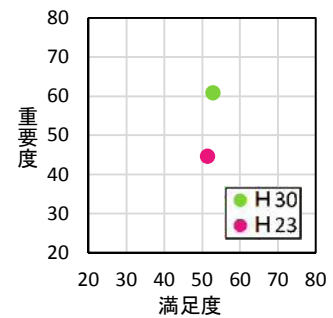
目標の達成状況に対する評価

実績は上昇傾向にあり目標を達成できている。行政改革（施設の機能・人員の合理化）により補導業務を縮小せざるを得ない状況であるが、補導の精選、補導内容等を工夫し、青少年の健全育成に引き続き取り組む必要がある。

施策の大綱 3
豊かな心をはぐくむまち

政策 8

心豊かな人をはぐくむ
まちづくり

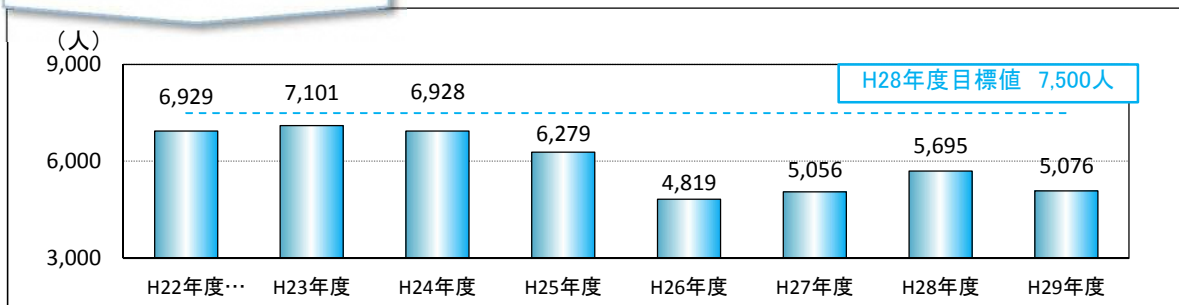


施策
1

家庭・地域の教育力を充実する

施策の指標実績の検証

地域子ども楽級の協力者数（人）

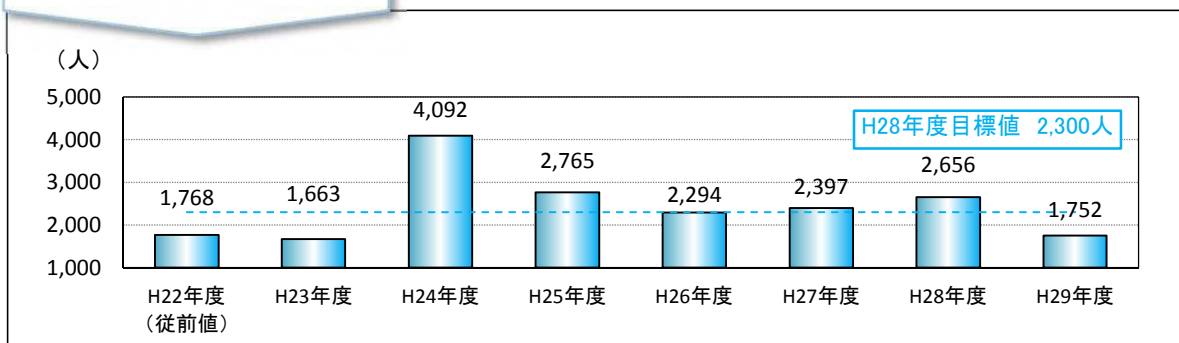


従前値（H22）	目標値（H28）	実績値（H28／H29）	達成状況
6,929 人	7,500 人	5,695 人／5,076 人	未達成

目標の達成状況に対する評価

人口減少及び高齢化が進む中、地域における協力者数は減少傾向にあり、目標を達成できていない。

家庭教育に関する研修会の
参加者数（人）



従前値（H22）	目標値（H28）	実績値（H28／H29）	達成状況
1,768 人	2,300 人	2,656 人／1,752 人	達成

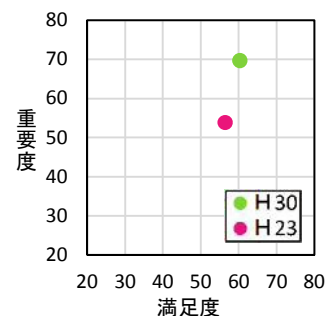
目標の達成状況に対する評価

計画期間内の目標は達成できたものの、平成 29 年度については、共働き世帯の増加、少子化により、幼稚園入園者数が減ったため、幼稚園での参加数が減少したことと、保育園・こども園での開催が困難であったことから大幅に減少している。

施策の大綱 3
豊かな心をはぐくむまち

政策 8

心豊かな人をはぐくむ
まちづくり

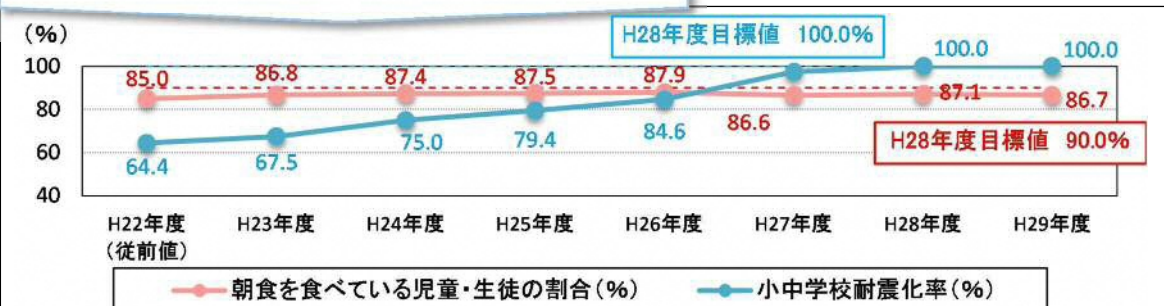


施策
2

安全で適切な教育環境を提供する

施策の指標実績の検証

朝食を食べている児童・生徒の割合 (%) / 小中学校耐震化率 (%)



指標名	従前値 (H22)	目標値 (H28)	実績値 (H28/H29)	達成状況
朝食を食べている児童・生徒の割合	85.0%	90.0%	87.1%/86.7%	未達成
小中学校耐震化率	64.4%	100.0%	100.0%/100.0%	達成

目標の達成状況に対する評価

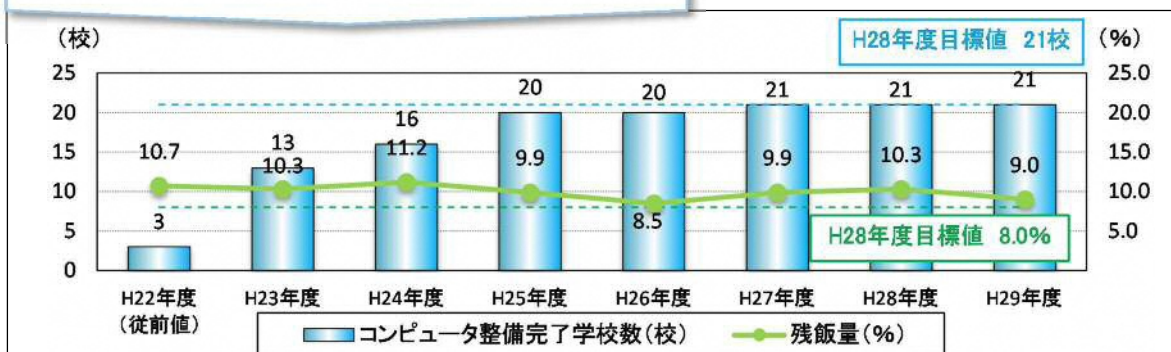
朝食を食べている児童・生徒の割合

食育の充実や「早寝・早起き・朝ごはん」の徹底等で児童生徒だけでなく家庭への啓発にも取り組んでいるが、低所得や虐待等の家庭における課題が深刻化しており、実績は横ばいとなっている。

小中学校耐震化率

小中学校耐震化は、目標値を達成できたものの、児童等が安全で快適に学習できる環境を整備するため、施設の老朽化対策を推進し、安全性の向上や、教育環境の改善を図る必要がある。

残飯量 (%) / コンピュータ整備完了学校数 (校)



指標名	従前値 (H22)	目標値 (H28)	実績値 (H28/H29)	達成状況
残飯量	10.7%	8.0%	10.3%/9.0%	未達成
コンピュータ整備完了学校数	3校	21校	21校/21校	達成

目標の達成状況に対する評価

残飯量

給食の量は、学年や季節によって調整を行い、献立についても、彩りや味付け、栄養バランス等、工夫したものを提供している。また、栄養教諭を中心に学校を訪問し、食に対する正しい理解や食習慣を身に付ける指導を行ったことで実績は上昇傾向であるが、給食時間の確保等日々の取組が十分ではなく、目標を達成できていない。

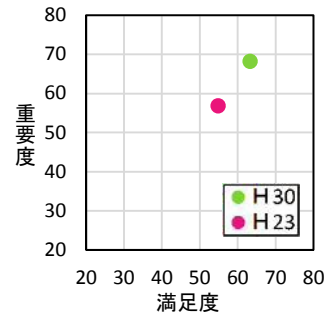
コンピュータ整備完了学校数

教育用コンピュータの1人1台体制は市内全校で達成できたため、今後は、この整備状況を維持する。

施策の大綱 3
豊かな心をはぐくむまち

政策 8

心豊かな人をはぐくむ
まちづくり



施策
3

充実した学校教育を提供する

施策の指標実績の検証

子どもの学校（園）での教育に
満足している市民の割合（％）

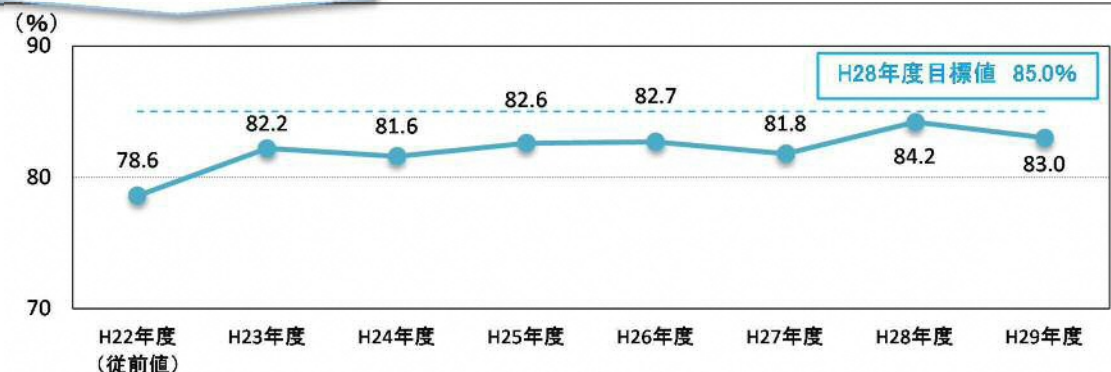


従前値（H22）	目標値（H28）	実績値（H28／H29）	達成状況
28.1％	70.0％	62.2％／60.0％	未達成

目標の達成状況に対する評価

中学校区一貫教育や特別支援教育等、先進的な教育施策を展開しているため実績は上昇傾向にあるものの、エアコンの未設置やALT配置率が低いなど教育環境の整備が十分でないため、目標を達成できていないと考えられる。

特別支援教育支援員配置率（％）



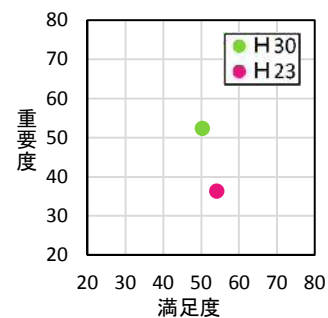
従前値（H22）	目標値（H28）	実績値（H28／H29）	達成状況
78.6％	85.0％	84.2％／83.0％	未達成

目標の達成状況に対する評価

目標は達成できていないが、支援員の増員により、実績は上昇傾向であり、適正配置の状況と認識している。

施策の大綱 4
市民が主役で
築くまち

政策 9 市民参加のまちづくり



施策
1

市民活動を支援する

施策の指標実績の検証

この1年間でボランティア活動に参加した市民の割合 (%)



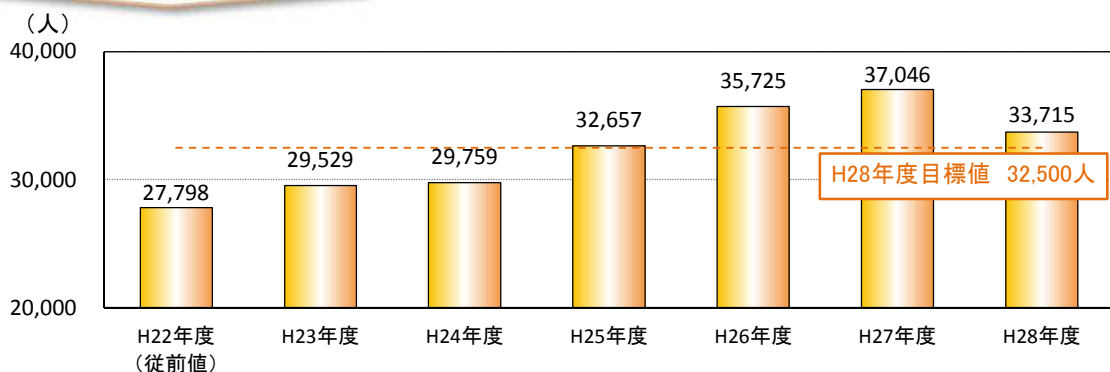
従前値 (H22)	目標値 (H28)	実績値 (H28/H29)	達成状況
24.5%	35.0%	31.4%/27.4%	未達成

目標の達成状況に対する評価

「玉野市協働のまちづくり基本条例」の基本理念の浸透や環境整備が十分でないことから、目標を達成できていない。

市民活動保険登録者数 (人)

注) H29年度から事前登録制を廃止し、ボランティア活動等に参加するすべての方が対象となっていることから実績を把握していない。



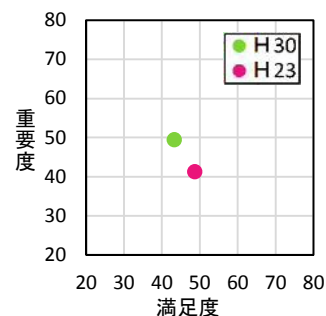
従前値 (H22)	目標値 (H28)	実績値 (H28)	達成状況
27,798 人	32,500 人	33,715 人	達成

目標の達成状況に対する評価

市民活動を積極的かつ安心して行えるよう制度の周知に努めるとともに、平成29年度から事前登録制を廃止し、申請手続きの負担を解消することでより使いやすい制度に改めたことから、目標を達成できたと考えられる。

施策の大綱 4
市民が主役で
築くまち

政策 9 市民参加のまちづくり

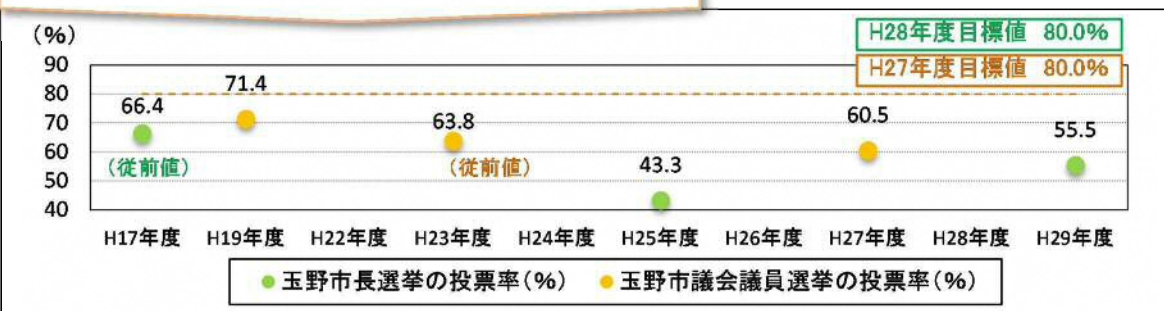


施策
2

市政への参画を促進する

施策の指標実績の検証

玉野市長選挙の投票率(%)／玉野市議会議員選挙の投票率(%)



指標名	従前値	目標値 (H28)	実績値 (H27／H29)	達成状況
玉野市長選挙の投票率	66.4% (H17)	80.0%	— %／55.5%	未達成
玉野市議会議員選挙の投票率	63.8% (H23)	80.0% (H27)	60.5%／—%	未達成

目標の達成状況に対する評価

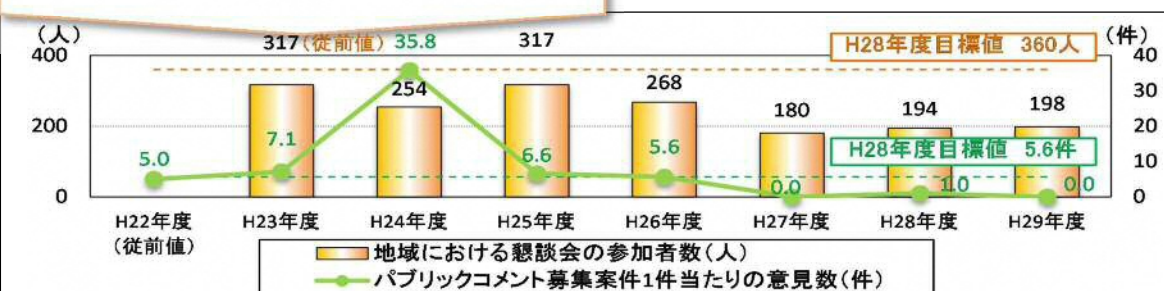
玉野市長選挙の投票率

選挙は争点・状況により選挙人の関心度に差が生じ、投票行動に影響を与える。
H29 市長選にあつては、市長 4 期目の是非・衆議院選挙と同日執行の 2 点が、前回に比べ投票率を押し上げた主因と考えられる。
また、台風にも関わらず投票率が上昇した理由として、期日前投票の割合の増加が挙げられる。

玉野市議会議員選挙の投票率

国政・県政・市政の別を問わず、全国的に投票率は減少傾向にある。
最も投票率の高い市議選にあつても減少が続いている。目立った減少要因が無いことから、選挙人全体の関心の低下によるものと考えられる。

地域における懇談会の参加者数(人)
パブリックコメント募集案件 1 件当たりの意見数(件)



指標名	従前値 (H22)	目標値 (H28)	実績値 (H28／H29)	達成状況
地域における懇談会の参加者数	317 人 (H23)	360 人	194 人／198 人	未達成
パブリックコメント募集案件 1 件当たりの意見数	5.0 件	5.6 件	1.0 件／0.0 件	未達成

目標の達成状況に対する評価

地域における懇談会の参加者数

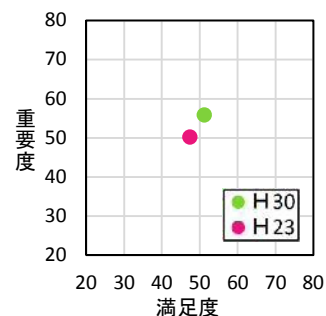
市民が市政に参画できる具体的な機会の一つとして、概ね市民センター単位で地域懇談会を開催したが、目標値は未達成となっている。

パブリックコメント募集案件 1 件当たりの意見数

未達成である原因として、各事業に対する市民の興味の度合い、パブリックコメントの周知不足が考えられる。

施策の大綱 4
市民が主役で
築くまち

政策 9 市民参加のまちづくり



施策
3

行政情報を積極的に公開する

施策の指標実績の検証

広報紙が役に立っていると
感じている市民の割合 (%)

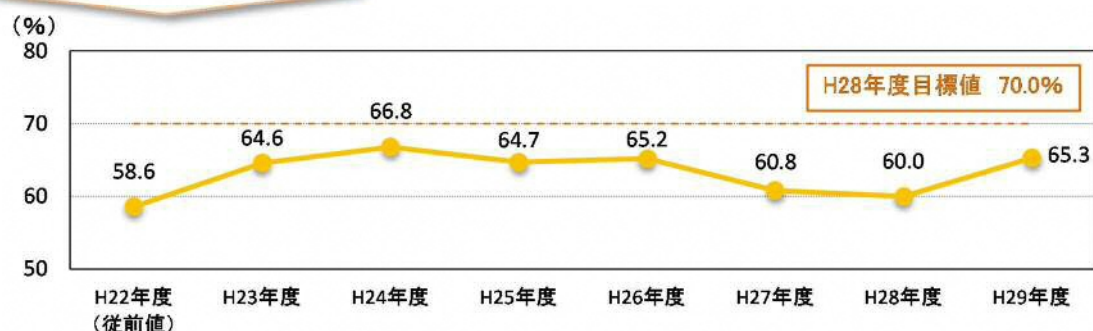


従前値 (H22)	目標値 (H28)	実績値 (H28／H29)	達成状況
81.6%	85.0%	70.7%／76.5%	未達成

目標の達成状況に対する評価

「役に立つ」と感じる媒体が SNS 等広報紙以外にも求められていることにより未達成になったと推測するが、特集記事の作成やレイアウトの工夫の効果により上昇傾向が見られるものと考えられる。

市の施策に関する情報が市民へ提供されていると感じている市民の割合 (%)



従前値 (H22)	目標値 (H28)	実績値 (H28／H29)	達成状況
58.6%	70.0%	60.0%／65.3%	未達成

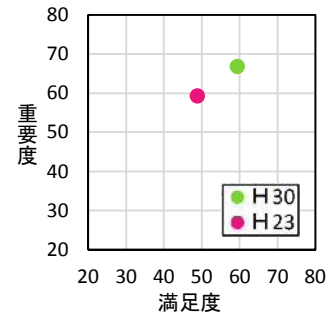
目標の達成状況に対する評価

市からの周知不足に加え、市民の施策に対する興味の度合いが影響していると考えられる。

施策の大綱 4
市民が主役で
築くまち

政策 10

効果的・効率的な
行財政運営

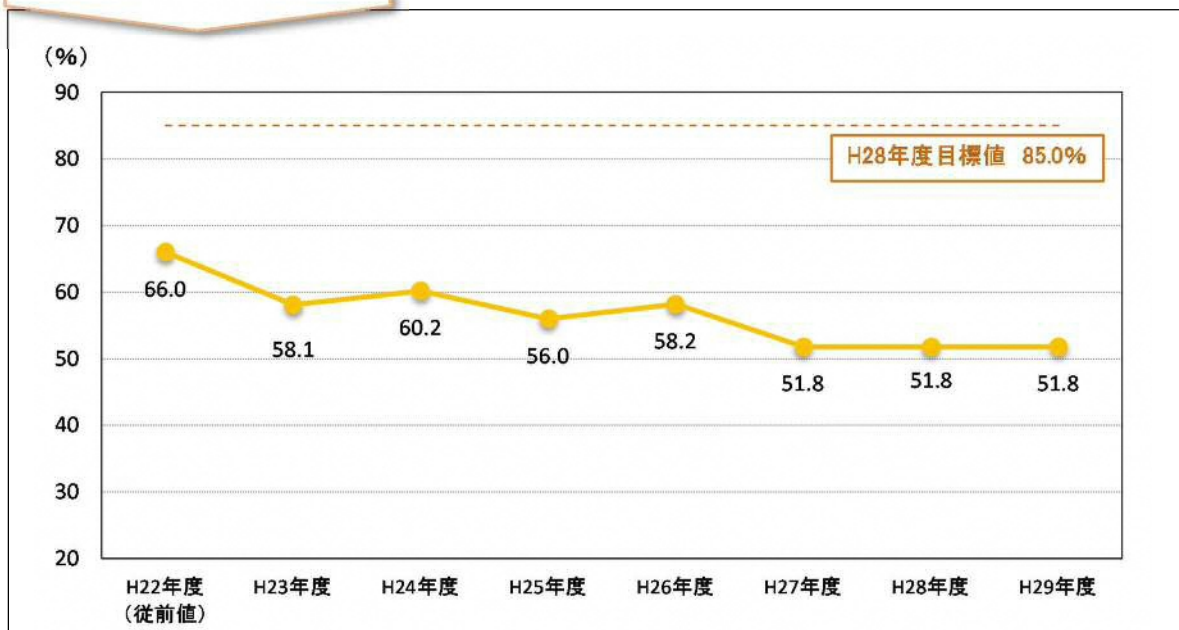


施策
1

市民が満足できる行政サービスを提供する

施策の指標実績の検証

市役所のサービスが利用しやすい
と感じている市民の割合 (%)



従前値 (H22)	目標値 (H28)	実績値 (H28／H29)	達成状況
66.0%	85.0%	51.8%／51.8%	未達成

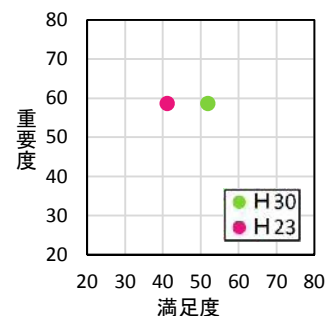
目標の達成状況に対する評価

総合窓口の創設、電子申請への推進、マイナンバー制度の活用（コンビニ活用）など、市民サービスの多様化への対応が遅れているものと認識している。

施策の大綱 4
市民が主役で
築くまち

政策 10

効果的・効率的な
行財政運営



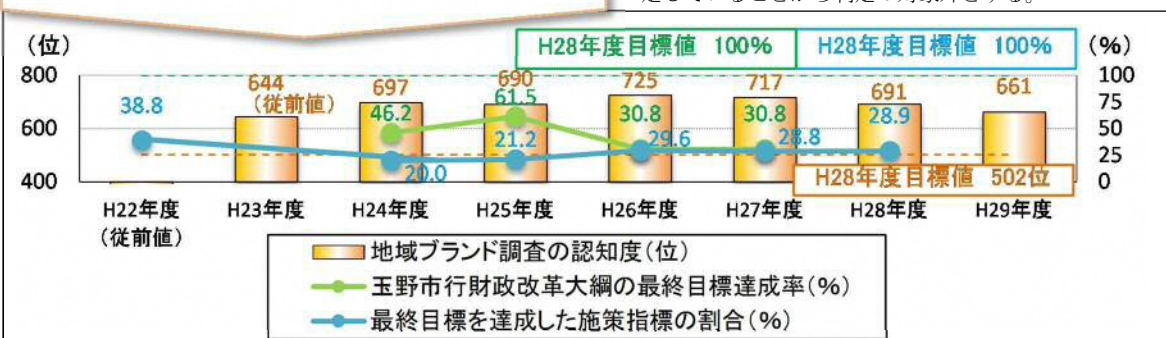
施策
2

計画的に行政を運営する

施策の指標実績の検証

地域ブランド調査の認知度（位）
玉野市行財政改革大綱の最終目標達成率（％）
最終目標を達成した施策指標の割合（％）

注）行財政改革大綱の最終目標達成率については、平成 27 年度をもって 1 年前倒しで計画を終了し新たな計画を策定していることから判定の対象外とする。



指標名	従前値 (H22)	目標値 (H28)	実績値 (H28／H29)	達成状況
地域ブランド調査の認知度	644 位 (H23)	502 位	691 位／661 位	未達成
玉野市行財政改革大綱の最終目標達成率	— %	100%	30.8% (H27) / %	未達成
最終目標を達成した施策指標の割合	38.8%	100%	28.9% / %	未達成

目標の達成状況に対する評価

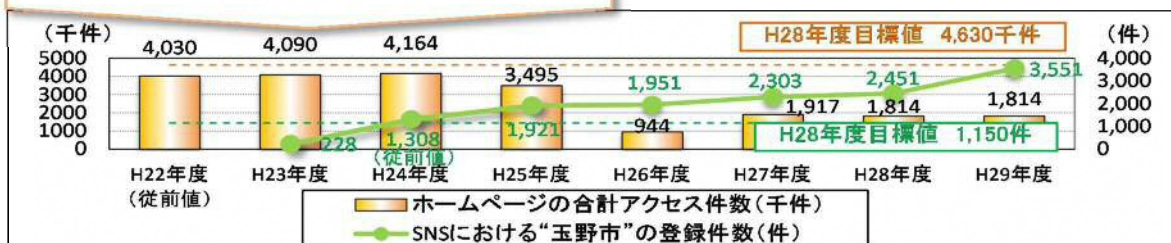
玉野市行財政改革大綱の最終目標達成率

厳しい財政状況に直面し、平成 27 年度をもって 1 年前倒しで旧行革は期間満了を迎えたことから、目標値の達成割合が低い状況となっている。

最終目標を達成した施策指標の割合

指標目標の設定に当たっては、高い目標に向かって取り組む姿勢であったことから、目標の達成割合は低い状況となっているが、実績の推移が測定可能な施策 81 施策のうち、上昇傾向にあるのは 39 施策(48.1%)、下降傾向にあるのは 42 施策(51.9%)となっている。

ホームページの合計アクセス件数（千件）
SNS における“玉野市”の登録件数（件）



指標名	従前値 (H22)	目標値 (H28)	実績値 (H28／H29)	達成状況
ホームページの合計アクセス件数	4,030 千件	4,630 千件	1,814 千件 / 1,814 千件	未達成
SNS における“玉野市”の登録件数	228 件 (H23)	1,150 件	2,451 件 / 3,551 件	達成

目標の達成状況に対する評価

ホームページの合計アクセス件数

平成 25 年度に実施したホームページのリニューアルに伴い、アクセス件数を数えるツールやドメインを変更したことにより大幅に減少したものと考えられる。

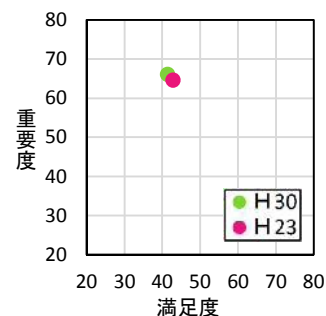
SNS における“玉野市”の登録件数

フレンドリーな言い回しでの掲載に加え、スマートフォンの普及や利用者同士の拡散といった生活様式の変化により目標値を達成できたものと考えられる。

施策の大綱 4
市民が主役で
築くまち

政策 10

効果的・効率的な
行財政運営



施策
3

持続可能な財政運営を行う

施策の指標実績の検証

市税徴収率 (%)
経常収支比率 (%)



指標名	従前値 (H22)	目標値 (H28)	実績値 (H28/H29)	達成状況
市税徴収率	94.6%	95.2%	96.3%/96.7%	達成
経常収支比率	87.1%	89.1%	98.1%/94.8%	未達成

目標の達成状況に対する評価

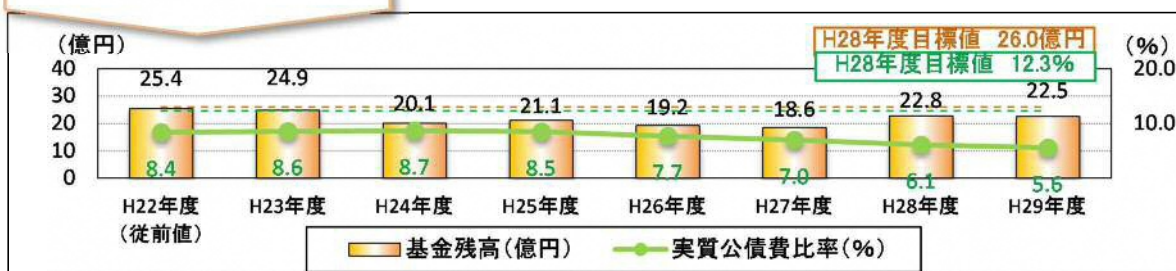
市税徴収率

一斉催告や岡山県との連携による滞納整理などにより上昇傾向にあり、目標値を達成できたものと考えられる。

経常収支比率

平成24年度以降、90%台で推移している状況にあり、これは、少子高齢化の進展などによる扶助費、繰出金等の社会保障関係経費が増加したことに加え、中学校区ごとに設置された市民センターや総務省が想定する標準を超える数の消防出張所を維持してきたことなどにより、人件費や物件費が他市と比較して高くなっていることに起因するものと考えられる。

実質公債費比率 (%)
基金残高 (億円)



指標名	従前値 (H22)	目標値 (H28)	実績値 (H28/H29)	達成状況
実質公債費比率	8.4%	12.3%	6.1%/5.6%	達成
基金残高	25.4億円	26.0億円	22.8億円/22.5億円	未達成

目標の達成状況に対する評価

実質公債費比率

臨時財政対策債を除く市債残高が減少傾向にあり、借入金返済額が減少していることから、目標値を達成することができている。

また、平成28年度以降については、財政健全化の集中取組期間として、下水道事業会計への繰入金を減額していることも目標達成の要因の1つと考えられる。

基金残高

目標値の達成には至っていないものの、基金残高は概ね上昇傾向にあることから、引き続き、歳出抑制及び歳入確保を徹底し、今後必要となる公共施設等の更新や災害対策等に備え、基金残高の確保に努める。

2. まちづくりに関するアンケート調査

調査の実施概要	-----	P50
1. 回答者の属性	-----	P51
2. 玉野市での住みやすさに関する意識	-----	P53
3. これまでのまちづくりの評価と今後のまちづくりの方針	-----	P56
4. それぞれの分野に関する取組への期待・要望など	-----	P69
5. その他・ご意見・ご提言	-----	P82
6. 調査票	-----	P83

調査の実施概要

◆調査内容

市政やまちづくりに関して、これまで取り組んできた施策の満足度や今後に向けた重要度及び重視すべき取組等について、幅広い世代の意識や意向を把握し、次期総合計画の基礎資料として活用することを目的としてアンケート調査を実施した。

◆調査方法

○調査対象者

平成 30 年 7 月 1 日現在で 18 歳以上の市民 2,000 名（無作為抽出）
（無作為抽出後に地区、年齢、性別のバランスを調整）

○実施方法

調査票配布方法：郵便

調査票回収方法：郵便（玉野市役所宛て）

○実施期間

調査票発送日：平成 30 年 7 月 18 日（水）

調査締切日：平成 30 年 7 月 31 日（火）

（集計・分析は 8 月 6 日（月）までに回収したものを対象とした。）

○調査票の回収結果

有効回収数は 667 票（有効回収率は 33.4%）

○その他

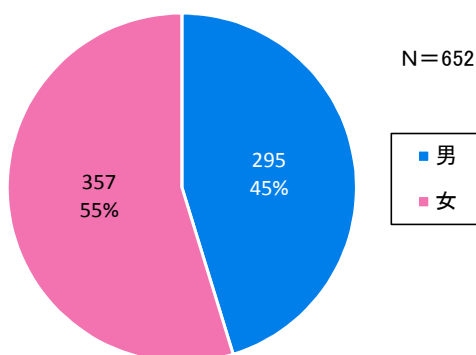
- ・グラフ中の「N」は、当該設問に関する有効回答数を示す。
- ・回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第 1 位で四捨五入したものであることかえら、単数回答（複数の選択肢から 1 つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が 100%にならない場合がある。

1 回答者の属性

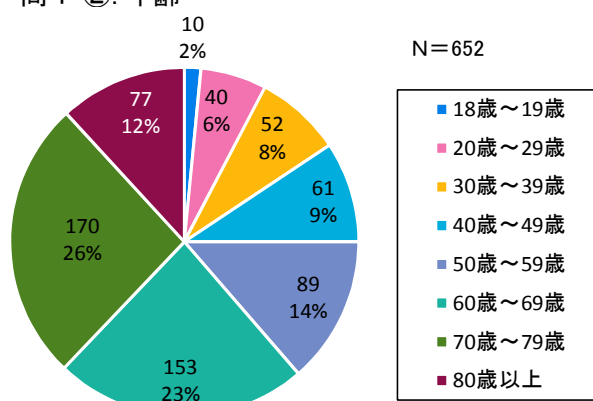
アンケートの有効回収数は 667 票であり、回答者の性別、年齢、居住地等の属性は次のようになった。

- ・性別は男性 45%、女性は 55%と女性が多く、男女比（男性/女性）は 0.83 となった。
- ・年齢は 18～19 歳の割合が 2%と最も低く、70 歳～79 歳の割合が 26%と最も高くなっている。60 歳以上の高齢者の割合が 61%と半数以上を占めている。
- ・職業は無職が 31%と最も多く、次いで主婦、会社員、団体職員となっている。
- ・家族構成は 2 世代で同居の割合（夫婦と子ども、親と夫婦）が 38%と最も多く、次いで夫婦のみ、一人暮らしとなっている。
- ・居住地は荘内地域が 23%と最も多く、次いで田井地域、宇野・築港地域となっている。
- ・住宅の種類は持ち家一戸建てが 89%と大部分を占めている。

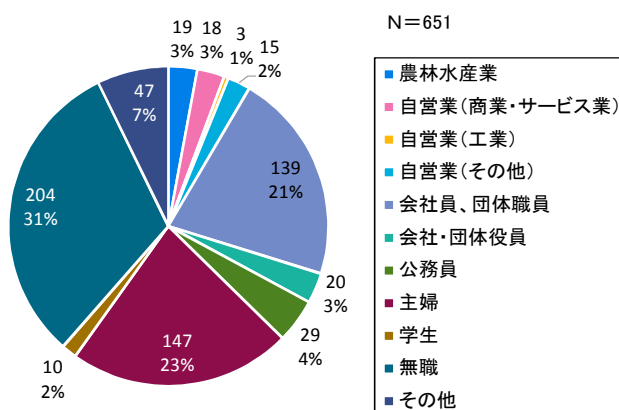
問 1-①. 性別



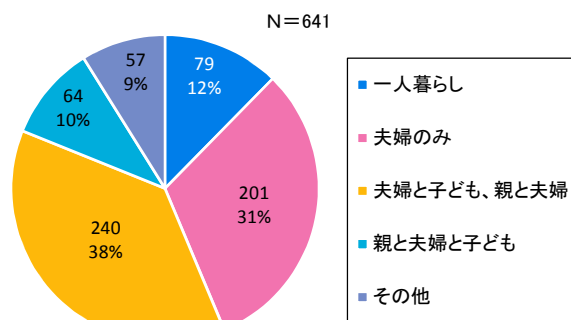
問 1-②. 年齢



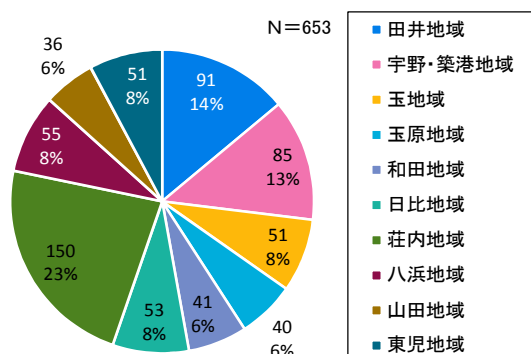
問 1-③. 職業



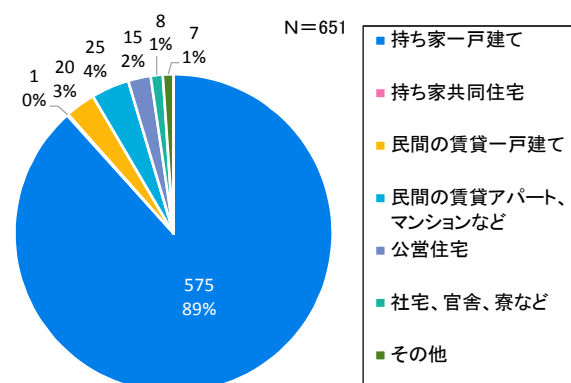
問 1-④. 家族構成



問 1-⑤. 居住地

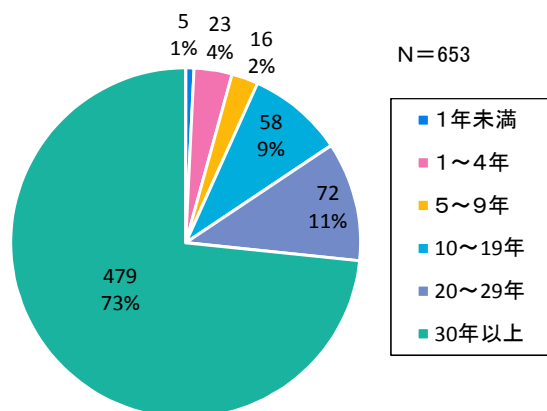


問 1-⑥. 住宅の種類

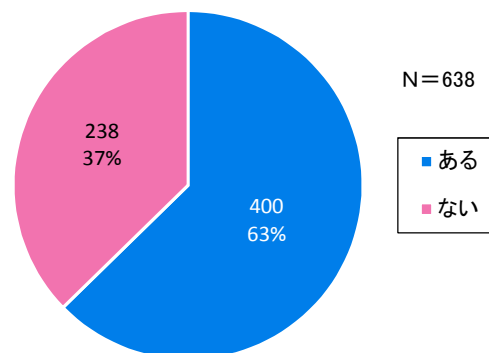


- ・居住年数は30年以上玉野市に住んでいる方が73%と大部分を占めている。10年以上玉野市に住んでいる方は93%を占めている。
- ・他都市での居住経験がある方は、63%となっている。以前の居住地は岡山市、東京都・大阪府が多くなっている。

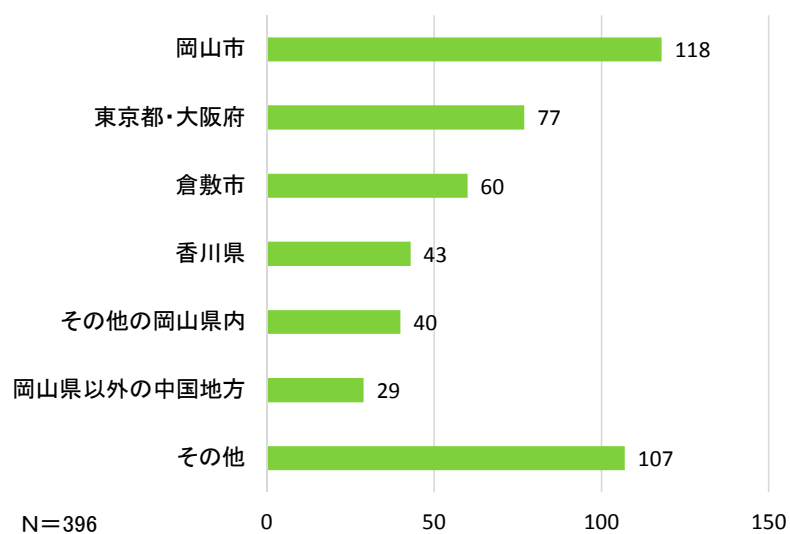
問1-⑦. 居住年数



問1-⑧. 他都市での居住経験



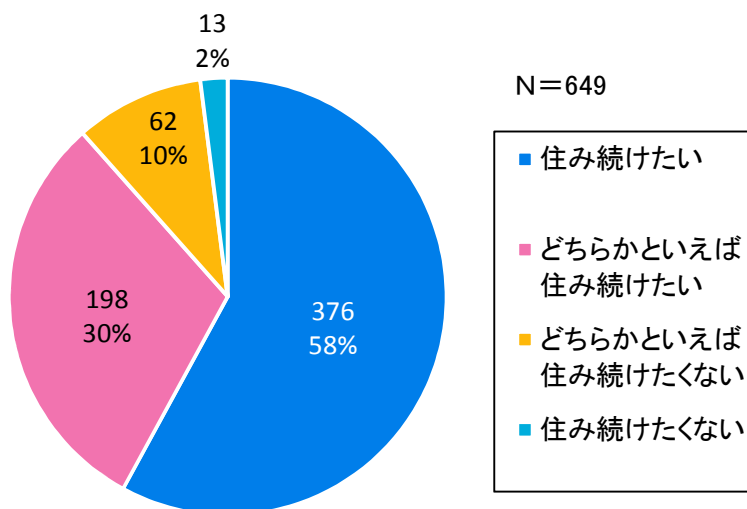
問1-⑨. 以前の居住地（⑧で「1. ある」に○印をつけた方のみ）（複数回答）



2 玉野市での住みやすさに関する意識について

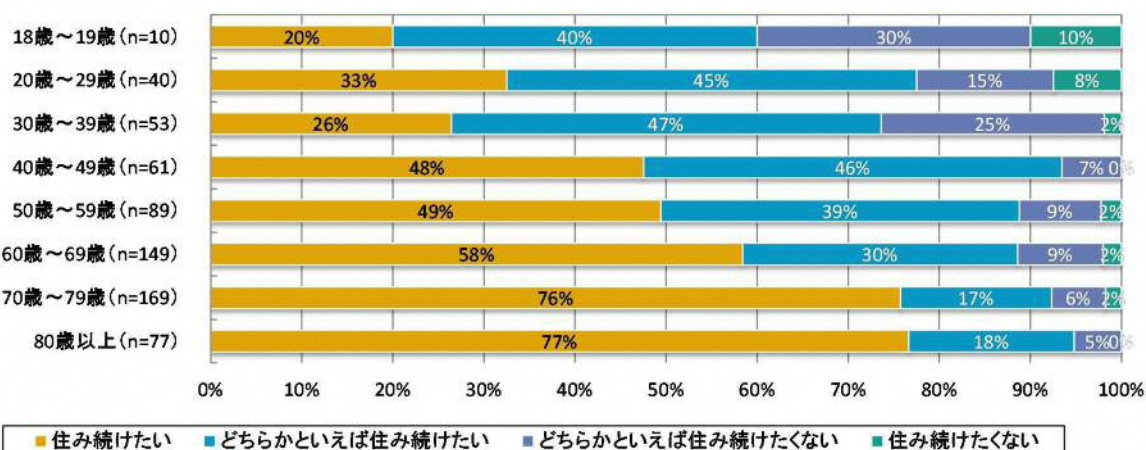
問 2. あなたは今後も玉野市に住み続けたいですか。

- ・居住意向については、住み続けたいと考える人の割合が 88%と大部分を占めている。一方で住み続けたくないと考えている人は、12%となっている。



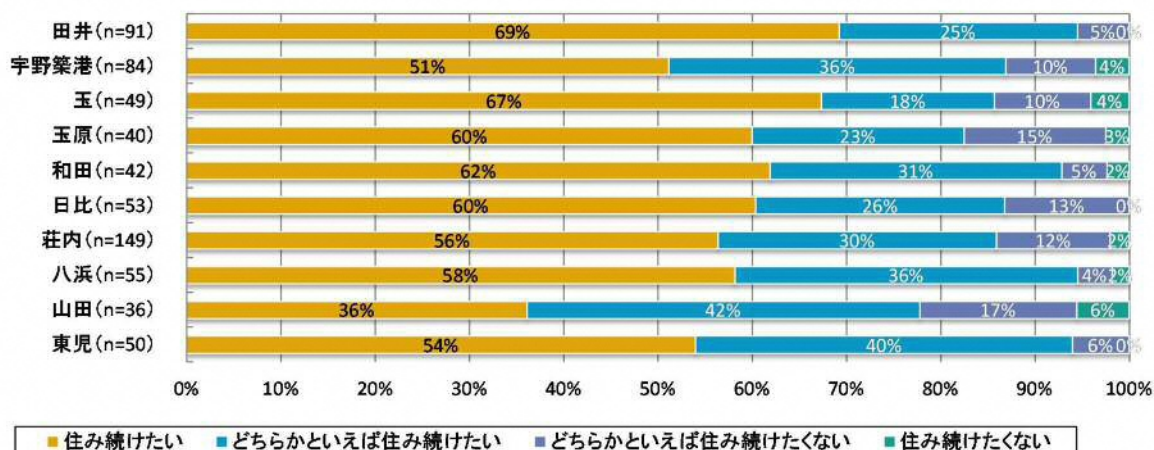
＜年齢別＞

- ・住み続けたい・どちらかといえば住み続けたいと考えている世代は 18～19 歳が最も低く、40～49 歳以上の年齢層では、90%程度で横ばいとなった。



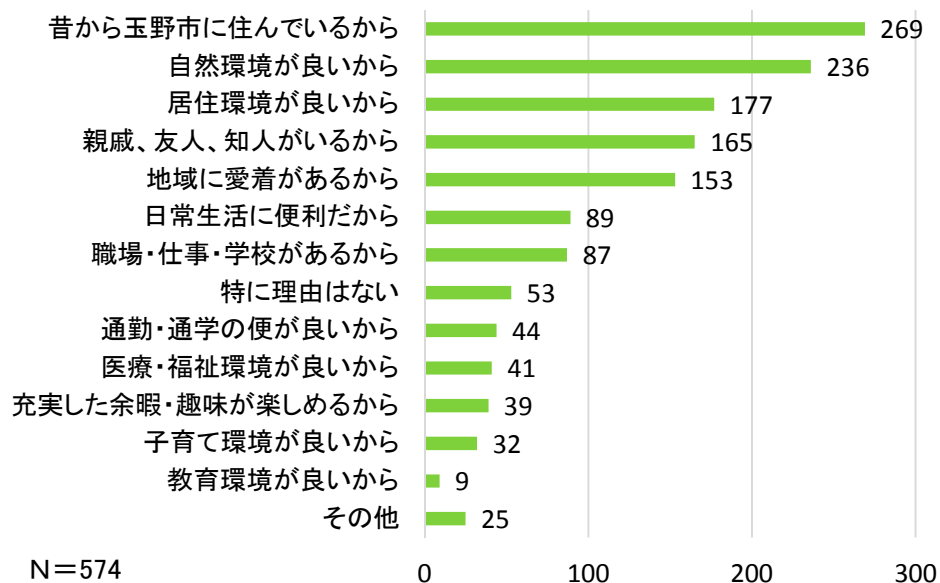
＜地域別＞

- ・地域別の居住意向については、いずれの地域でも概ね同様の傾向となったが、田井・八浜・東児地域が最も高く、山田地域が最も低くなった。



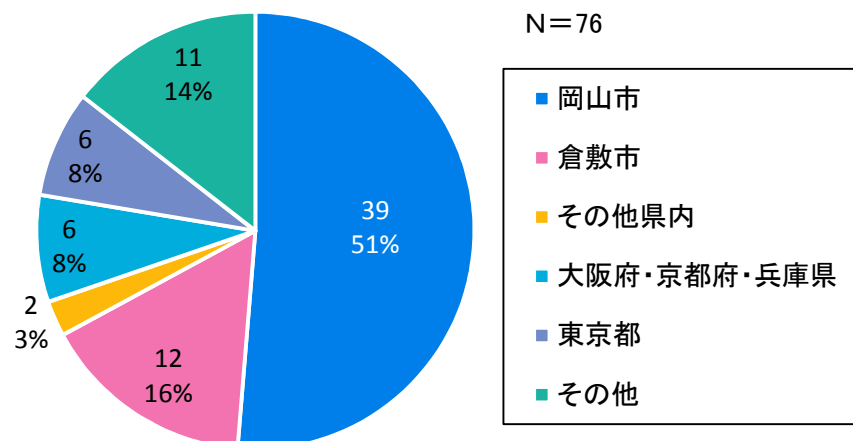
問3. 問2で「1. 住み続けたい」又は「2. どちらかといえば住み続けたい」を選んだ方にお聞きします。その理由は何ですか。

・「住み続けたい」・「どちらかといえば住み続けたい」と考えている理由として、昔から玉野市に住んでいるからが最も多く、次いで自然環境が良いから、居住環境が良いからが多くなっている。



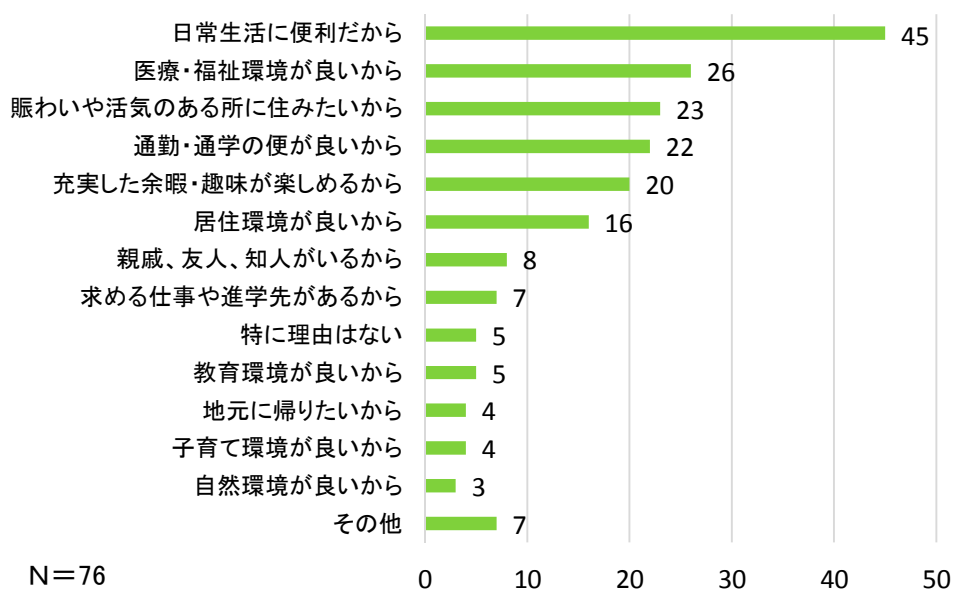
問4 問2で「3. どちらかといえば住み続けたくない」又は「4. 住み続けたくない」を選んだ方にお聞きします。移転するとすれば、どこに住みたいですか。

・「どちらかといえば住み続けたくない」・「住み続けたくない」と考えている方の半数以上は、移転するならば岡山市としている。



問 5 玉野市と比べて移転したい理由は何ですか。(複数回答)

・「どちらかといえば住み続けたくない」・「住み続けたくない」と考えている理由として、他都市の方が、日常生活に便利が最も多くなっており、次いで医療・福祉環境が良いが挙げられている。

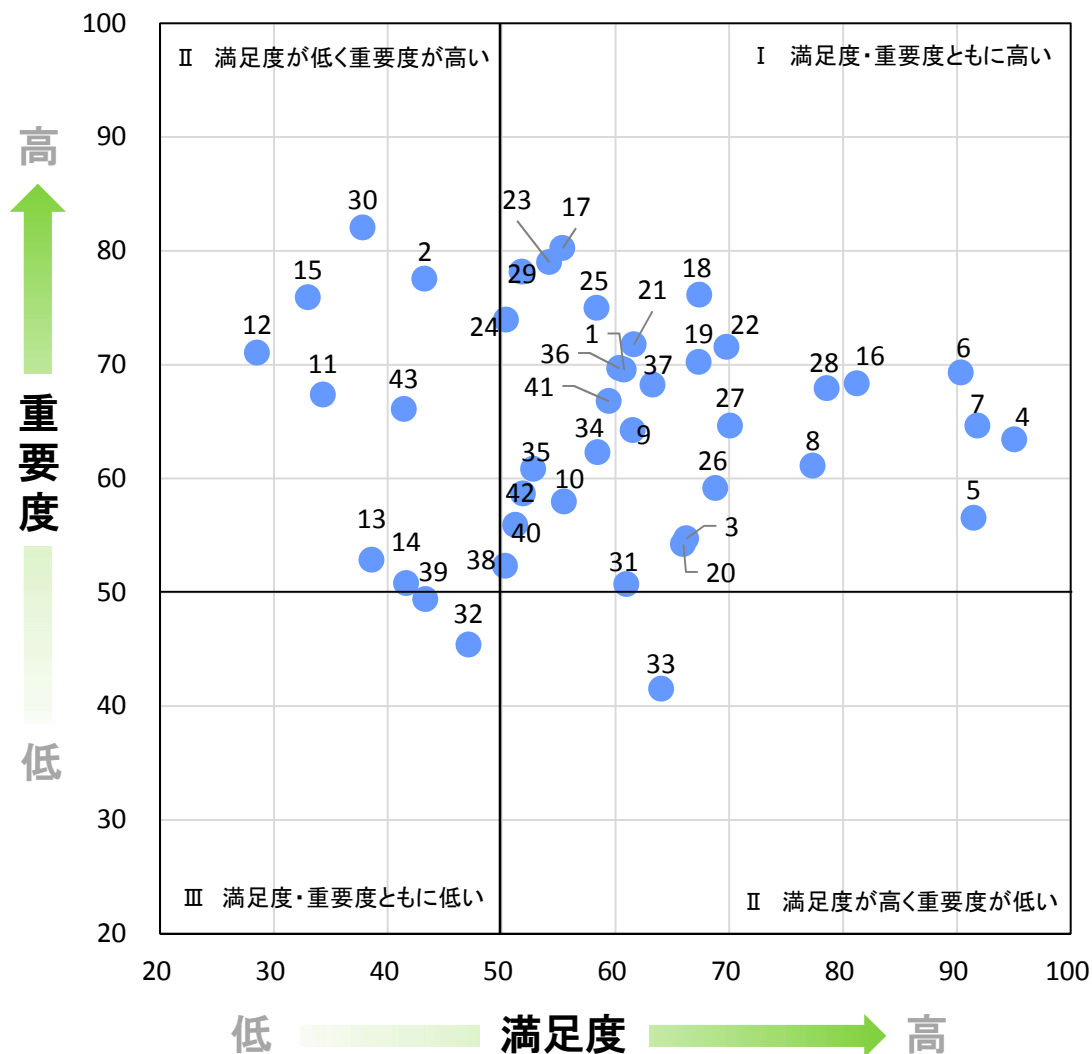


3 これまでのまちづくりの評価と今後のまちづくりの方針について

問 6. あなたは、日常生活を過ごす中で、次の項目についてどのように感じていますか。

また、市が取り組むべき施策としての重要性についてどのように考えていますか。

- ・満足度が最も高い項目は、良質な水の提供となっている。一方、最も低い項目は商業・工業の振興となっている。
- ・重要度が最も高い項目は、市民病院における良質で信頼できる医療の提供となっている。

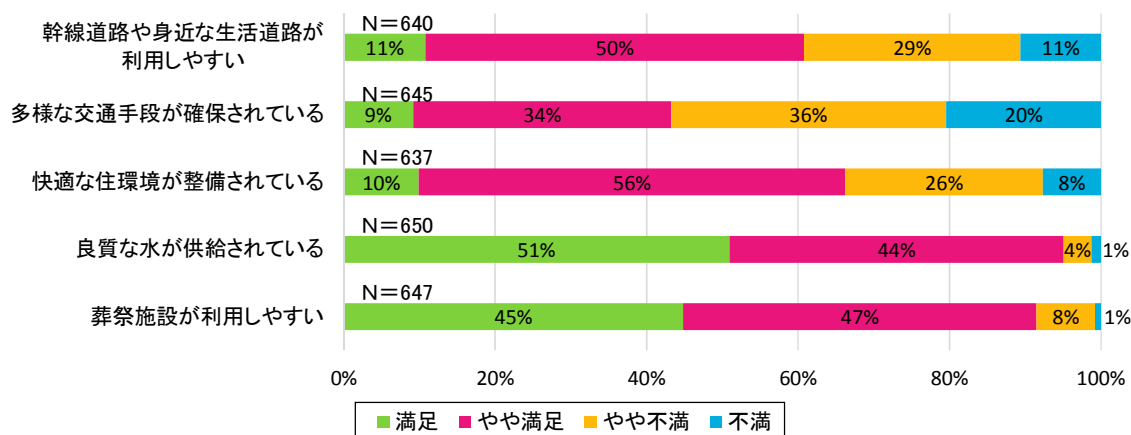


1 幹線道路や身近な生活道路が利用しやすい	16 火災による被害が軽減されている	31 多様な学習環境が提供されている
2 多様な交通手段が確保されている	17 自然災害による被害が軽減されている	32 芸術・文化にふれる機会が提供されている
3 快適な住環境が整備されている	18 事故や急病などへ適切に対応できている	33 スポーツ活動が盛んである
4 良質な水が供給されている	19 交通事故の発生が抑制されている	34 青少年が健全に育成されている
5 葬祭施設が利用しやすい	20 安全な消費生活が確保されている	35 家庭・地域の教育力が充実している
6 ごみが適切に処理されている	21 地域の福祉活動が促進されている	36 安全で適切な教育環境が提供されている
7 生活排水が適切に処理されている	22 子育てがしやすい	37 充実した学校教育が提供されている
8 大気環境が保全されている	23 高齢者が暮らしやすい	38 市民の活動が支援されている
9 森林が適切に維持・管理されている	24 障害者が暮らしやすい	39 市政への参画が促進されている
10 みなとが効果的に活用されている	25 良質な介護保険サービスが提供されている	40 行政情報が積極的に公開されている
11 観光の魅力が向上している	26 一人ひとりの人権が尊重されている	41 行政のサービスが利用しやすい
12 商業・工業が盛んである	27 適切な健康づくりの取組が進んでいる	42 計画的に行政が運営されている
13 農業が盛んである	28 国民健康保険による医療が確保されている	43 持続可能な行財政基盤が確立されている
14 水産業が盛んである	29 良質で安定した地域医療が確保されている	
15 適切な労働環境が確保されている	30 市民病院において良質で信頼できる医療が提供されている	

※満足度：満足とやや満足の割合の合計

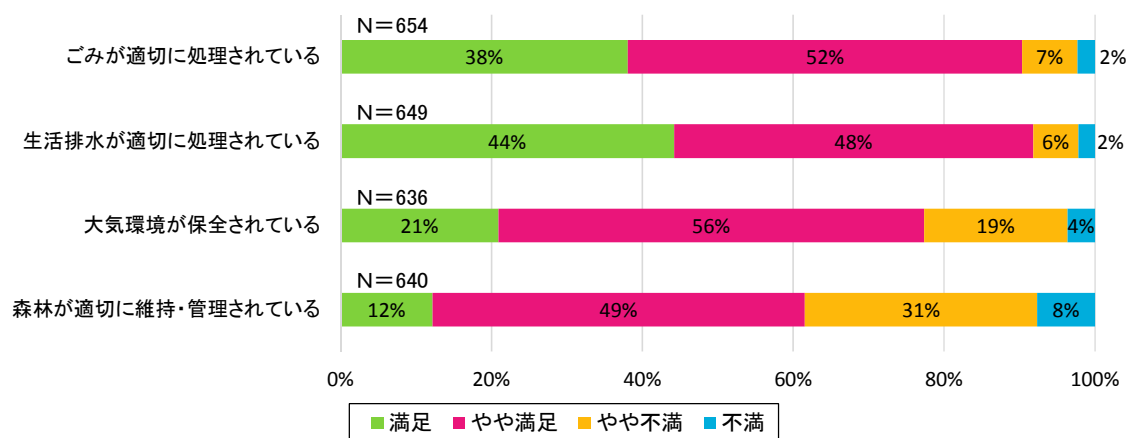
満足度（暮らしやすさ）

- ・玉野市の暮らしやすさに関する満足度は多様な交通手段の確保を除いて、60%を超えており、特に良質な水の供給、葬祭施設の利便性は 90%以上と、非常に満足度が高くなっている。一方で、多様な交通手段については、半数以上の方が不満を感じている。



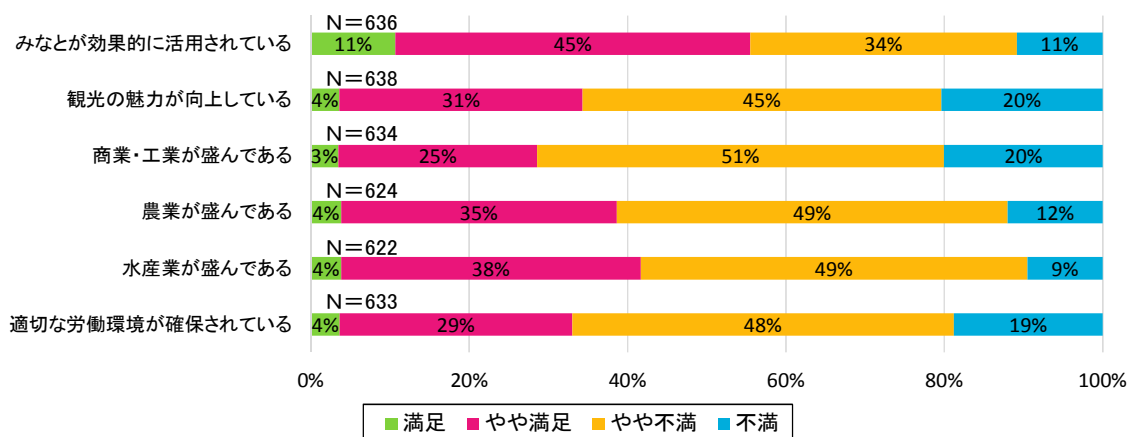
満足度（環境保全）

- ・玉野市の環境保全に関する満足度はいずれの項目においても 60%を超えており、特に「ごみが適切に処理されている」、「生活排水が適切に処理されている」は 90%以上と非常に満足度が高くなっている。引き続き、大気環境の保全や森林の適切な維持・管理への取組が重要となる。



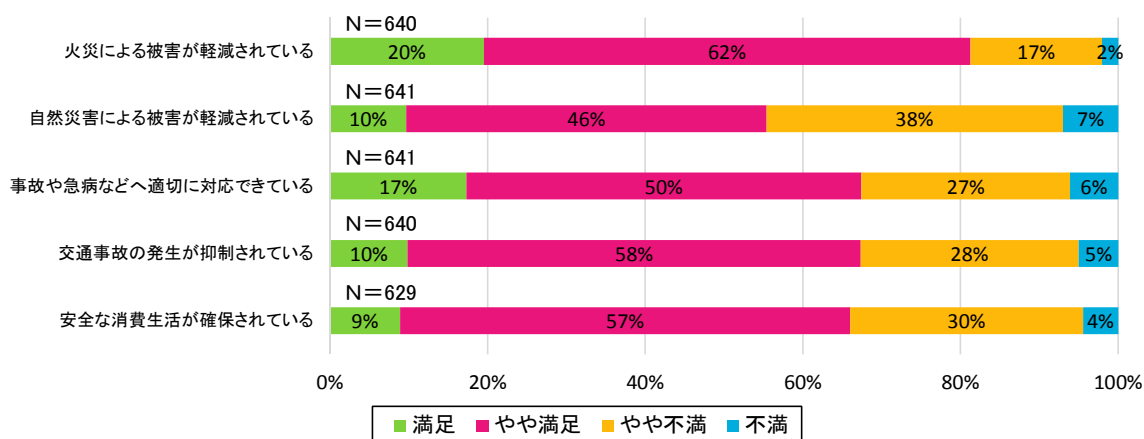
満足度（産業振興）

- ・玉野市の産業振興に関する満足度は多くの項目において 40%程度となっている。みなとの効果的な活用に関する満足度が 60%を超えている一方で、商業・工業の振興や適切な労働環境の確保に関する満足度は 30%程度となっており、改善が求められている。



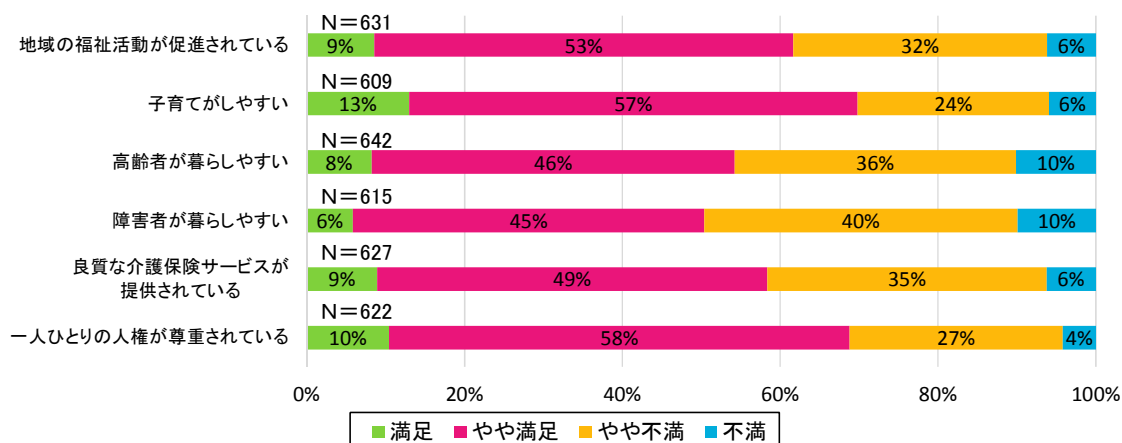
満足度（災害対策）

- ・玉野市の災害対策に関する満足度はいずれの項目においても 50%を超えている。火災による被害の軽減に関する満足度は最も高いものの、近年甚大化している自然災害による被害の軽減は約半数が不満を感じており、安心・安全に対する更なる対応が求められている。



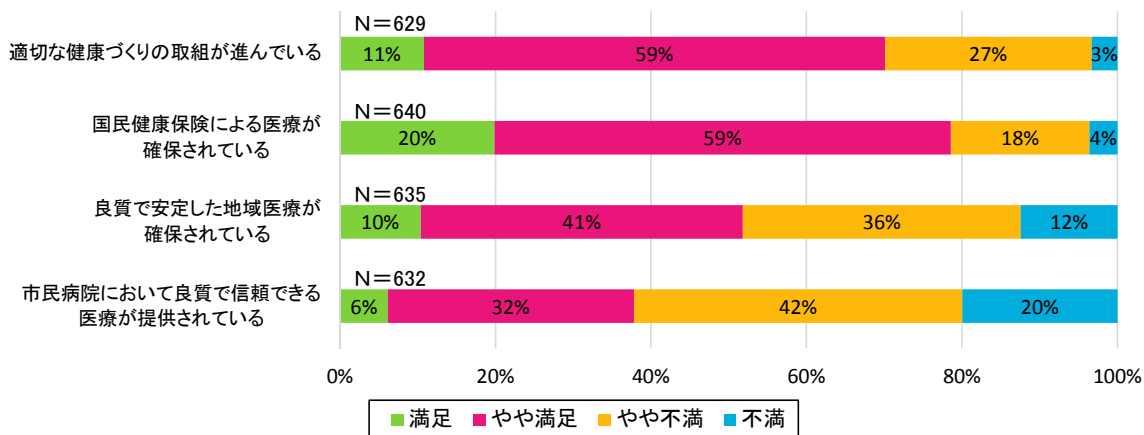
満足度（福祉）

- ・玉野市の福祉に関する満足度はいずれの項目においても 50%～60%程度となっている。最も子育てに関する満足度が高くなっている一方で、高齢者や障害者の暮らしやすさに関する満足度が低い傾向にあるため、ユニバーサルデザインに配慮したまちづくりが求められている。



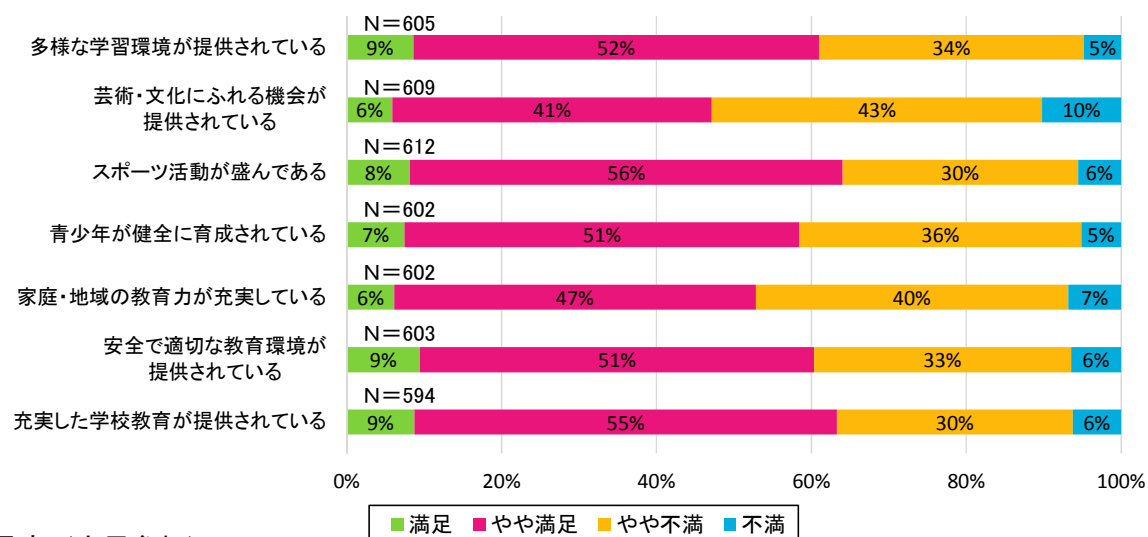
満足度（保健医療）

・玉野市の保健医療に関する満足度は、適切な健康づくりの取組や国民健康保険による医療の確保に関しては 70%を超えている一方で、良質で安定した地域医療の確保や市民病院において良質で信頼できる医療提供に関する不満の割合が約 50%であるため、改善が求められている。



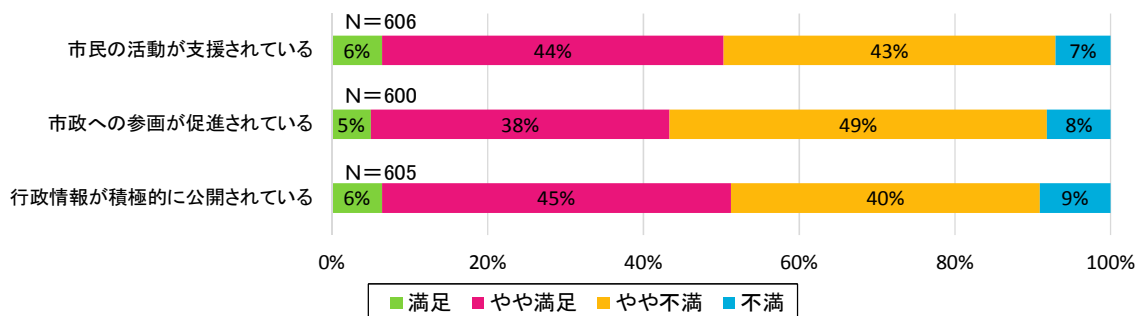
満足度（教育）

・玉野市の教育に関する満足度は多くの項目で 60%程度となっている一方で、芸術・文化にふれる機会の提供に関する満足度が 50%を下回っているため、教育に関する満足度の向上が重要となる。



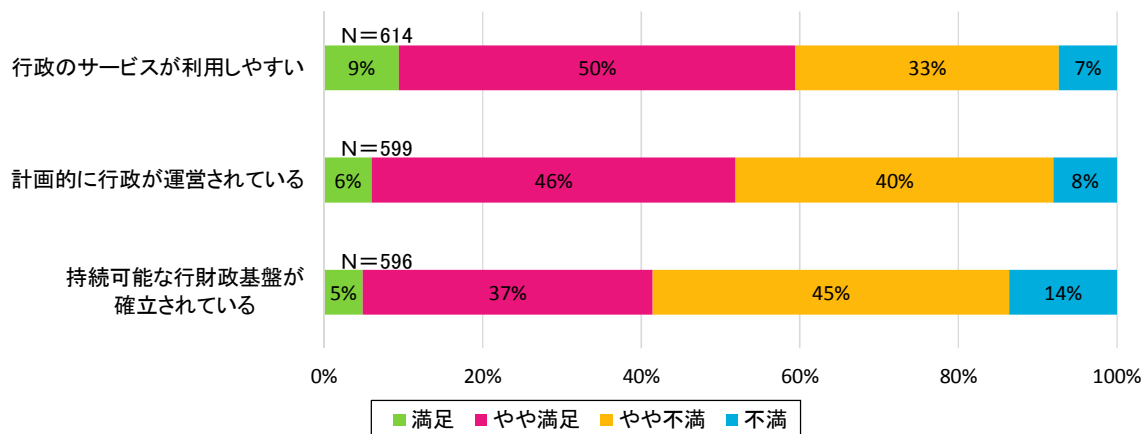
満足度（市民参加）

・玉野市の市民参加に関する満足度はいずれの項目においても 50%程度となっている。その中で、市政への参画に関する満足度が比較的低いことから、市民活動の支援や行政情報の公開の強化等により、積極的な市民参加を促すことが重要となる。



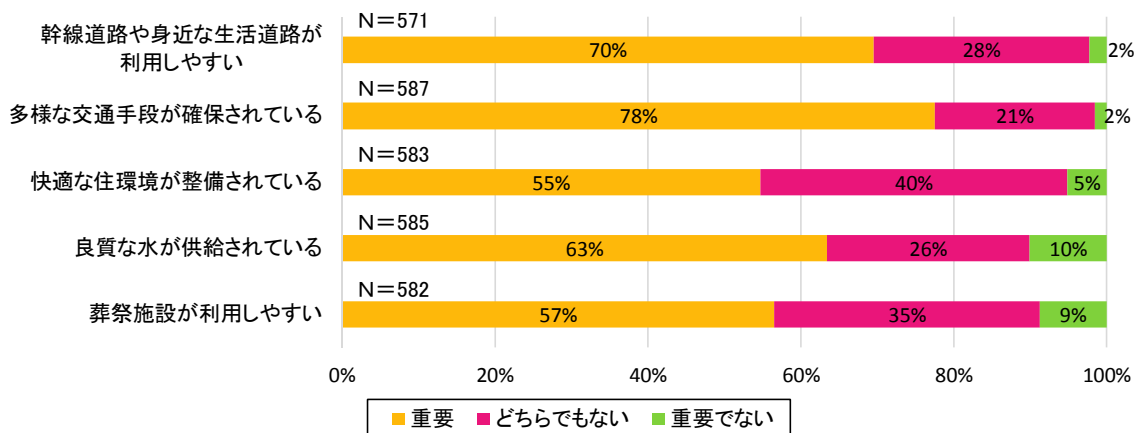
満足度（行政運営）

- ・玉野市の行政運営に関する満足度は 40%～60%となっており、満足度の向上に向けた取組が求められている。特に、持続可能な行財政基盤の確立の満足度が低いため、歳入の確保や歳出の抑制に向けた取組が求められている。



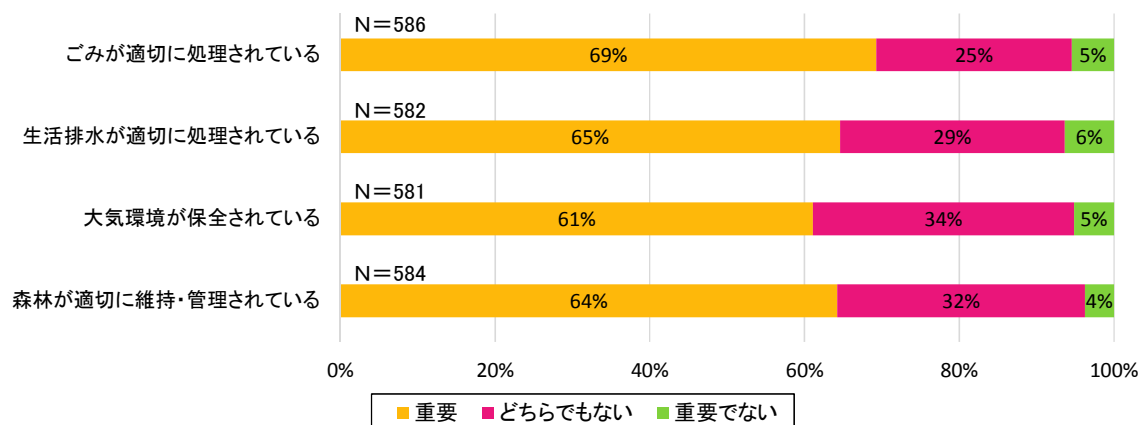
重要度（暮らしやすさ）

・玉野市の暮らしやすさの重要度は 50%～80%と項目によって、分散している。特に多様な交通手段の確保の重要度が最も高くなっており、確保に向けた取組が必要である。



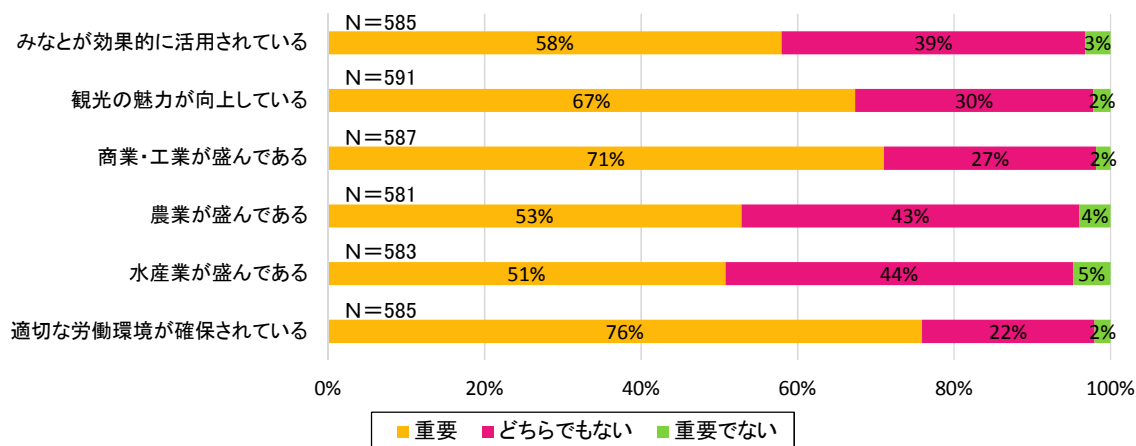
重要度（環境保全）

・玉野市の環境保全の重要度についてもすべての項目で 60%を超えており、環境保全に関する取組の必要性が高まっている。



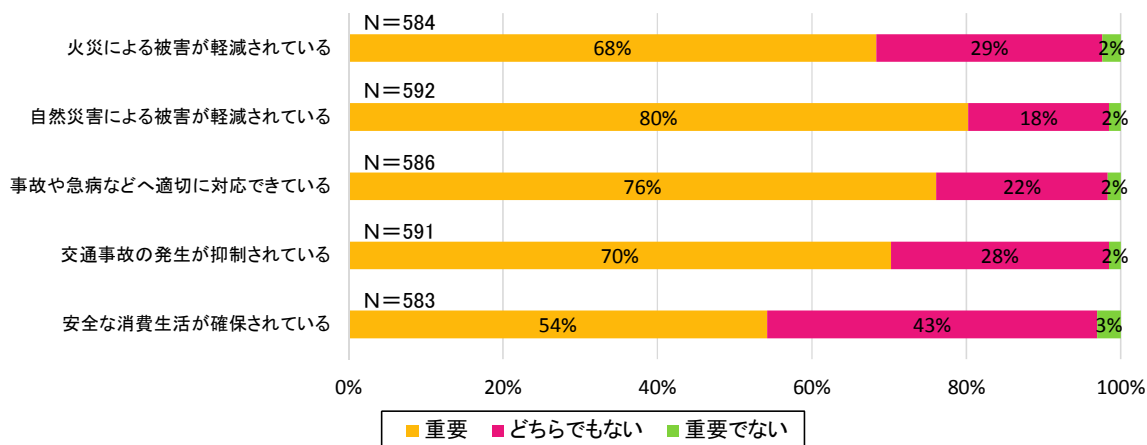
重要度（産業振興）

・玉野市の産業振興の重要度は 50%～80%と項目によって分散している。特に、商業・工業の振興や適切な労働環境の確保の重要性が高まっている。



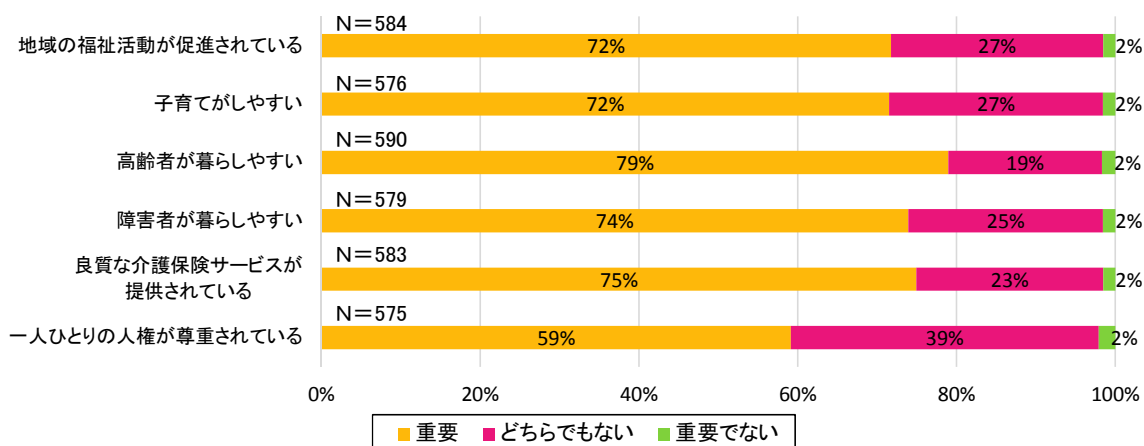
重要度（災害対策）

- ・玉野市の災害対策の重要度は 50%～80%と項目によって、分散している。特に、自然災害による被害の軽減や事故や急病等の適切な対応に関する重要性が高まっている。



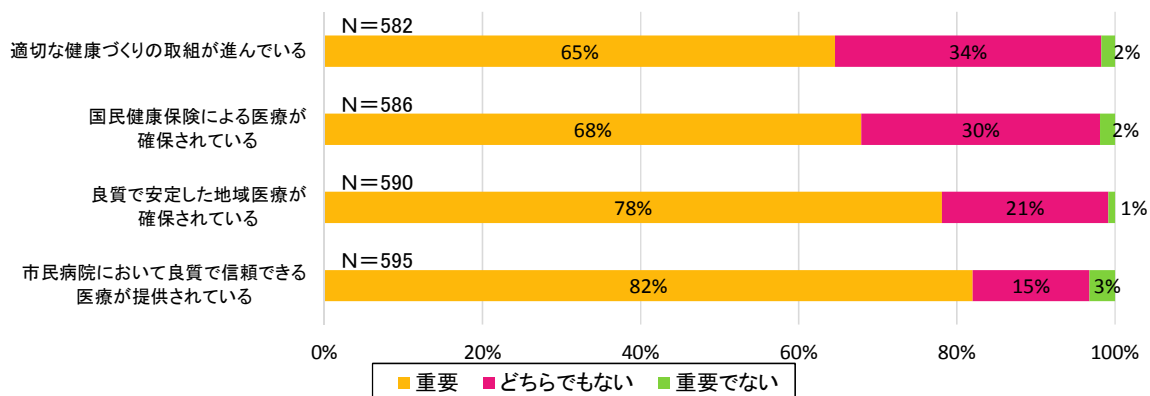
重要度（福祉）

- ・玉野市の福祉の重要度は、ほぼすべての項目で 60%を超えている。特に、高齢者の暮らしやすさや良質な介護保険サービスの提供など、ユニバーサルデザインに関する重要性が高まっている。



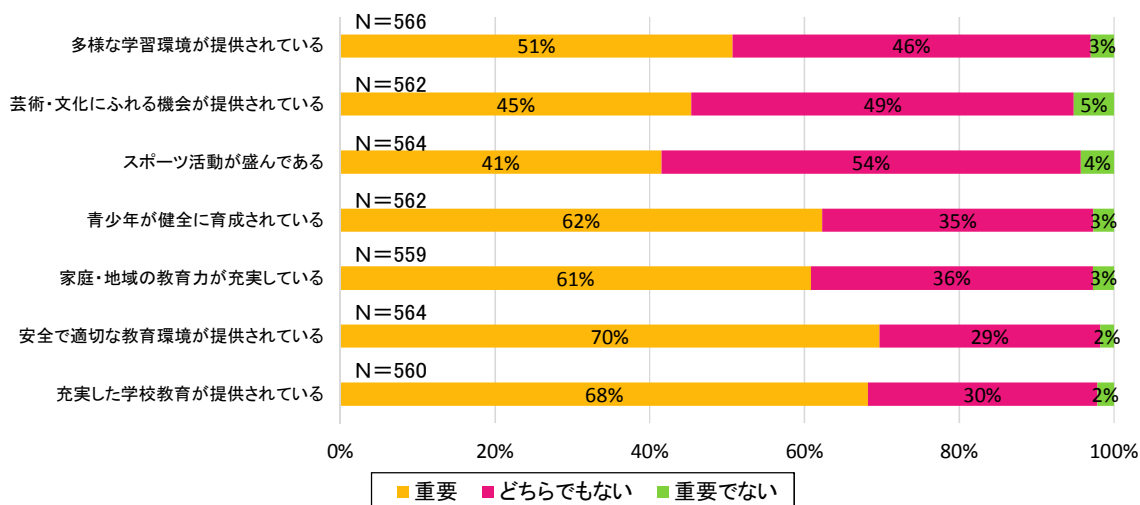
重要度（保健医療）

- ・玉野市の保健医療の重要度についてもすべての項目で 60%を超えている。特に、良質で安定した地域医療の確保や市民病院における良質で信頼できる医療提供等の地域医療に関する重要性が高まっている。



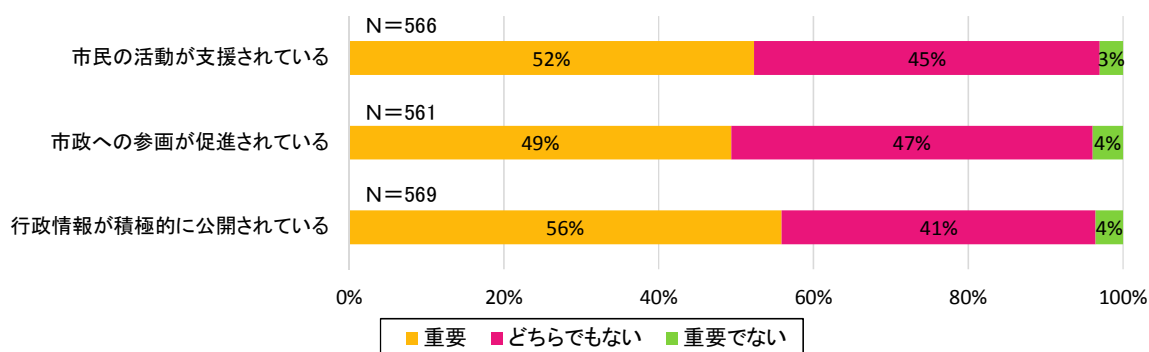
重要度（教育）

- ・玉野市の教育の重要度は40%～70%と項目によって分散している。特に、安全で適切な教育環境の提供や充実した学校教育の提供など、教育環境に関する重要性が高まっている。



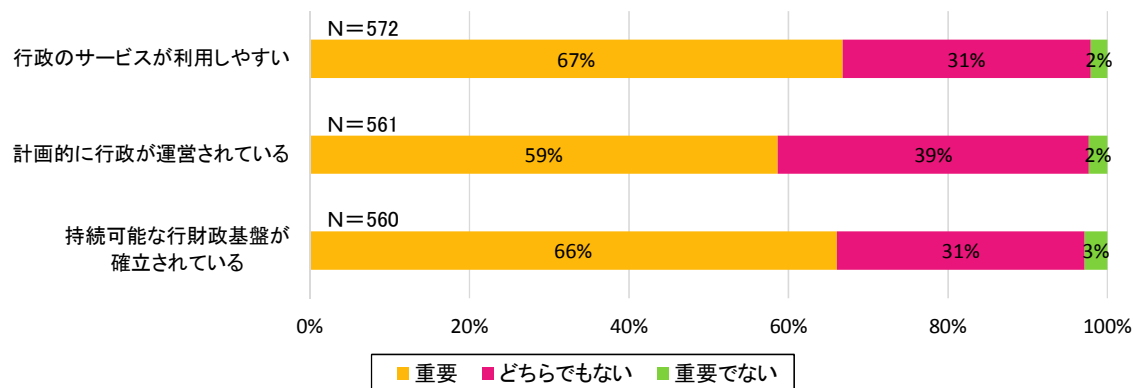
重要度（市民参加）

- ・玉野市の市民参加の重要度はいずれの項目においても、50%程度となっている。



重要度（行政運営）

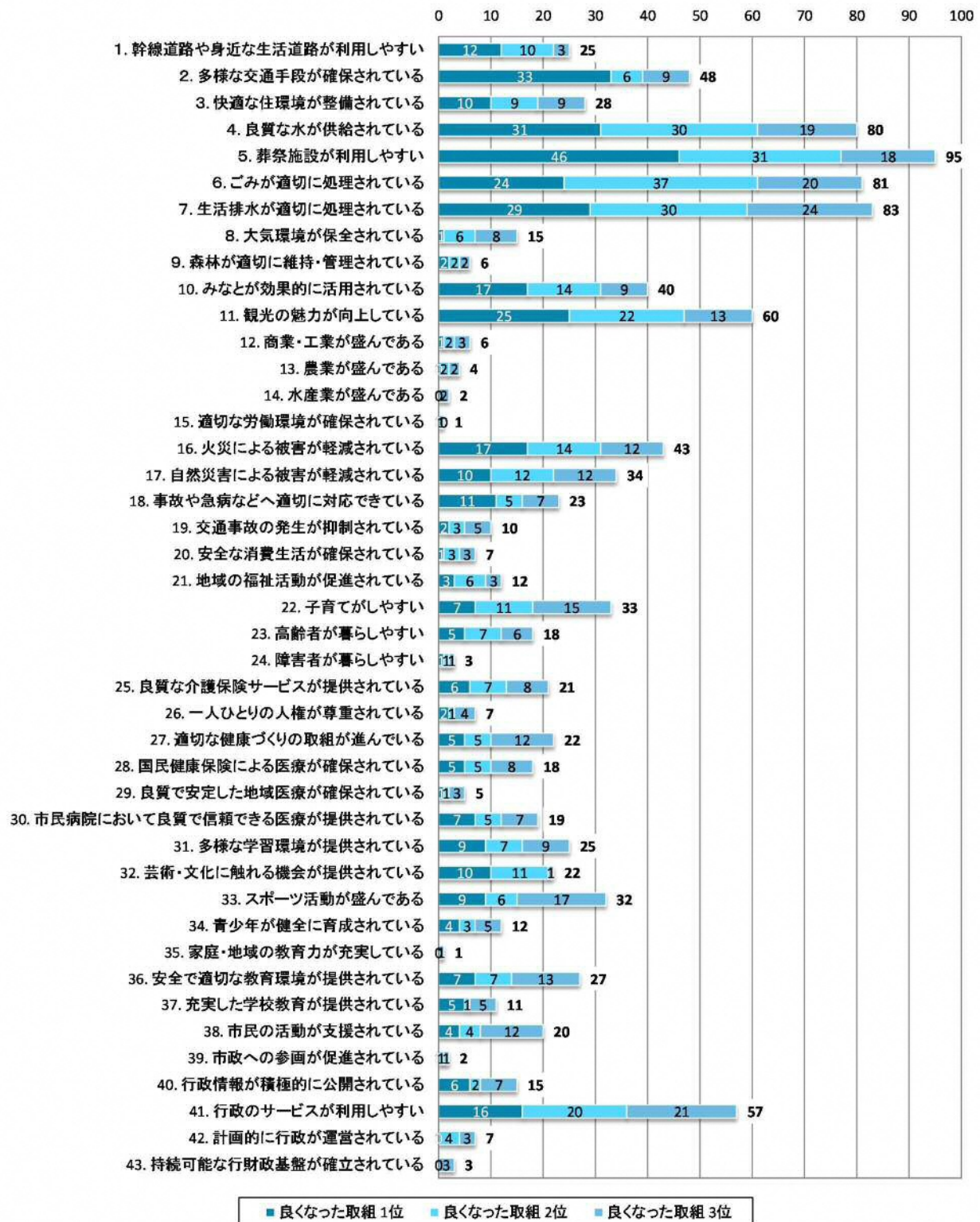
- ・玉野市の行政運営の重要度はいずれの項目においても、60%～70%程度となっている。なかでも、行政サービスの利便性や持続可能な行財政基盤の確立の重要性が高まっている。



問7. 問6の1～43の取組のうち、これまでの5年間で良くなったと思う取組、悪くなったと思う取組、今後特に力を入れるべきと思われる取組は何ですか。

これまでの5年間で良くなったと思う取組

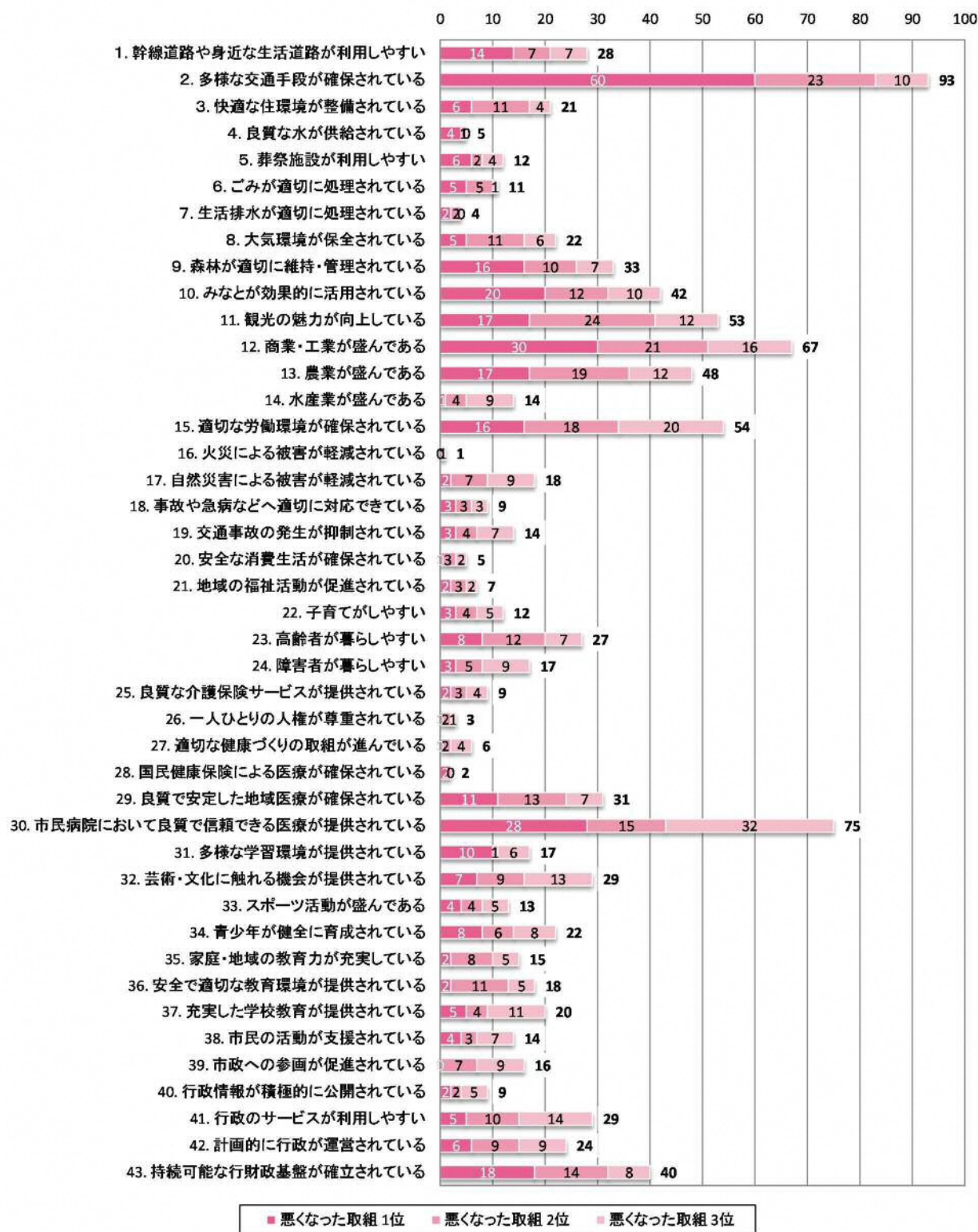
・これまでの5年間で最も良くなった取組は、葬祭施設の利便性となっており、回答者の約25%が良くなったと回答している。次いで、生活排水の適切な処理、ごみの適切な処理となっている。



N=384

これまでの5年間で悪くなったと思う取組

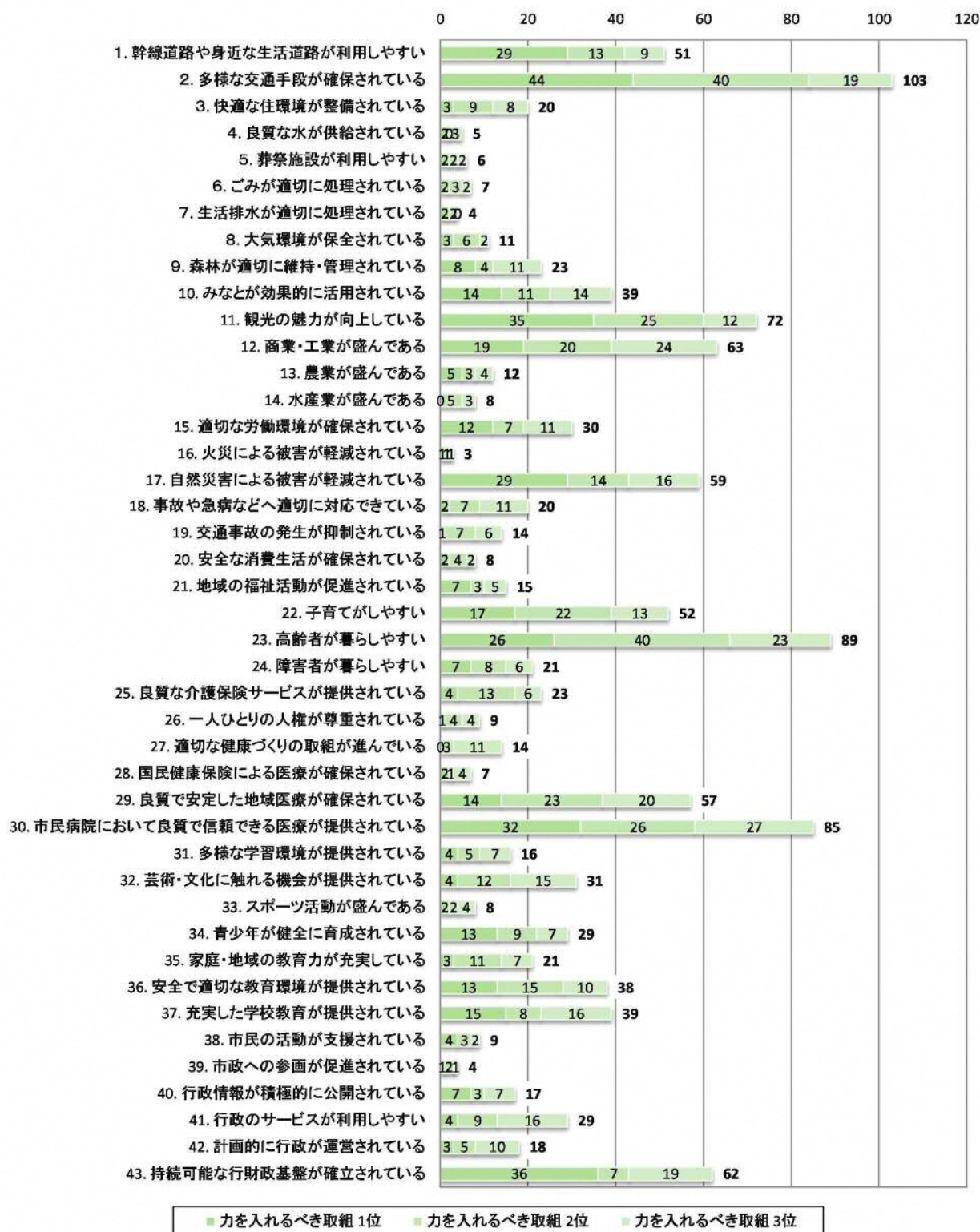
・これまでの5年間で悪くなったと思う取組は、多様な交通手段の確保となっており、回答者の約26%が、悪くなったと応えている。次いで、市民病院における良質で信頼できる医療の提供、商業・工業の振興となっている。



N=359

今後特に力を入れるべきと思われる取組

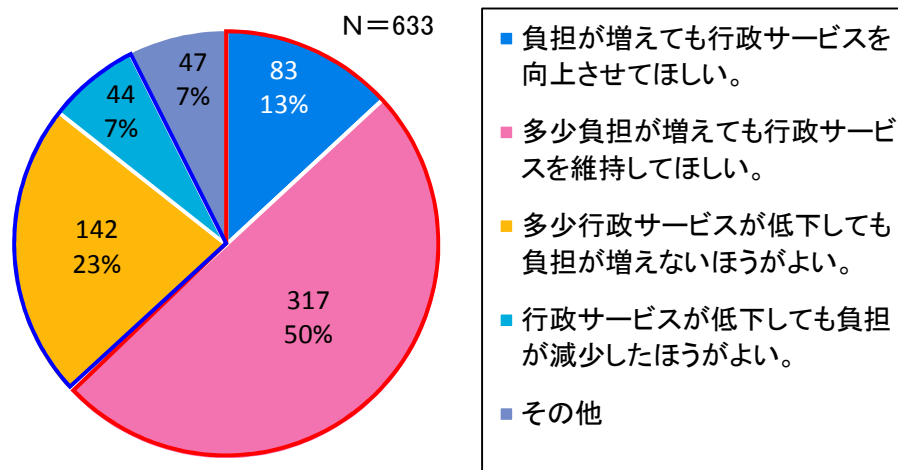
・今後特に力を入れるべきと思われる取組は、多様な交通手段の確保が最も多くなっている。次いで、高齢社会の進展の懸念もあり、高齢者の利便性や市民病院における良質で信頼できる医療の提供となっている。



N=434

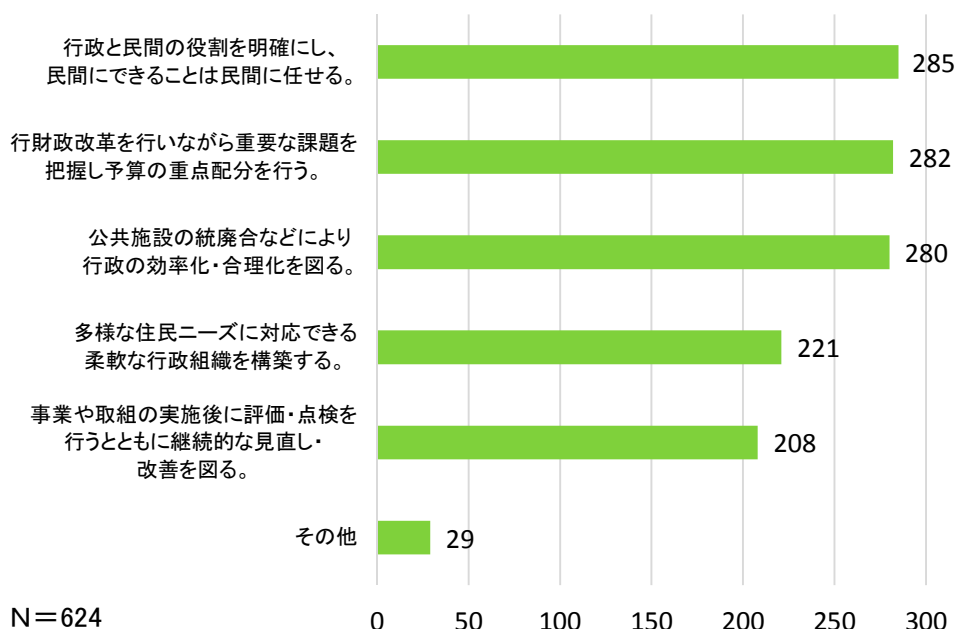
問 8-①. 全般的な行政サービスの水準と市民負担について、どのような対応をすることが望ましいと考えますか。

・全般的な行政サービスの水準と市民負担については、回答者の半数以上が、負担が増えても行政サービスを維持・向上してほしいと答えている。一方、30%の回答者が、行政サービスが低下しても負担を増やさないほうがいいと答えている。



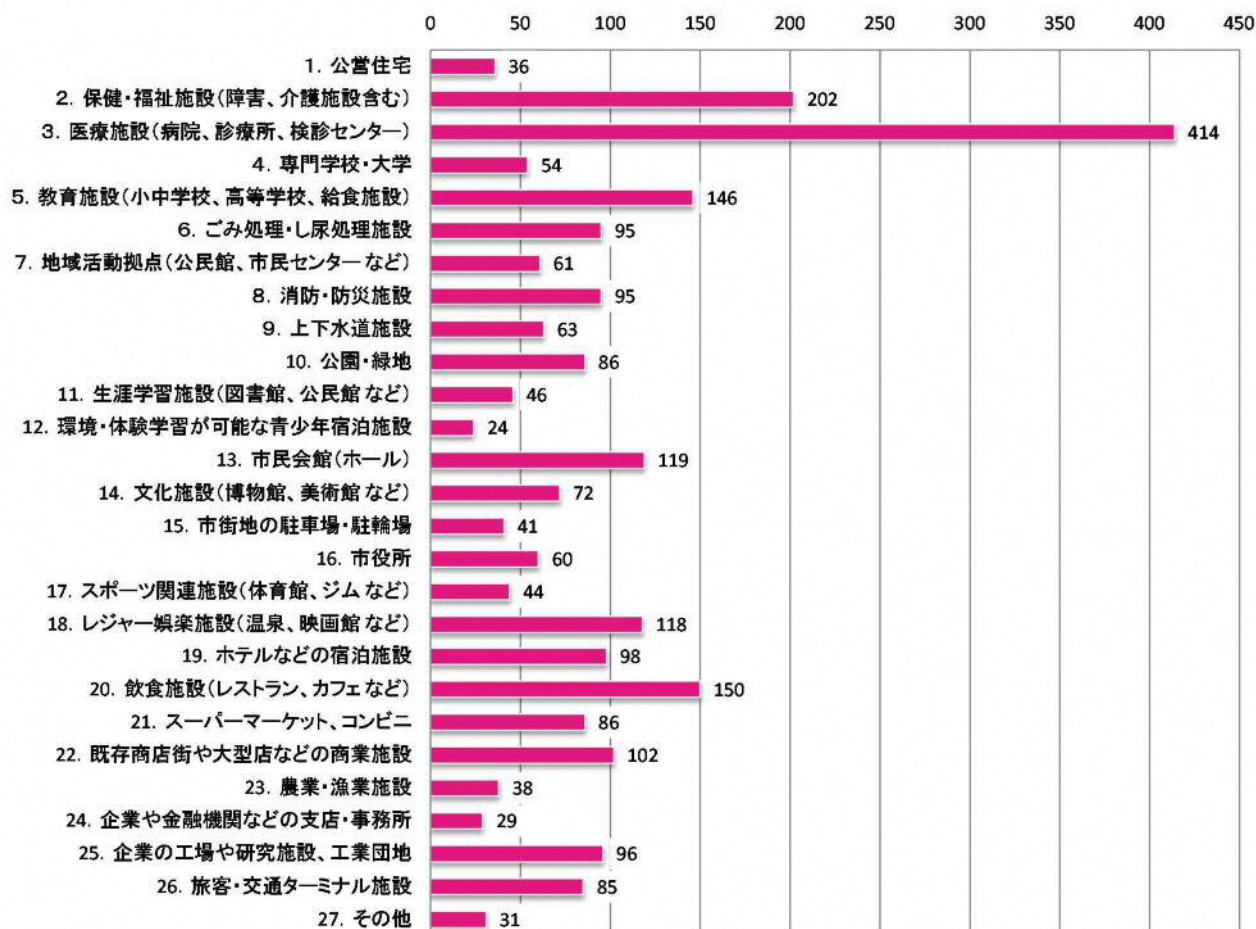
問 8-②. 効率的な行政運営を行うため、どのようなことを重点的に取り組むべきだと考えますか。
(複数回答)

・効率的な行政運営を行うため、行政と民間の役割の明確な区分や課題に応じた予算の重点配分、公共施設の統廃合等による効率化・合理化等が特に多くなっている。



問 9. 今後玉野市において充実を図るべき施設は、何だと考えますか。(複数回答)

・今後玉野市において充実を図るべき施設は、医療施設が最も多く、回答者の約 65%が必要と答えている。次いで、保健・福祉施設となっている。

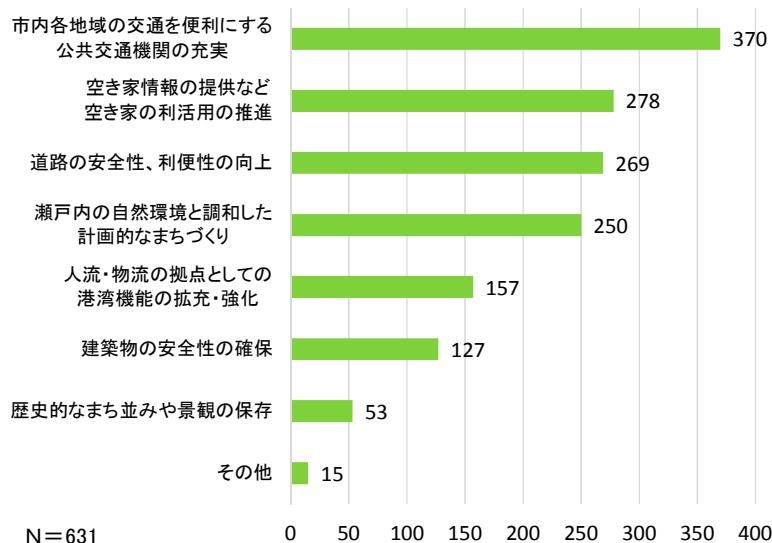


N=641

4 それぞれの分野に関する取組への期待・要望などについて

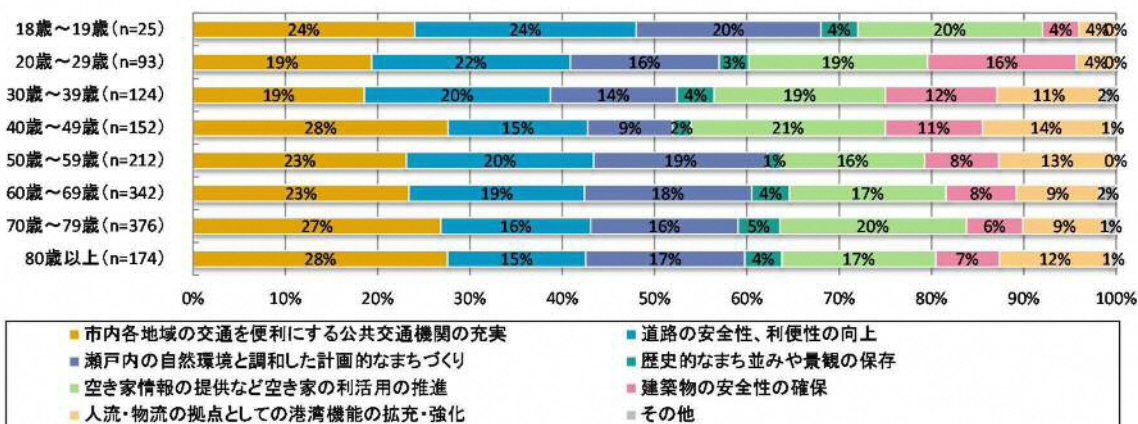
問 10-①. 都市機能・景観において重視する取組は何ですか。（複数回答）

・都市機能・景観において重視する取組については、公共交通機関の充実が最も多く、次いで、空き家の利活用、道路の安全性・利便性の向上となっている。



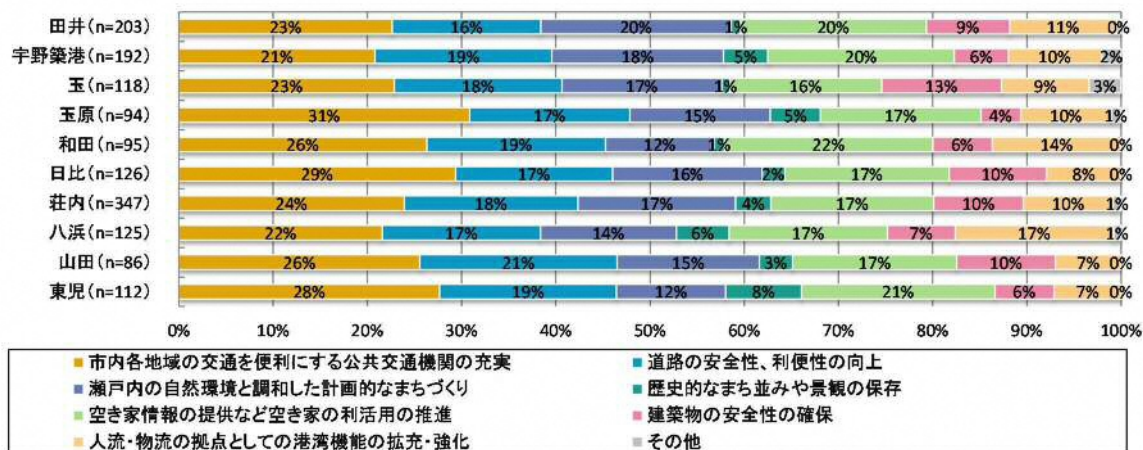
＜年齢別＞

・40歳以上では公共交通機関の充実が最も割合が高くなっている。また、建築物の安全性の確保は年齢とともに割合が低下している。



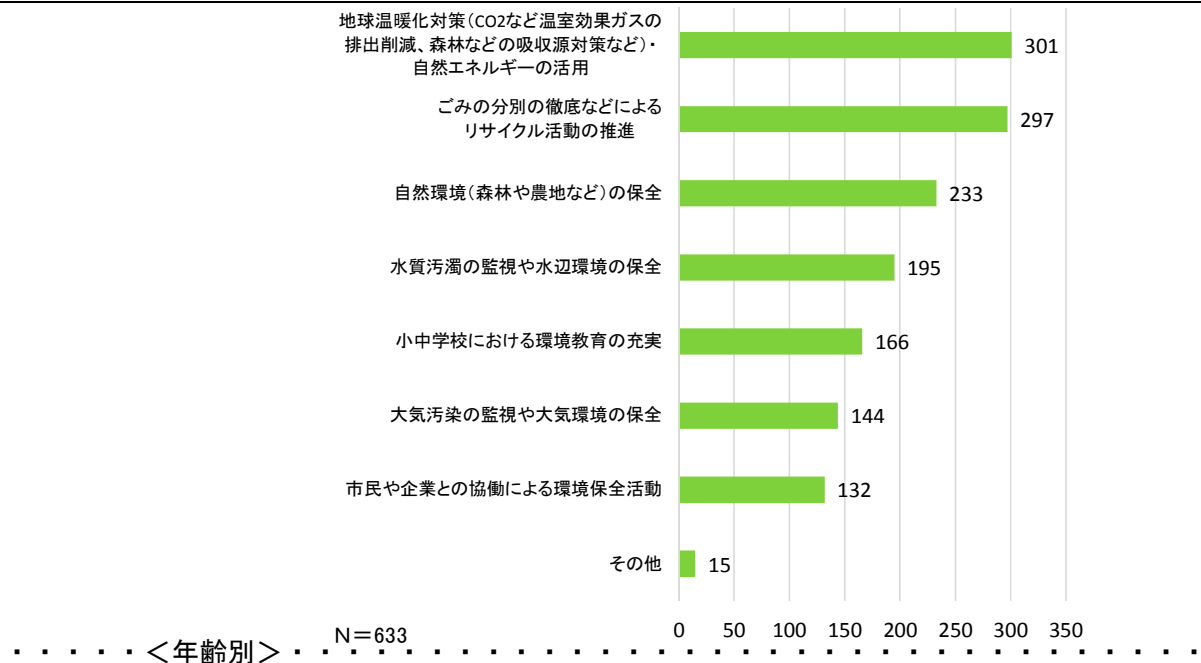
＜地域別＞

・いずれの地域においても公共交通機関の充実の占める割合が最も高くなっている。特に玉原地域で31%と最も高くなっている反面、宇野築港や八浜地域では20%程度となっている。

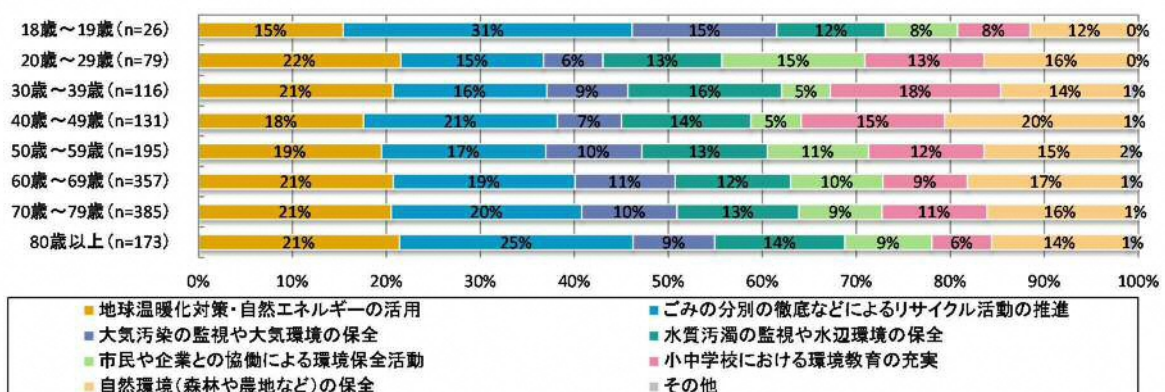


問 10-②. 環境・衛生において重視する取組は何ですか。(複数回答)

・環境・衛生において重視する取組については、地球温暖化対策・自然エネルギーの活用が最も多くなっており、次いで、リサイクル活動の推進や自然環境の保全となっている。

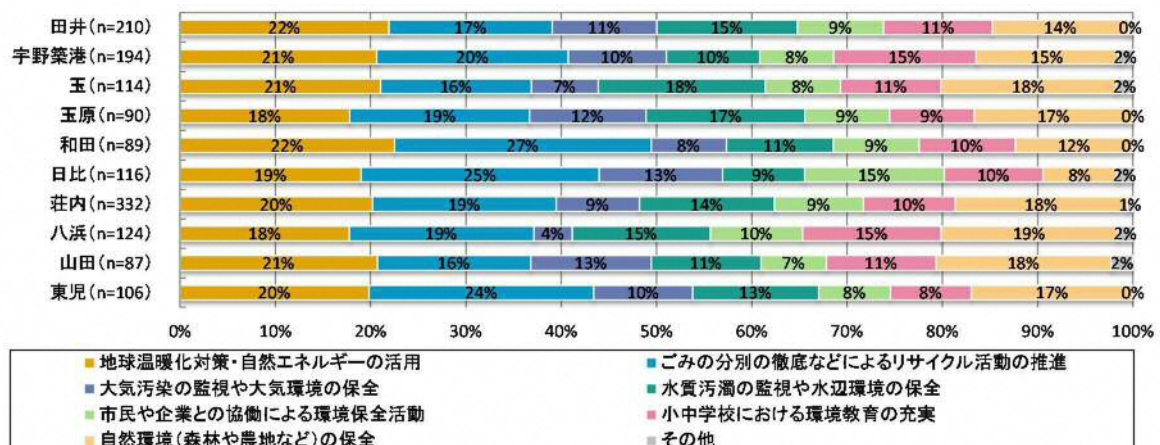


・30歳～39歳において、環境教育の充実が最も高くなっており、年代が上がるとともに、減少傾向となっている。また、協働による環境保全活動は年代によって、分散している。



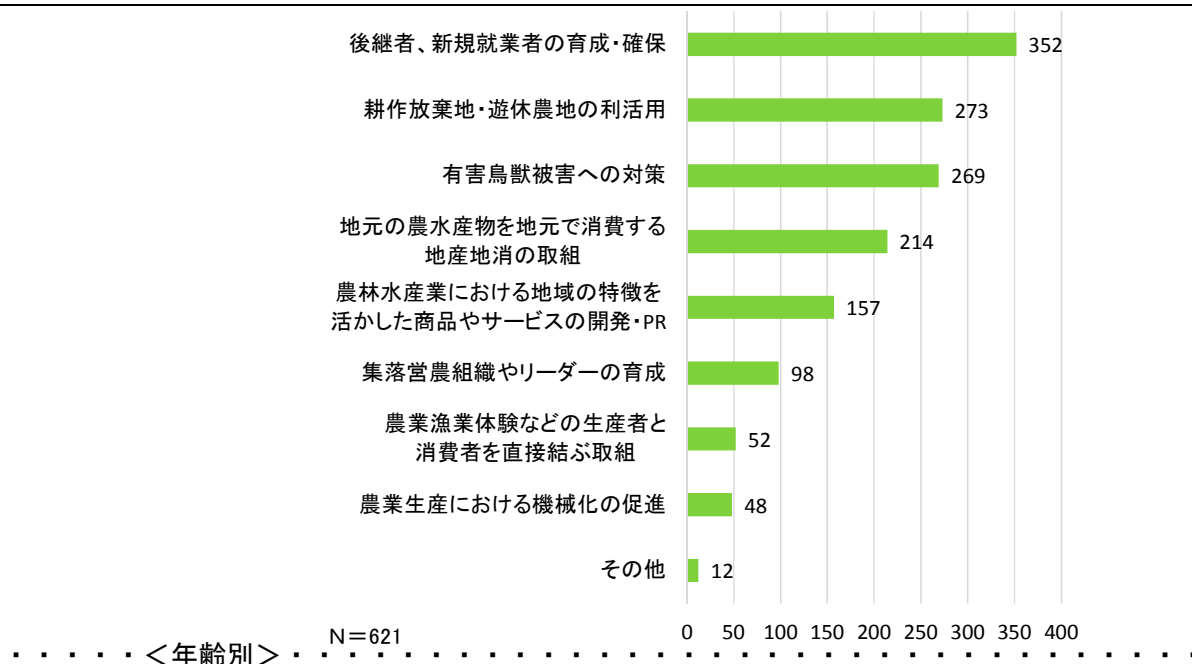
..... <地域別>

・和田地域で特にリサイクル活動の推進の割合が高くなっている。また、八浜地域では、大気環境の保全の割合が他地域に比べて、大幅に低くなっている。

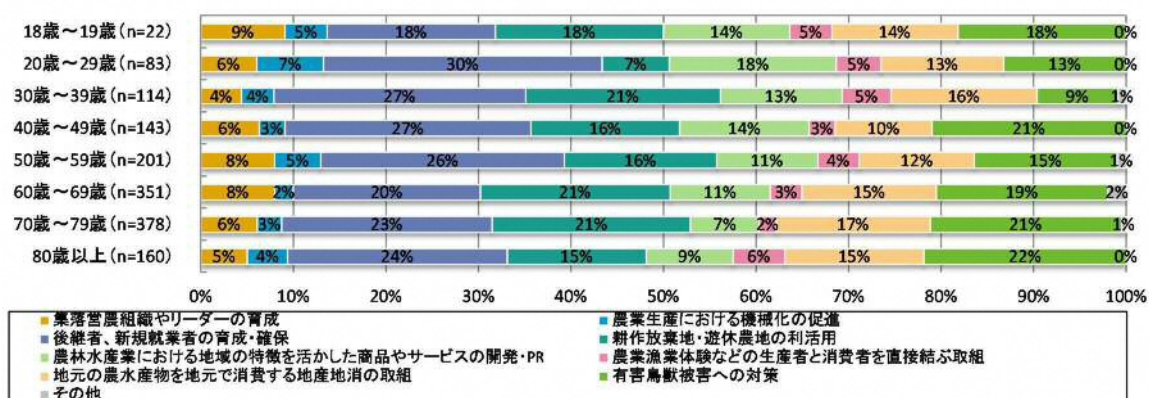


問 10-③. 農林水産業において重視する取組は何ですか。(複数回答)

- ・農林水産業において重視する取組については、後継者、新規就業者の育成・確保が最も多くなっており、次いで、耕作放棄地・遊休農地の利活用、有害鳥獣被害への対策となっている。

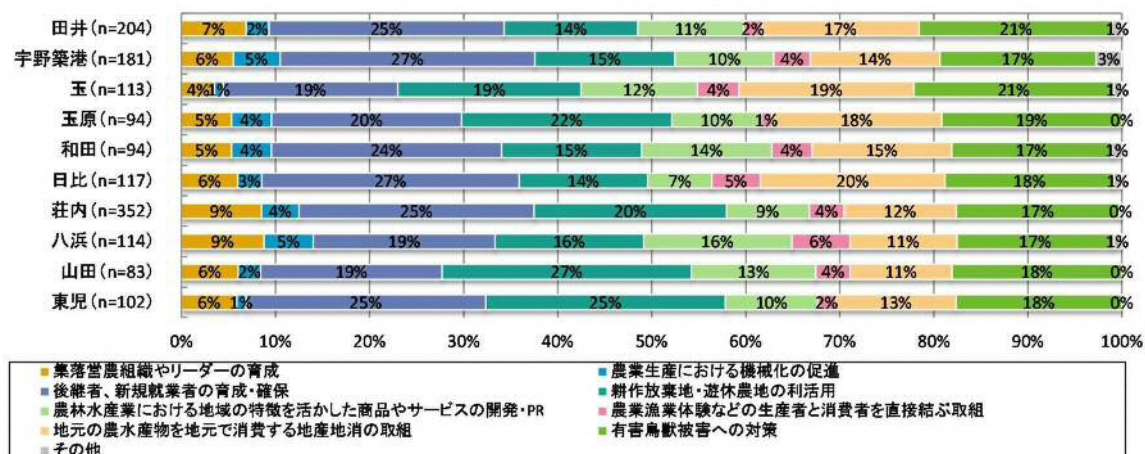


- ・20～29 歳において、耕作放棄地・遊休農地の利活用の割合が大幅に低くなっている一方で、後継者等の育成・確保や商品やサービスの開発・PR の割合は高くなっている。



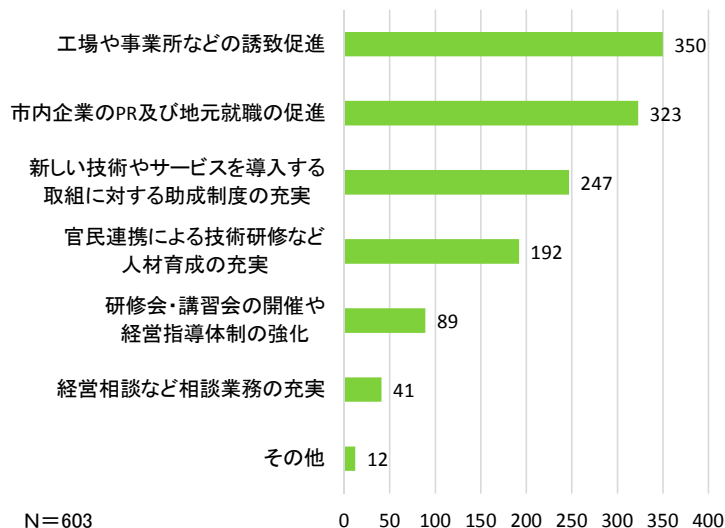
..... <地域別>

- ・日比や玉、玉原地域等で、地産地消の取組の割合が高くなっている一方、八浜や山田、荘内、東児地域では割合が低くなっている。



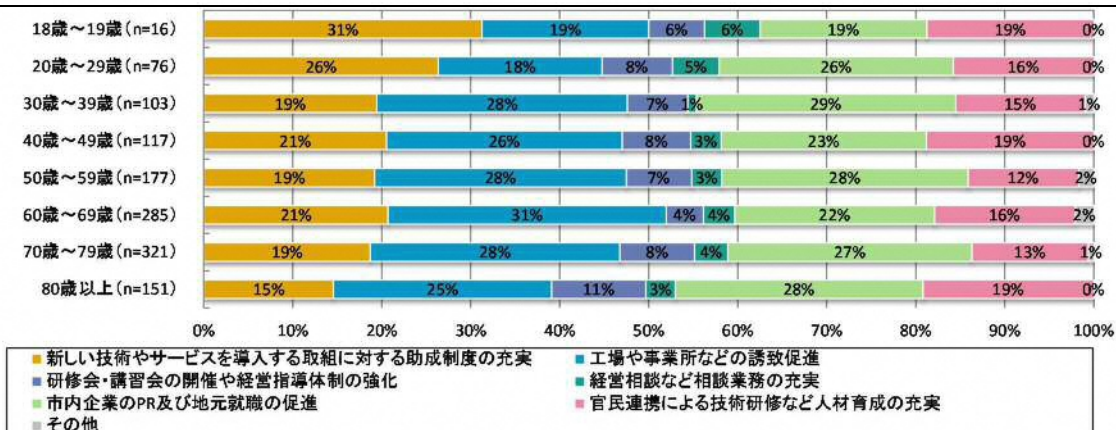
問 10-④. 工業において重視する取組は何ですか。(複数回答)

- ・工業において重視する取組については、工場や事業所等の誘致促進が最も多く、次いで、市内企業のPR及び地元就職の促進、新たな技術等の導入に対する助成制度の充実となっている。



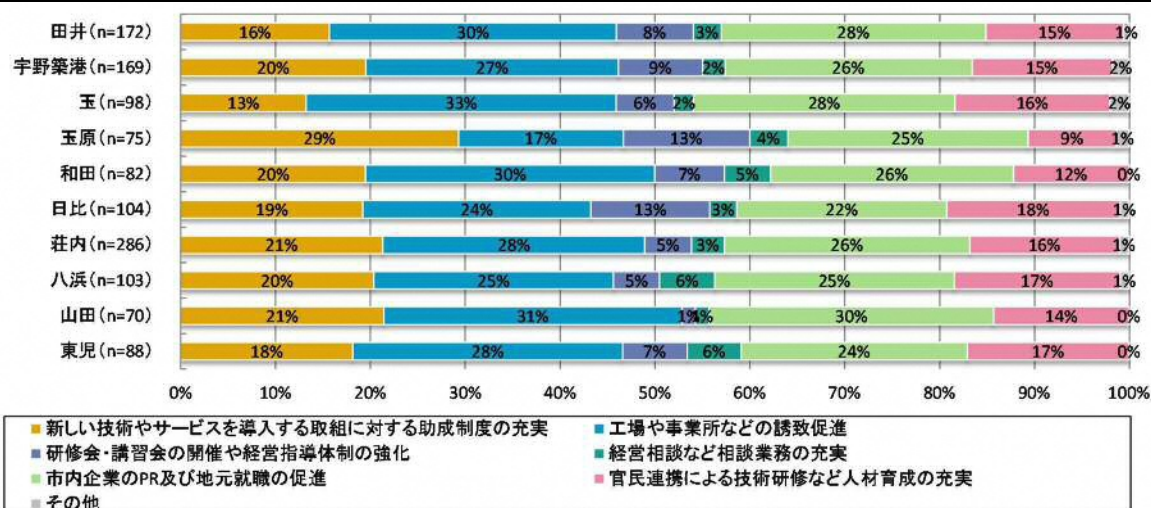
＜年齢別＞

- ・新たな技術等の導入に対する助成制度は18～19歳の割合が最も高く、年代が上がるごとに低下している。また、工場や事業所等の誘致促進は、年代が上がるごとに増加傾向にあり、60～69歳でピークとなっている。



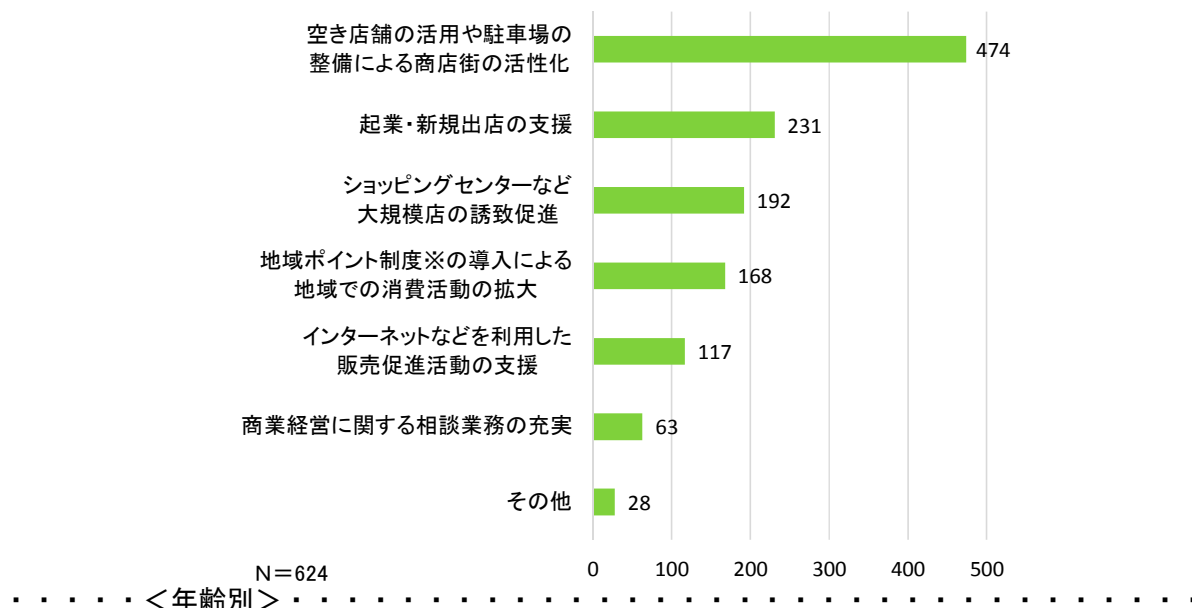
＜地域別＞

- ・玉原地域で、新たな技術等の導入に対する助成制度の充実の割合が最も高くなっている。一方、工場や事業所等の誘致促進は最も低くなっている。他の項目の地域間の大きな違いはなかった。

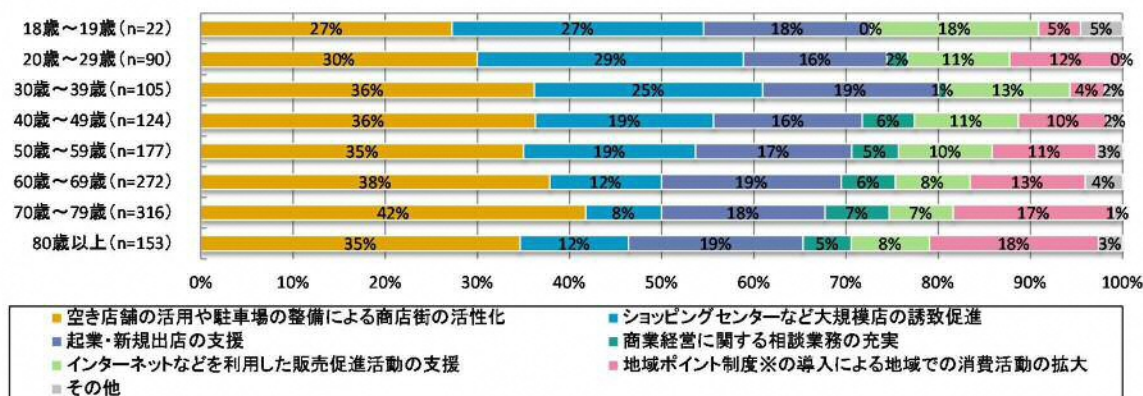


問 10-⑤. 商業において重視する取組は何ですか。（複数回答）

・商業において重視する取組については、空き店舗の活用や駐車場整備による商店街の活性化が最も多く、76%が必要と答えている。次いで、起業・新規出店の支援、大規模店の誘致となっている。

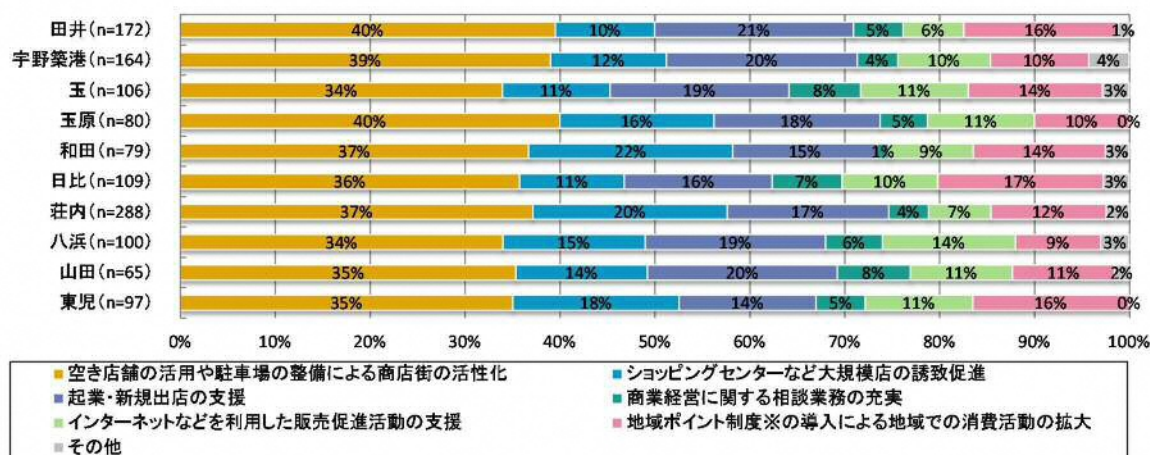


・年代が上がるごとに、商店街の活性化の割合が増加する一方で、大規模店の誘致促進の割合が低下する傾向にある。



・地域別

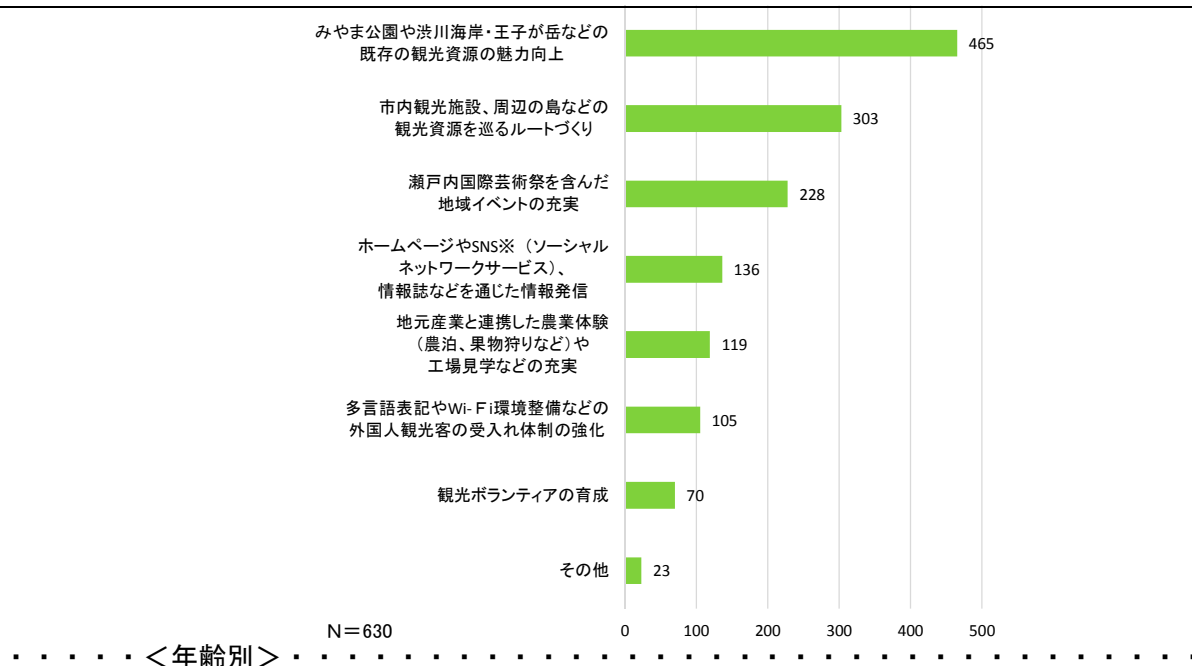
・八浜や玉原、宇野築港地域で、地域での消費活動の拡大の割合が低くなっているものの、地域間で大きな違いはなかった。



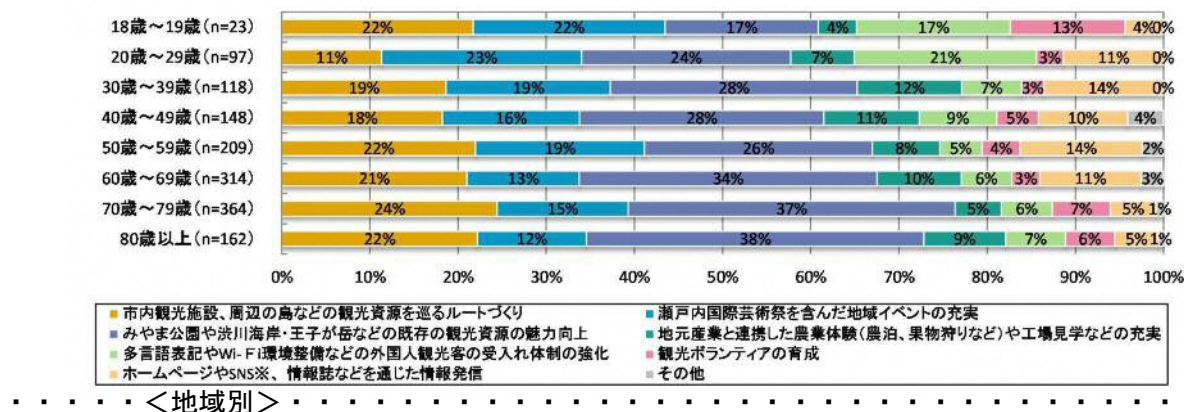
※地域ポイント制度：健康ポイントやボランティアポイントなど、地域活動の参加者に対してポイントを付与し、地域におけるイベントやサービスなどで利用できる仕組みや制度。

問 10-⑥. 観光において重視する取組は何ですか。(複数回答)

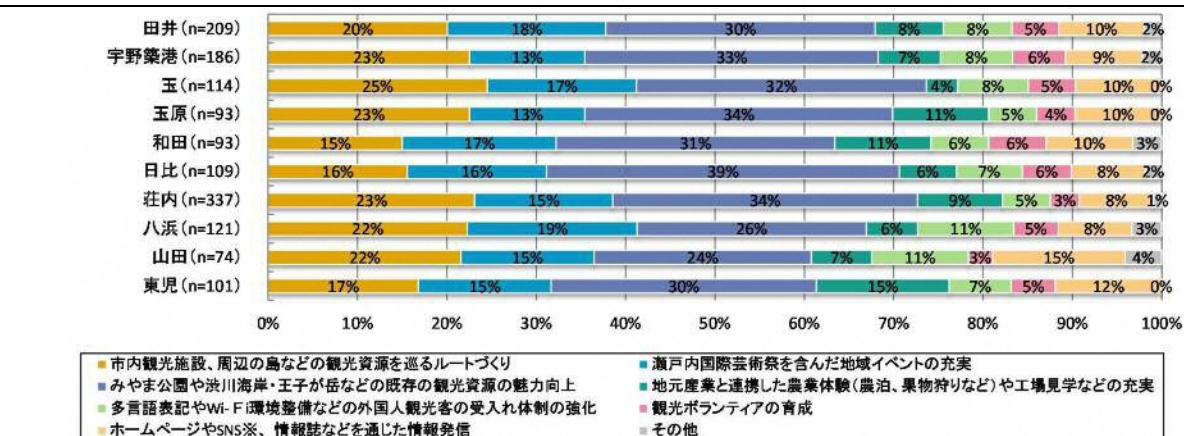
- ・観光において重視する取組については、既存の観光資源の魅力向上が最も多く、次いで、観光資源を巡るルートづくり、地域イベントの充実となっている。



- ・年代が上がるごとに、既存の観光資源の魅力向上の割合が増加する一方で、地域イベントの充実の割合が低下する傾向にある。また、20～29 歳において、外国人観光客の受入れ体制の強化の割合が高くなっている。



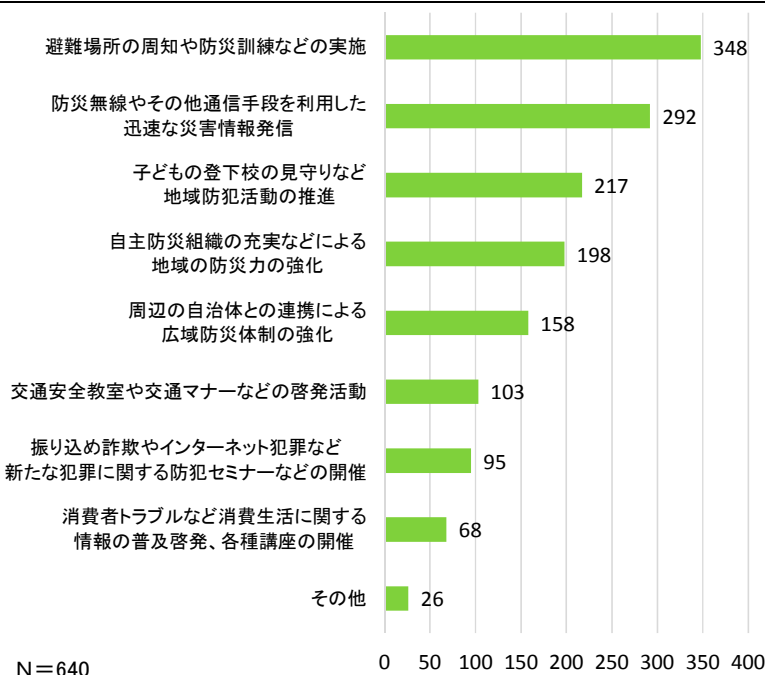
- ・日比地域において、既存の観光資源の魅力向上の割合が最も高くなっている。また、東児地域では農業体験や工場見学等の充実の割合が高くなっている。



※ SNS：人と人とのつながりをサポートするコミュニティ型のインターネットサイト。（フェイスブック、ツイッター、インスタグラム等）

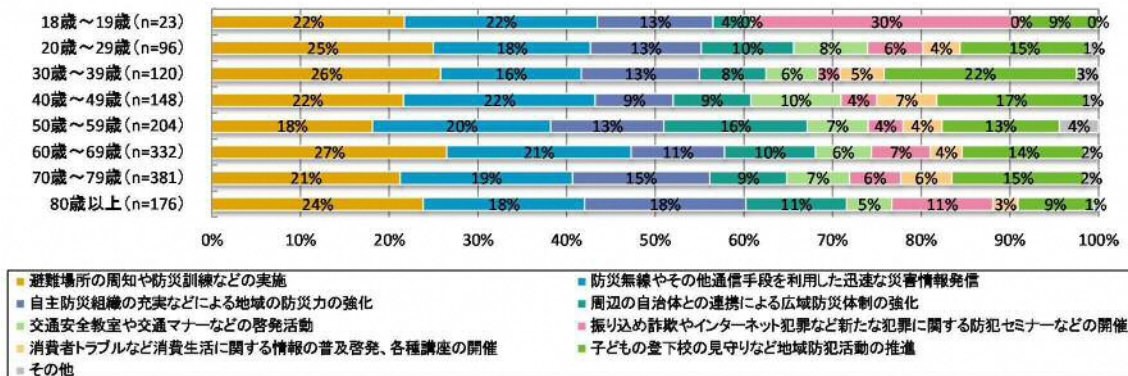
問 10-⑦. 防災・防犯において重視する取組は何ですか。(複数回答)

・防災・防犯において重視する取組については、避難場所の周知や防災訓練等の実施が最も多く、次いで、迅速な災害情報の発信や地域防犯活動の推進となっている。



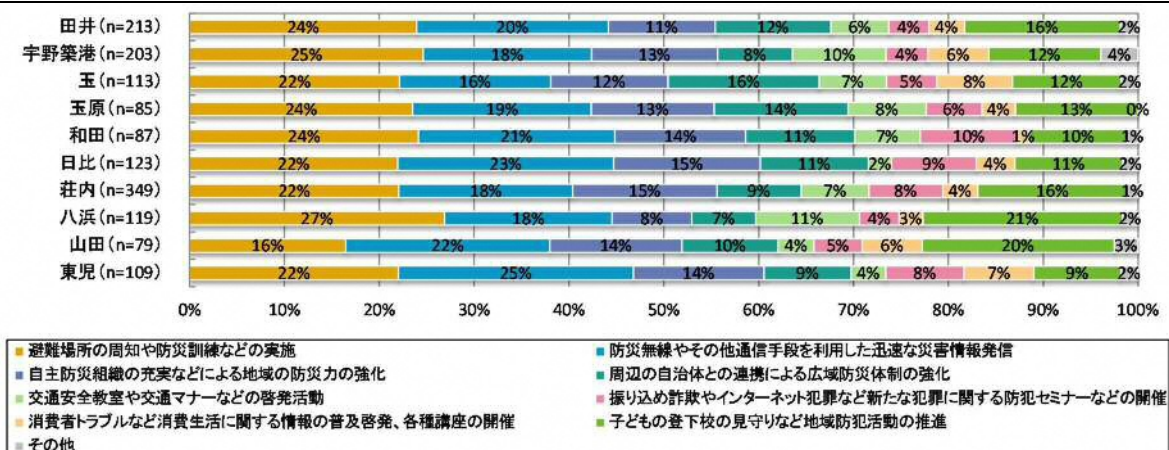
・ ・ ・ ・ ・ <年齢別> ・ ・ ・ ・ ・

・18～19歳において、防犯セミナー等の開催の割合が非常に高くなっている一方で、地域の防犯活動の推進の割合は低くなっている。



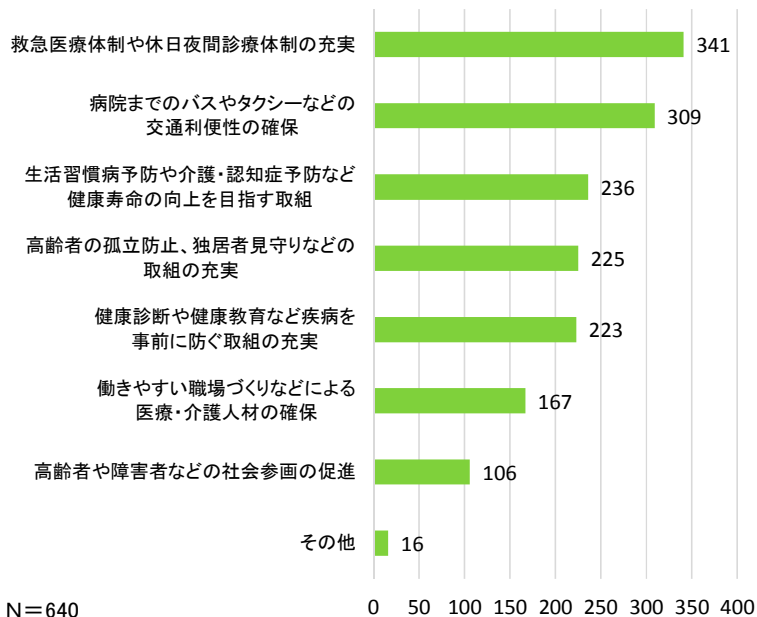
・ ・ ・ ・ ・ <地域別> ・ ・ ・ ・ ・

・山田地域で、避難場所の周知や防災訓練等の実施や交通安全に関する啓発活動の割合が他地域に比べ低くなっている一方で、地域防犯活動の推進の割合は八浜地域に次いで高くなっている。



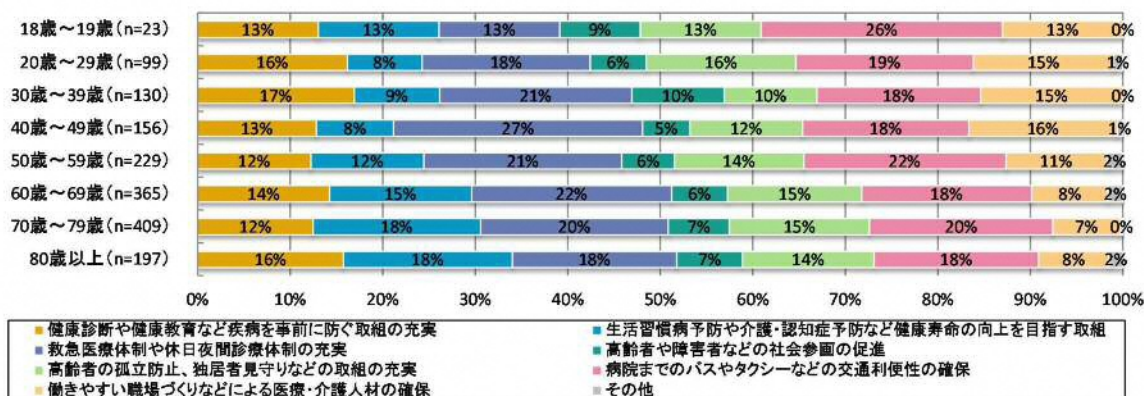
問 10-⑧. 保健・医療・福祉において重視する取組は何ですか。(複数回答)

・保健・医療・福祉において重視する取組については、救急医療体制や休日夜間診療体制の充実が最も多く、次いで、病院までの交通利便性の確保、健康寿命の向上を目指す取組となっている。



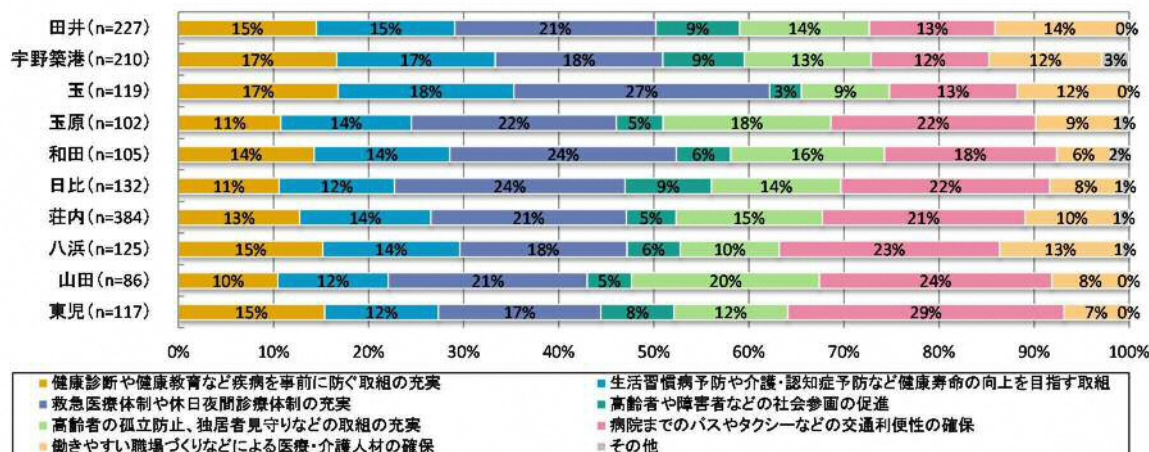
＜年齢別＞

・年代が上がるごとに、健康寿命の向上を目指す取組の割合が増加する一方で、医療・介護人材の確保の割合が低下する傾向にある。



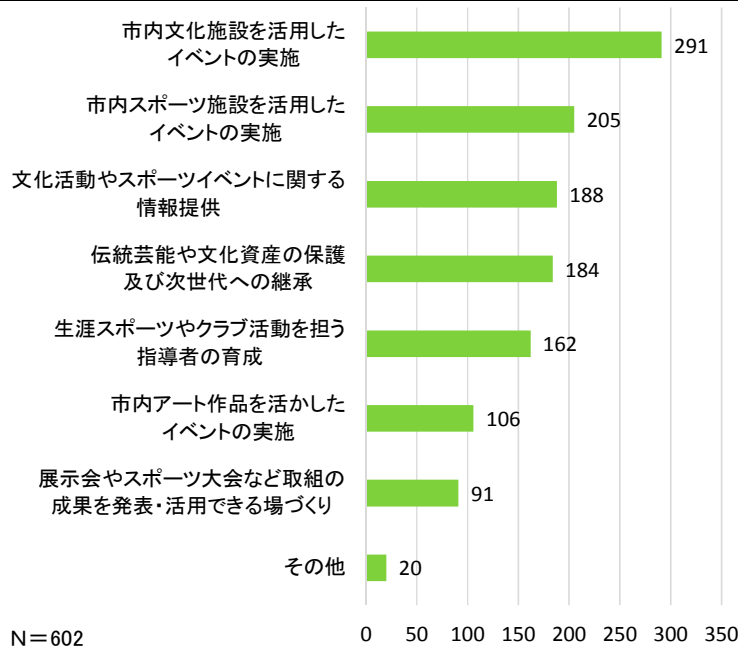
＜地域別＞

・玉地域で特に、救急医療体制や休日夜間診療体制の充実の割合が高くなっている。



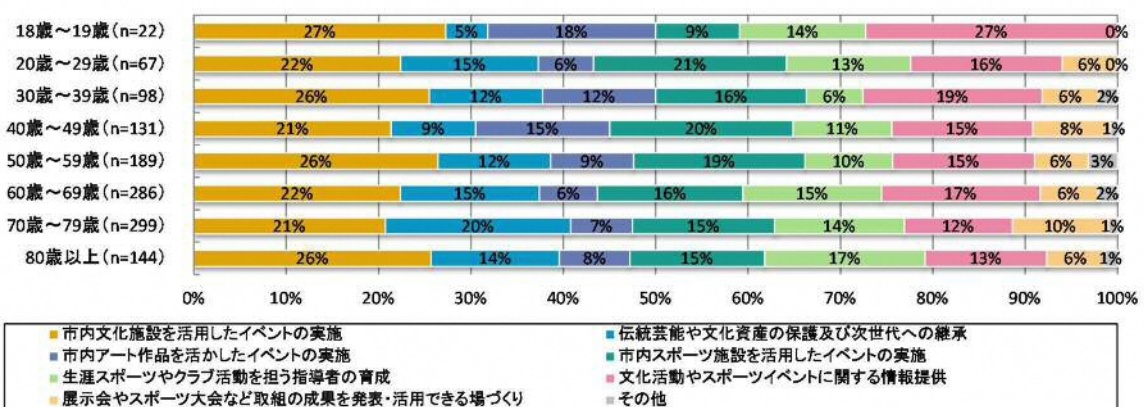
問 10-⑨. 文化・スポーツにおいて重視する取組は何ですか。(複数回答)

・文化・スポーツにおいて重視する取組については、市内文化施設を活用したイベントの実施が最も多くなっており、次いで、市内スポーツ施設を活用したイベントの実施、情報提供となっている。



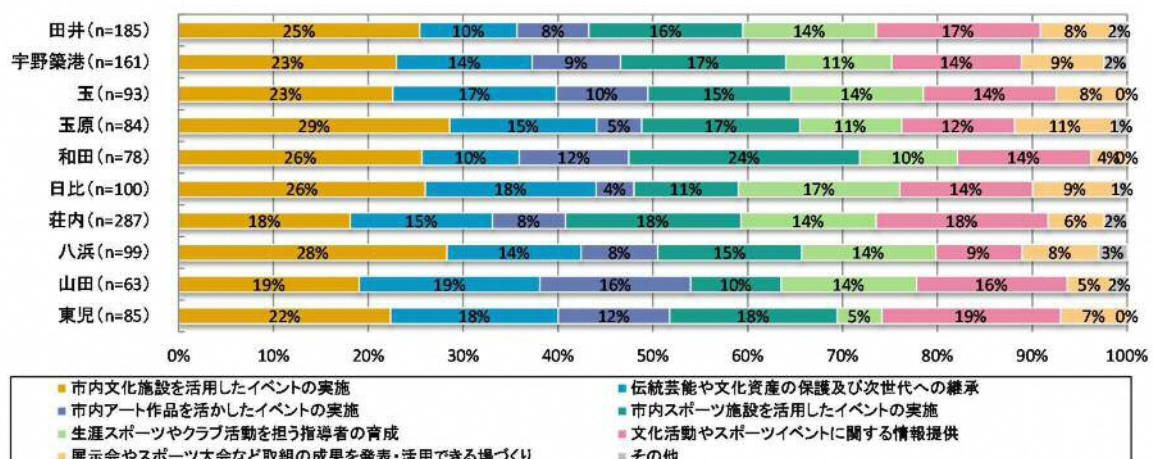
．．．．．＜年齢別＞．．．．． N=602

・いずれの年代も概ね同様の傾向を示しているが、18～19歳において、伝統芸能等の保護や次世代への継承の割合が低く、情報提供の割合が高くなっている。



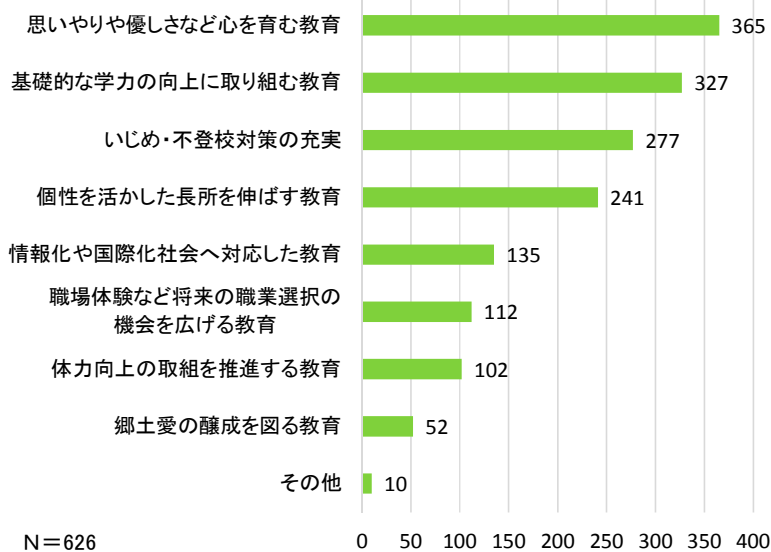
．．．．．＜地域別＞．．．．．

・和田地域で特に、市内スポーツ施設を活用したイベントの実施の割合が高くなっている。また、東児地域では、指導者の育成の割合が他地域と比べて低くなっている。



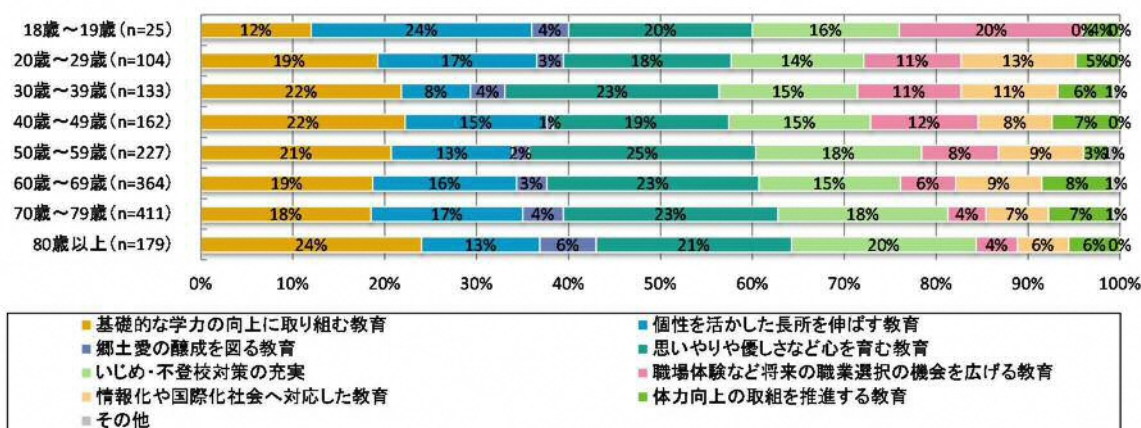
問 10-⑩. 教育において重視する取組は何ですか。(複数回答)

・教育において重視する取組については、心を育む教育が最も多くなっており、次いで、基礎学力の向上に取り組む教育、いじめ・不登校対策の充実となっている。



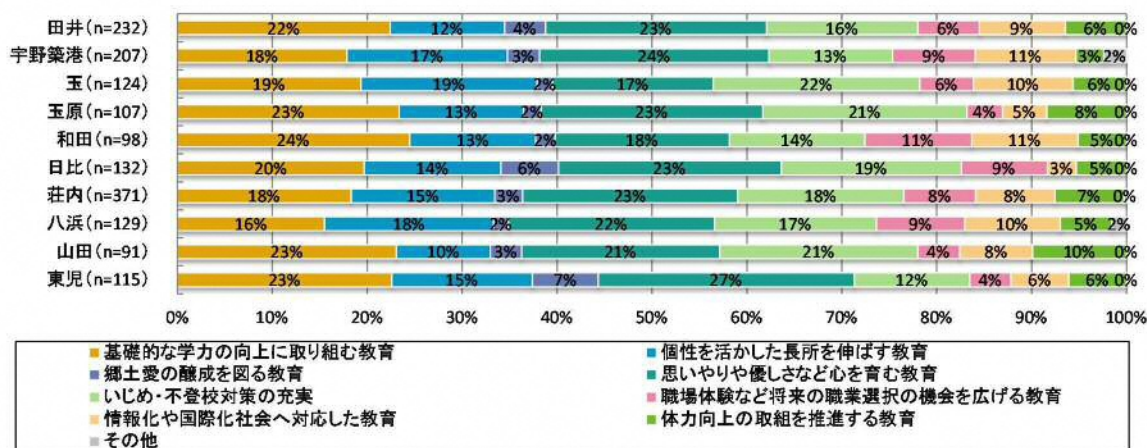
＜年齢別＞

・年代が上がるごとに、将来の職業選択の機会を広げる教育の割合が低下する傾向にある。



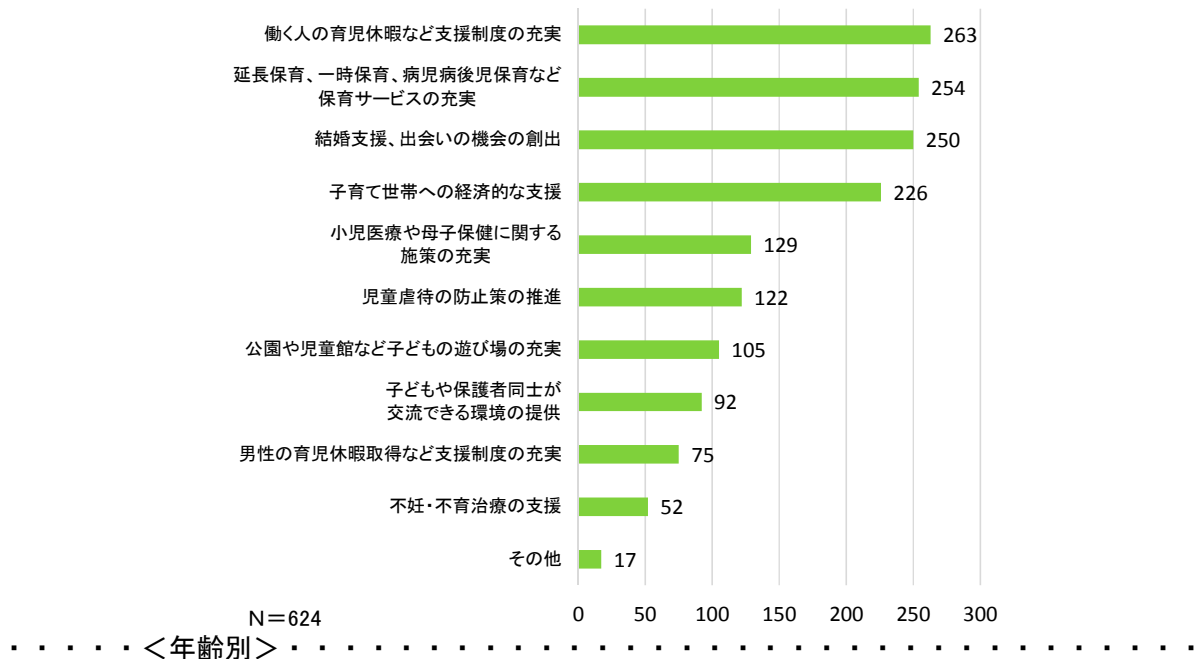
＜地域別＞

・東児地域において特に、心を育む教育の割合が高くなっている一方で、いじめ・不登校対策の充実の割合が低くなっている。



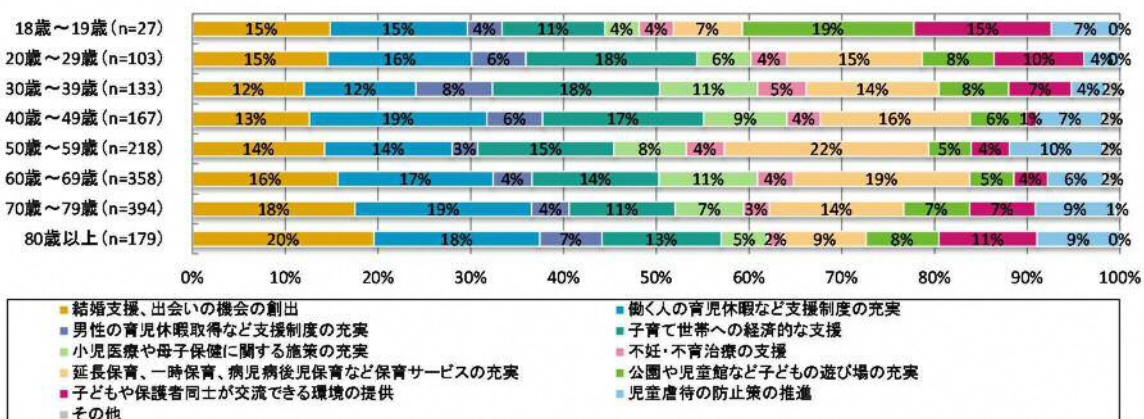
問 10-⑪. 少子化対策・子育てにおいて重視する取組は何ですか。(複数回答)

- ・少子化対策・子育てにおいて重視する取組については、育児に対する支援制度の充実が最も多く、次いで、保育サービスの充実、結婚支援、出会いの機会の創出となっている。



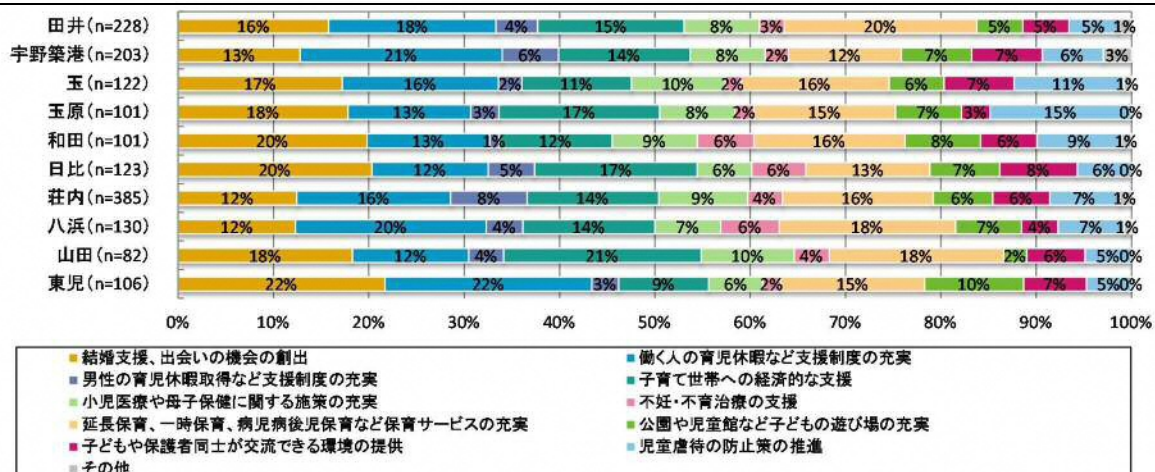
＜年齢別＞

- ・年代が上がるごとに、結婚支援、出会いの機会の創出の割合が増加する一方で、子育て世帯への経済的な支援の割合が低下する傾向にある。



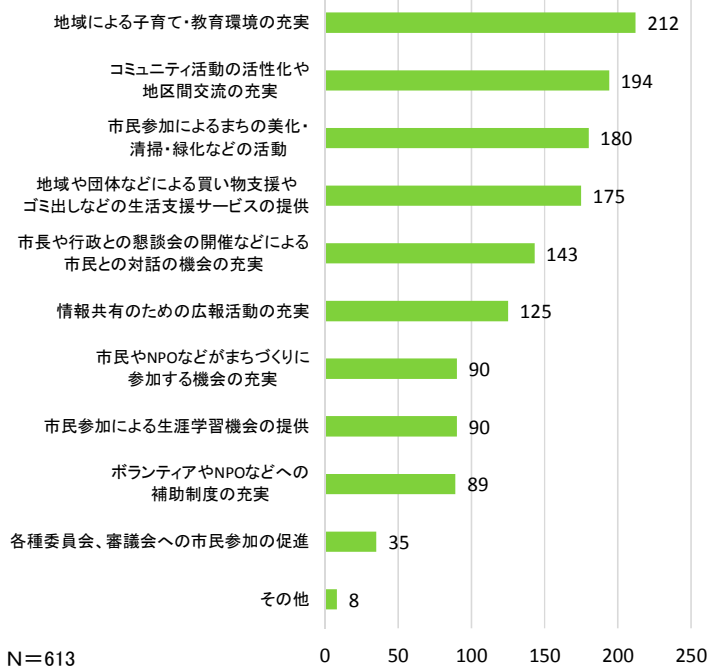
＜地域別＞

- ・荘内や八浜、宇野築港地域において、結婚支援、出会いの機会の創出の割合が低くなっている。また、玉原地域では、児童虐待の防止策の推進の割合が高くなっている。



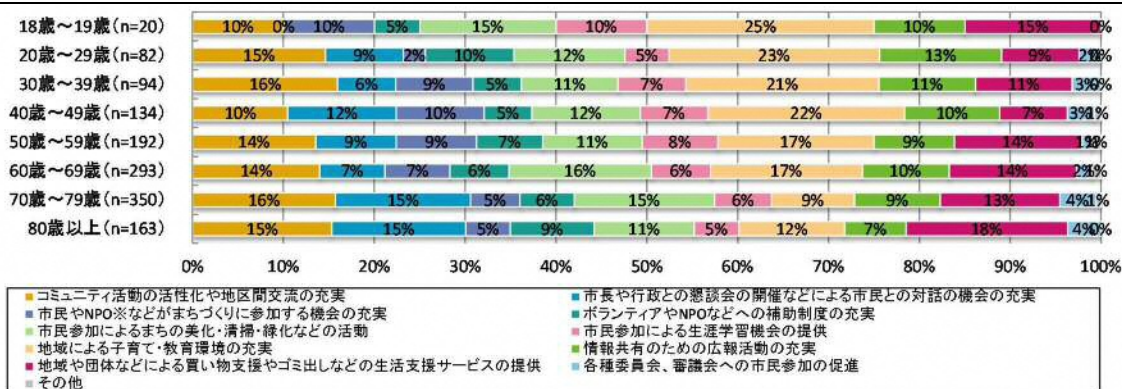
問 10-⑫. 地域活動・市民協働において重視する取組は何ですか。(複数回答)

・地域活動・市民協働において重視する取組については、地域による子育て・教育環境の充実が最も多くなっており、次いで、コミュニティ活動の活性化や地区間交流の充実、市民参加による美化・清掃・緑化等の活動となっている。



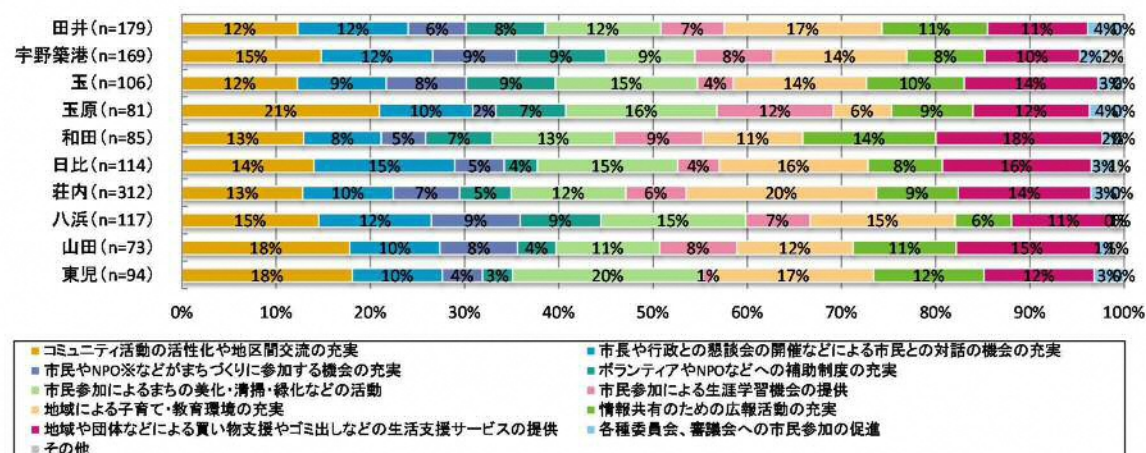
＜年齢別＞

・年代が上がるごとに、市民との対話機会の充実の割合が増加する一方で、子育て・教育環境の充実の割合が低下する傾向にある。



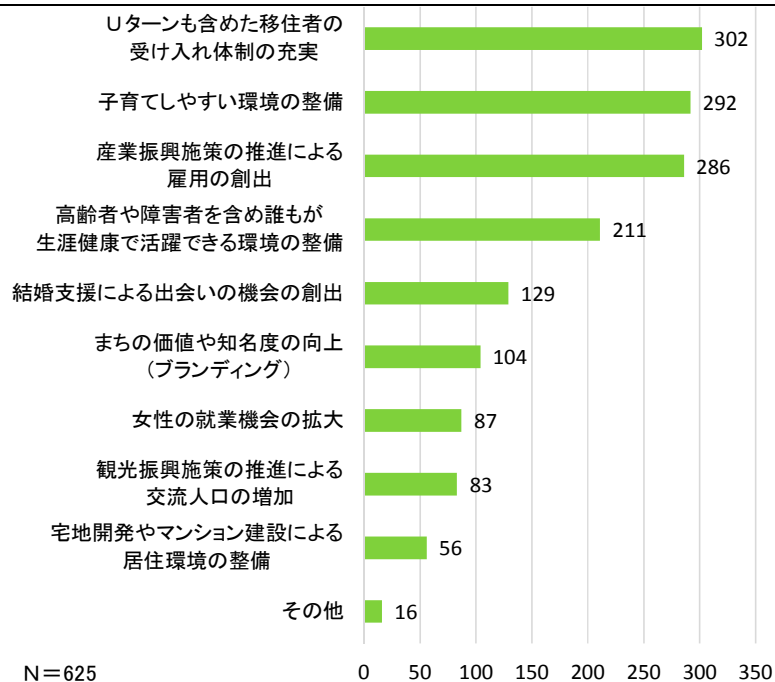
＜地域別＞

・玉原地域において、コミュニティ活動の活性化や地区間交流の充実の割合が特に高くなっている。



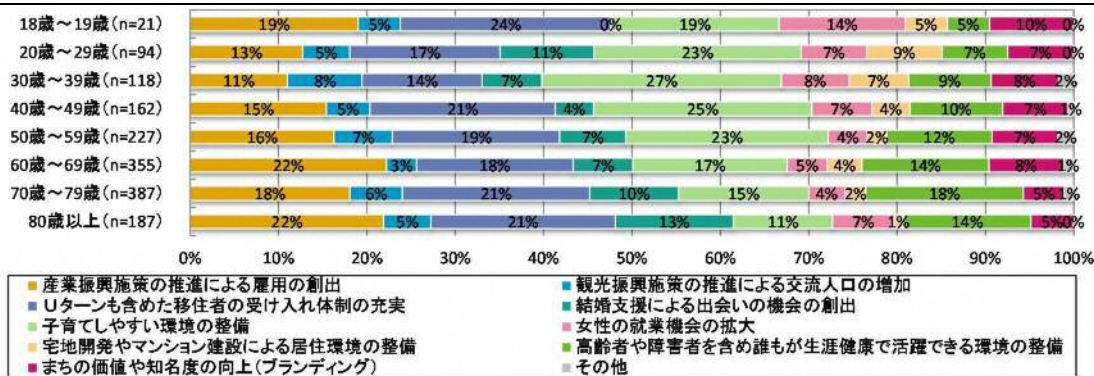
問 10-⑬. 人口減少対策において重視する取組は何ですか。(複数回答)

- ・人口減少対策において重視する取組については、移住者の受入れ体制の充実が最も多く、次いで、子育てしやすい環境の整備、雇用の創出となっている。



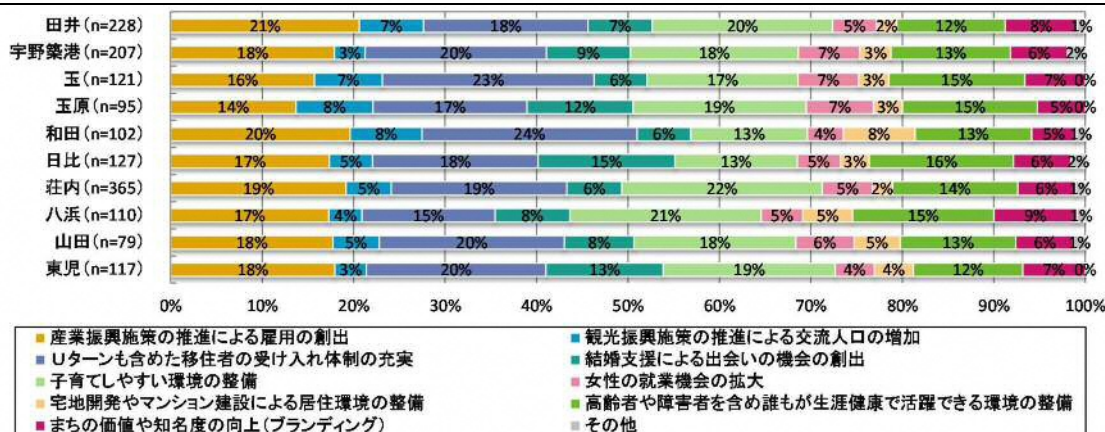
..... <年齢別>

- ・年代が上がるごとに、雇用の創出や生涯活躍できる環境の整備の割合が増加する一方で、子育てしやすい環境の整備の割合が低下する傾向にある。



..... <地域別>

- ・特に和田地域で、移住者の受入れ体制の充実の割合が高くなっているものの、地域間の大きな違いはみられなかった。



5 その他・ご意見・ご提言

- ・自由意見の記載票数は222件で、回収数に占める記載率は約33%であった。
- ・記載のあった意見は主に以下のとおりに分類され、310の内容の意見が寄せられた。

■自由意見の分類

●まちづくりに関するご意見	13	●安全・安心の確保に関するご意見	13
企業誘致	3	SNS・インターネット以外の情報の発信	3
魅力・賑わいの創出	6	総合的な防災対策	5
PR強化	4	浸水対策	3
●土地利用・市街地整備に関するご意見	17	耐震補強	1
商店街等の地域の賑わい創出	4	避難場所の整備	1
空き家・空地等の未利用地の有効活用	6	●福祉・子育て環境に関するご意見	28
商業施設の誘致や再開発等の土地の適正利用	7	医療・福祉の充実	19
●若者支援に関するご意見	22	高齢者福祉の充実	1
若者支援	2	子育て支援の充実	8
出会いの場・結婚支援	2	●教育環境に関するご意見	18
働き場の整備・確保	18	エアコン整備	13
●交通環境に関するご意見	36	教育の充実	5
公共交通機能の強化・充実	28	●観光に関するご意見	31
道路拡幅・整備	3	総合的な観光振興	8
幹線道路の整備・アクセス道の整備	5	周遊観光	1
●都市施設の整備に関するご意見	20	滞在施設の整備	10
河川・海岸整備	1	魅力の創出	6
上下水道整備	1	魅力の発信	6
駐車場整備	1	●景観・環境に関するご意見	8
公共施設の適正配置・整備	12	景観保全	4
公園の整備	3	地域の清掃	2
公園の活用	2	みどりの保全	1
●生活環境の向上に関するご意見	18	電柱の地中化	1
街灯整備	1	●市役所に関するご意見	15
地域の安全性の向上	5	サービス・職員の対応など	15
居住環境の維持・向上	6	●市長・市議会に関するご意見	11
騒音対策	1	議員の削減	11
防犯	2	●その他	60
交流施設の配置	3	●合計	310

1. あなたご自身のことについて

問1 あなたご自身のことについてお聞きます。(あてはまる番号に○をつけてください。)

①性別

1. 男	2. 女
------	------

②年齢

1. 18歳～19歳	2. 20歳～29歳	3. 30歳～39歳
4. 40歳～49歳	5. 50歳～59歳	6. 60歳～69歳
7. 70歳～79歳	8. 80歳以上	

③職業

1. 農林水産業	2. 自営業（商業・サービス業）	3. 自営業（工業）
4. 自営業（その他）	5. 会社員、団体職員	6. 会社・団体役員
7. 公務員	8. 主婦	9. 学生
10. 無職	11. その他（ ）	

④家族構成

1. 一人暮らし	2. 夫婦のみ	3. 夫婦と子ども、親と夫婦
4. 親と夫婦と子ども	5. その他（ ）	

⑤お住まいの地区

1. 田井地域	田井
2. 宇野・築港地域	宇野、築港
3. 玉地域	玉、奥玉
4. 玉原地域	玉原、玉原ニュータウン、レイク玉原
5. 和田地域	和田、御崎（御崎シサイドを除く）
6. 日比地域	御崎シサイド、向日比、深井町、羽根崎町、明神町、日比、渋川
7. 荘内地域	東高崎、宇藤木、用吉、木目、小島地、広岡、滝、永井、長尾（玉原ニュータウン、レイク玉原を除く）、迫間、槌ヶ原、東紅陽台
8. 八浜地域	八浜町大崎、八浜町八浜、八浜町波知、八浜町見石、東七区、南七区
9. 山田地域	山田、東野崎、沼、後閑、大藪
10. 東児地域	西田井地、東田井地、梶岡、胸上、下山坂、上山坂、北方、番田、石島

⑥住宅の種類

1. 持ち家一戸建て	2. 持ち家共同住宅（分譲マンションなど）
3. 民間の賃貸一戸建て	4. 民間の賃貸アパート、マンションなど
5. 公営住宅	6. 社宅、官舎、寮など
7. その他（ ）	

⑦玉野市での居住年数(市外での居住経験のある方はこれまで居住した年数の合算で教えてください。)

1. 1年未満	2. 1～4年	3. 5～9年
4. 10～19年	5. 20～29年	6. 30年以上

⑧玉野市以外での居住経験

1. ある	2. ない
-------	-------

⑨以前の居住地(⑧で「1. ある」に○印をつけた方のみ)

1. 岡山市	2. 倉敷市	3. その他の岡山県内
4. 岡山県以外の中国地方	5. 香川県	6. 東京都・大阪府
7. その他(県名:)		

2. 玉野市での住みやすさに関する意識について

問2 あなたは、今後も玉野市に住み続けたいですか。(○は1つ)

1. 住み続けたい	2. どちらかといえば住み続けたい
3. どちらかといえば住み続けたくない	4. 住み続けたくない

→ 問3 問2で「1. 住み続けたい」又は「2. どちらかといえば住み続けたい」を選んだ方にお聞きします。その理由は何ですか。(○は3つ)

1. 通勤・通学の便が良いから	2. 日常生活に便利だから
3. 居住環境が良いから	4. 子育て環境が良いから
5. 教育環境が良いから	6. 医療・福祉環境が良いから
7. 自然環境が良いから	8. 親戚、友人、知人がいるから
9. 充実した余暇・趣味が楽しめるから	10. 昔から玉野市に住んでいるから
11. 地域に愛着があるから	12. 職場・仕事・学校があるから
13. 特に理由はない	14. その他()

→ 問4 問2で「3. どちらかといえば住み続けたくない」又は「4. 住み続けたくない」を選んだ方にお聞きします。移転するとすれば、どこに住みたいですか。(○は1つ)

1. 岡山市	2. 倉敷市
3. その他県内(市町村名:)	4. 大阪府・京都府・兵庫県
5. 東京都	6. その他(県名:)

→ 問5 玉野市と比べて移転したい理由は何ですか。(○は3つ)

1. 通勤・通学の便が良いから	2. 日常生活に便利だから
3. 居住環境が良いから	4. 子育て環境が良いから
5. 教育環境が良いから	6. 医療・福祉環境が良いから
7. 自然環境が良いから	8. 親戚、友人、知人がいるから
9. 充実した余暇・趣味が楽しめるから	10. 地元に帰りたいから
11. 賑わいや活気のある所に住みたいから	12. 求める仕事や進学先があるから
13. 特に理由はない	14. その他()

3. これまでのまちづくりの評価と今後のまちづくりの方針について

問6 あなたは、日常生活を過ごす中で、次の項目についてどのように感じていますか。
また、市が取り組むべき施策としての重要性についてどのように考えていますか。
各項目について、あなた自身のお考えに最も近い番号に○をつけてください。

各分野における市が目指すまちづくりの取組		これまでの取組の満足度				今後の取組の重要度		
		満足	やや満足	やや不満	不満	重要	どちらでもない	重要でない
(例)	1. 幹線道路や身近な生活道路が利用しやすい	4	③	2	1	③	2	1
暮らしやすさ	1. 幹線道路や身近な生活道路が利用しやすい ・ 幹線道路や日常生活に身近な市道など生活道路の維持・修繕	4	3	2	1	3	2	1
	2. 多様な交通手段が確保されている ・ JR、路線バス、シーバス、シータクなど公共交通の利便性	4	3	2	1	3	2	1
	3. 快適な住環境が整備されている ・ 自然環境と調和のとれた街並み、住宅地・公園緑地の整備	4	3	2	1	3	2	1
	4. 良質な水が供給されている ・ 良質で安定的な水の供給	4	3	2	1	3	2	1
	5. 葬祭施設が利用しやすい ・ 斎場の利便性、葬祭サービスの充実、霊園内の環境美化の推進	4	3	2	1	3	2	1
環境保全	6. ごみが適切に処理されている ・ ごみの減量化・再資源化の促進などを含めた適正な廃棄物処理の推進	4	3	2	1	3	2	1
	7. 生活排水が適切に処理されている ・ 公共下水道の整備・更新及びし尿収集事業の推進	4	3	2	1	3	2	1
	8. 大気環境が保全されている ・ 二酸化炭素の削減につながる温暖化防止対策の推進、大気汚染防止対策	4	3	2	1	3	2	1
	9. 森林が適切に維持・管理されている ・ 森林の適正管理の推進及び山林における火災・災害の発生防止	4	3	2	1	3	2	1
産業振興	10. みなとが効果的に活用されている ・ 港の魅力向上や機能維持に向けた整備など、港湾の利用促進策の実施	4	3	2	1	3	2	1
	11. 観光の魅力が向上している ・ 観光メニューの充実、周辺観光地との積極的な連携、観光プロモーション	4	3	2	1	3	2	1
	12. 商業・工業が盛んである ・ 中小企業の生産性向上、新分野進出、販路開拓などの支援及び創業支援	4	3	2	1	3	2	1
	13. 農業が盛んである ・ 担い手の確保・育成、農家の経営基盤強化、生産基盤の整備	4	3	2	1	3	2	1
	14. 水産業が盛んである ・ 漁業施設整備、漁場の生産力の維持向上、後継者の育成	4	3	2	1	3	2	1
	15. 適切な労働環境が確保されている ・ 福利厚生など労働環境向上の推進、地元企業への若者の定着支援	4	3	2	1	3	2	1

各分野における市が目指すまちづくりの取組		これまでの取組の満足度				今後の取組の重要度		
		満足	やや満足	やや不満	不満	重要	どちらでもない	重要でない
災害対策	16. 火災による被害が軽減されている ・ 消防力の維持・強化、防火意識の普及・啓発の推進	4	3	2	1	3	2	1
	17. 自然災害による被害が軽減されている ・ 防災工事の計画的実施、公共施設の耐震化、自主防災組織の育成	4	3	2	1	3	2	1
	18. 事故や急病などへ適切に対応できている ・ 救急救命士の計画的な養成、市民による応急手当の普及	4	3	2	1	3	2	1
	19. 交通事故の発生が抑制されている ・ ガードレール・カーブミラーなどの交通安全施設整備、交通安全教育や啓発	4	3	2	1	3	2	1
	20. 安全な消費生活が確保されている ・ 適切な行動や選択のできる消費者教育の充実	4	3	2	1	3	2	1
福祉	21. 地域の福祉活動が促進されている ・ 官民一体となった保健・医療・福祉の連携	4	3	2	1	3	2	1
	22. 子育てがしやすい ・ 子育て費用の負担軽減や多様な保育サービスの提供の推進	4	3	2	1	3	2	1
	23. 高齢者が暮らしやすい ・ 介護予防、生きがいづくりの充実、地域での相互支援体制の構築	4	3	2	1	3	2	1
	24. 障害者が暮らしやすい ・ 障害者のニーズに対応したサービスの提供、障害者の社会参加支援	4	3	2	1	3	2	1
	25. 良質な介護保険サービスが提供されている ・ 効果的な介護予防施策の実施、良質な介護保険サービスの提供	4	3	2	1	3	2	1
	26. 一人ひとりの人権が尊重されている ・ 人権に関する教育活動の充実、男女平等など意識の普及啓発	4	3	2	1	3	2	1
保健・医療	27. 適切な健康づくりの取組が進んでいる ・ 疾病を事前に予防する「一次予防」、生活習慣病対策、母子保健の推進	4	3	2	1	3	2	1
	28. 国民健康保険による医療が確保されている ・ 被保険者の健康保持及び健康増進	4	3	2	1	3	2	1
	29. 良質で安定した地域医療が確保されている ・ 救急医療体制の一層の充実、地域医療ネットワークの構築	4	3	2	1	3	2	1
	30. 市民病院において良質で信頼できる医療が提供されている ・ 経営改善、老朽化した施設の更新など、地域の中核病院としての機能向上	4	3	2	1	3	2	1

各分野における市が目指すまちづくりの取組		これまでの取組の満足度				今後の取組の重要度		
		満 足	やや 満足	やや 不満	不 満	重 要	どちら でもない	重要 でない
教 育	31. 多様な学習環境が提供されている ・ 市民の多様な生涯学習ニーズに対応した講座などの内容充実、利用促進	4	3	2	1	3	2	1
	32. 芸術・文化に触れる機会が提供されている ・ 市民主体の芸術・文化活動の支援、伝統芸能など文化資産の継承	4	3	2	1	3	2	1
	33. スポーツ活動が盛んである ・ 生涯スポーツの振興、スポーツを活用した様々な取組の展開	4	3	2	1	3	2	1
	34. 青少年が健全に育成されている ・ 家庭・学校・地域及び関係機関が連携した青少年育成の充実強化	4	3	2	1	3	2	1
	35. 家庭・地域の教育力が充実している ・ 家庭教育を支援する環境整備、世代間交流などを含めた地域活動の促進	4	3	2	1	3	2	1
	36. 安全で適切な教育環境が提供されている ・ 学校施設の耐震化、給食施設の更新	4	3	2	1	3	2	1
	37. 充実した学校教育が提供されている ・ 教育関連サービスの充実、特別支援教育の推進、就学前教育※の充実	4	3	2	1	3	2	1
市 民 参 加	38. 市民の活動が支援されている ・ ボランティア意識の向上、次世代のコミュニティのリーダーの育成	4	3	2	1	3	2	1
	39. 市政への参画が促進されている ・ 市民との情報交換、情報共有の推進による市政への参画意識の啓発	4	3	2	1	3	2	1
	40. 行政情報が積極的に公開されている ・ 行政活動の透明性を高めるための積極的な情報発信、情報格差の解消	4	3	2	1	3	2	1
行 政 運 営	41. 行政のサービスが利用しやすい ・ 市民ニーズの把握、窓口サービスの利便性	4	3	2	1	3	2	1
	42. 計画的に行政が運営されている ・ 各分野における計画の策定及び実行、総合計画の進行管理	4	3	2	1	3	2	1
	43. 持続可能な行財政基盤が確立されている ・ 行財政改革に基づく、歳入確保に向けた取組の推進、歳出抑制の取組	4	3	2	1	3	2	1

※ 就学前教育：幼稚園・保育園・認定こども園などの小学校入学前の教育のこと。

問7 問6の1～43の取組のうち、これまでの5年間で良くなったと思う取組、悪くなったと思う取組、今後特に力を入れるべきと思われる取組は何ですか。（上位1～3位の番号を記入）

①これまでの5年間で良くなったと思う取組	1位		2位		3位	
②これまでの5年間で悪くなったと思う取組	1位		2位		3位	
③今後特に力を入れるべき取組	1位		2位		3位	

問8 人口減少及び少子高齢化の進展により、税収入などをはじめとした市の歳入の大幅な伸びが見込めない一方で、福祉施策などに必要な社会保障関係経費が増大しています。さらに、公共施設の多くは老朽化が進んでおり、市民病院や給食センターなどの主要な施設の更新が必要となっています。

①こうした状況の中、全般的な行政サービスの水準と市民負担について、どのような対応をすることが望ましいと考えますか。(○は1つ)

1. 負担が増えても行政サービスを向上させてほしい。
2. 多少負担が増えても行政サービスを維持してほしい。
3. 多少行政サービスが低下しても負担が増えないほうがよい。
4. 行政サービスが低下しても負担が減少したほうがよい。
5. その他 ()

②効率的な行政運営を行うため、どのようなことを重点的に取り組むべきだと考えますか。(○は3つ以内)

1. 行財政改革を行いながら重要な課題を把握し予算の重点配分を行う。
2. 多様な住民ニーズに対応できる柔軟な行政組織を構築する。
3. 公共施設の統廃合などにより行政の効率化・合理化を図る。
4. 事業や取組の実施後に評価・点検を行うとともに継続的な見直し・改善を図る。
5. 行政と民間の役割を明確にし、民間にできることは民間に任せる。
6. その他 ()

問9 今後玉野市において充実を図るべき施設は、何だと考えますか。(○は5つ以内)

1. 公営住宅	2. 保健・福祉施設（障害、介護施設含む）
3. 医療施設（病院、診療所、検診センター）	4. 専門学校・大学
5. 教育施設（小中学校、高等学校、給食施設）	6. ごみ処理・し尿処理施設
7. 地域活動拠点（公民館、市民センター など）	8. 消防・防災施設
9. 上下水道施設	10. 公園・緑地
11. 生涯学習施設（図書館、公民館 など）	12. 環境・体験学習が可能な青少年宿泊施設
13. 市民会館（ホール）	14. 文化施設（博物館、美術館 など）
15. 市街地の駐車場・駐輪場	16. 市役所
17. スポーツ関連施設（体育館、ジム など）	18. レジャー娯楽施設（温泉、映画館 など）
19. ホテルなどの宿泊施設	20. 飲食施設（レストラン、カフェ など）
21. スーパーマーケット、コンビニ	22. 既存商店街や大型店などの商業施設
23. 農業・漁業施設	24. 企業や金融機関などの支店・事務所
25. 企業の工場や研究施設、工業団地	26. 旅客・交通ターミナル施設
27. その他 ()	

4. それぞれの分野に関する取組への期待・要望などについて

問 10 玉野市のそれぞれの行政施策の分野の中で、特に必要だと思う取組は何ですか。（それぞれの項目について○は3つ以内）

①都市機能・景観において重視する取組は何ですか。（○は3つ以内）

1. 市内各地域の交通を便利にする公共交通機関の充実
2. 道路の安全性、利便性の向上
3. 瀬戸内の自然環境と調和した計画的なまちづくり
4. 歴史的なまち並みや景観の保存
5. 空き家情報の提供など空き家の利活用の推進
6. 建築物の安全性の確保
7. 人流・物流の拠点としての港湾機能の拡充・強化
8. その他（具体的に： _____）

②環境・衛生において重視する取組は何ですか。（○は3つ以内）

1. 地球温暖化対策・自然エネルギーの活用
2. ごみの分別の徹底などによるリサイクル活動の推進
3. 大気汚染の監視や大気環境の保全
4. 水質汚濁の監視や水辺環境の保全
5. 市民や企業との協働による環境保全活動
6. 小中学校における環境教育の充実
7. 自然環境（森林や農地など）の保全
8. その他（具体的に： _____）

③農林水産業において重視する取組は何ですか。（○は3つ以内）

1. 集落営農組織やリーダーの育成
2. 農業生産における機械化の促進
3. 後継者、新規就業者の育成・確保
4. 耕作放棄地・遊休農地の利活用
5. 農林水産業における地域の特徴を活かした商品やサービスの開発・PR
6. 農業漁業体験などの生産者と消費者を直接結ぶ取組
7. 地元の農水産物を地元で消費する地産地消の取組
8. 有害鳥獣被害への対策
9. その他（具体的に： _____）

④工業において重視する取組は何ですか。（○は3つ以内）

1. 新しい技術やサービスを導入する取組に対する助成制度の充実
2. 工場や事業所などの誘致促進
3. 研修会・講習会の開催や経営指導体制の強化
4. 経営相談など相談業務の充実
5. 市内企業の PR 及び地元就職の促進
6. 官民連携による技術研修など人材育成の充実
7. その他（具体的に： _____）

⑤商業において重視する取組は何ですか。(〇は3つ以内)

1. 空き店舗の活用や駐車場の整備による商店街の活性化
2. ショッピングセンターなど大規模店の誘致促進
3. 起業・新規出店の支援
4. 商業経営に関する相談業務の充実
5. インターネットなどを利用した販売促進活動の支援
6. 地域ポイント制度※の導入による地域での消費活動の拡大
7. その他（具体的に： _____）

※ 地域ポイント制度：健康ポイントやボランティアポイントなど、地域活動の参加者に対してポイントを付与し、地域におけるイベントやサービスなどで利用できる仕組みや制度。

⑥観光において重視する取組は何ですか。(〇は3つ以内)

1. 市内観光施設、周辺の島などの観光資源を巡るルートづくり
2. 瀬戸内国際芸術祭を含んだ地域イベントの充実
3. みやま公園や渋川海岸・王子が岳などの既存の観光資源の魅力向上
4. 地元産業と連携した農業体験（農泊、果物狩りなど）や工場見学などの充実
5. 多言語表記や Wi-Fi 環境整備などの外国人観光客の受入れ体制の強化
6. 観光ボランティアの育成
7. ホームページや SNS※（ソーシャルネットワークサービス）、情報誌などを通じた情報発信
8. その他（具体的に： _____）

※ SNS：人と人とのつながりをサポートするコミュニティ型のインターネットサイト。（フェイスブック、ツイッター、インスタグラム等）

⑦防災・防犯において重視する取組は何ですか。(〇は3つ以内)

1. 避難場所の周知や防災訓練などの実施
2. 防災無線やその他通信手段を利用した迅速な災害情報発信
3. 自主防災組織の充実などによる地域の防災力の強化
4. 周辺の自治体との連携による広域防災体制の強化
5. 交通安全教室や交通マナーなどの啓発活動
6. 振り込め詐欺やインターネット犯罪など新たな犯罪に関する防犯セミナーなどの開催
7. 消費者トラブルなど消費生活に関する情報の普及啓発、各種講座の開催
8. 子どもの登下校の見守りなど地域防犯活動の推進
9. その他（具体的に： _____）

⑧保健・医療・福祉において重視する取組は何ですか。(〇は3つ以内)

1. 健康診断や健康教育など疾病を事前に防ぐ取組の充実
2. 生活習慣病予防や介護・認知症予防など健康寿命の向上を目指す取組
3. 救急医療体制や休日夜間診療体制の充実
4. 高齢者や障害者などの社会参画の促進
5. 高齢者の孤立防止、独居者見守りなどの取組の充実
6. 病院までのバスやタクシーなどの交通利便性の確保
7. 働きやすい職場づくりなどによる医療・介護人材の確保

8. その他（具体的に：	）
--------------	---

⑨文化・スポーツにおいて重視する取組は何ですか。（〇は3つ以内）

1. 市内文化施設を活用したイベントの実施
2. 伝統芸能や文化資産の保護及び次世代への継承
3. 市内アート作品を活かしたイベントの実施
4. 市内スポーツ施設を活用したイベントの実施
5. 生涯スポーツやクラブ活動を担う指導者の育成
6. 文化活動やスポーツイベントに関する情報提供
7. 展示会やスポーツ大会など取組の成果を発表・活用できる場づくり
8. その他（具体的に：

⑩教育において重視する取組は何ですか。（〇は3つ以内）

1. 基礎的な学力の向上に取り組む教育
2. 個性を活かした長所を伸ばす教育
3. 郷土愛の醸成を図る教育
4. 思いやりや優しさなど心を育む教育
5. いじめ・不登校対策の充実
6. 職場体験など将来の職業選択の機会を広げる教育
7. 情報化や国際化社会へ対応した教育
8. 体力向上の取組を推進する教育
9. その他（具体的に：

⑪少子化対策・子育てにおいて重視する取組は何ですか。（〇は3つ以内）

1. 結婚支援、出会いの機会の創出
2. 働く人の育児休暇など支援制度の充実
3. 男性の育児休暇取得など支援制度の充実
4. 子育て世帯への経済的な支援
5. 小児医療や母子保健に関する施策の充実
6. 不妊・不育治療の支援
7. 延長保育、一時保育、病児病後児保育など保育サービスの充実
8. 公園や児童館など子どもの遊び場の充実
9. 子どもや保護者同士が交流できる環境の提供
10. 児童虐待の防止策の推進
11. その他（具体的に： ）

⑫地域活動・市民協働において重視する取組は何ですか。(○は3つ以内)

1. コミュニティ活動の活性化や地区間交流の充実
2. 市長や行政との懇談会の開催などによる市民との対話の機会の充実
3. 市民やNPO※などがまちづくりに参加する機会の充実
4. ボランティアやNPOなどへの補助制度の充実
5. 市民参加によるまちの美化・清掃・緑化などの活動
6. 市民参加による生涯学習機会の提供
7. 地域による子育て・教育環境の充実
8. 情報共有のための広報活動の充実
9. 地域や団体などによる買い物支援やゴミ出しなどの生活支援サービスの提供
10. 各種委員会、審議会への市民参加の促進
11. その他（具体的に： _____）

※ NPO（ノンプロフィットオーガナイズーション）：営利を目的とせず社会的活動を行う民間の団体。

⑬人口減少対策において重視する取組は何ですか。(○は3つ以内)

1. 産業振興施策の推進による雇用の創出
2. 観光振興施策の推進による交流人口の増加
3. Uターンも含めた移住者の受け入れ体制の充実
4. 結婚支援による出会いの機会の創出
5. 子育てしやすい環境の整備
6. 女性の就業機会の拡大
7. 宅地開発やマンション建設による居住環境の整備
8. 高齢者や障害者を含め誰もが生涯健康で活躍できる環境の整備
9. まちの価値や知名度の向上（ブランディング）
10. その他（具体的に： _____）

5. その他・ご意見・ご提言

問 11 市政全般についてのご意見・ご提言、将来のまちづくりについてご意見がございましたら、ご自由にお書きください。

質問はこれで終わりです。

恐れ入りますが、記入もれがないかをもう一度ご確認ください。

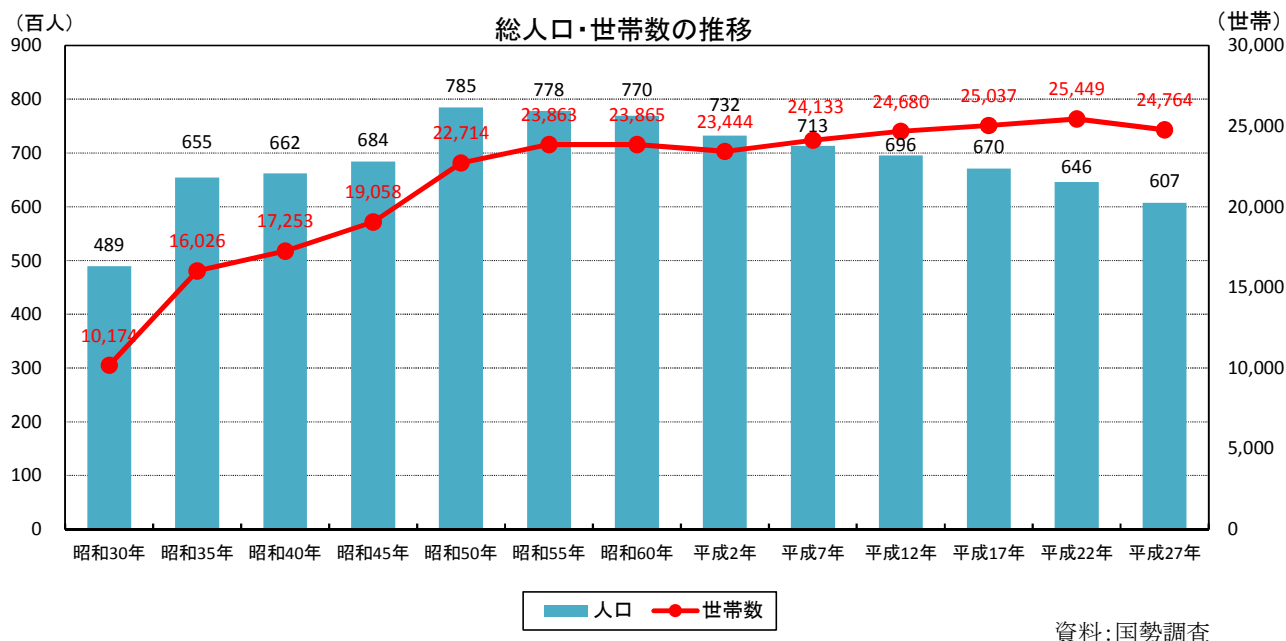
***** ご協力ありがとうございました *****

3. 基礎調査分析

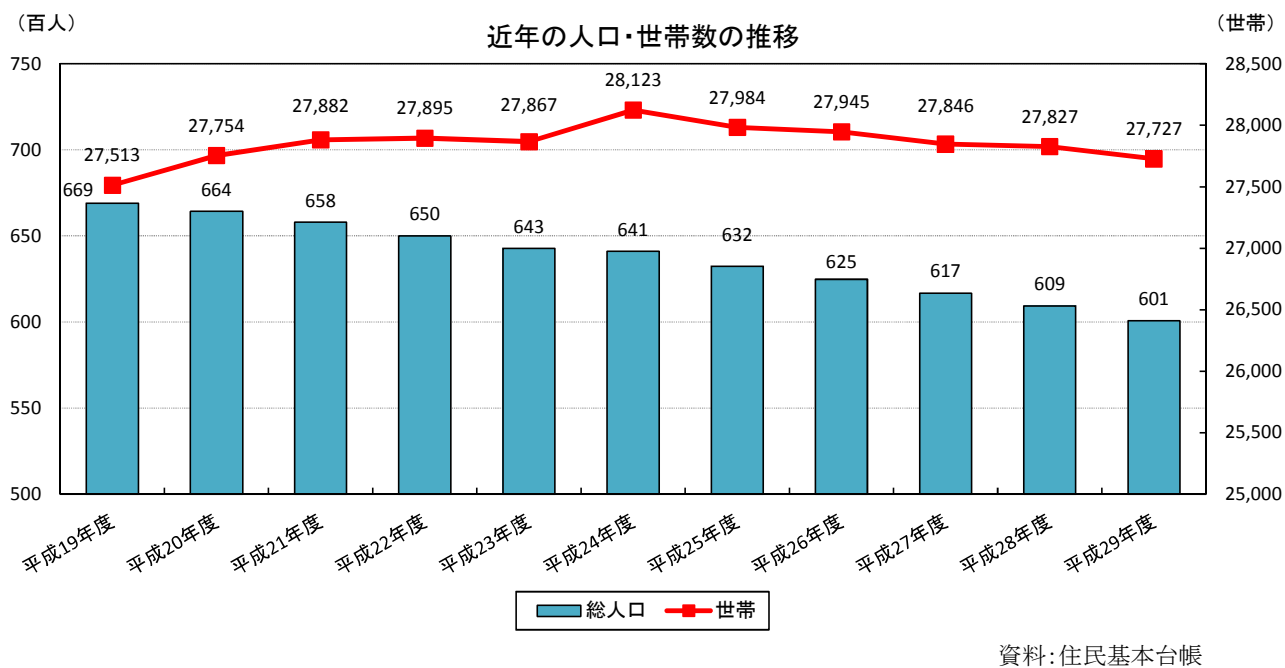
(1) 人口動態	-----	P94
(2) 産業構造	-----	P99
(3) 教育・文化	-----	P109
(4) 民政・労働	-----	P111
(5) 保健衛生	-----	P115
(6) 運輸・交通・消防	-----	P119
(7) 上下水道・競輪	-----	P123
(8) 行政	-----	P124

(1)人口動態

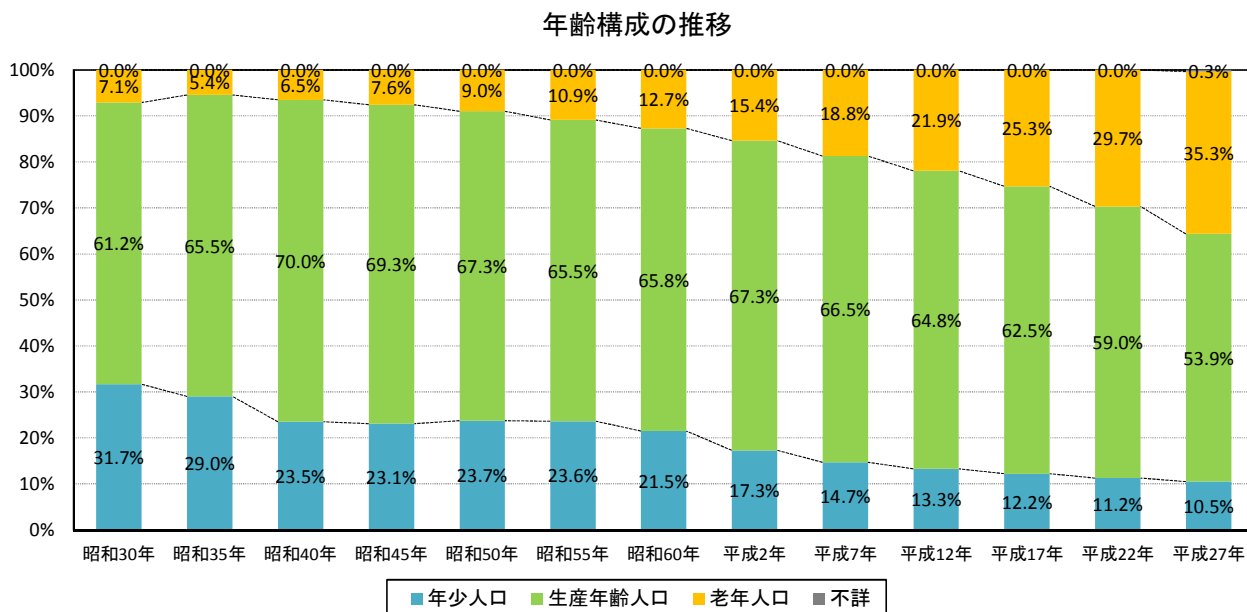
- ・本市の人口は昭和 50 年にピークを迎えた後、人口は減少傾向にある。世帯数は平成 22 年にピークを迎え、平成 27 年には減少傾向に転じている。



- ・住民基本台帳により、直近の人口と世帯数の推移をみると、人口は毎年 1%程度の微減傾向で推移している。一方、世帯数は平成 24 年度に最も多くなっているが、その後は減少傾向に転じている。

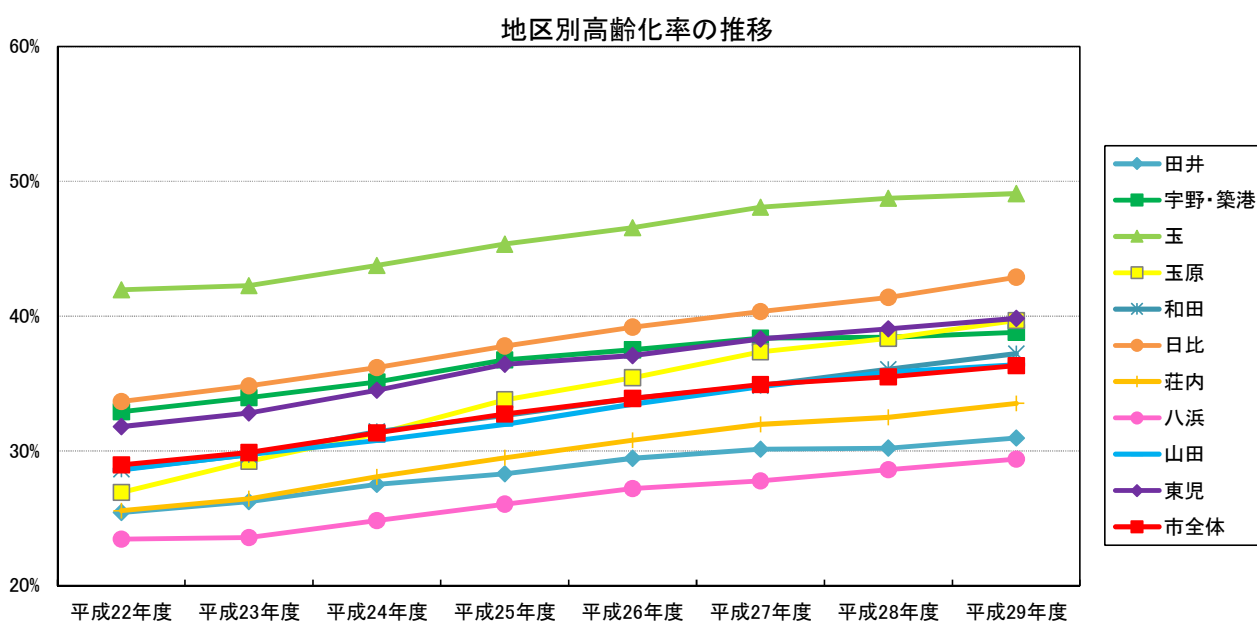


- ・年少人口および生産年齢人口割合は減少傾向にあるが、老年人口割合は急激に増加しており、急速に少子高齢化が進展している。平成27年では老年人口割合が35.3%となっており、人口の3人に1人以上は65歳以上の高齢者となっている。



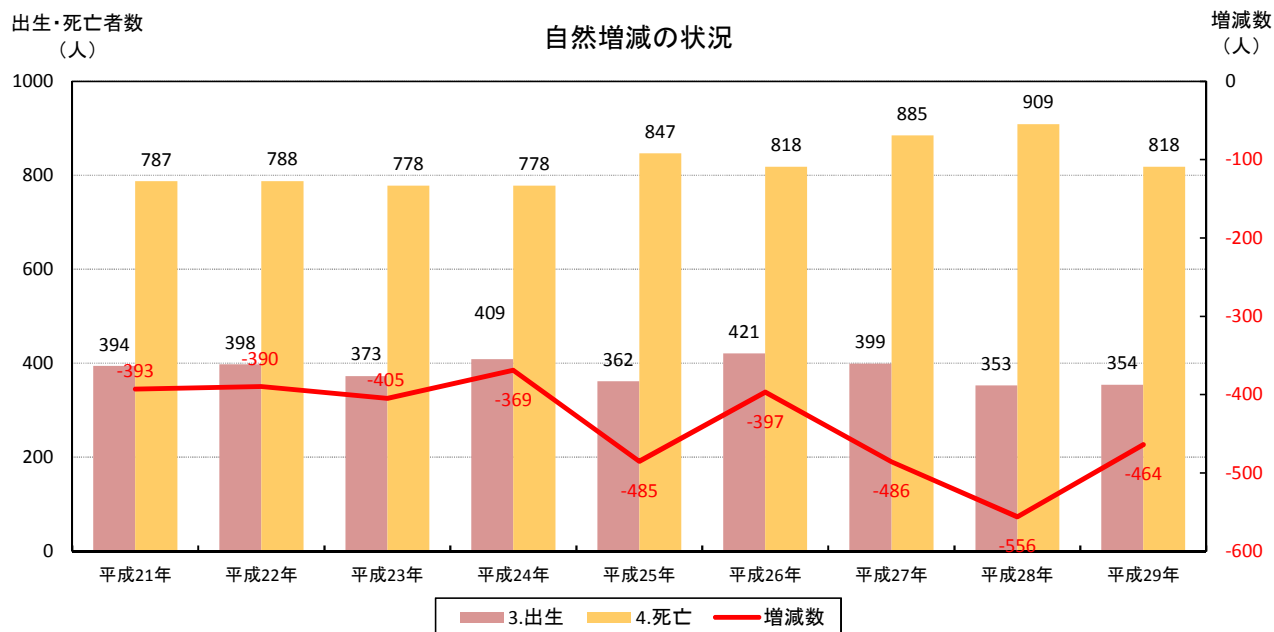
資料: 国勢調査

- ・地区別の高齢化率をみると、各地区ともに高齢化率が年々高まっている。
- ・田井、荘内、八浜は市全体よりも高齢化率は低いが、宇野・築港、玉、玉原等は市全体よりも高くなっている。特に玉、日比の2地区は高齢化率40%以上となっており、高齢化が進んでいる。



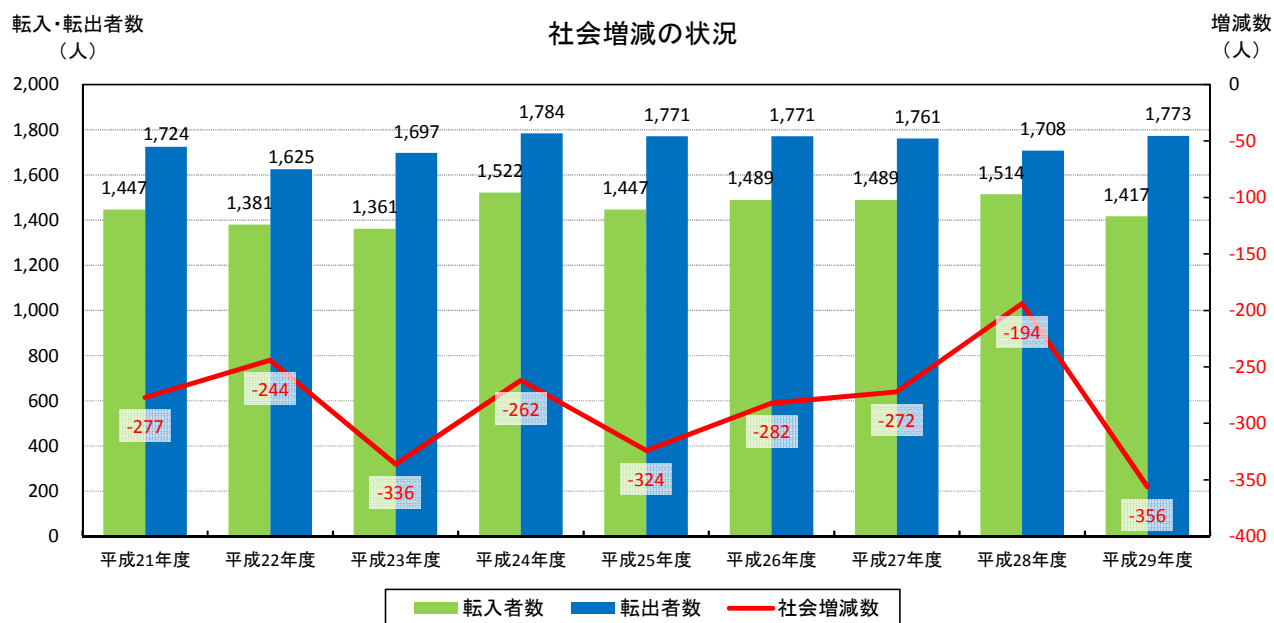
資料: 住民基本台帳

- ・市全体の人口変化を自然増減、社会増減に分けてみると、自然増減では、出生数は横ばいの傾向にあり、死亡者数は増加傾向にあるため、自然増減数は減少傾向で推移しており、近年は年間 500 人程度の減少となっている。



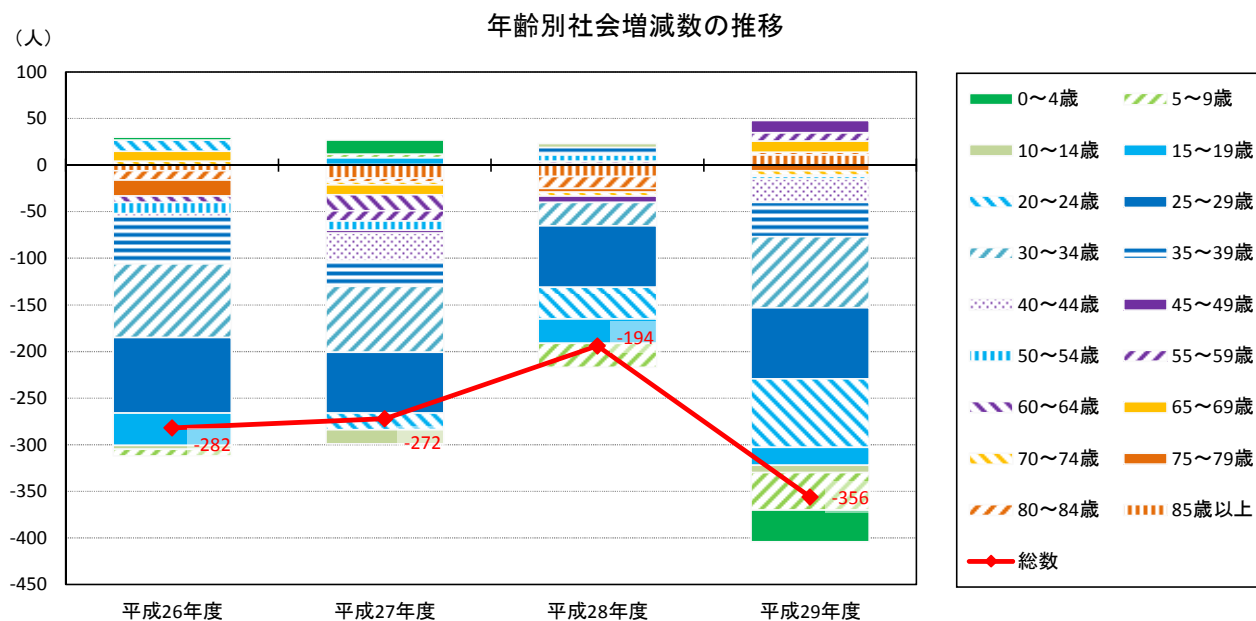
資料:住民基本台帳

- ・社会増減を見ると、いずれの年度も転出が転入を上回っており、年間 300 人程度の減少となっている。

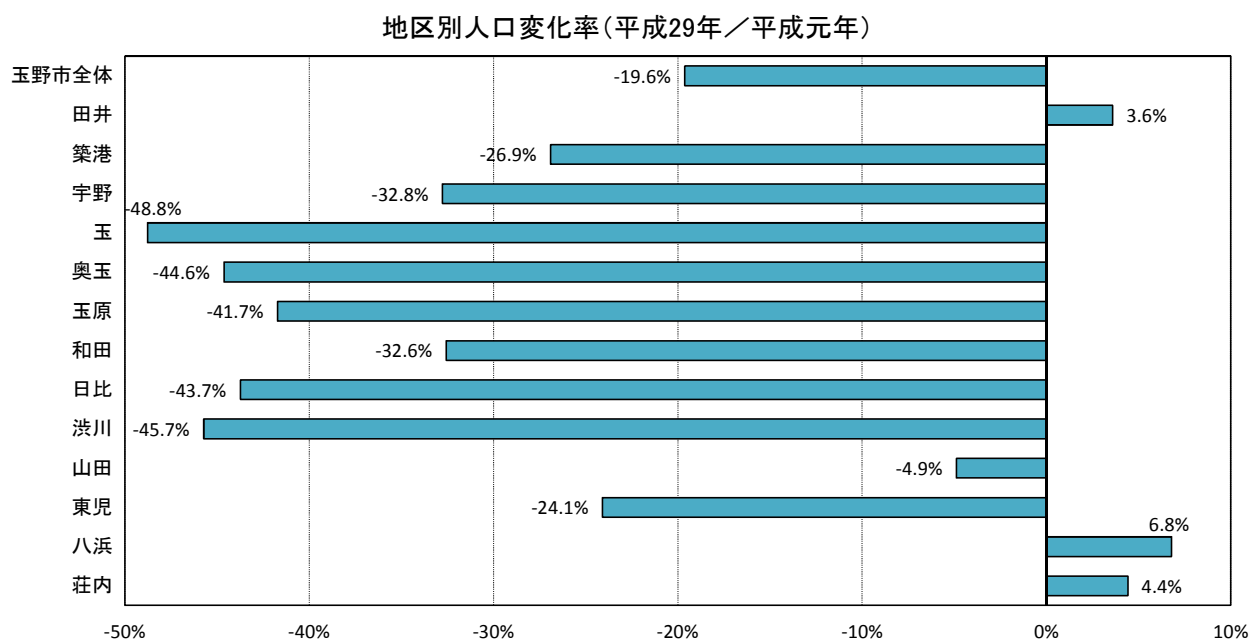


資料:住民基本台帳

- ・社会増減について、年齢別にみると、就職や転職など、就労関係での移動が生じやすい20代から30代前半において転出超過数が大きくなっており、市全体の社会減の主な要因となっている。
- ・こうした状況を改善するためにも、市内における雇用環境の改善は地域の人口維持に非常に重要な要素となると考えられる。

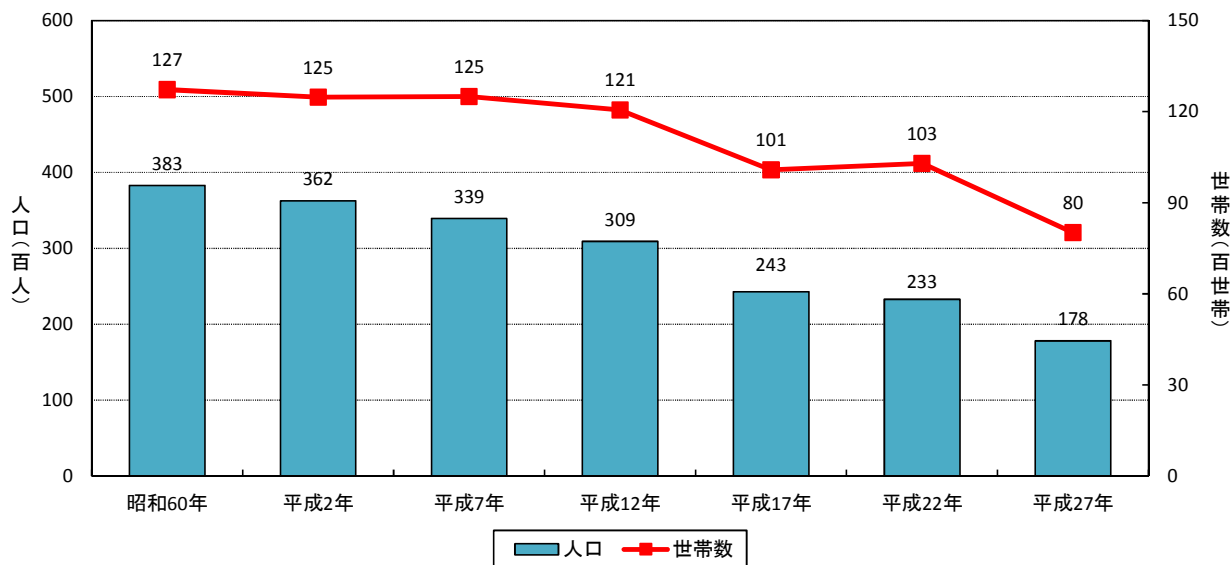


- ・玉野市全体では、平成元年以降、約20%の人口減少になっている。八浜地区など、人口が増加する地区もある一方で、40%以上人口が減少している地区も多くあり、人口動態は地区によって大きな差異がある。
- ・特に、人口減少が目立つ地区においては、地域コミュニティの崩壊等が懸念されるため、それぞれの地区の特性に応じた生活環境の持続に向けた取組が必要になると考えられる。



- ・田井や宇野・築港、玉地域等の人口集中地区においても人口減少は顕著であり、中心市街地の活性化等による居住環境の向上等の方策の検討が求められる。

人口集中地区における人口・世帯数の推移



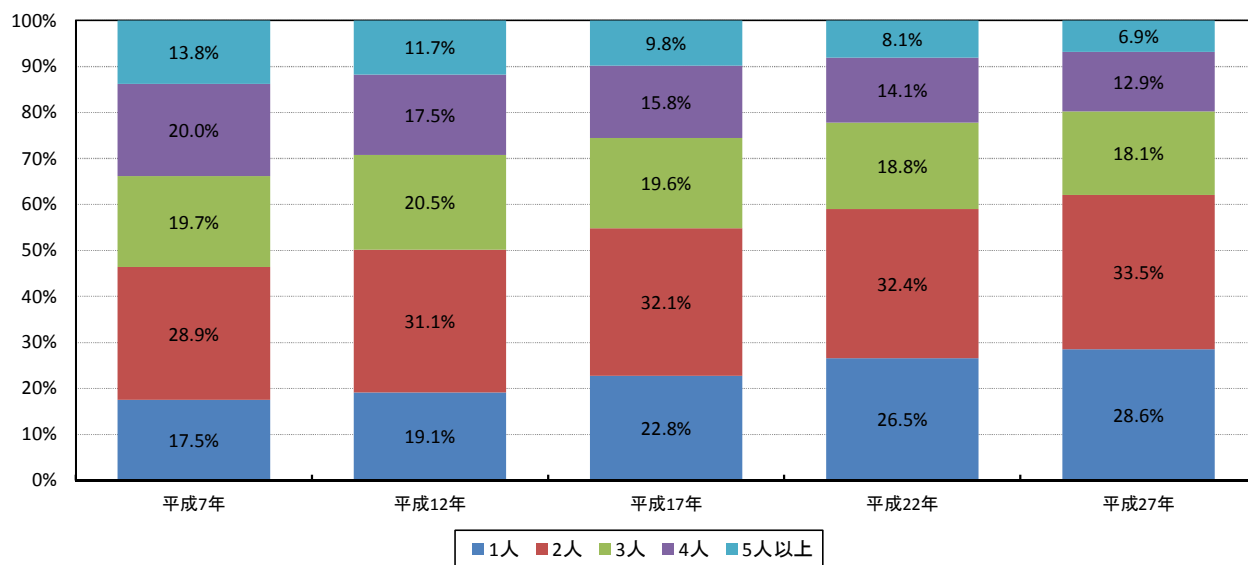
資料:国勢調査

(注)昭和40年～55年は世帯数なし

※人口集中地区とは：DID地区とも呼ばれ、1haあたり40人以上の人口の地区が互いに隣接し、合計5,000人以上となる地区のこと。

- ・世帯人員も縮小化が進み、高齢者二世帯や高齢者単身世帯等の拡大も懸念されており、様々な分野での生活支援が必要になることが考えられる。

1世帯当たり人員数別の構成比

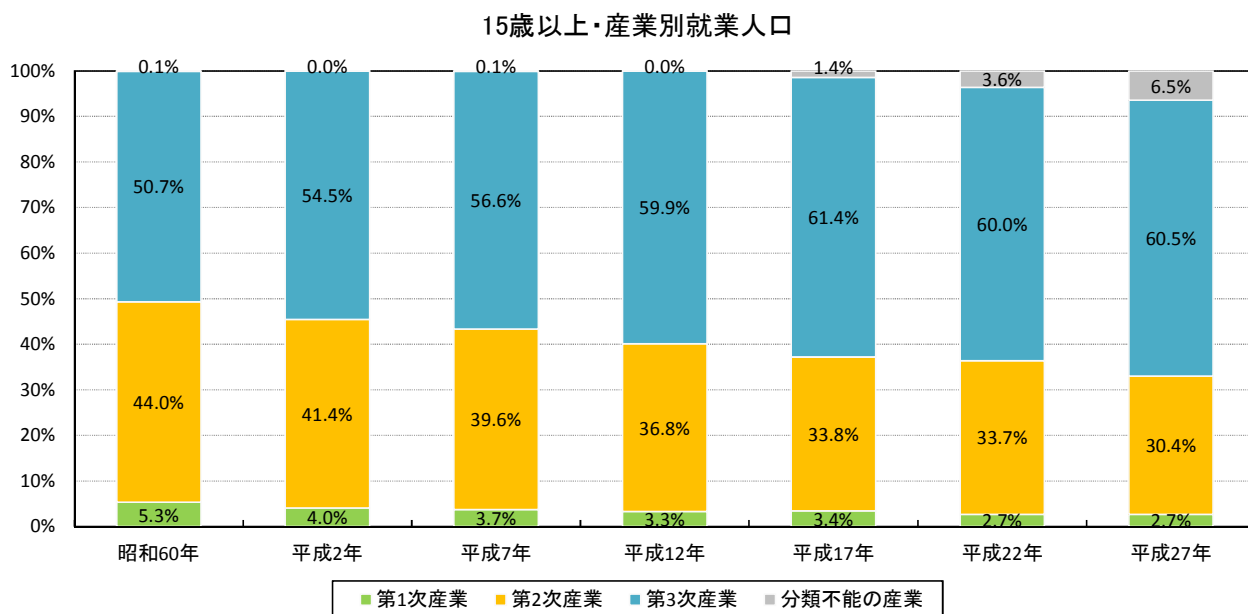


資料:国勢調査

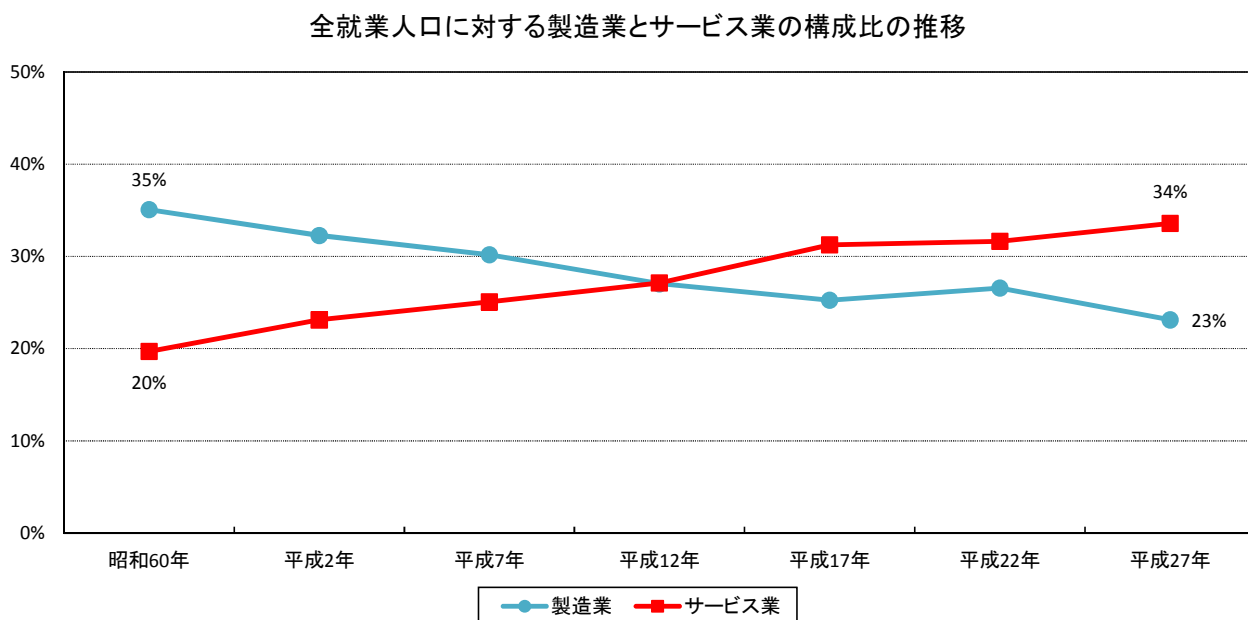
(2) 産業構造

① 産業別就業者の構成比の推移

- ・玉野市の産業構造を就業者数割合でみると、第三次産業の割合が年々上昇しており、サービス経済化が進行している。
- ・個別にみると、第三次産業のサービス業が第二次産業の製造業を上回ったのは平成12年のことであり、近年では構成比の差が大きくなっている。



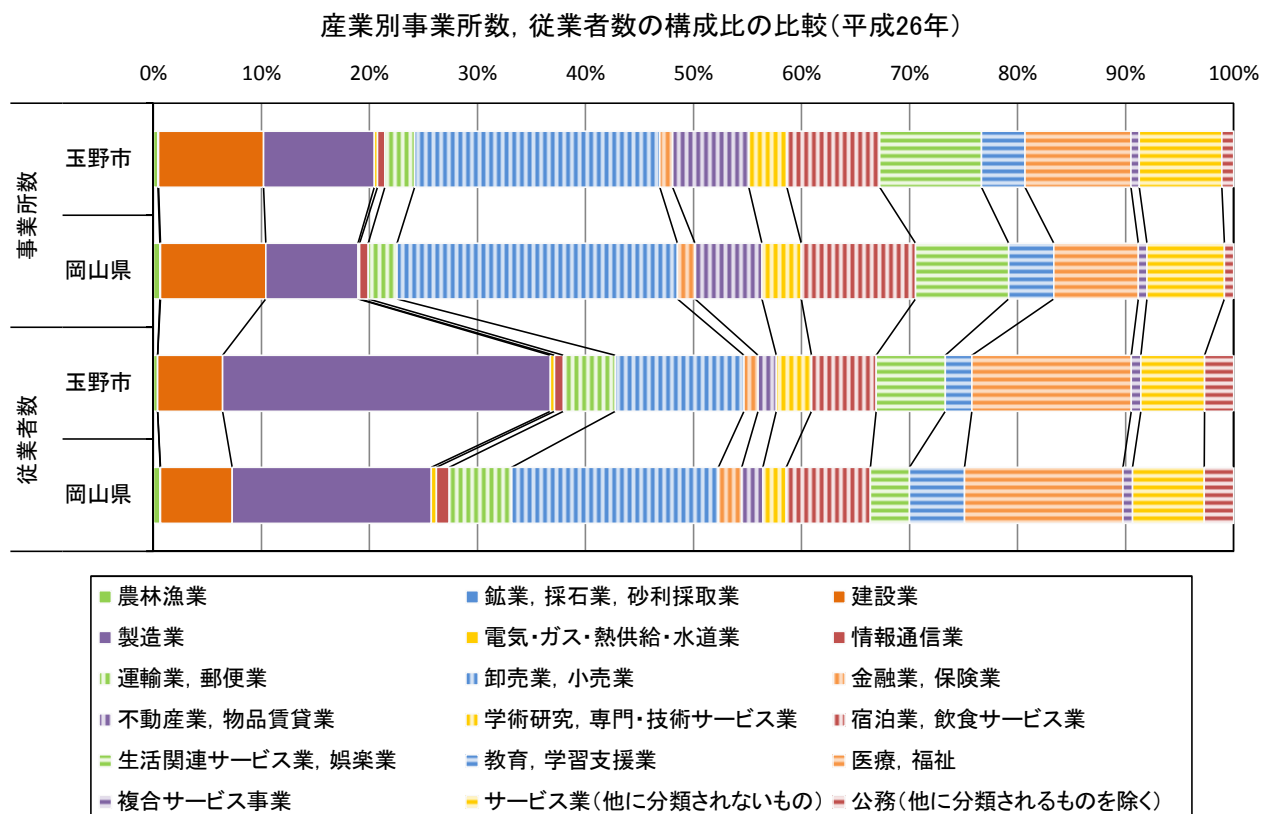
資料: 国勢調査



資料: 国勢調査

②経済センサスからみた産業構造

- ・平成 26 年の経済センサスで産業構造をみると、事業所数は、岡山県全体と比較して「製造業」は多くなっている。一方で、「卸売業、小売業」や「宿泊業、飲食サービス業」等は少なくなっている。
- ・従業者数でみると、「製造業」が約 3 割となっており、岡山県全体と比較して、約一割多くなっている。



資料: 経済センサス

③特化係数でみた玉野市の産業の特徴

- ・玉野市の産業構造の現状を特化係数（各市の産業の業種構成において、その構成比と岡山県全体の比率。業種構成の岡山県全体との乖離を示し、各市の産業の強み・弱みをみる指標。）で岡山県内の中小規模の瀬戸内海沿岸市と比較すると、各都市とも「製造業」が高く、玉野市は中位に位置する。
- ・そのほか、玉野市で特化係数が高いのは「学術研究、専門・技術サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」であり、他市と比較して突出している。
- ・一方、「農林漁業」、「金融業、保険業」、「不動産業、物品賃貸業」、「複合サービス事業」は特化係数が低く、特に「農林漁業」、「複合サービス事業」は他市と比較しても低くなっている。
- ・以上のように、地域の強みとなっている産業を活かした地域活性化を図るとともに、弱みとなっている産業の育成および広域的な連携による相互補完関係の構築等が求められる。

玉野市の産業別従業者の特化係数と周辺市との比較

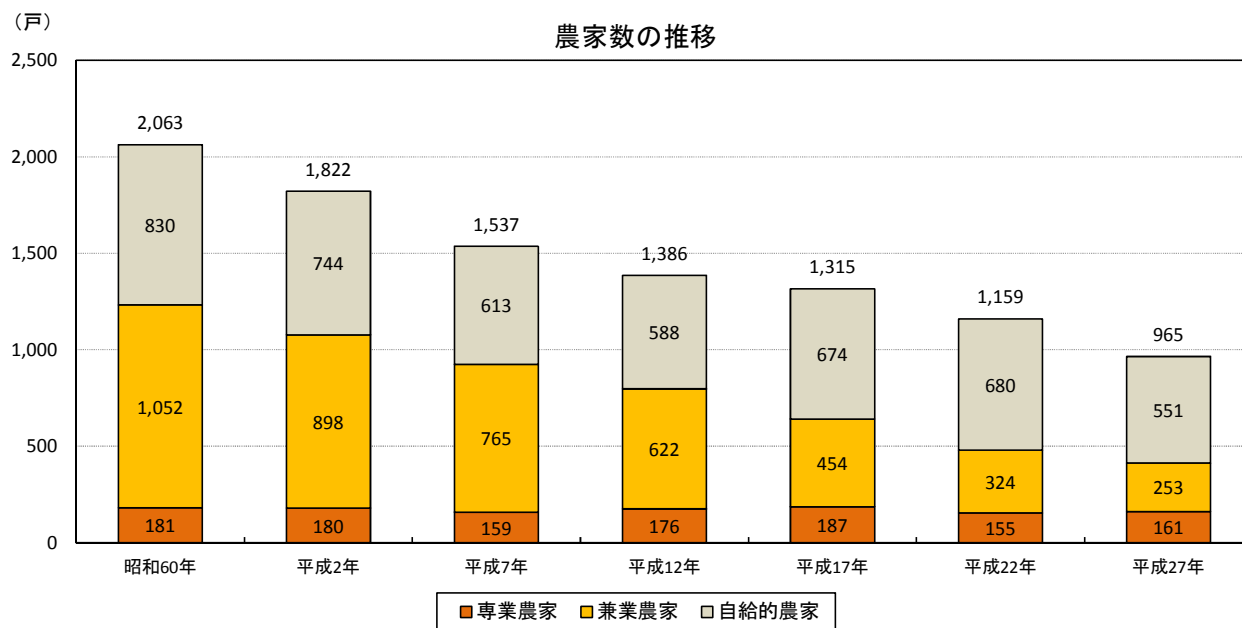
	玉野市	笠岡市	備前市	瀬戸内市	浅口市
農林漁業	0.579	1.026	0.803	2.023	0.959
鉱業、採石業、砂利採取業	0.894	1.896	1.958	0.125	0.298
建設業	0.939	0.950	0.682	0.776	0.878
製造業	1.258	1.330	1.589	1.226	1.383
電気・ガス・熱供給・水道業	0.936	1.248	0.537	0.763	0.938
情報通信業	0.914	0.537	0.529	0.681	0.710
運輸業、郵便業	1.051	1.151	1.343	1.190	1.163
卸売業、小売業	0.912	0.914	0.942	0.850	0.990
金融業、保険業	0.793	0.947	0.925	0.844	0.883
不動産業、物品賃貸業	0.750	0.643	0.400	0.455	0.570
学術研究、専門・技術サービス業	1.251	0.803	0.745	0.637	0.841
宿泊業、飲食サービス業	0.858	0.812	0.800	0.737	0.694
生活関連サービス業、娯楽業	1.290	0.945	0.855	0.703	0.940
教育、学習支援業	0.706	0.766	0.707	0.833	1.043
医療、福祉	0.934	0.999	0.869	0.990	0.967
複合サービス事業	0.747	1.250	1.194	1.225	1.368
サービス業（他に分類されないもの）	1.018	0.981	0.985	0.969	1.059
公務（他に分類されるものを除く）	0.917	1.038	0.930	0.949	1.053

（注）赤字は特化係数1.2以上、青字は特化係数0.8以下の業種を示す。

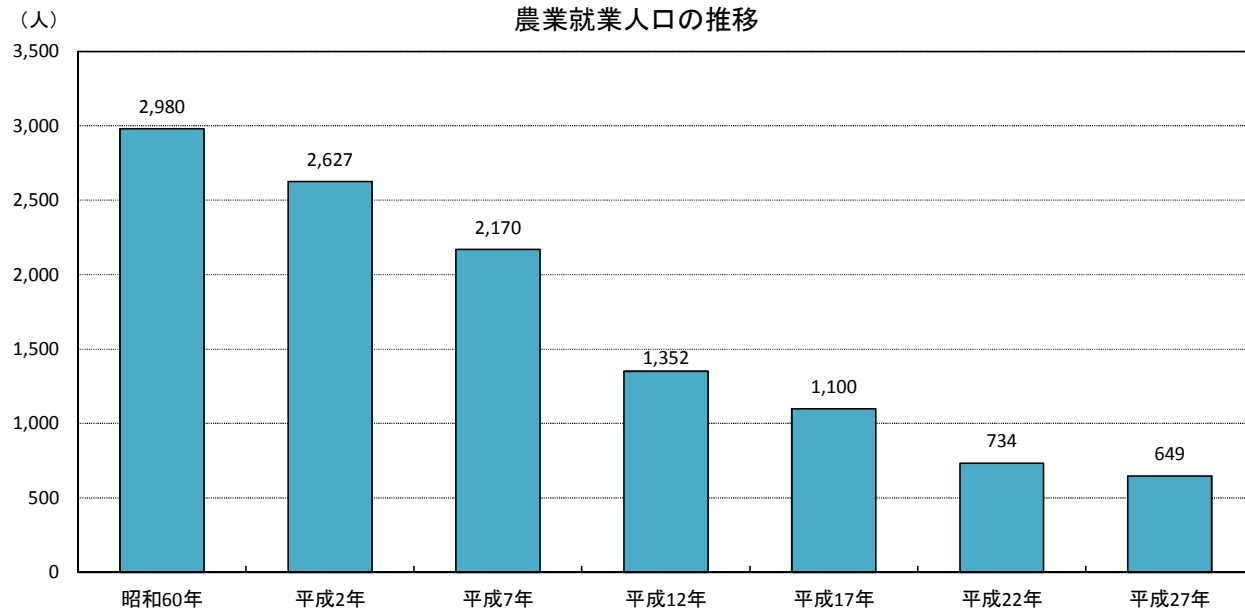
資料：平成 27 年国勢調査をもとに作成

④農業

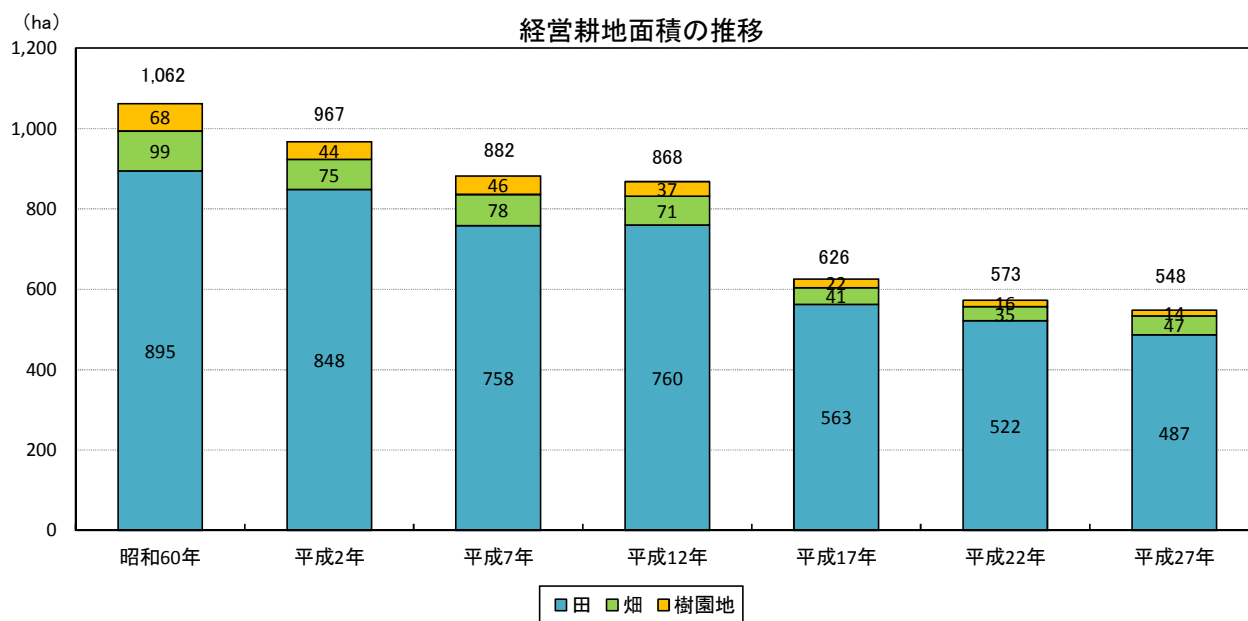
- ・農家数の推移をみると、継続的に減少しており、直近の平成27年は昭和60年の半数以下まで減少している。
- ・内訳をみると、専業農家は微減傾向で推移しているものの、兼業農家の減少が大きい。



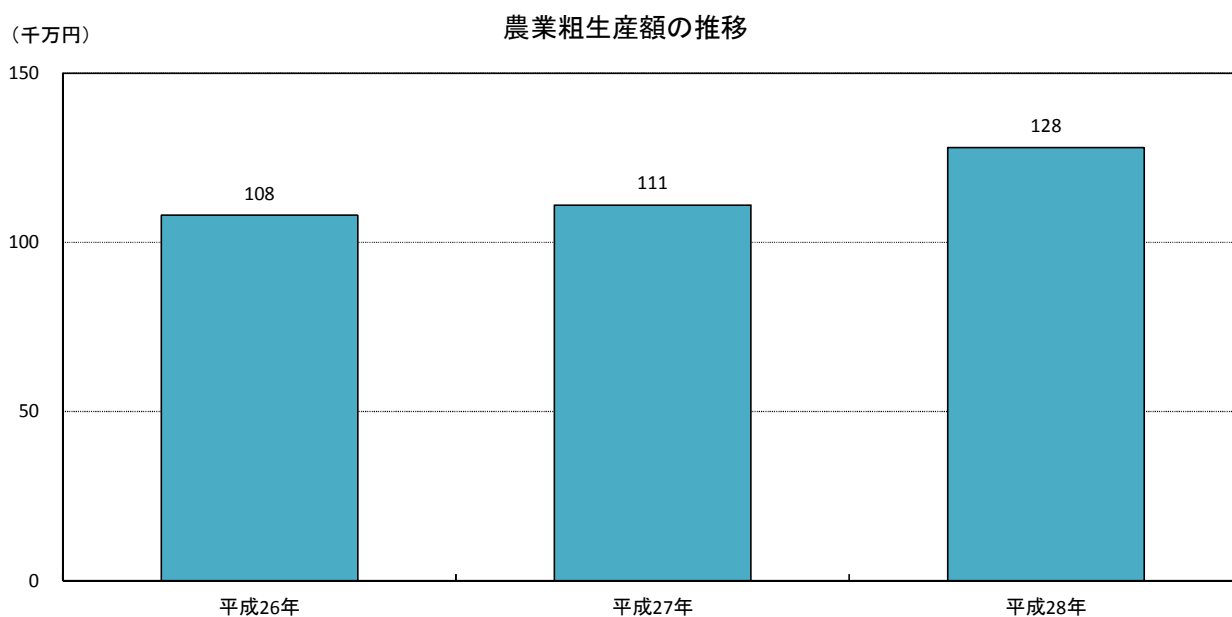
- ・農業就業人口の推移をみると、直近の平成27年は昭和60年の5分の1近くまで減少している。



- ・経営耕地面積の推移をみると、継続的に減少しており、平成17年に大きく減少している。直近の平成27年は昭和60年の約半分まで減少している。特に田の経営耕地面積の減少が顕著である。
- ・農家数、農業就業者数、経営耕地面積の減少等が進んでおり、耕作放棄地の拡大等も進み、地域の生活環境への影響も懸念される。

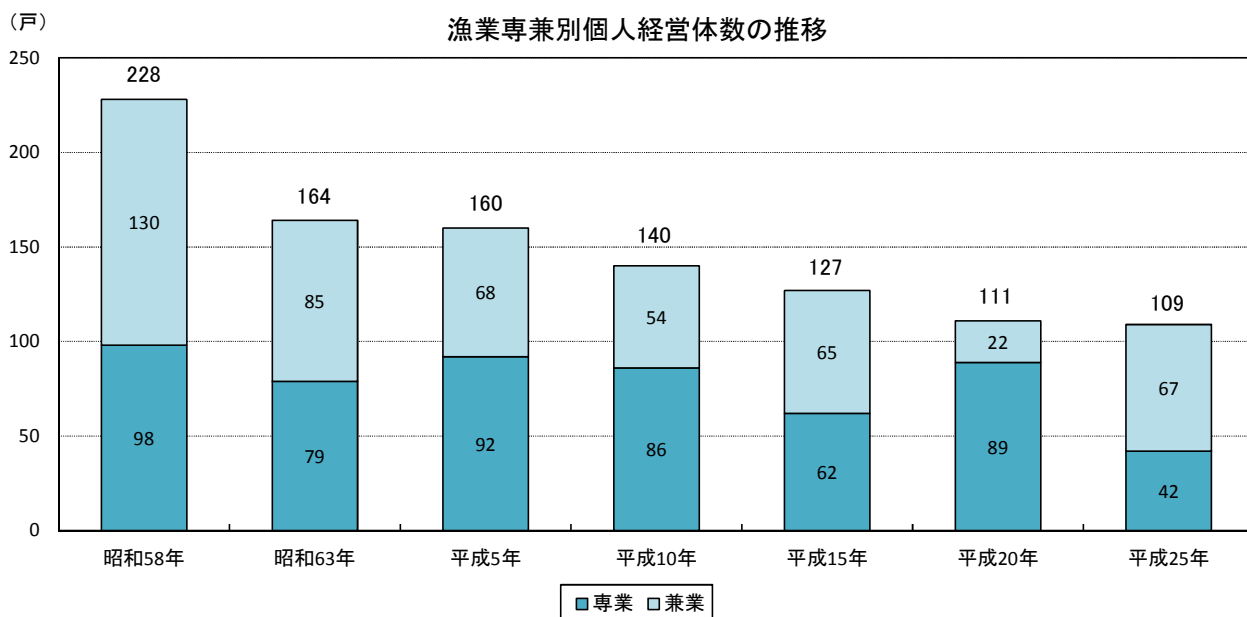


- ・平成28年まで推計されている農業粗生産額の推移をみると、近年微増傾向で推移している。



⑤漁業

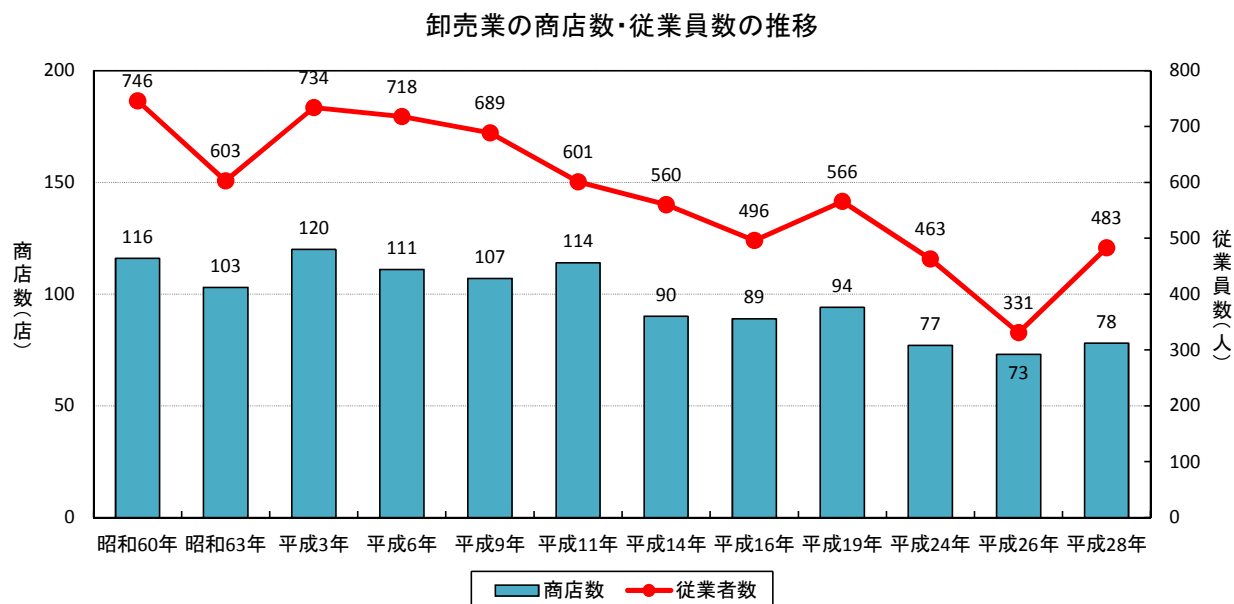
- ・漁業の経営体数をみると、近年は微減傾向で推移している。平成 25 年では昭和 58 年の半数以下となっている。



資料:漁業センサス

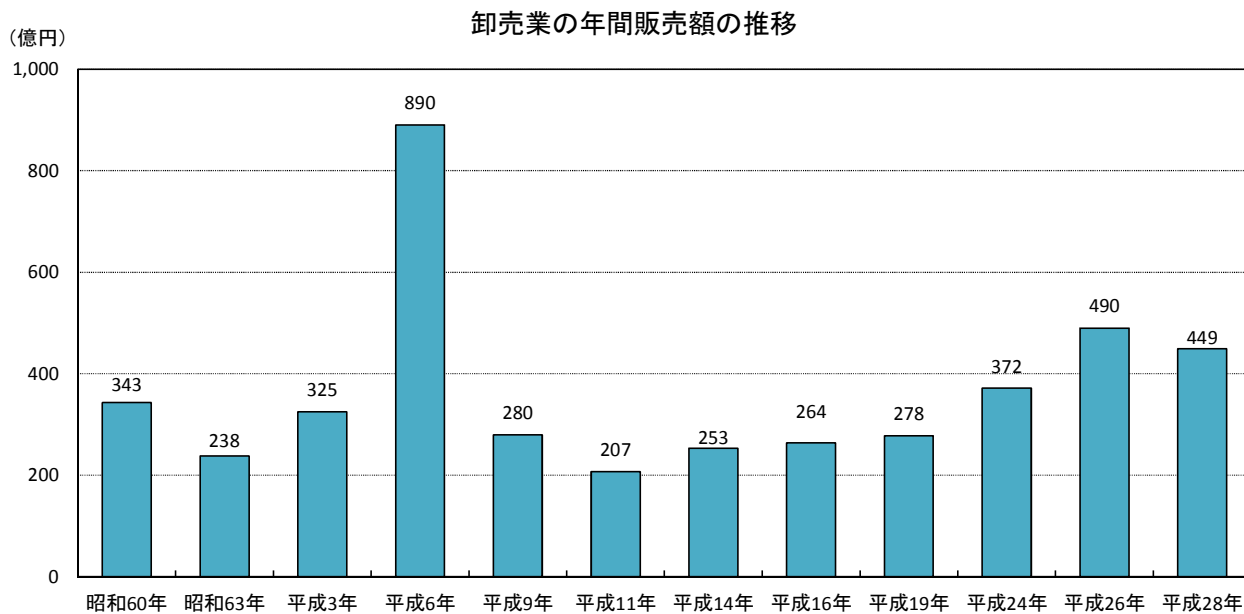
⑥卸売業

- ・卸売業の商店数、従業者数の推移をみると、昭和 60 年以降減少傾向で推移していたが、直近の平成 28 年は商店数、従業者数ともに増加している。



資料:商業統計調査(平成 24 年、28 年は経済センサス)

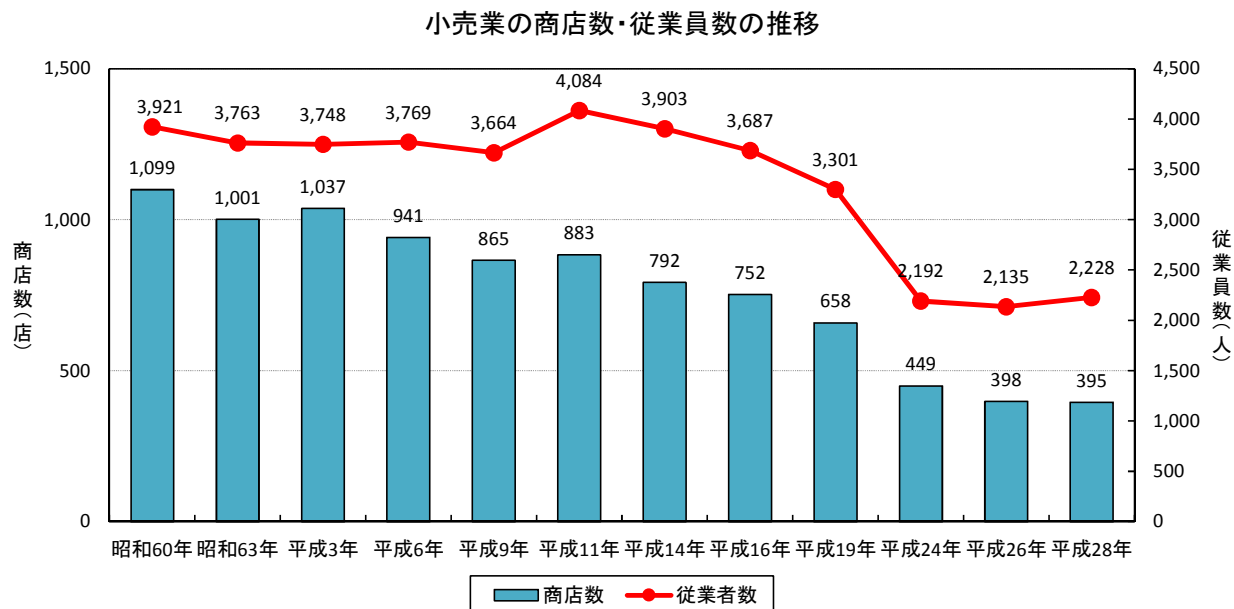
- ・年間商品販売額をみると、平成6年が突出しており、近年は増加傾向で推移している。



資料:商業統計調査(平成24年、28年は経済センサス)

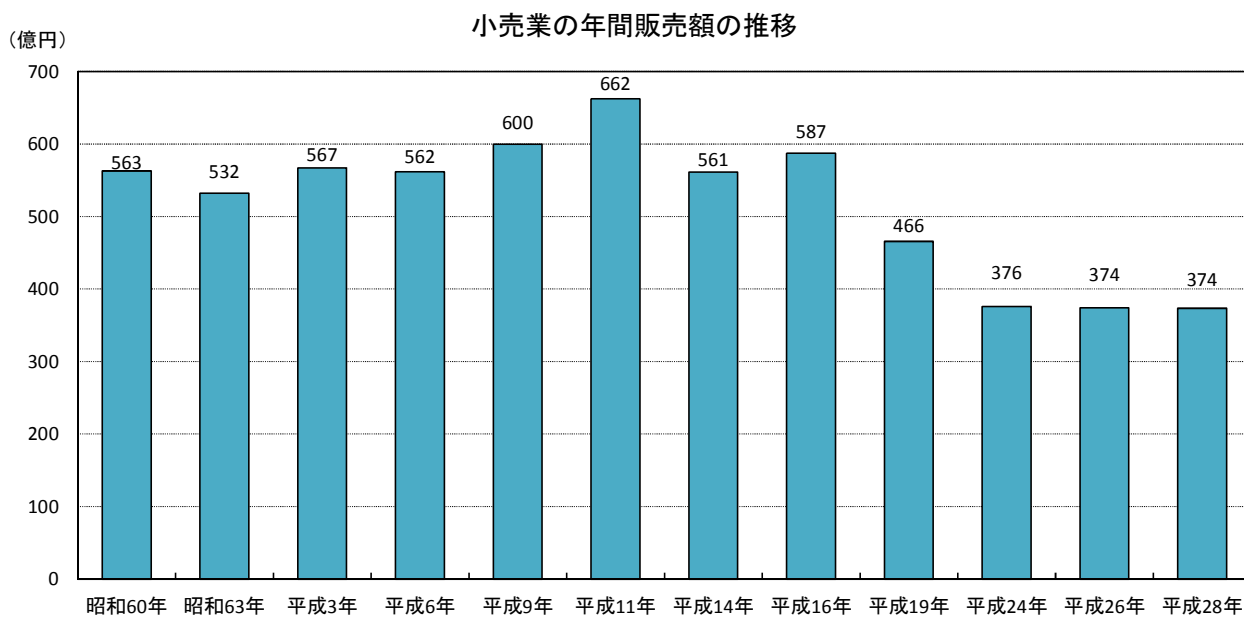
⑦小売業

- ・小売業の商店数、従業員数の推移をみると、商店数は減少傾向で推移しており、直近の平成28年は昭和60年の3分の1近くまで減少している。
- ・従業者数は平成11年に増加し、その後減少傾向となったが、直近の平成28年では増加している。



資料:商業統計調査(平成24年、28年は経済センサス)

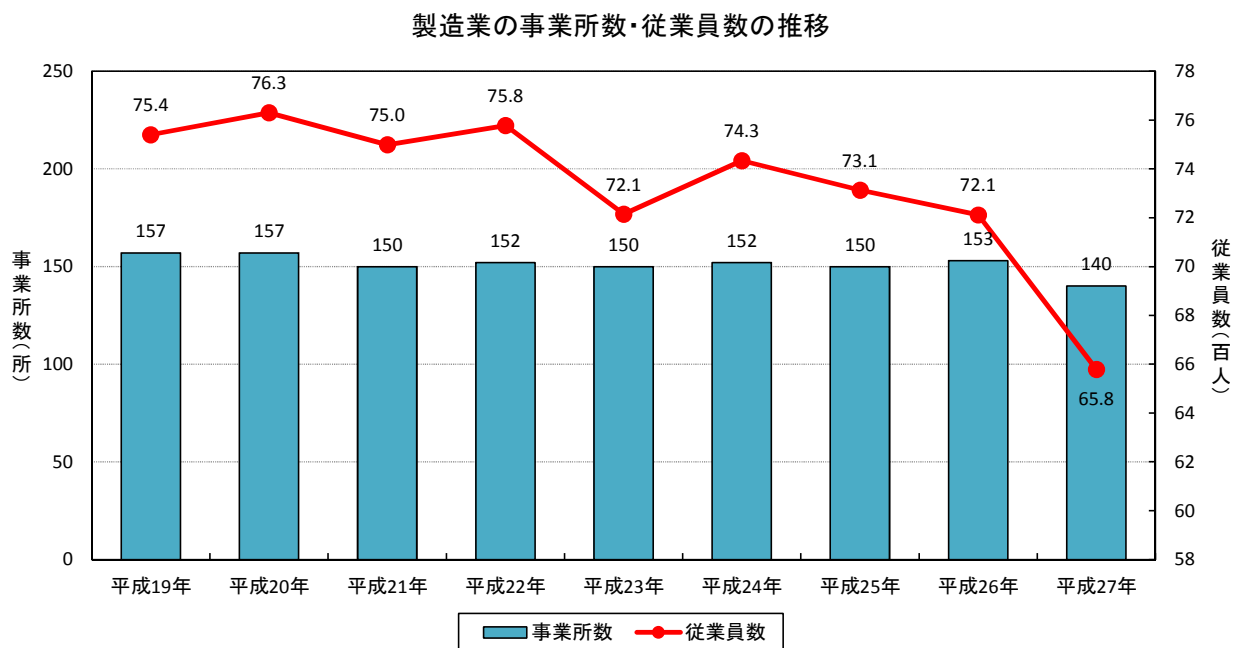
- ・年間商品販売額をみると、平成 11 年以降減少傾向で推移していたが、平成 24 年以降はほぼ横ばいの傾向となっている。



資料: 商業統計調査 (平成 24 年、28 年は経済センサス)

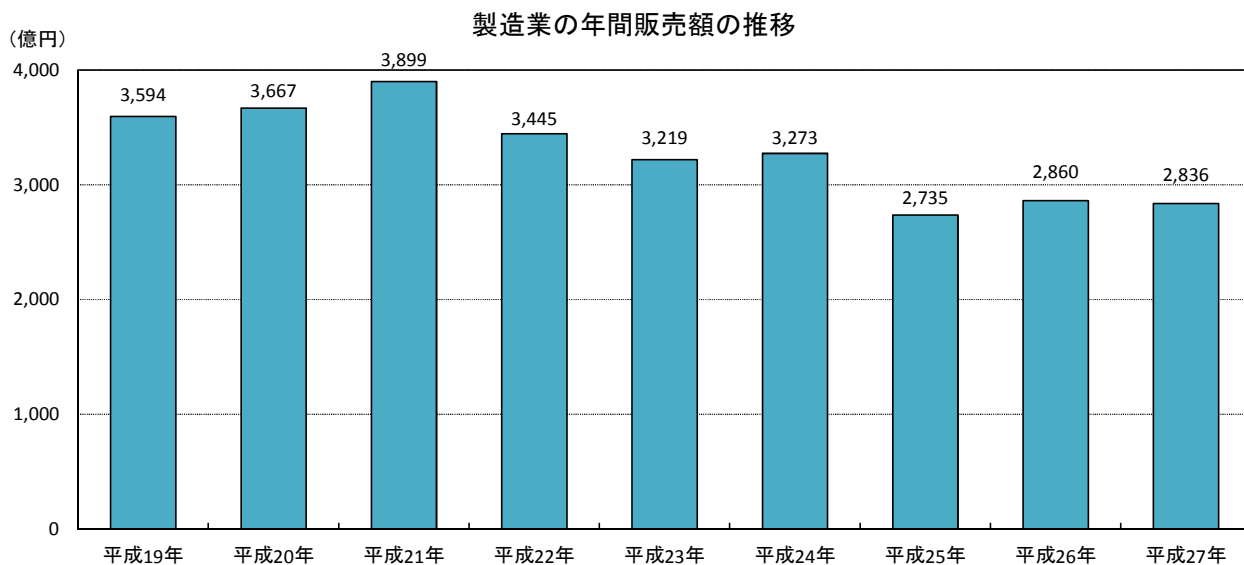
⑧製造業

- ・製造業の事業所数、従業者数（従業員数 4 人以上の事業所）をみると、減少傾向で推移している。特に、直近の平成 27 年では、従業者数が 1 年間で 700 人近く減少している。
- ・事業所数は平成 19 年以降、ほぼ横ばいの傾向で推移していたが、直近の平成 27 年に減少した。



資料: 工業統計調査 (平成 23 年、27 年は経済センサス)

- ・製造品出荷額等（従業員数 4 人以上の事務所）をみると、平成 21 年以降、減少傾向となっている。



資料: 工業統計調査(平成 23 年、27 年は経済センサス)

- ・平成 27 年の製造業の内訳をみると、造船業を中心とした「輸送用機械器具製造業」のウエイトが高く、事業所数で約 20%、従業員数で約 50%、製造品出荷額等で約 60%を占めている。

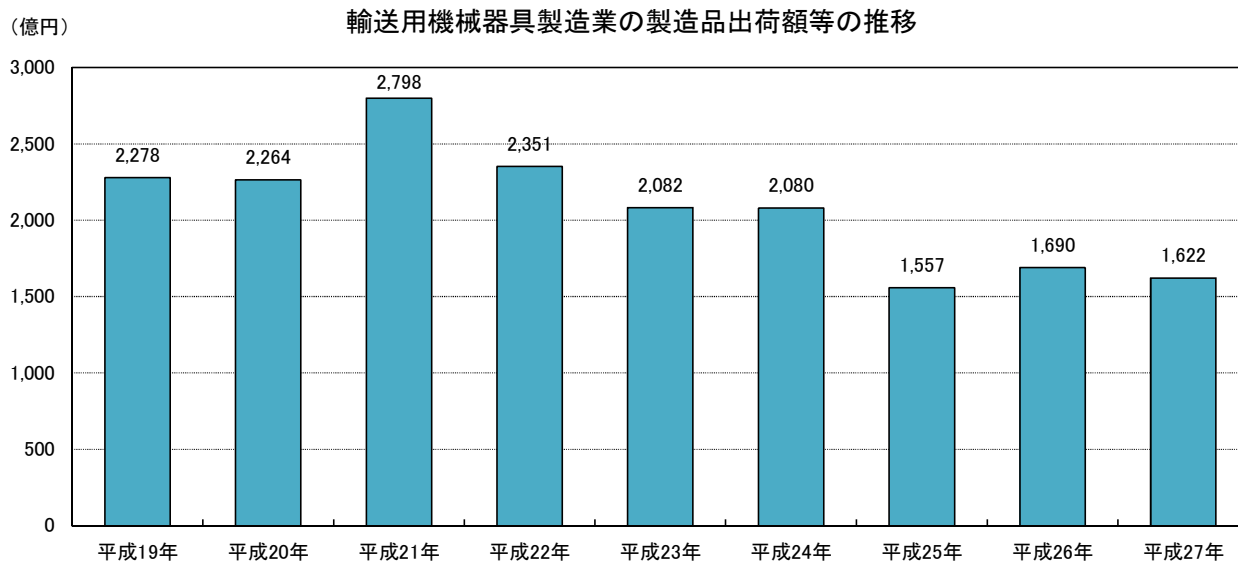
製造業の内訳(平成27年)

	事業所数		従業者数		製造品出荷額等	
	事業所数	構成比	従業者数	構成比	製造品出荷額等	構成比
製造業計	140	100.0	6,579	100.0	28,355,192	100.0
食料品製造業	11	7.9	291	4.4	1,100,150	3.9
繊維工業	15	10.7	786	11.9	1,388,908	4.9
木材・木製品製造業(家具を除く)	3	2.1	42	0.6	141,806	0.5
家具・装備品製造業	2	1.4	26	0.4	X	X
パルプ・紙・紙加工品製造業	3	2.1	107	1.6	304,001	1.1
印刷・同関連業	2	1.4	15	0.2	X	X
化学工業	6	4.3	420	6.4	2,880,661	10.2
石油製品・石炭製品製造業	1	0.7	5	0.1	X	X
ゴム製品製造業	2	1.4	28	0.4	X	X
窯業・土石製品製造業	7	5.0	155	2.4	739,331	2.6
鉄鋼業	7	5.0	166	2.5	620,912	2.2
非鉄金属製造業	1	0.7	211	3.2	X	X
金属製品製造業	26	18.6	522	7.9	1,120,995	4.0
はん用機械器具製造業	4	2.9	104	1.6	113,220	0.4
生産用機械器具製造業	10	7.1	194	2.9	366,983	1.3
電子部品・デバイス・電子回路製造業	1	0.7	24	0.4	X	X
電気機械器具製造業	4	2.9	267	4.1	923,381	3.3
輸送用機械器具製造業	31	22.1	3,197	48.6	16,223,138	57.2
その他の製造業	4	2.9	19	0.3	11,777	0.0

「X」は、集計対象となる事業所が1又は2であるため、集計結果をそのまま公表すると個々の報告者の秘密が漏れるおそれがある場合に該当数値を秘匿した箇所である。また、集計対象が3以上の事業所に関する数値であっても、集計対象が1又は2の事業所の数値が合計との差引きで判明する箇所は、併せて「X」とした。

資料: 経済センサス
※従業者数 4 人以上の事業所

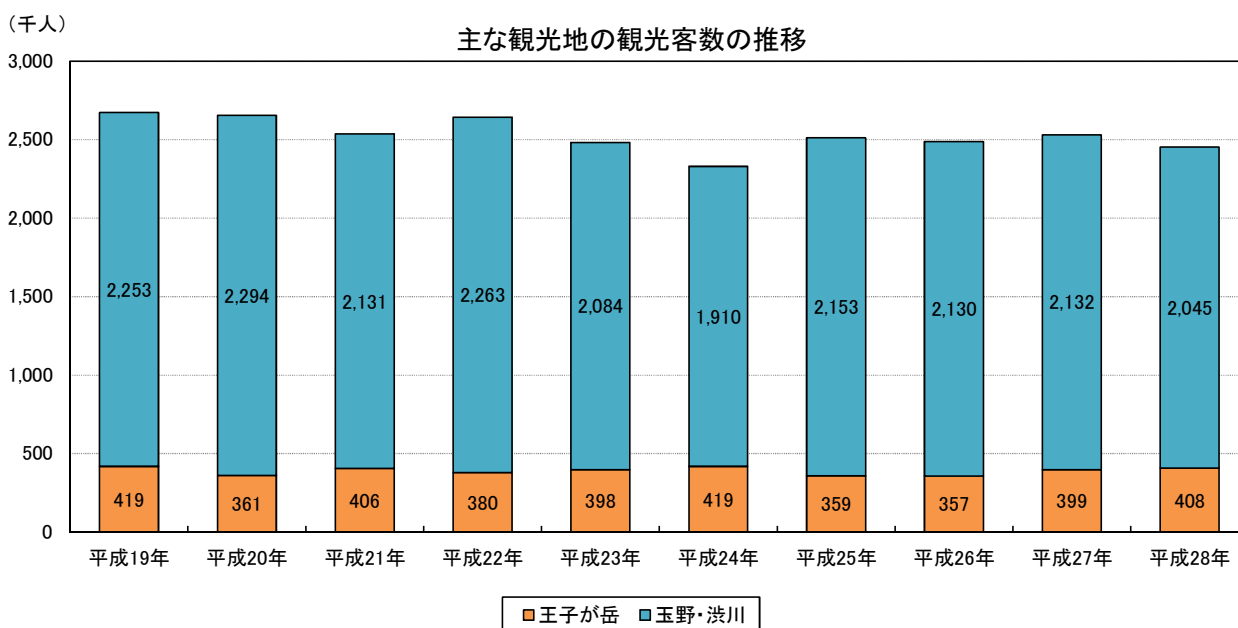
- ・玉野市の基幹産業である輸送用機械器具製造業の製造品出荷額等の推移をみると、平成 21 年をピークに減少している。この傾向は玉野市全体の製造業の製造品出荷額等に大きく影響している。
- ・輸送用機械器具製造業の 1 業種のウエイトが非常に高いため、この産業の影響を受けやすい。そのため、輸送用機械器具製造業以外で地域経済を支えることのできる新たな産業の創出も重要な課題である。



資料: 工業統計調査 (平成 23 年、27 年は経済センサス)

⑨観光

- ・玉野市の主な観光地の観光客数をみると、王子が岳が 40 万人前後、玉野・渋川地区が 200 万人前後となっており、この 2 地区で 250 万人前後の観光客が訪れている。
- ・近年の動向をみると、微減傾向で推移しており、各観光資源の魅力向上や広域観光等による周辺地区との連携による周遊性の確保など、多様化する観光ニーズに対応していくことが必要である。



資料: 平成 24 年岡山県観光客動態調査 (平成 19 年～23 年)
平成 28 年岡山県観光客動態調査 (平成 24 年～28 年)

(3)教育・文化

①幼稚園、小学校、中学校

- ・学級数、園児・児童・生徒数の推移をみると、少子化の影響により、園児・児童・生徒数はいずれも減少傾向で推移している。学級数は少人数学級等への対応による増加もあったが、近年では微減傾向で推移している。

幼稚園、小学校、中学校の状況(各5月1日現在)

(単位:学級, 人)

年度	幼稚園		小学校		中学校	
	学級数	園児数	学級数	児童数	学級数	生徒数
平成16年	29	551	150	3,560	65	1,860
平成17年	31	538	147	3,540	63	1,793
平成18年	29	537	149	3,489	59	1,756
平成19年	30	520	144	3,355	57	1,728
平成20年	30	452	150	3,335	59	1,729
平成21年	27	434	148	3,213	61	1,741
平成22年	26	401	149	3,135	60	1,672
平成23年	28	391	151	2,974	60	1,655
平成24年	26	382	146	2,848	60	1,626
平成25年	23	339	143	2,785	61	1,561
平成26年	25	342	137	2,645	61	1,558
平成27年	24	312	136	2,594	60	1,475
平成28年	21	324	135	2,507	58	1,467
平成29年	22	306	135	2,467	57	1,332

資料:就学前教育課
学校教育課

②市立高等学校

- ・市立高等学校の学級数は平成16年以降ほぼ横ばいの傾向で推移しているが、生徒数は減少傾向で推移している。

市立高等学校の状況(各5月1日現在)

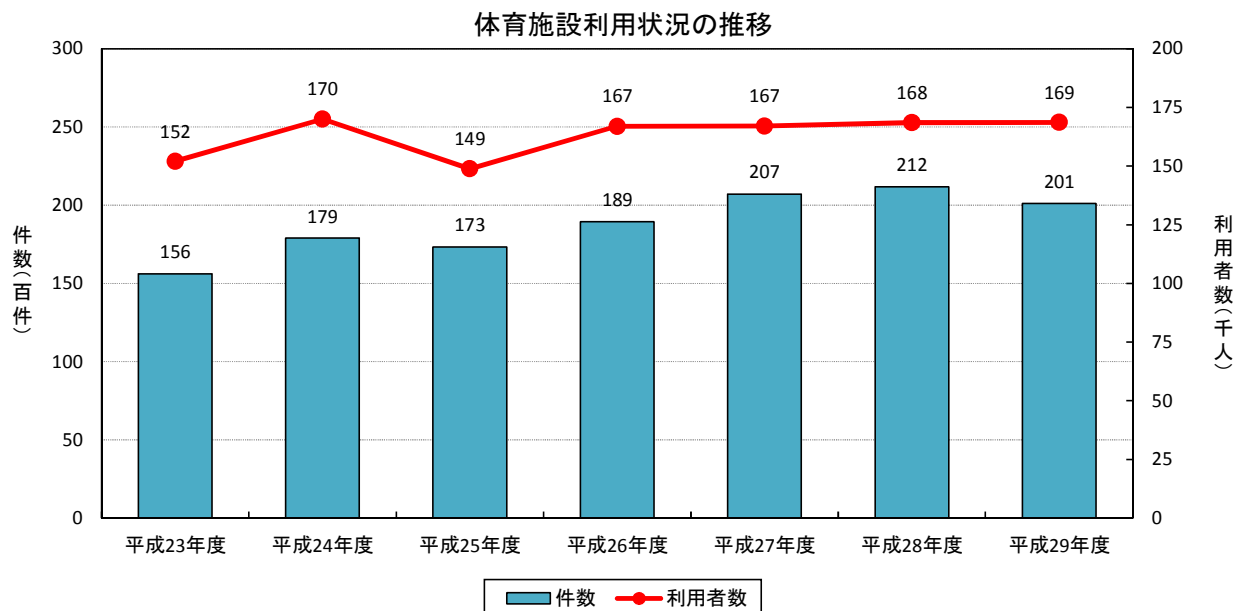
(単位:学級, 人)

年度	玉野商業		玉野備南(昼間部)		玉野備南(夜間部)	
	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数
平成16年	14	527	2	48	6	68
平成17年	13	485	3	72	5	51
平成18年	12	467	4	79	4	37
平成19年	12	467	4	89	4	42
平成20年	12	464	4	86	4	32
平成21年	12	468	4	99	4	34
平成22年	12	469	4	101	4	39
平成23年	12	467	4	93	4	37
平成24年	12	461	4	77	4	41
平成25年	12	457	4	59	4	29
平成26年	12	461	4	49	4	29
平成27年	12	465	4	46	4	30
平成28年	12	443	4	46	4	26
平成29年	12	439	4	40	4	26

資料:学校教育課

③体育施設利用状況

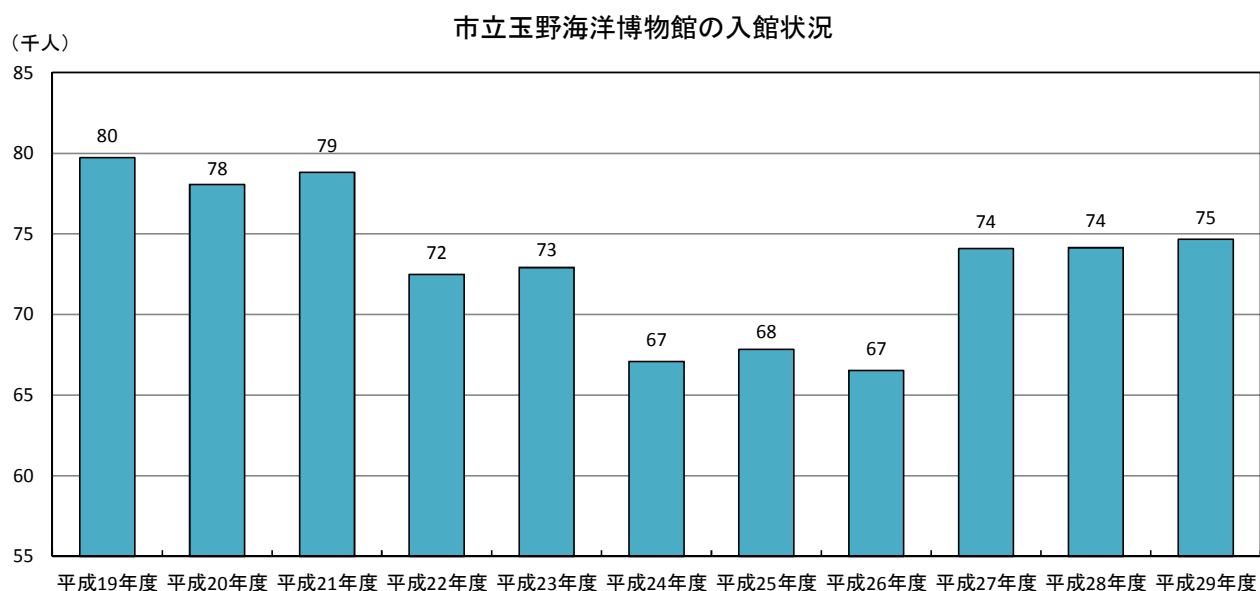
- ・市内の全体育施設の利用状況をみると、利用件数は平成23年度から平成29年度まで増加傾向で推移しており、直近の平成29年度では2万件以上利用されている。利用者数はほぼ横ばいの傾向で推移している。



資料:社会教育課

④市立玉野海洋博物館

- ・市立玉野海洋博物館の入館状況をみると、平成19年以降減少傾向にあったものの、平成27年に増加し、近年は横ばいの傾向である。



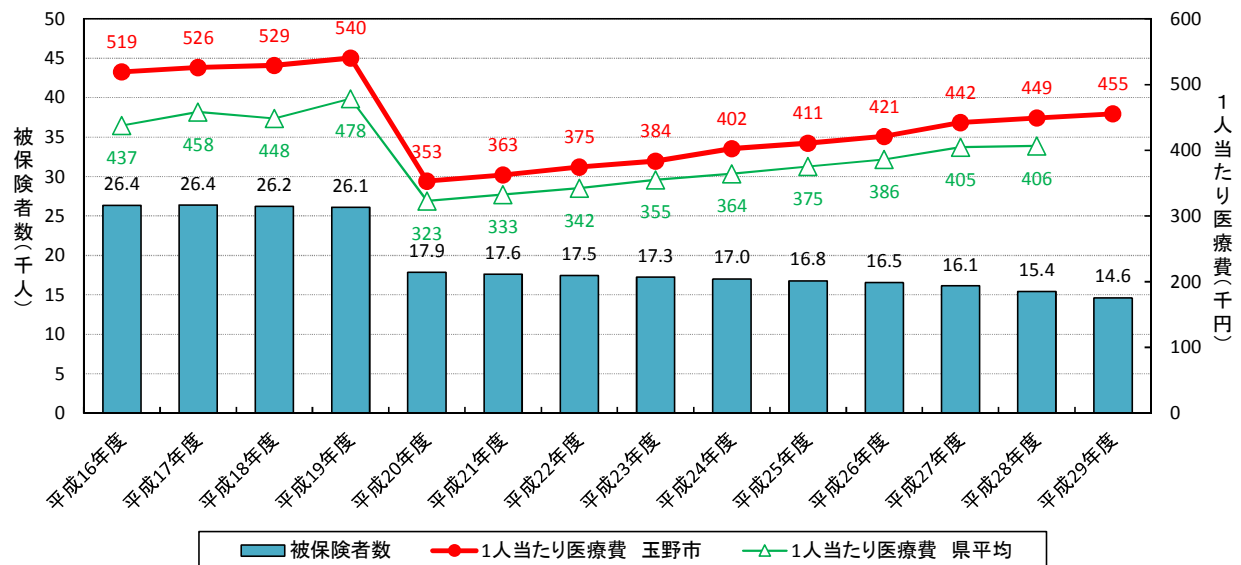
資料:市立玉野海洋博物館

(4) 民生・労働

① 国民健康保険

- ・国民健康保険の被保険者数をみると、微減傾向で推移している。
- ・一方、1人当たり医療費は、常に岡山県平均を上回っており、増加傾向で推移している。
- ・今後、高齢化が更に進むことが予想されるため、医療費の抑制に向けた対応が求められる。

国民健康保険の被保険者数と1人当たり医療費の推移

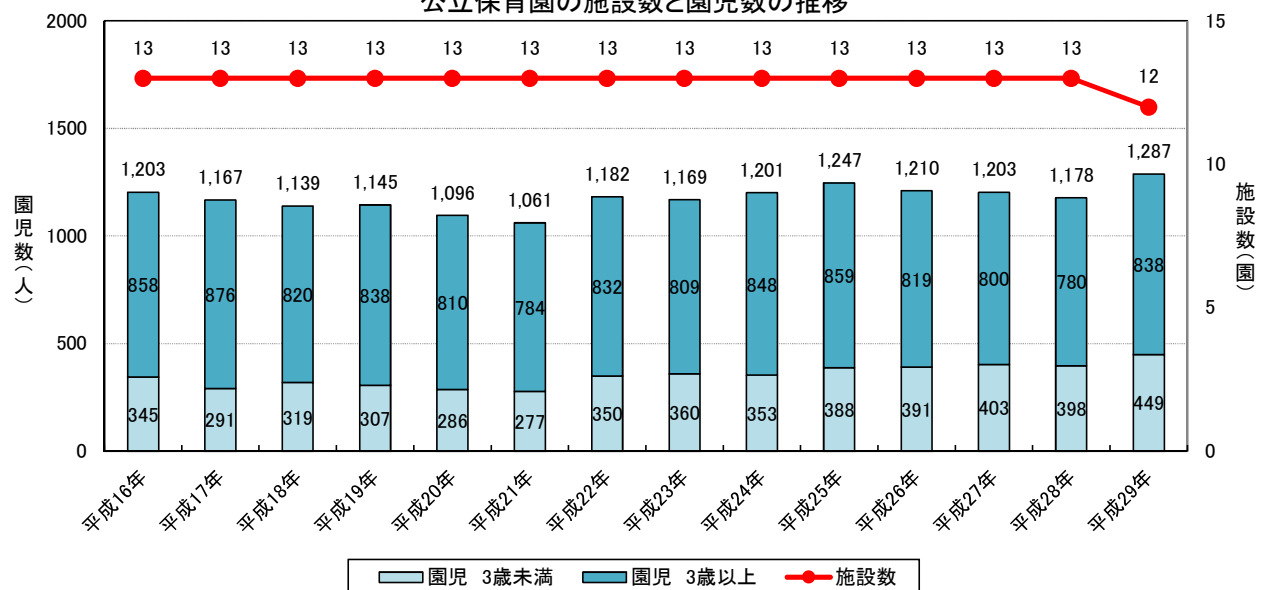


資料: 保険年金課

② 保育園

- ・保育園の施設数は13園市内に立地していたが、平成29年に1園減少した。
- ・園児数は平成21年まで減少傾向にあったが、平成22年以降は増加し、近年はほぼ横ばい傾向で推移している。

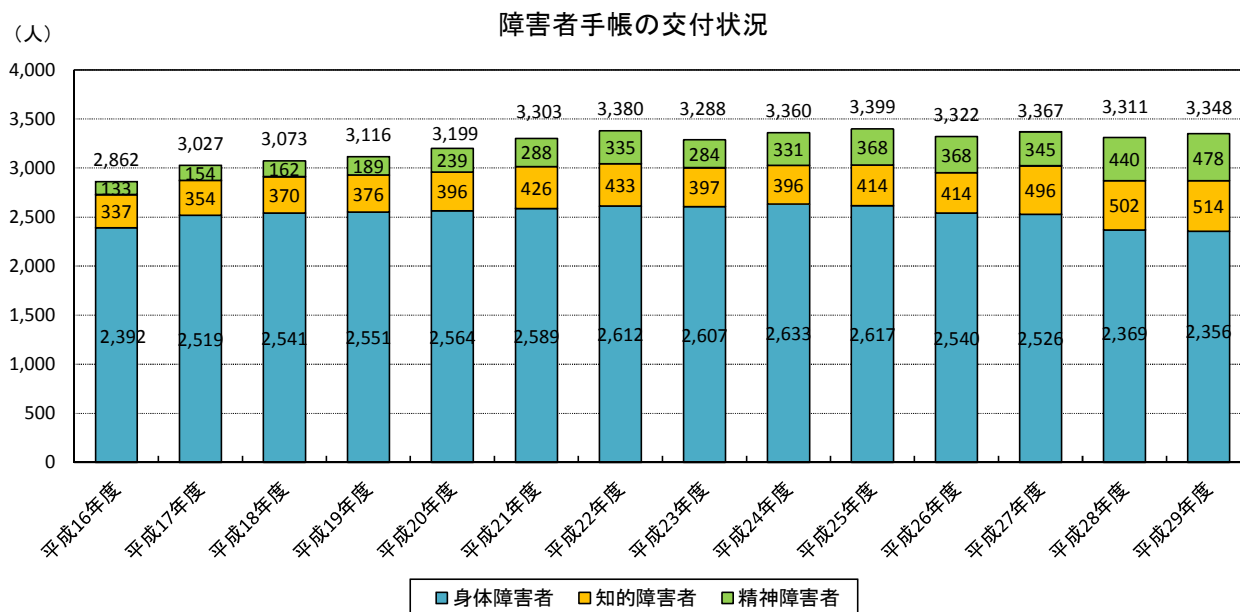
公立保育園の施設数と園児数の推移



資料: 就学前教育課

③障害者

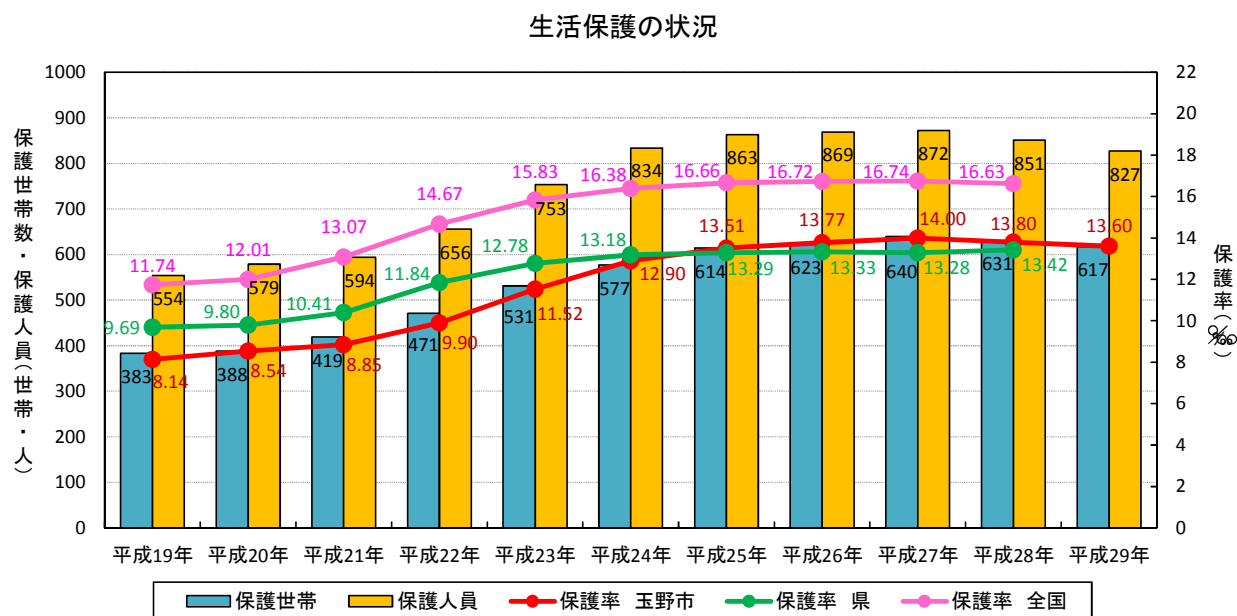
- ・障害者手帳の交付状況をみると、平成22年度までは微増傾向で推移していたものの、近年では横ばいの傾向となっている。



資料: 福祉政策課

④生活保護

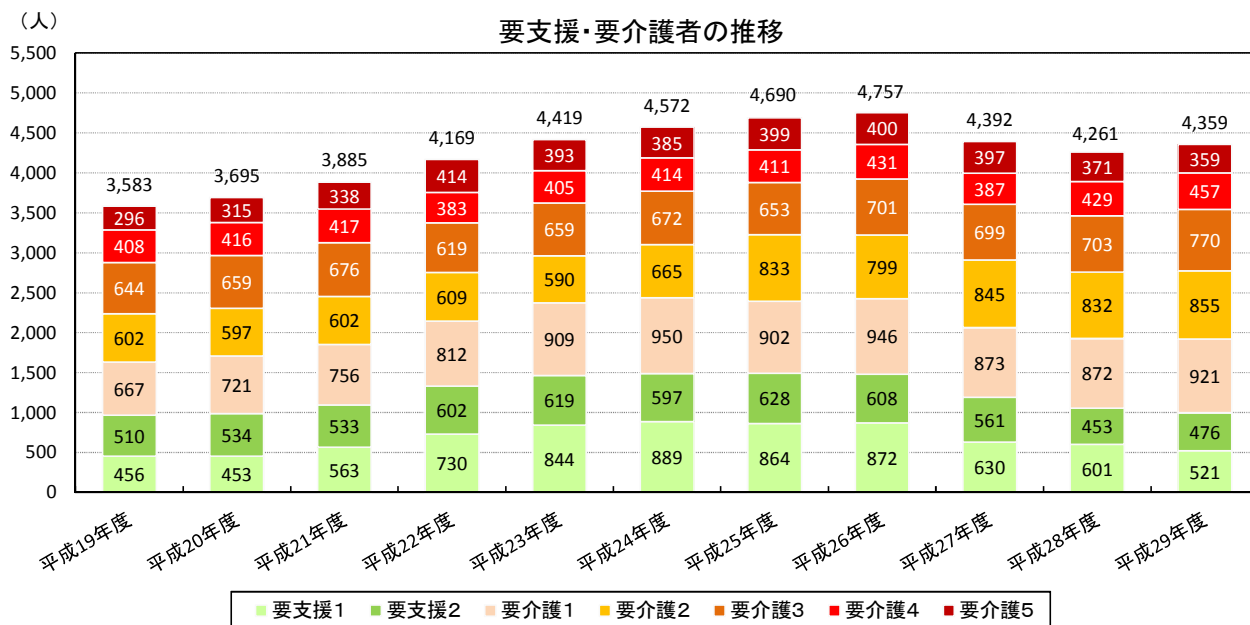
- ・保護世帯、保護人員、保護率（＝保護人員÷人口×1,000）の推移をみると、平成27年までは、増加（上昇）傾向となっていたが、近年は微減（下降）傾向となっている。



資料: 福祉政策課、住民基本台帳、被保護者調査、人口推計

⑤要支援・要介護者

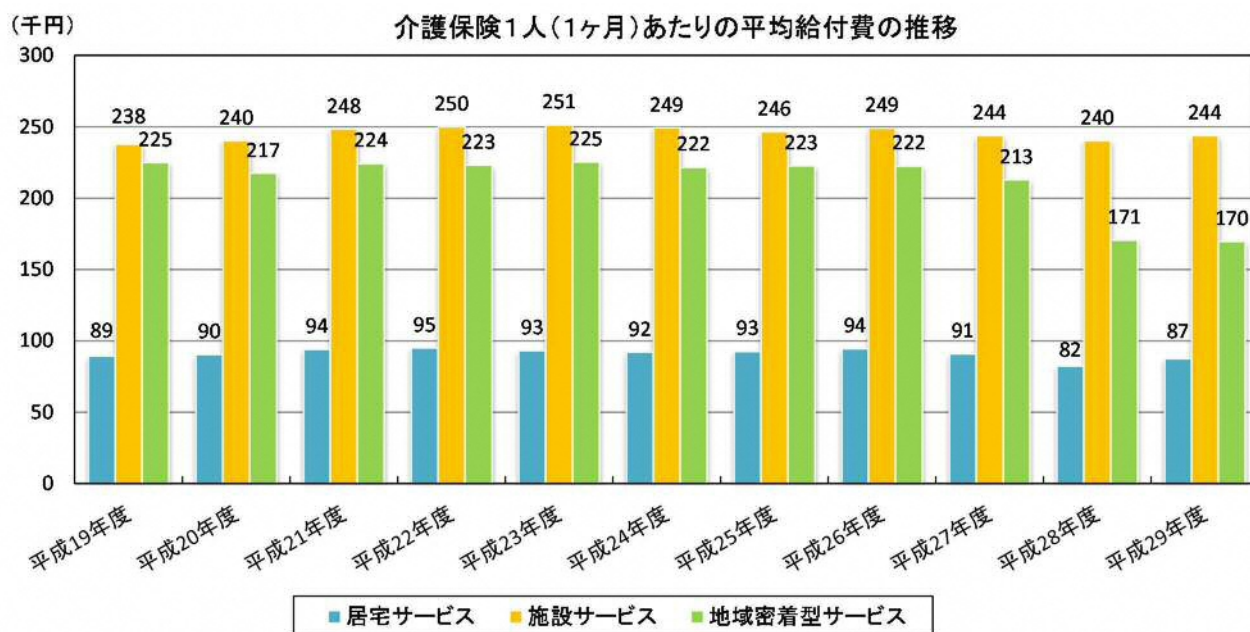
- ・要支援・要介護者の推移をみると、平成26年度までは、増加傾向となっていたが、平成27年度以降、要支援者数は減少傾向、要介護者数は微増傾向となっている。



資料:長寿介護課

⑥介護保険1人当たり給付費

- ・介護保険1人（1ヶ月）当たり給付費の推移をみると、平成26年度までは、横ばい傾向となっていたが、平成27年度以降、地域密着型サービスの平均給付費は減少傾向となっている。



資料:長寿介護課

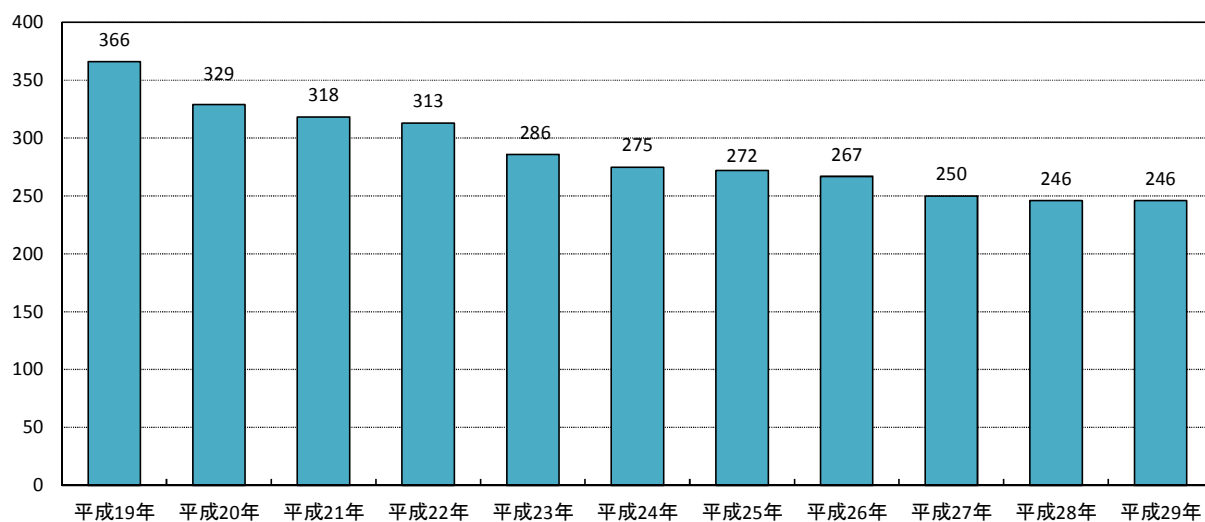
※介護保険1人（1ヶ月）当たり給付費：1ヶ月あたりの給付費÷1ヶ月あたりの平均サービス受給者数

⑦シルバー人材センター

- ・シルバー人材センターの会員数の推移をみると、平成19年以降、減少傾向にあり、現在は約250人で横ばいの傾向となっている。
- ・また、請負・受託件数は、4,000件程度で横ばいの傾向で推移しているが、金額については、減少傾向で推移している。
- ・今後、高齢化の進展に伴い、元気な高齢者数が増加する中で、高齢者の生きがいの確保、一定の収入確保を図っていくためには、請負・受託件数の確保とともに、新規会員の獲得を進める必要がある。

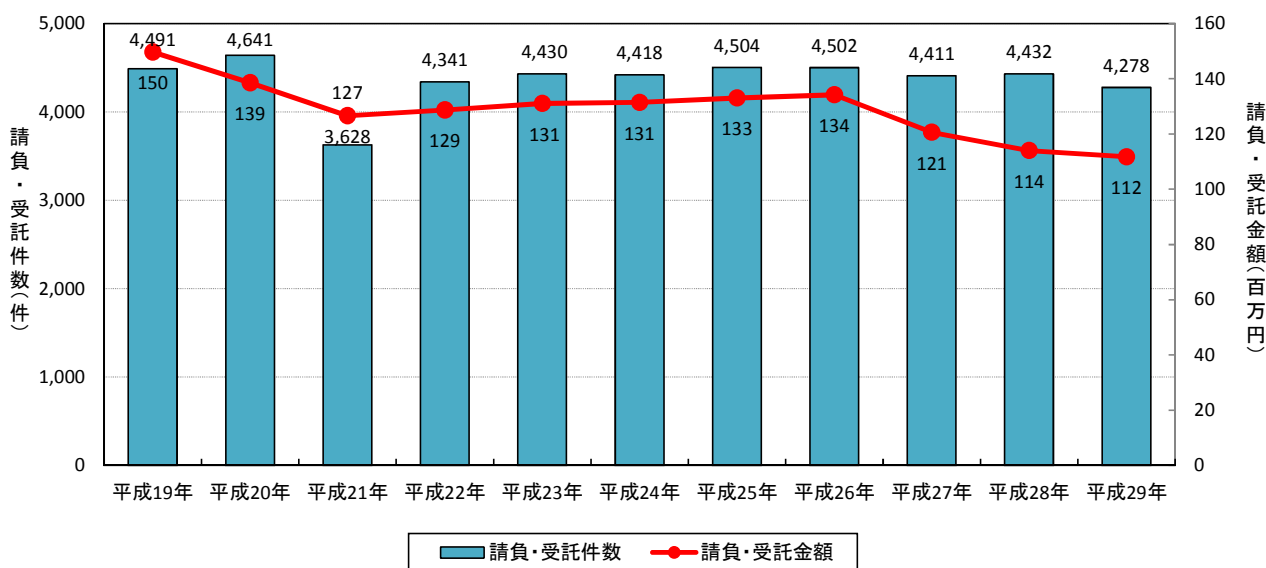
シルバー人材センターの会員数の推移

(人)



資料:長寿介護課

シルバー人材センターの請負・受託件数,金額の推移



資料:長寿介護課

(5) 保健衛生

① 医療施設

- ・市内の医療施設の状況をみると、病院の施設数は8施設、病床数は減少している。
- ・有床診療所の施設数や病床数は微減傾向にあり、無床診療所は横ばいの傾向で推移している。助産所は0施設のまま推移している。
- ・歯科診療所は、平成22年まで微減傾向で推移していたが、平成23年に増加し、近年は横ばいの傾向である。

医療施設の概要

(単位:箇所, 床)

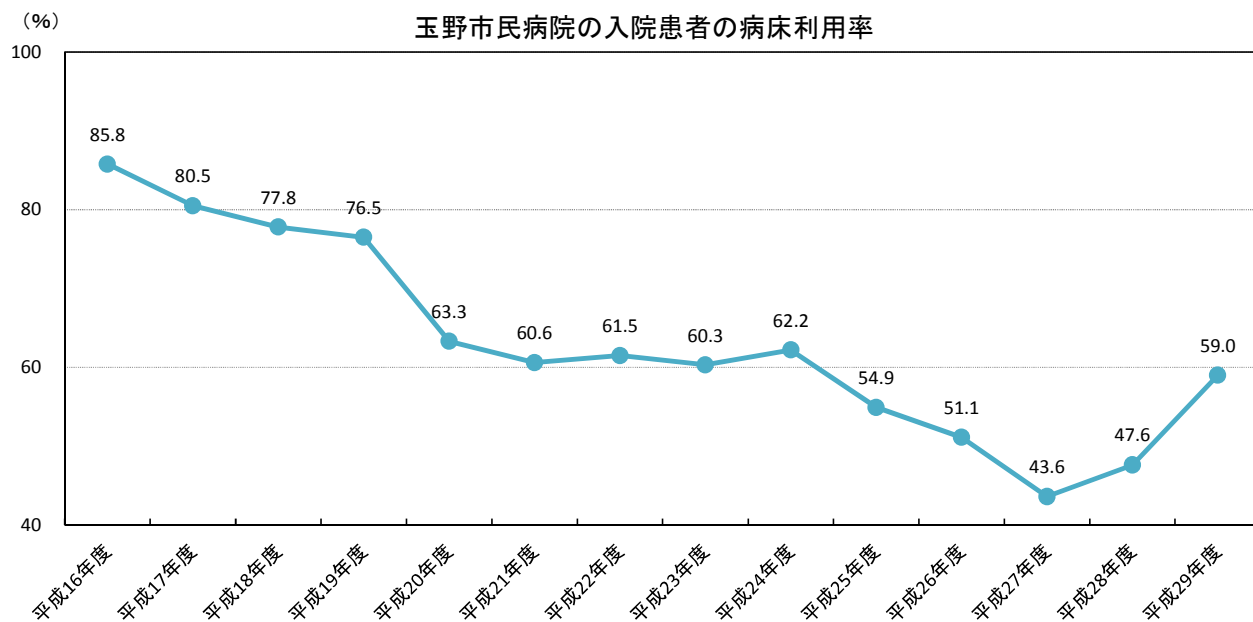
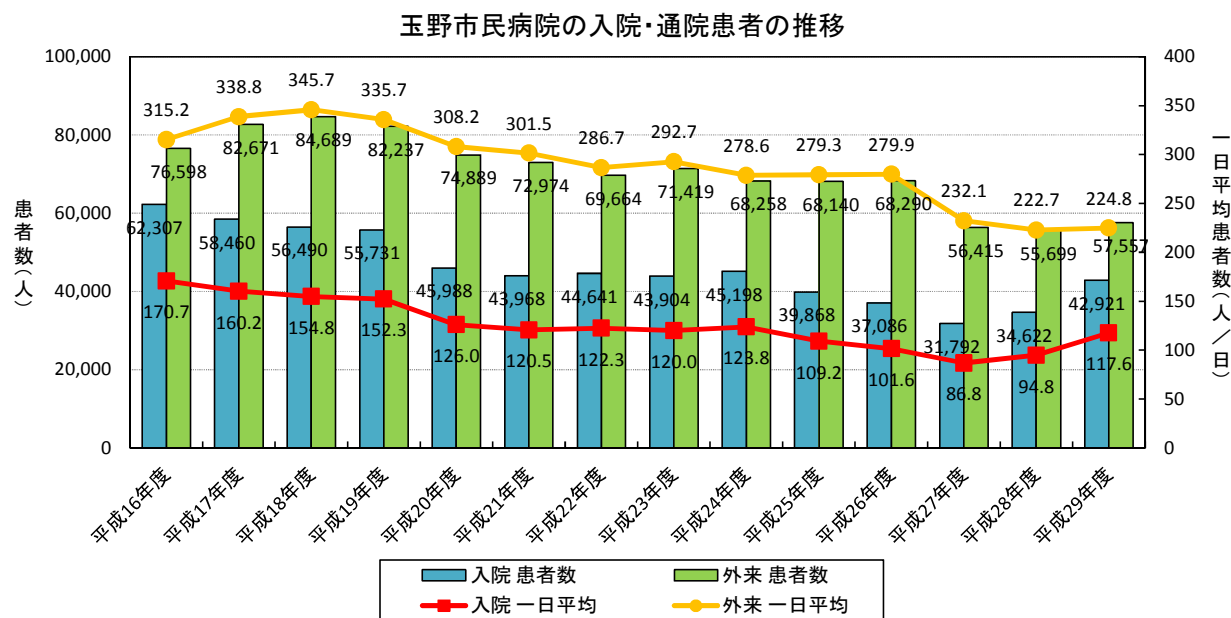
(各年10月1日現在)

年	病院		有床診療所		無床診療所	歯科診療所	助産所
	施設数	病床数	施設数	病床数			
平成17年	10	1,106	5	45	49	36	0
平成18年	10	1,106	4	26	50	36	0
平成19年	10	1,106	5	40	49	35	0
平成20年	10	1,106	4	38	51	35	0
平成21年	10	1,106	3	32	50	35	0
平成22年	10	1,101	3	32	49	34	0
平成23年	10	1,101	3	32	48	36	0
平成24年	10	1,083	3	32	50	36	0
平成25年	10	1,081	3	32	50	36	0
平成26年	10	1,081	3	32	50	36	0
平成27年	10	1,081	3	32	50	35	0
平成28年	10	1,055	3	32	49	36	0
平成29年	8	939	3	32	50	36	0

資料:健康増進課

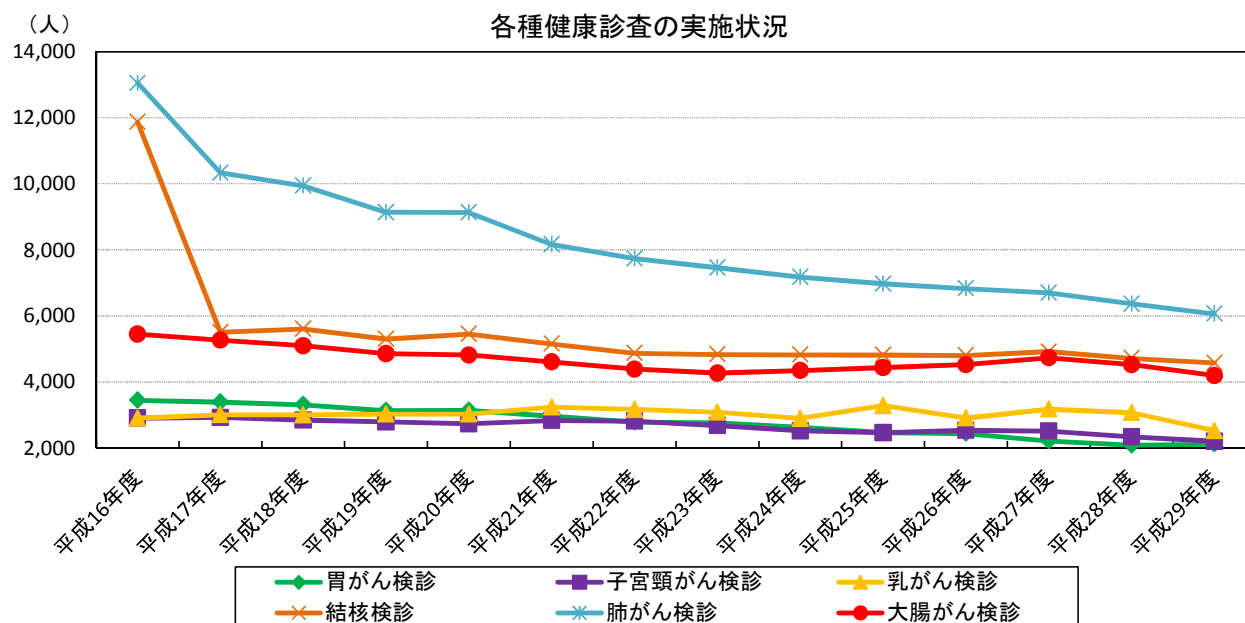
②玉野市民病院

- ・玉野市民病院の利用状況をみると、入院、通院ともに減少傾向にあったが、近年、入院が増加傾向にある。
- ・入院患者の病床利用率は平成16年以降、下降傾向となっていたが、平成28年に上昇傾向に転じ、直近の平成29年度では、59%まで上昇している。



③健康診査

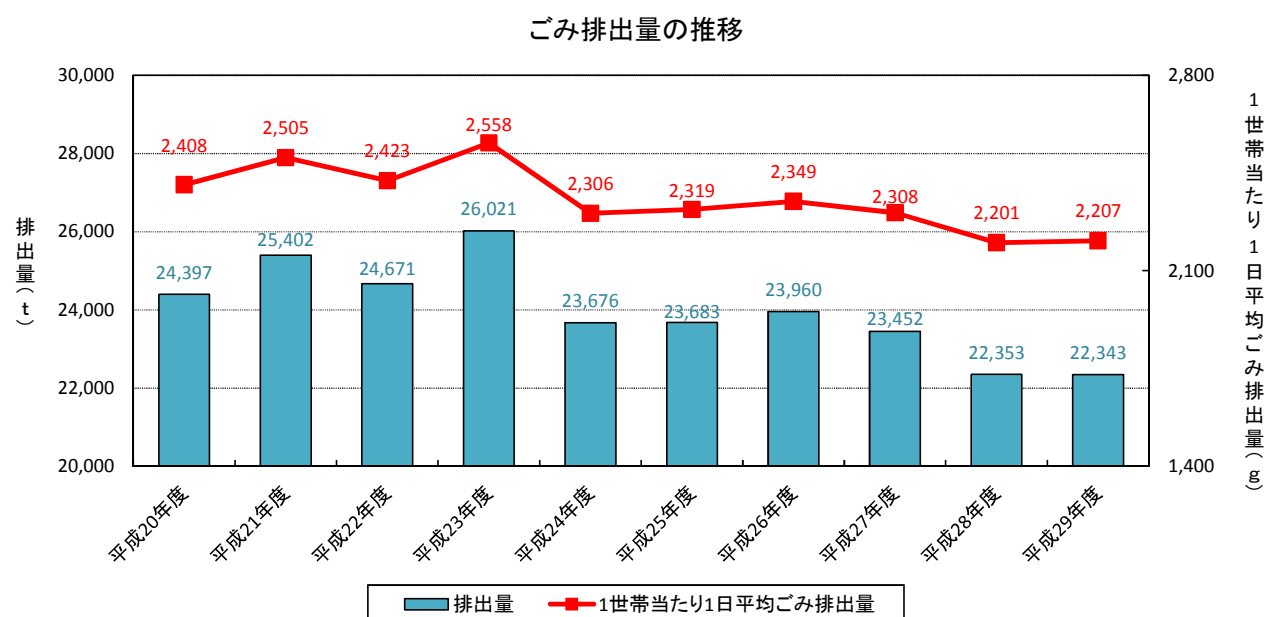
- 各種健康診査の実施状況をみると、減少傾向で推移するものが多いが、乳がん検診は近年微減傾向で推移しており、各種病気の早期発見を推進する上でも、受診率の向上に向けた意識啓発等を図っていくことが重要である。



資料:健康増進課

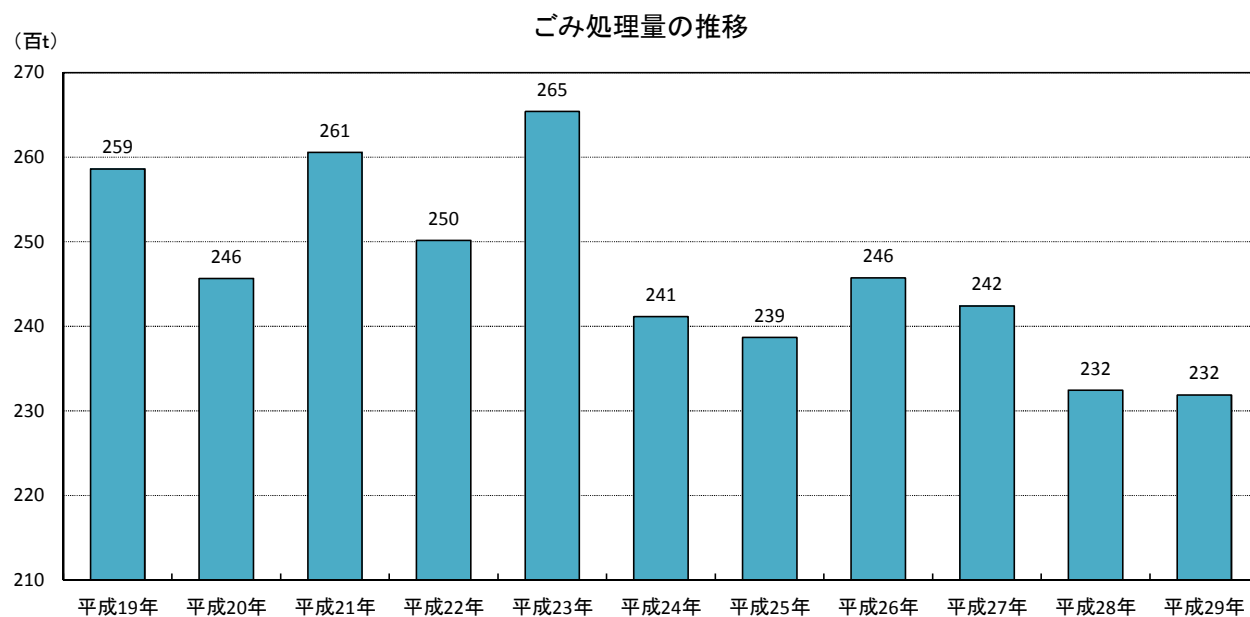
④ごみ排出量と処理量

- ごみの排出量は減少傾向にあり、1世帯当たりの1日平均ごみ排出量も微減傾向で推移しており、ごみ排出量の抑制は進みつつある。



資料:玉野市環境保全事業概要

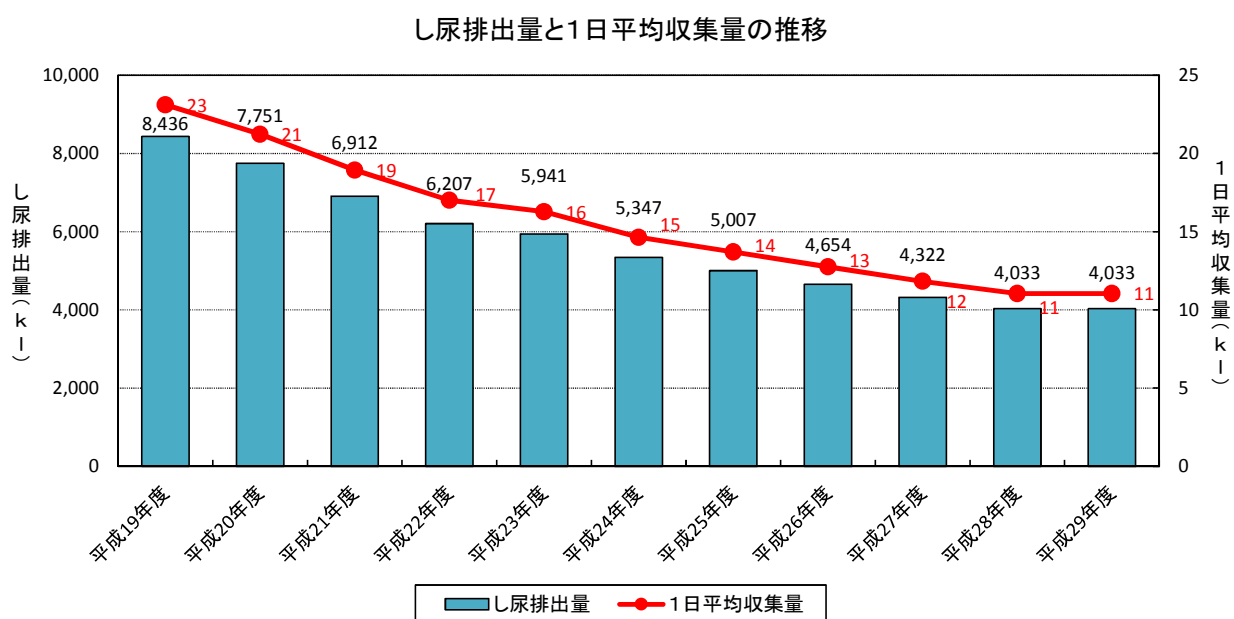
- ・ごみの処理量は平成 23 年以降、減少傾向で推移している。



資料:玉野市環境保全事業概要

⑤し尿排出量と1日平均収集量

- ・し尿処理量と1日平均収集量をみると、ともに減少傾向で推移している。

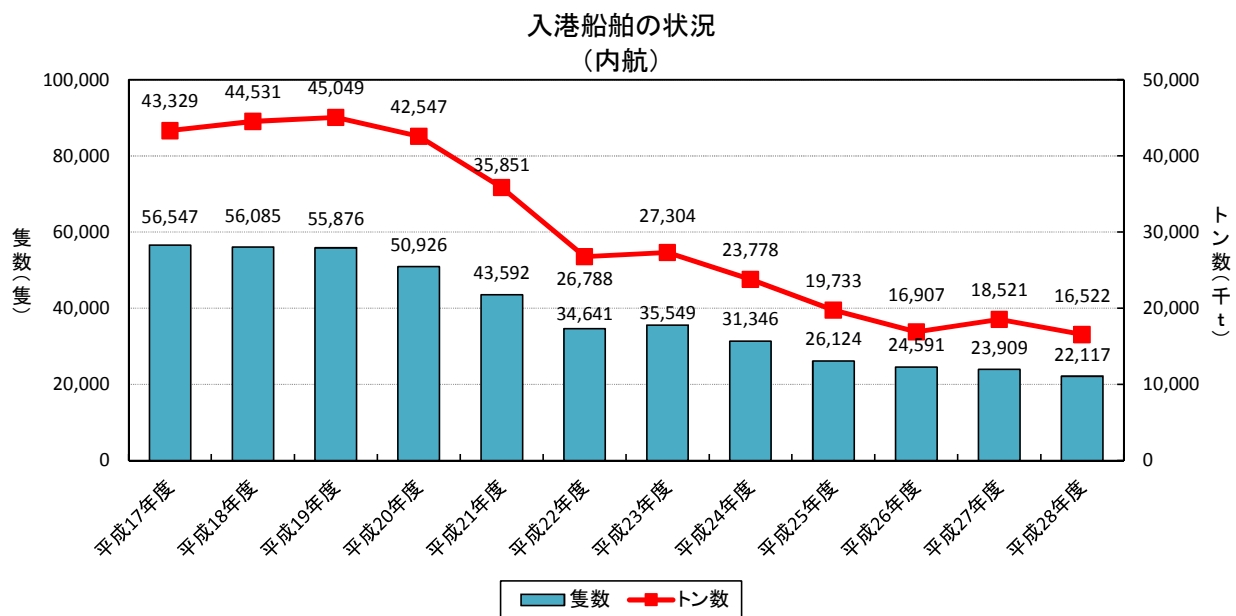


資料:玉野市環境保全事業概要

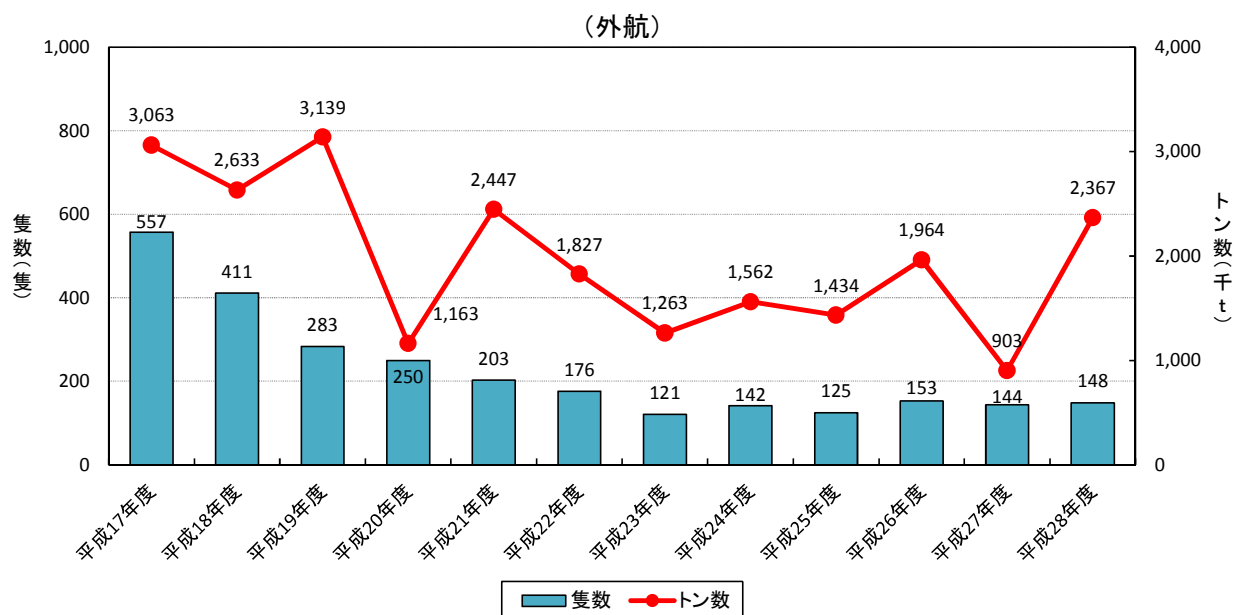
(6) 運輸・交通・消防

① 宇野港の利用状況

- ・宇野港の利用状況をみると、内航海運の船舶隻数が圧倒的に多く、外航海運は全体の1割にも満たない。
- ・近年の入港船舶の推移をみると、内航海運は入港船舶隻数、トン数ともに急激に減少しているが、外航海運は、入港船舶隻数およびトン数は、増加傾向にある。

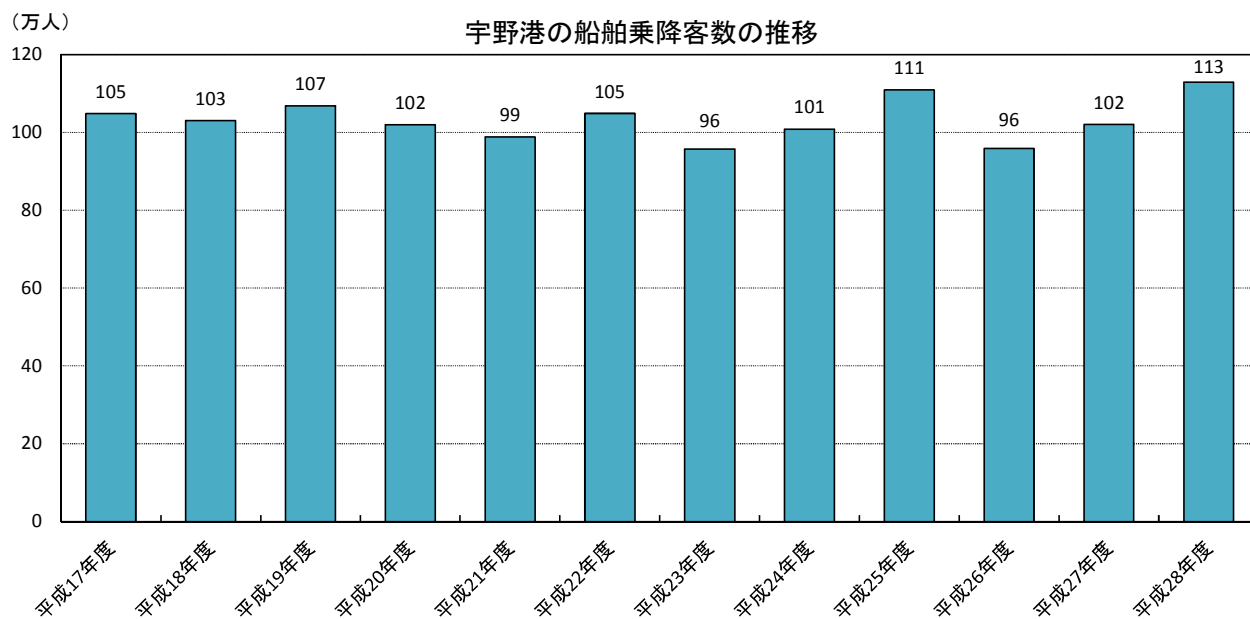


資料: 港湾統計調査



資料: 港湾統計調査

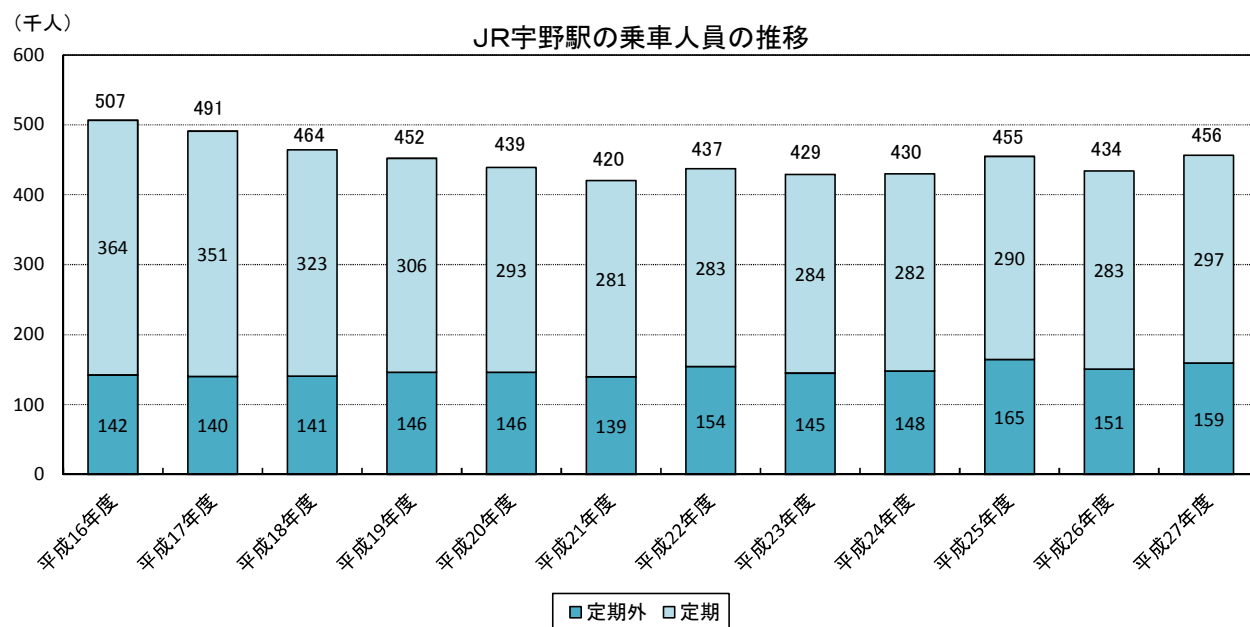
- ・船舶乗降客数をみると、ほぼ横ばいで推移しているが、瀬戸内国際芸術祭等もあり、平成22年度、平成25年度、平成28年度は、他の年と比べて、乗降客数が増加している。



資料:港湾統計調査

②JR宇野駅の利用状況

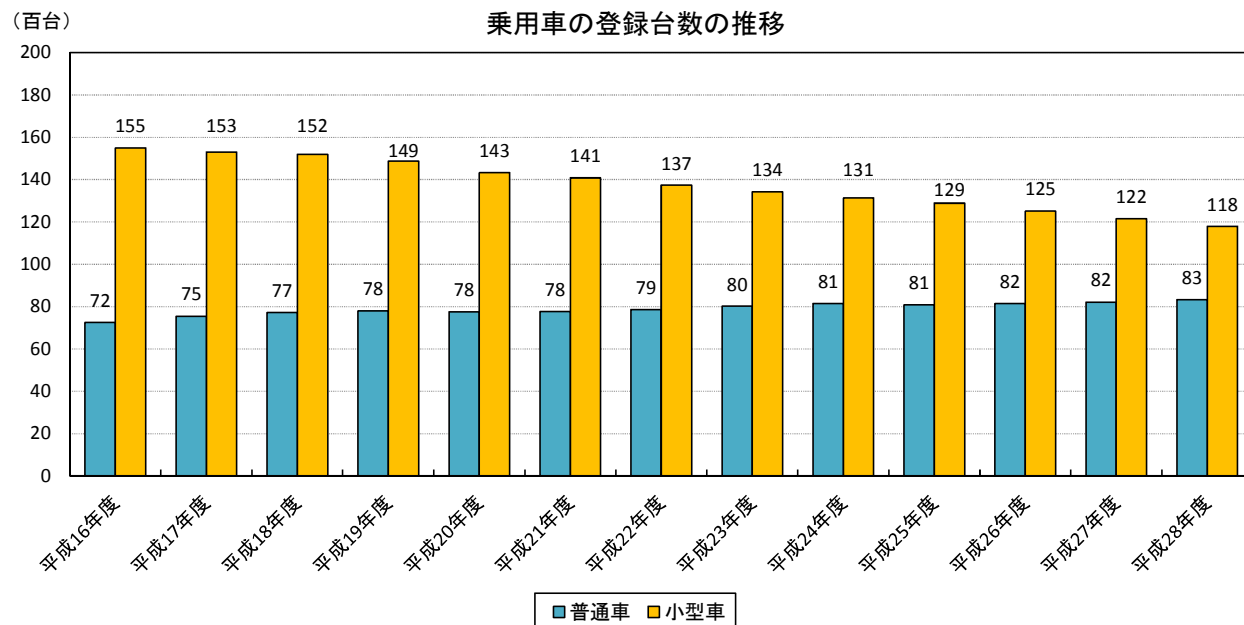
- ・JR宇野駅の利用状況をみると、定期利用の減少等により、全体として減少傾向で推移していたが、近年は横ばい又は微増傾向で推移している。



資料:西日本旅客鉄道(株)岡山支社企画課

③乗用車の登録台数

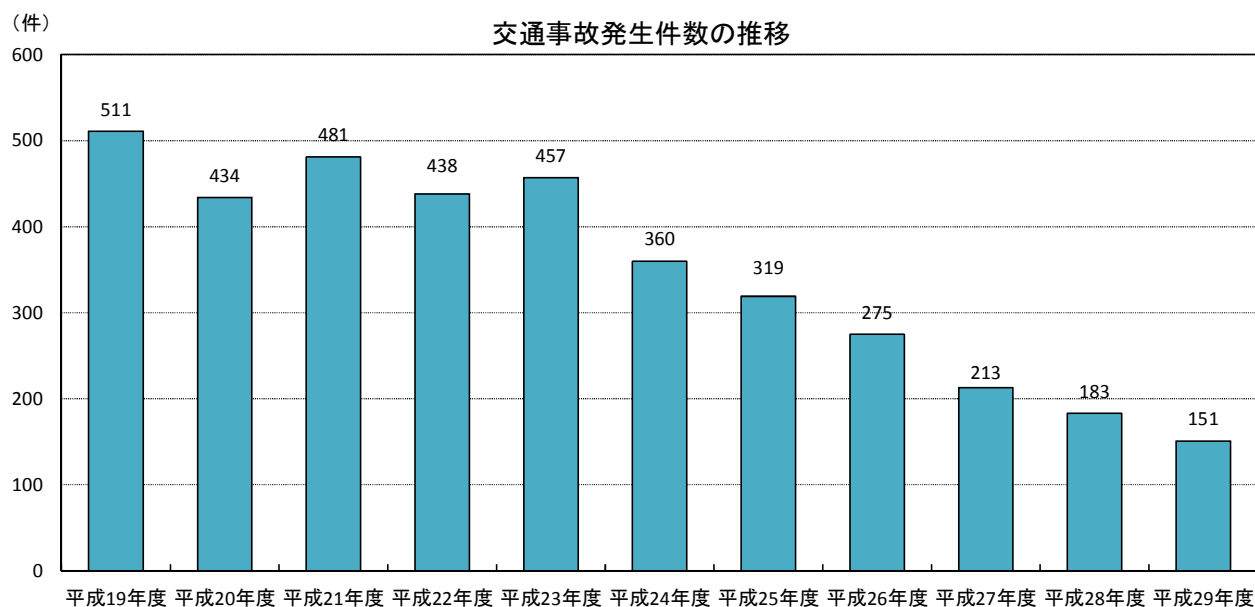
- 乗用車の登録台数をみると、小型車が減少傾向にあるのに対して、普通車は微増傾向で推移している。



資料:岡山運輸支局

④交通事故発生件数

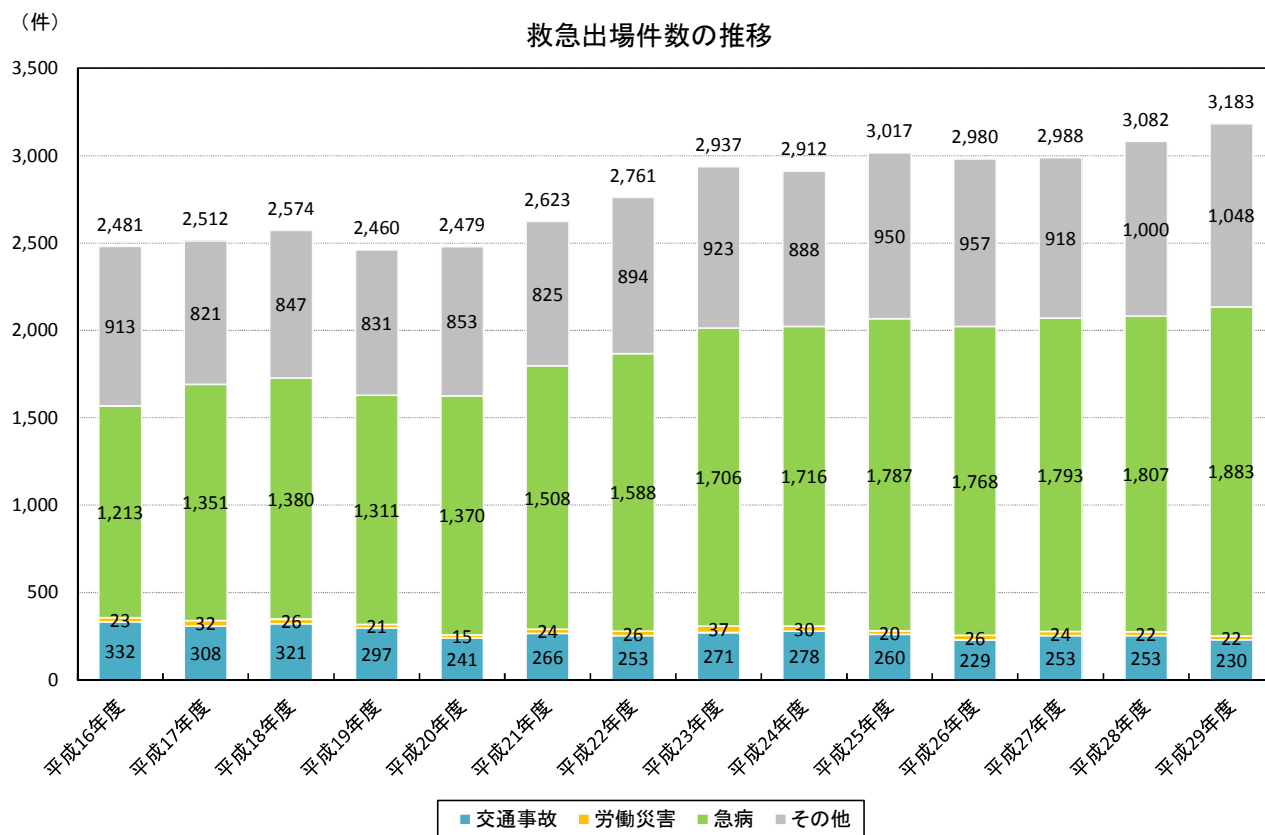
- 交通事故の発生件数をみると、近年は減少傾向で推移しており、直近の平成29年度では、平成19年度の3分の1以下となっている。



資料:総務課

⑤救急出場件数

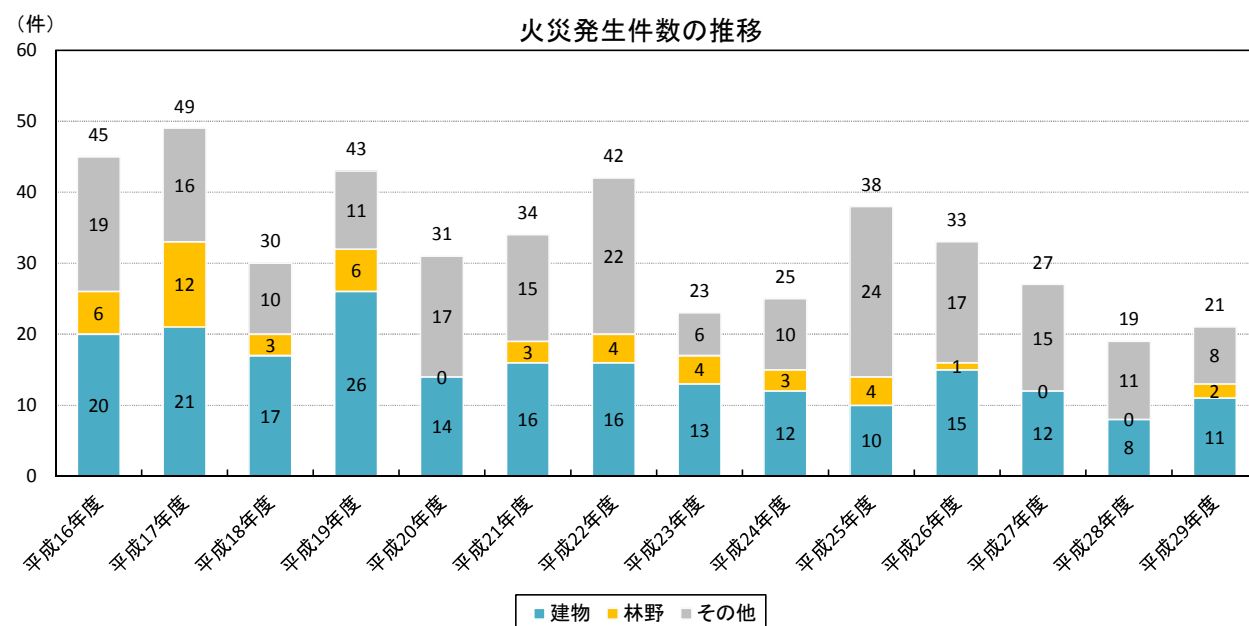
- ・救急出場件数の推移をみると、急病の増加により、平成21年度以降増加した後、平成25～27年度は横ばいの傾向であったものの、近年は再び増加傾向で推移している。
- ・高齢化が進む中で、今後も、救急出場件数は増加することが予想され、迅速な対応が可能な体制の確保が重要となる。



資料:消防総務課

⑥火災発生状況

- ・火災発生件数をみると、年度による変化が大きいですが、近年減少傾向で推移している。

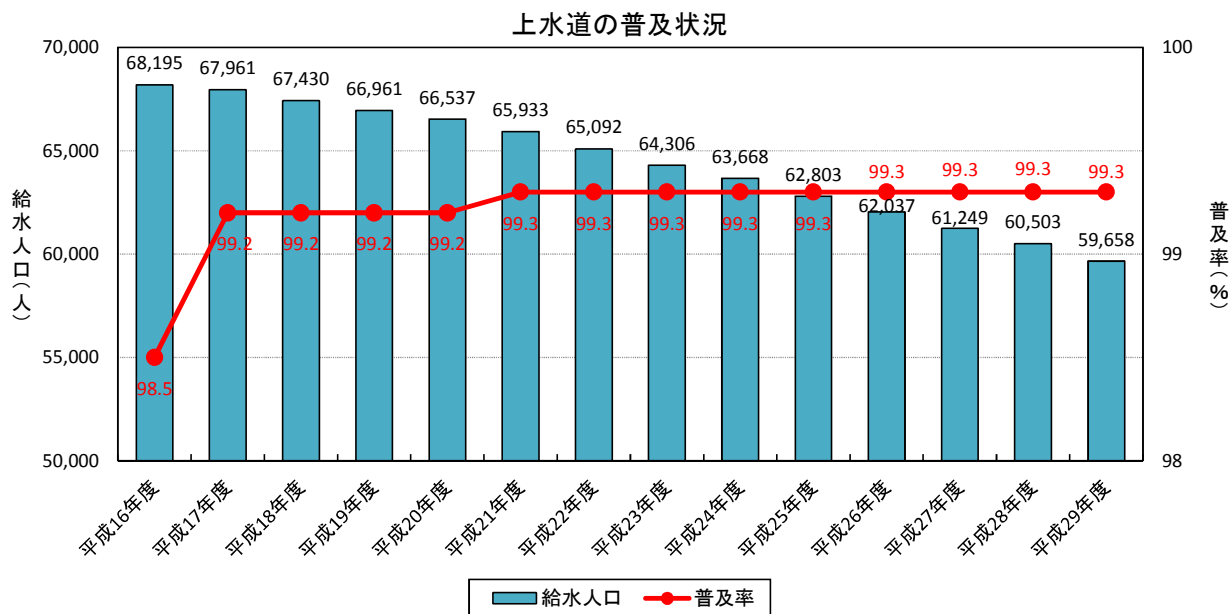


資料:消防総務課

(7) 上下水道・競輪

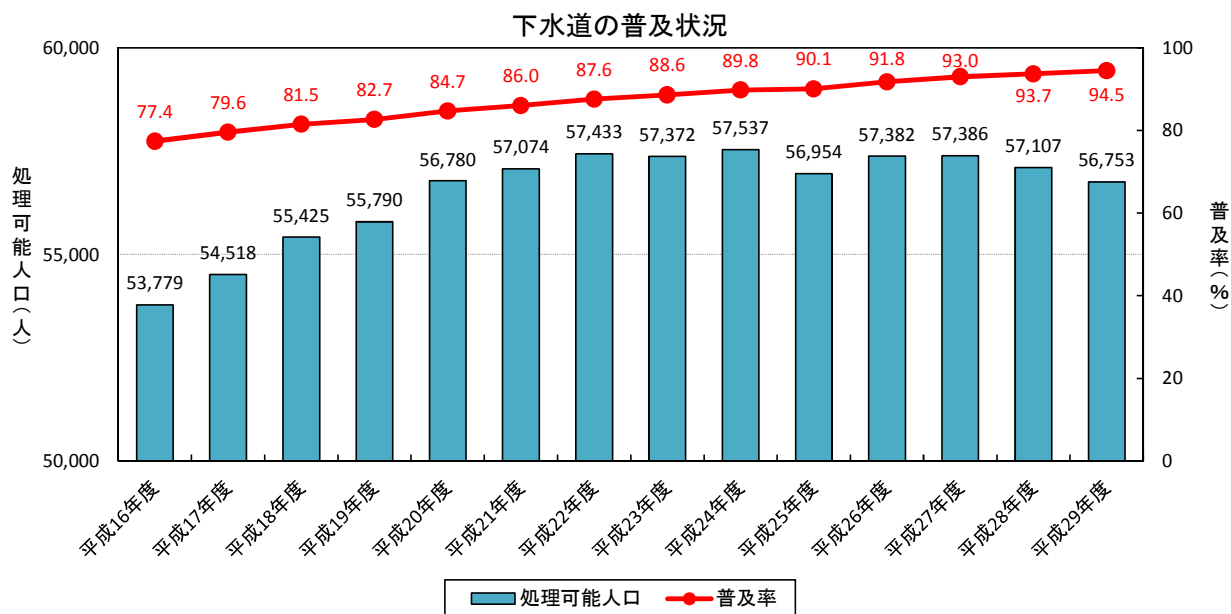
① 上水道

- ・上水道の普及状況をみると、人口減少により給水人口は減少しているが、普及率は99.3%まで上昇している。



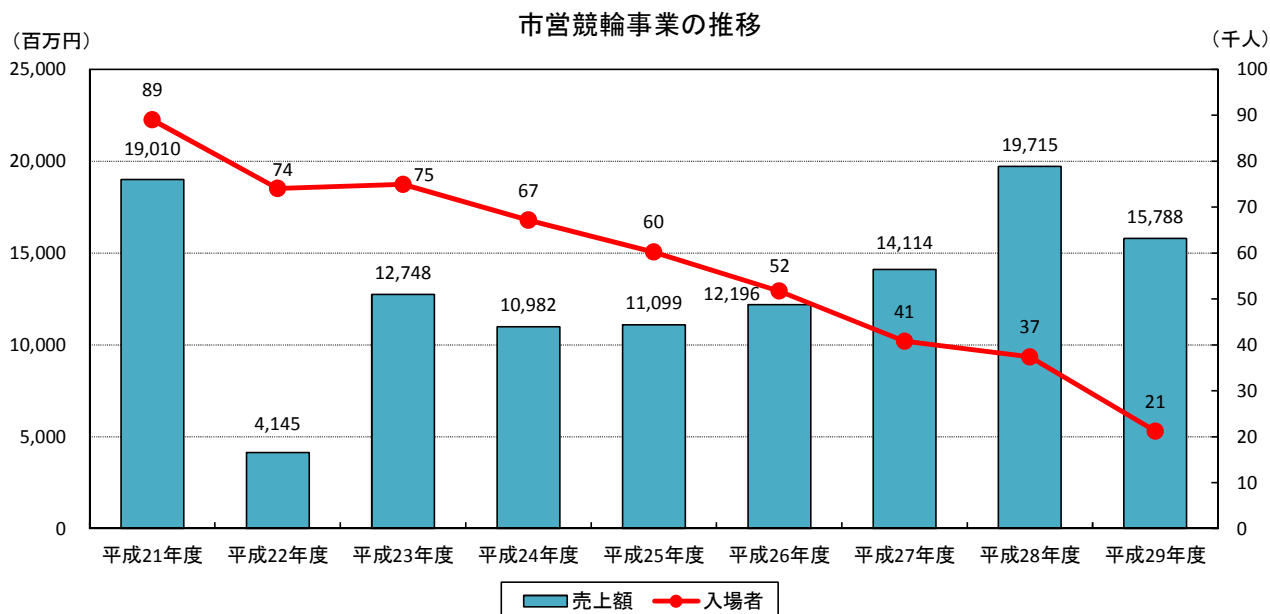
② 下水道

- ・下水道の普及状況をみると、処理可能人口はやや減少傾向にあるが、普及率は94.5%まで上昇している。



③市営競輪事業

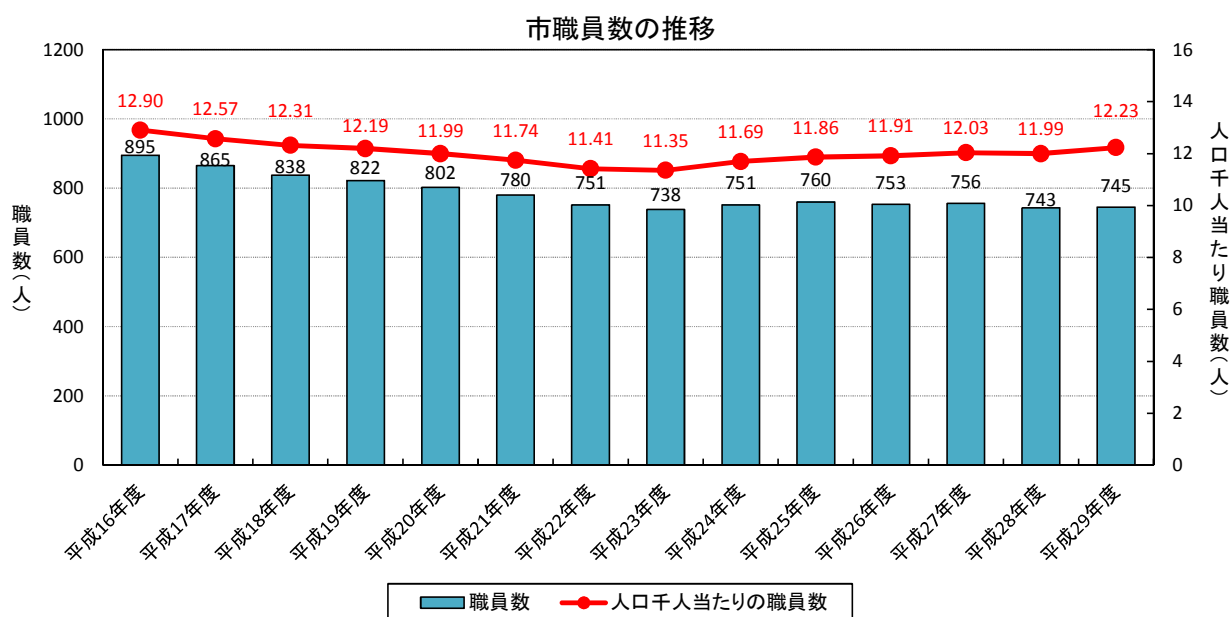
- ・市営競輪事業をみると、車券売上高は平成 23 年以降増加傾向で推移しているが、入場者数は、減少傾向で推移している。



(8) 行政

①職員数の推移

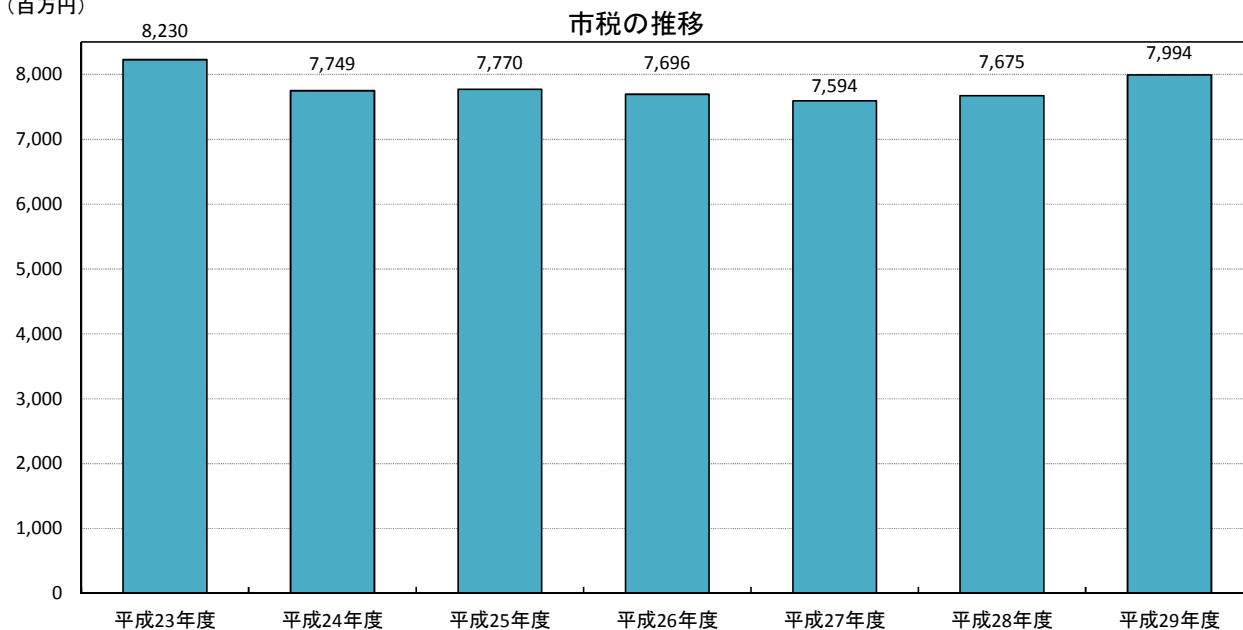
- ・市職員数をみると、減少傾向で推移しており、平成 21 年度に 800 人を下回った。
- ・市民千人当たり職員数については、平成 23 年まで減少傾向にあったが、人口減少の影響もあり、近年は横ばいの傾向で推移している。



②財政

- ・市税収入をみると、平成 27 年度まで微減傾向で推移していたが、近年は増加傾向にある。

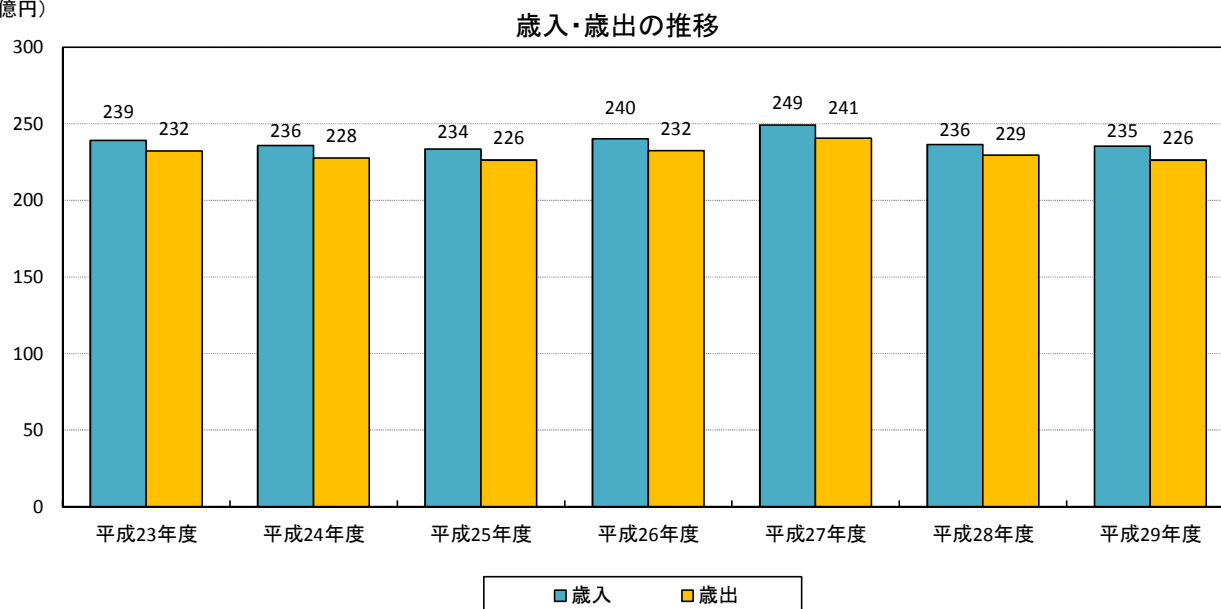
(百万円)



資料:財政課

- ・歳入・歳出の推移をみると、歳入は、平成 25 年度までは微減傾向で推移していたが、それ以降は、微増傾向となり、近年は再び微減傾向で推移している。一方、歳出も同様の傾向にあり、平成 25 年度までは微減傾向で推移していたが、それ以降は微増傾向となり、近年は再び微減傾向で推移している。

(億円)



資料:財政課